

日本赤十字九州国際看護大学
看護学部シラバス
【令和7年度】

プレゼンテーションスキルズⅡ

更新日：2025/01/15 10:26:21

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	510800	授業コード	51080
担当教員	中山 晃志						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	課題に対して適切な情報収集や考察を行うことができる。
2	収集した情報をまとめ、人に伝わる内容を意識した資料を作成することができる。

授業計画

1	課題に対して収集する情報を検討し、収集を行う 【授業方法】演習（調査学修／ICT支援） 【復習】20分：収集した情報の適正について確認する
2	収集した情報をまとめて資料作成を行う 【授業方法】演習（調査学修） 【復習】20分：発表に向けて準備する
3	作成資料の発表とディスカッション、FB 【授業方法】演習（発表、討議） 【復習】20分：ディスカッションおよびFB内容を振り返る
4	ディスカッションを踏まえた資料の修正 【授業方法】演習（ICT支援） 【復習】20分：修正内容の振り返りと次の課題に向けた検討を行う
5	保健医療に関するテーマの検討、資料作成(1) 【授業方法】演習（討議、調査学修） 【復習】20分：収集した情報の適正や作成資料の内容について確認する
6	保健医療に関する資料作成(2) 【授業方法】演習（調査学修） 【復習】20分：収集した情報の適正や作成資料の内容について確認する
7	保健医療に関する資料作成(3) 【授業方法】演習（調査学修／ICT支援） 【復習】20分：発表に向けて準備する
8	作成資料の発表とディスカッション、FB 【授業方法】演習（発表、討議） 【復習】20分：ディスカッションおよびFB内容を振り返る

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じて電子資料を配布

参考文献

なし

評価方法

授業への参加度 40%

第1回～第4回に関わる評価試験 30%（課題20%，討議10%）

第5回～第8回に関わる評価試験 30%（課題20%，討議10%）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

法と看護

更新日：2025/02/25 10:29:19

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	520700	授業コード	52070
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

日本国憲法の学習を踏まえ国民の健康にかかわる法律と看護職者としての法的諸問題を理解し、看護における法的視点を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	保健師助産師看護師法、医師法、医療法をはじめとし医療行為にかかわる法規について学び、看護職の役割と限界について実践と結び付けて説明できる。
2	社会人としての個人、看護者としての権利と義務について述べるができる。
3	安全で秩序ある社会で生きるための権利と義務について考えることができる。

授業計画

1	人も歩けば「法」に当たる 法が定める看護職の身分を確認しよう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 保健師助産師看護師法の条文を振り返る。 【復習】20分 講義内容を整理する。
2	看護師の業務（医師法と比べてみよう） 看護師がやっていいことややってはいけないこと、やらなければいけないことを理解しよう。やってはいけないことをやってしまうと罰を受けます。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 提示された資料を読み込む 【復習】20分 講義内容を整理する。
3	医療提供施設 病院とはどういうところなのか、病院による違いがあるのか。 あなたの給料はどのように保証されているかを考えましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 民間か、国立・公立病院の違いになるものをみつける 【復習】20分 講義内容を整理する。
4	訪問看護と遠隔診療 平等な医療の提供、過疎地や島しょ部での医療はどうなっている？ 遠隔診療が進んでますが、使用するには、注意点もあります。また遠隔診療が進むことで、訪問看護はどのように変化するべきかを考えましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 資料を読み込む 【復習】20分 講義内容を整理する。
5	事故の処理と責任 医療過誤、医療事故を起こした、巻き込まれた場合、どういうことになるのか、どう対応しなければいけないか。他人ごとではありません。 病院の事故調査、法の裁きについて理解しましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 関心のある医療事故をみつける。 【復習】20分 講義内容を整理する。
6	暴力と看護（1） 性暴力の被害者にどのような看護が必要か。 魂の殺人といわれる性暴力ですが、被害者の苦痛や苦悩に取り組むことに専門的な知識と技術を用いる看護職がいます。その方の講義を得て、看護とは何かを考えてみましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 資料の読み込み。 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】ゲストスピーカー

7	暴力と看護（2） 暴力の加害者とヘルスケア 暴力をふるう人の健康について考えてみようということです。無意識のうちに起こしてしまう重大な犯罪に対しては、無意識になる状態について解明しそうならないようケアが必要です。また健康問題を抱えているの刑務所等でのヘルスケアについて、考えてみましょう。 【授業方法】 演習（討議） 【予習】 30分 資料の読み込み。 【復習】 20分 講義内容を整理する。
8	勤務で困らないために フィードバック 労働者の権利と義務を知り、ホワイトな職場にしようということで、過剰労働、いじめ、ハラスメント等に遭遇しても泣き寝入りをしないよう労働者としての権利について理解しましょう。 【授業方法】 演習（討議） 【予習】 30分 就労する看護職者の問題を検討する（課題配布）。ポータルを活用してフィードバックを行う

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

指定しない

参考文献

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学[第5版].ミネルヴァ書房,2020.
 田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版.日本看護協会出版会,2015.
 看護行政研究会 編：看護六法2019年版：,新日本法規出版，2019.
 加納尚美・李節子・家吉望み：フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで，医歯薬出版株式会社,2016.

評価方法

議論参加（60％）、評価試験：課題レポート（40％）で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

A協議会高齢者人権擁護研修会講師
 フォレンジック看護学会理事
 SANE-J（日本性暴力対応看護師）
 A医療施設内倫理審査委員会委員 近時の議論状況を講義内容に活用する。

メッセージ

授業は、最近のニュースで事件や事故を題材に、検討します。実習などで疑問に思った倫理（例えば、身体拘束、医療者の対応、患者の意思決定、理不尽な患者）また看護者になった場合、労働者としての権利はどこまで保障されるのか、ハラスメントやいじめにあった場合は、どうなるのか、どうするのか、等、実際の事例を基に検討します。

一人の人として、また看護職者として社会に出るまでに、社会の法制度（システム）を学んでおきましょう。「知は力なり」。

対象者を擁護する看護職は、法によって、「特権」を与えられています。その力を十分に発揮することが求められています。その力を、与えていく根拠となる法についての学習です。

また看護職も、人として保障される権利があることを再認識しましょう。犬も歩けば棒に当たるといいますが、人は歩けば「法」に当たります。社会の秩序は法によって成り立っています。職場、人間関係、私生活で遭遇するあらゆるトラブルをどう回避し、どう乗り越えるのか。法の適用と限界を知れば、よりよく生きる道になります。

保健医療福祉行政論

更新日：2025/01/30 13:29:45

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	520900	授業コード	52090
担当教員	緒方 文子						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

保健医療福祉に関する法制度や関係法規の基礎知識を学ぶとともに、保健医療福祉に関する行政施策の基本となる考え方を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：保健医療福祉行政論

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	保健医療福祉行政の理念と仕組みについて説明できる。
2	地方公共団体の役割について、具体例を挙げて説明できる。
3	保健医療福祉機関の役割と機能について説明できる。
4	保健医療福祉行政の政策化プロセスを各段階ごとに説明できる。

授業計画

1	保健医療福祉の行政・制度と保健師の活動 【授業方法】ガイダンス、講義、討議 【予習】30分：教科書の第1章（保健医療福祉の行政・制度と保健師の活動）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
2	保健医療福祉の行政・財政の理念としくみ 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第2章（保健医療福祉の行政・財政の理念としくみ）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
3	保健医療福祉行政の基本 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第3章（保健医療福祉行政の基本）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
4	社会福祉・公的扶助・介護保険の制度 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第4章（社会福祉・公的扶助・介護保険の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
5	公衆衛生の制度 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第5章（公衆衛生の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
6	医療の制度 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第6章（医療の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。
7	保健医療福祉分野における制度・政策と動向 【授業方法】講義、発表、討議 【予習】60分：教科書の第7章（保健医療福祉分野における制度・政策と動向）に目を通す。 【復習】20分：授業内容を復習する。
8	保健医療福祉の政策の企画から実施・評価まで、フィードバック 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：教科書の第8章（保健医療福祉の政策の企画から実施・評価まで）に目を通す。 【復習】30分：授業内容、フィードバックされた内容を復習する。

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

野村陽子他：保健学講座第5巻保健医療福祉行政論〔電子版〕。メヂカルフレンド社，2022。

参考文献

藤内修二他著：標準保健師講座5保健医療福祉行政論第6版。医学書院，2025。

厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2024/2025。厚生労働統計協会，2024。

厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民の福祉と介護の動向2024/2025。厚生労働統計協会，2024。

社会保険実務研究所編：週刊保健衛生ニュース。社会保険実務研究所，2025。

評価方法

授業時間外に実施する評価試験（筆記試験50％）は、第8回終了後に別日を設けて実施する。

第1～8回で行う評価試験40％（課題レポート8回：1回あたり5％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

保健師の臨床経験のある教員が、保健医療福祉制度について講義を担当します。

メッセージ

保健・医療・福祉・行政は相互に関連して社会を構成しています。それぞれの考え方を深く学ぶために、新聞や雑誌、ニュースなどから国内外の動向について情報収集を行いましょう。

疾病と治療Ⅴ

更新日：2025/01/30 16:56:34

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	531100	授業コード	53110
担当教員	千原 明美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

学習した知識と臨床で学んだ実際を関連させながら、様々な疾病の治療を理解する能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	人体の構造と機能で学修した、解剖・生理学の知識を理解した上で疾病の病態・症状の関連を述べることができる。
2	疾病の検査・診断・治療を理解し、科学的根拠に基づいた看護展開に必要なアセスメントを述べることができる。

授業計画

1	A.運動器系・感覚器系の構造・機能及び疾病（骨・関節疾患、筋・神経接合部疾患、視覚・聴覚障害について） 【授業方法】講義 【予習】50分：運動器系、感覚器の構造・機能について教科書を読んで、骨折（各世代に多い骨折）、緑内障・白内障の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
2	B. 脳神経系の構造・機能及び疾病（中枢神経系疾患、末梢神経性疾患について） 【授業方法】講義 【予習】50分：脳・神経の構造・機能について教科書を読んで、脳出血・脳梗塞、パーキンソン病の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
3	C.循環器系の構造・機能及び疾病（心疾患、血管系疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：循環器の構造・機能について教科書を読んで、心不全・虚血性心疾患の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
4	D. 呼吸器系の構造・機能及び疾病（炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：呼吸器の構造・機能について教科書を読んで、肺炎・COPD・肺がんの病態・検査・治療方法を調べて説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
5	E. 内分泌系の構造・機能及び疾病（内分泌系疾患、代謝異常の疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：内分泌系の構造・機能について教科書で読んで、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症についての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
6	F. 消化器系の構造・機能及び疾病（消化器疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：消化器系の構造・機能について教科書を読んで、上部・下部消化管悪性腫瘍、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍の病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
7	G. 腎・泌尿器系・生殖器系の構造・機能および疾病（腎・尿路系疾患，女性生殖器疾患、乳腺疾患、生殖機能障害、） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：腎・泌尿器、生殖器系の構造・機能について教科書を読んで、慢性腎臓病、尿路系悪性腫瘍、子宮がん、乳がん、前立腺肥大がんについての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】 30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原

8	F. 血液系・免疫系の構造・機能及び疾病（血液・造血管疾患、自己免疫疾患、アレルギー疾患）について、1～8回講義課題のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】50分：血液系・免疫系の構造・機能について教科書を読んで、貧血、白血病、SLE、アレルギー性疾患について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

人体の構造と機能、疾病と治療、治療検査と看護などの既習科目のテキスト・資料

参考文献

浅野喜延/吉山直樹 編集：看護のための臨床病態学 改定4版，南山堂，2020.

福井次矢他 総編集 今日の診療指針2025，2024年版，医学書院，2024，2025.

坂井建雄/岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学，第11版，医学書院，2023.

医療情報科学研究所 編：「病気がみえる」シリーズ，Vol.消化器，Vol.2.循環器，Vol.3.糖尿病・代謝・内分泌，Vol.4.呼吸器，Vol.5.血液，Vol.6.免疫・膠原病・感染症，Vol.7.脳神経，Vol.8.腎・泌尿器，Vol.9.婦人科・乳腺外科，Vol.11.運動器・整形外科，Vol.12.眼科，Vol.13.耳鼻咽喉科，Vol.14.皮膚科， 各第1版から5版，メディックメディア，2013～2022年.

評価方法

評価試験（GW課題・発表45％，1～7回までの確認テスト35％、最終確認テスト20％）

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

MoodleやMicrosoft Formsを活用して課題を出したり確認テストや、フィードバックを行います。

担当する教員等の実務経験

様々な疾病の急性期・慢性期の検査・治療を受ける患者の看護の実務経験が有る看護教員が、臨床で対応する疾病を持つ患者の看護に必要な医学の知識、必要な情報をわかりやすく説明しアセスメントに役立てられるよう展開します。

メッセージ

看護の専門職として、疾病に関する知識は科学的根拠に基づくものが現場では非常に重要です。

最終学年で、これまで学んだ臨床でもよくみられる疾病の病態・検査・治療についての知識の再確認を行い、これから臨床での看護展開に活かすことができるように苦手意識のある人も得意な人も一緒に復習しながら学びましょう。

疫学Ⅱ

更新日：2025/01/16 17:03:19

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	531400	授業コード	53140
担当教員	吉田 大悟, 石田 有紀						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康問題の原因追究のアプローチを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：疫学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疫学 の概念と方法を多様な課題に適用して説明できる。
2	疫学 研究の成果を批判的に吟味し、成果を地域や集団に応用して説明できる。

授業計画

1	保健統計のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：該当箇所について教科書や参考書等を用いて勉強する。 【復習】30分：該当箇所を復習する。 【担当】吉田
2	疫学研究方法のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的方法）に目を通す。 【復習】30分：自分で方法を使う場合の条件や予想される結果を考える。 【担当】吉田
3	相関関係と因果関係のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的方法）に目を通す。 【復習】30分：相関関係と因果関係の実例を考える。 【担当】吉田
4	疫学指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的方法）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を再度確認する。 【担当】吉田
5	スクリーニングの考え方と数値指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：感度、特異度、偽陽性率、偽陰性率などの具体例を考える。 【担当】石田
6	標準化の考え方と保健活動 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：年齢調整死亡率、標準化死亡比の考え方をチェックする。 【復習】30分：関心のある市町につき、自分で計算してみる。 【担当】石田
7	疫学と公衆衛生看護：地域診断、健康政策、PDCAサイクル、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学と公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】石田
8	看護実践と疫学、フィードバック 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：全7回の講義資料に目を通す。 【復習】30分：直近の実習で経験した事例を疫学のエビデンスの視点で振り返る。 【担当】石田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻 2 疫学・保健統計学 第3版．医学書院，2015．

参考文献

厚生労働統計協会編：厚生 の 指標 増刊,国民衛生の動向2023/2024．厚生労働統計協会，2023．

評価方法

各回提出物40％、授業参加度20％、評価試験（レポート）40％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

特になし

担当する教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして保健活動に関する講義や演習を行います。

メッセージ

疫学は保健師が地域で保健活動するときの必須の方法論です。保健師国家試験に合格し、保健師として働くためにも、この方法論をしっかりと身につけてください。

英語Ⅳ

更新日：2025/03/04 10:39:49

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	540400	授業コード	54040
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

Academic Reading力とPresenting力発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	Academic Readingを中心とした学習で英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	知識の習得から実践力（Reading とSpeaking）を強化できる。
3	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。
4	自立した学習者を目指し、自己学習法を習得することができる。
5	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

授業計画

1	オリエンテーション、Unit 1 Education: Case in Finland 【授業方法】講義・演習(Reading)・PairとGroup（PW＆GW）でのReading活動 【予習】50分：テキスト(p.9-p.18)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）The ages of educationに関する Reading、教科書の練習問題、fact vs. opinionへのフォーカス 【復習】30分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
2	Unit 2 Architecture: Fasil Ghebbi 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.19-p.30)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）Buildingsに関する Reading、教科書の練習問題、identifying toneへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
3	Unit 3 Medical Science: Health Care Systems 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.31-p.40)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）Colds and cold remediesに関する Reading、教科書の練習問題、fact vs. opinion: not clearへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
4	Unit 4 The Environment: Endangered Animals 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.41-p.50)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）Climate Change and Global Warmingに関する Reading、教科書の練習問題、supporting evidenceへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
5	Unit 5 Literature: The Nobel Prizes 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.51-p.62)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）Symbolism and Orwell's Animal Farmに関する Reading、教科書の練習問題、identifying writer purposeへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
6	Unit 6 Global Issues: Non-Governmental Organizations 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.63-p.72)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）Refugees: facts and causesに関する Reading、教科書の練習問題、opinion and supportへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク 【準備】10分：中期テスト向けのプレゼンテーションテーマを選ぶ（PW）

7	Mid-term Review and Mid-term Test 中期レビューと中期テスト（評価試験） 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 50分：Unit 1からUnit 6の間で選んだテーマに関する英語のプレゼンテーションの作成。テーマによりUnit 1－Unit6内で関連トピックのポイントを確認 し、プレゼンテーションを準備する。 【テスト】 40分：英語で7－8分程度のプレゼンテーションの発表（評価試験） 全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。
8	Unit 7 History of Science: Anesthesia 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.73-p.82)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Copernicus and Galileoに関する Reading、教科書の練習問題、bias of omissionへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク
9	Unit 8 Animal Behavior: Animal Intelligence 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.83-p.92)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Animal behavior and training dogsに関する Reading、教科書の練習問題、supporting evidenceへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク
10	Unit 9 Business Management: Case in India 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.93-p.102)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Marketing and the story of new Cokeに関する Reading、教科書の練習問題、identifying biasへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク
11	Unit 10 Space : Exoplanets 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.103-p.112)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） How the planets got their namesに関する Reading、教科書の練習問題、identifying toneへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク
12	Unit 11 Child Development : Attachment Theory 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.113-p.122)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Piaget's stages of developmentに関する Reading、教科書の練習問題、identifying writer purposeへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク
13	Unit 12 Marine Science: Dolphins 【授業方法】 講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.123-p.133)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） The Chukchi Sea and Beaufort Seaに関する Reading、教科書の練習問題、identifying premiseへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW & GW）でReadingタスク 【準備】 10分：期末向けのプレゼンテーションテーマを選ぶ（PW）
14	Final Review and Prepare Final Presentation 期末レビューと期末テストへの準備 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 50分：Unit 7からUnit 12間で選んだテーマに関する英語のプレゼンテーションの作成、テーマによりUnit 7－Unit12内で関連トピックのポイントを確認 し、プレゼンテーションを準備する。 【発表】 40分：準備したプレゼンテーションのGroup内発表をし、グループメンバーのフィードバックをもらい、プレゼンテーションの改善。
15	フィードバックと期末テスト（評価試験） 【授業方法】 演習(発表)、フィードバック 【予習】 10分：プレゼンテーションの準備 【フィードバック】：10分 【テスト】 60分：（評価試験）Group（GW）内でテーマをを元に英語で7-8分程度のプレゼンテーション発表。全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

指導教員
先行履修要件科目
なし
テキスト
Academic Reading 1. Abax, 2024
参考文献
なし
評価方法
授業参加度 30%、クラスでの活動評価（発表など）20%、中期テスト（評価試験）20%、期末テスト（評価試験）30%
本科目で取得が望ましい点数
78点
ICTの活用・教育リソース
なし

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が、全員、英語で発信するための基礎となるReadingを着実に理解し、Critical Reading力を伸ばす教育を行います。

メッセージ

本科目では、授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで550点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

看護・医療英語

更新日：2025/02/21 13:30:11

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	540500	授業コード	54050
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

国際的な現場で働く看護職者に必要なコミュニケーション技能を認識し、その習得に必要な学習スキルを獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	公的・技術的伝達と個別的・対人的伝達の違いが理解できる。
2	日本語において優位である伝達ストラテジーと英語におけるその違いが理解できる。
3	「異文化」による価値観の違いに起因する解釈のずれの可能性について理解できる。
4	速読の技術、音声化の技術、医療用語の知識を獲得し、使用することができる。
5	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	オリエンテーション、 Unit 1: Cold & Flu Symptoms 【授業方法】演習（討議、GW、発表）、オリエンテーション、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p8-.p.11)のVocabularyと会話予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
2	Unit 2: Common Complaints 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p12-p.17)のVocabularyと会話予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
3	Unit 3: Parts of the Body 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p.18-p.23)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
4	Unit 4: Accidents and Injuries 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p.24-p.29)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
5	Unit 5: Physical Examinations 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p.30-p.35)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
6	Unit 6: Medication 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p.36-p.43)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
7	Unit 7: Things We Use in a Hospital 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：テキスト(p.44-p.47)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
8	Mid-term Review (Unit 8: Review of Unit 1-7) and Mid-term Test 中期レビューと中期テスト（評価試験） 【授業方法】演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】40分：選んだテーマに関する英語のプレゼンテーションの作成 【テスト】40分：選んだトピックを元に英語で5分程度のプレゼンテーションを行う。全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

9	Unit 9: Nursing Actions 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.50-p.53)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
10	Unit 10: More Nursing Actions 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.54-p.59)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
11	Unit 11: Patient Registration 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.60-p.63)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
12	Unit 12: Medical History, Lifestyle & Diet 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.64-p.69)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
13	Unit 13: Common Illnesses & Diseases 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.70-p.73)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
14	Unit 14: More Illnesses and Diseases , Unit 15: Review and Recreate Units 9-14 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行う。 【予習】 40分：テキスト(p.74-p.81)の読解課題の予習、不明部分の認識、用語の記憶、不明箇所の確認、会話の音読 【復習】 40分：Pair（PW）で会話の音読、本Unitを元にPair（PW）で新し会話を作成して発表する。
15	Feedback and Final Test フィードバックと期末テスト（評価試験） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、Group（GW）を行い、フィードバックをする。 【フィードバック】 10分：フィードバックを行う。 【予習】 40分：選んだテーマに関する英語のプレゼンテーションの作成 【テスト】 40分：選んだトピックを元に英語で5分程度のプレゼンテーションを行う。全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

Simon Capper：Bedside Manner (Basic English for Nurses). Perceptia Press, 2012

参考文献

樋口晶彦, John Tremarco：First Aid! (English for Nursing). 金星堂,2000

評価方法

授業参加度 30%、クラスでの活動評価（Reviewを含む）20%、中期テスト（評価試験） 20%、期末テスト（評価試験） 30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が医療関係英語を教育します。

メッセージ

本コースでは、医療や看護に関する英文を通して医療関係の英語を学びます。TOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できるように努力してください。

赤十字活動Ⅱ

更新日：2025/02/17 08:12:46

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	541500	授業コード	54150
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を企画・実践し、社会における赤十字の活動意義・役割を考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	グローバル社会が直面する人道危機および健康課題とその要因を説明できる。
2	グローバル社会が直面する人道危機や健康課題への取り組みについて、国・地域・分野を超えて説明することができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために赤十字および看護が果たす役割について考察できる。

授業計画

1	研修の準備活動 【授業内容】コースガイダンス、事前学習 【授業方法】講義 【予習】30分：研修訪問地域、訪問施設、研修活動の概要を考える 【復習】50分：研修訪問地域や施設について調べる（統計指標、活動概要など） 【担当】小川、森山
2	研修テーマに関する議論（1） 【授業内容】研修テーマについて、国や地域の実情や課題について討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：日本の歴史、政治・経済、文化、災害、保健医療等について調べる 【復習】50分：討議結果をふまえ、グローバル社会が直面する災害について調べる 【担当】小川、森山
3	研修テーマに関する議論（2） 【授業内容】（1）での議論をふまえ、課題解決に向けた取り組みについて討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】60分：災害と看護について、英語で討議できるよう学習する 【復習】20分：日本から世界に発信できる災害への取り組みについて考える 【担当】小川、森山
4	研修施設訪問 【授業内容】赤十字施設の訪問 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：災害と赤十字の活動について、英語で説明できるように準備する 【復習】20分：災害時の赤十字の対応と課題について考える 【担当】小川、森山
5	研修訪問地区の地区踏査（1） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(フィールドワーク) 【予習】30分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】50分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、森山
6	研修訪問地区の地区踏査（2） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(フィールドワーク) 【予習】30分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】50分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川、森山

7	現地研修① 【授業内容】 現地調査① 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査結果をまとめる 【担当】 小川、森山
8	現地研修② 【授業内容】 現地調査② 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査結果をまとめる 【担当】 小川、森山
9	現地研修③ 【授業内容】 現地調査③ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、森山
10	現地研修④ 【授業内容】 現地調査④ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、森山
11	現地研修⑤ 【授業内容】 現地調査⑤ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、森山
12	現地研修⑥ 【授業内容】 現地調査⑥ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川、森山
13	研修の振り返り（１） 【授業内容】 研修での学びと課題について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW）（ICT双） 【予習】 30分：研修での学びを整理する 【復習】 50分：グループワークでの話し合いを英語でまとめる 【担当】 小川、森山
14	研修の振り返り（２） 【授業内容】 研修での学びをふまえ、災害がもたらす人道危機や健康課題について考え、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW）（ICT双） 【予習】 50分：発表資料の準備（英語） 【復習】 30分：グループワークでの話し合いについて、英語でまとめる 【担当】 小川、森山
15	研修成果の発表/フィードバック 【授業内容】 研修成果を発表し、災害に備えるために、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（発表、討議）（ICT双） 【予習】 30分：発表資料の準備（英語） 【復習】 50分：発表をふまえ、レポートを作成する 【担当】 小川、森山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

「赤十字活動Ⅰ」「国際保健・看護Ⅰ」、「災害と看護」に挙げている文献や資料には必ず目を通す。対象地域に関連する文献を読む。

評価方法

事前学習30％ 研修への参加度（発表を含む）30％ 評価試験（レポート）40％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

国内外において、赤十字の救援活動に従事していた教員がその経験をふまえ、赤十字に期待される役割と課題について学習できるよう講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目は、国際看護コースの選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ、Ⅲ」の単位を修得していることが望ましいです。

グローバル社会が直面する「災害」に着目し、国際交流協定校の学生とともに分野を超えて、人々の生命と尊厳、健康、生活を守るために私たちがすべきこと、そして赤十字の使命について考えます。

医療人類学

更新日：2025/02/25 09:30:06

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	541800	授業コード	54180
担当教員	星野 普						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1 (15)
	備考(配当)					

授業の目的

保健医療にかかわる文化の多様性を学び、文化が人間集団の多様な価値観やライフスタイルにどのように影響しているのかを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	文化人類学および医療人類学の視点、概念、方法論の特長を説明できる	
	秀	文化的多様性を踏まえた文化人類学の視点と方法の特徴を説明できる
	優	文化を定義し、自文化の相対化について説明できる
	良	文化を定義できる
	可	文化の多様性の例を挙げられる
	不可	文化の多様性の例を挙げられない
2	病気、健康、医療について、医療人類学的視点から説明できる	
	秀	病気が社会・文化的に創りだされた概念であることを説明できる
	優	病気のとらえ方の違いがときには文化摩擦を起こすことを説明できる
	良	病気が生活や社会や文化などと不可分に関わっていることを説明できる
	可	病気とそのケアが文化によって異なることを例示できる
	不可	病むことをめぐる文化的多様性の例を挙げられない
3	医療専門職と生活者の「病むこととケア」をめぐるとらえ方の相違（文化差）を説明できる	
	秀	医療専門職と患者・利用者の摩擦を回避・解消するためにはどのような視点・態度が必要かを考えを述べられる
	優	医療専門職と患者・利用者の病むことやケアの捉え方の質的なちがいを説明できる
	良	医療専門職の病気とケアの捉え方の特殊性について説明できる
	可	病むことの語りについて説明できる
	不可	病むことの語りについて説明できない
4	超高齢化と人口減をもたらす医療環境および医療専門職のあり方の変化について説明できる	
	秀	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療の在り方について提案ができる
	優	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療政策の動向について説明できる
	良	少子高齢化・人口減が医療の在り方に与える影響について説明できる
	可	日本を含む東アジアの少子高齢化・人口減の動向について解説できる
	不可	少子高齢化・人口減の動向について説明できない
5	具体的な臨床事例について、医療人類学的解釈にもとづき、解決案を提案できる	
	秀	医療人類学的視点を踏まえて書かれた事例をもとに現状分析や方向性を決めるディスカッションができる
	優	医療人類学的視点・方法を踏まえて自ら事例を読み書きできる
	良	与えられた事例について、社会文化的な要因を読み取ることができる
	可	医療専門職の視点で事例を読み書きできる
	不可	事例から課題を読み取れない

授業計画

1	文化人類学および医療人類学の視点と方法 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：文化が異なるとはということか、考えおく。 【復習】 30分：講義で提供した資料をもとに文化人類学・医療人類学の視点と方法を整理する。
2	文化と医療：国際保健における文化摩擦の事例から 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：文化と医療の関係について考えておく。 【復習】 30分：講義の内容を振り返り、文化と医療の関係について理解しておく。
3	解剖実習と医学的まなざし 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：西洋医療の特長を考えておく 【復習】 30分：講義で取り上げた現代医療の文化的特性および医療者の職業的アイデンティティ形成について再確認する。
4	サファリングとケア：シャーマニズムの事例から 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：病むことをめぐる宗教と医療のアプローチちがいと関係について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたサファリングと病むこと、宗教と医療の関係について再確認する。
5	病むことの語り 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：医療専門職と生活者の病むことやケアに対する捉え方のちがいについて考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたナラティブや生活者にとっての「病むこととケア」について再確認する。
6	くらしの現場のケア 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：医療専門職と病者やその家族のすれちがいとその回避について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げた医療者―病者関係を異文化間コミュニケーションとする捉え方を再確認する。
7	高齢化する日本社会における医療環境の変化 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：高齢社会白書等に目を通し、高齢化や人口減が日本の医療環境におよぼす影響を考えておく。 【復習】 30分：日本の医療環境の変化の動向を踏まえて、今後の医療専門職のあり方について再確認する。
8	事例検討・総括(フィードバック) 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 40分：提供されている臨床事例の課題解決方法について検討してくる。（宿題） 【復習】 40分：全体を振り返り、医療人類学的な視点や方法が自身の将来の臨床にどのように関係するかを整理・再確認する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

指定テキストはない。必要な資料は講義中に適宜紹介する。

参考文献

波平恵美子 編：系統看護学講座 基礎9 文化人類学．医学書院，2021．
錦織宏・飯田淳子 編：医師・医学生のための人類学・社会学―臨床症例／事例で学ぶ．ナカニシヤ，2021．
江口重幸，斎藤清二，野村直樹 編：ナラティブと医療．金剛出版，2018．

評価方法

授業参加度（毎回のコメントや宿題レポートを含む）40％、期末レポート60％から総合的に判断

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

メッセージ

自身の経験と照らし合わせながら、とにかく自分の頭で考えてください。そして視点を変えると、自分の生きている世界の見え方が変わることを楽しんでください。そのことが将来、病者や家族に対する理解を助け、みなさんの臨床を豊かなものにします。

ジェンダー論

更新日：2025/03/04 17:16:47

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	541900	授業コード	54190
担当教員	横山 美栄子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

看護専門職者として豊かな人間性を備え、高い倫理的態度を身につけるために、現代社会におけるジェンダーとセクシュアリティに関わる諸問題を、看護を実践するにあたって理解しておくべき課題として認識し、ジェンダー平等社会への展望と実践への意欲を持つことを目標とする。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	ジェンダーの視点を用いて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。
2	ジェンダーをめぐる問題を自らの実践と結びつけて、ジェンダー平等の視点を獲得することができる。
3	国際的な視野に立って、ジェンダーに関わる諸問題について分析し考察ができる。

授業計画

1	セックス/ジェンダーの定義、性の多様性 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：生物学的な性、社会的な性、性自認、性指向の違いなど個人の性（セクシュアリティ）を成り立たせている要素やセクシュアリティの多様性について理解し、社会制度との関係を考える。
2	子どもの社会化とジェンダー 作られる<男らしさ><女らしさ> 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：ジェンダーが社会的に作られていく過程を理解し、自らの成長過程で影響を受けたジェンダー問題を考える。
3	ジェンダー問題に敏感な教育 教育とメディアリテラシー 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：授業内容に基づき、社会のさまざまな場面に潜むジェンダーバイアスを読み解く。
4	近代家族の形成と現代の家族関係 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：家族に関する考え方が近代の産物であり、ステップファミリー、同性婚など、変容し多様化する家族観から「家族」を歴史的相対的に見る視点を養う。
5	現代日本における女性の働き方の問題を理解する。 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：高度成長期以降の日本社会における女性の労働の位置づけや役割を理解し、これからの女性労働のあり方について考察する。
6	女性に対する暴力 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：性暴力やセクシュアル・ハラスメント、DVなど女性に対する暴力の実態、法制度、救済システムなどについて理解し、諸外国と比較しながら看護専門職として果たすべき役割を考える。
7	国際化の中の女性問題・男性問題 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：授業内容に基づき、日本のジェンダー格差を世界の動きから考察する。
8	男女共同参画社会の構築に必要なことの理解、及び講義全体フィードバック 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：講義全体を振り返り、ジェンダー平等社会を担う一員として、何が必要かを整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

担当教員が配布する資料

参考文献

適宜指示する。

評価方法

授業への参加度・提出物（50％）、課題レポート（50％）を合計して算出する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

福岡県男女共同参画審議会委員の経験を活かし、看護専門職者として豊かな人間性を備え、高い倫理的態度を身につける講義を行う。

メッセージ

身の回りのジェンダーに関するできごとに関心を持ち、ジェンダー平等社会を実現するための実践に結びつける力を養ってほしい

国際開発論

更新日：2025/02/17 08:08:32

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	542000	授業コード	54200
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

開発途上国の貧困解決と開発に関するさまざまな課題を学習し、開発と国際協力について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	国際社会が抱える課題を探究し、説明できる。
2	開発とは何かを理解し、説明することができる。
3	社会と人間の開発について説明できる。

授業計画

1	様々な視点から国際社会を概観する。 【授業内容】国際社会の現状についてー今、世界で起こっていることは何か 【授業方法】講義 【予習】60分：地理的・社会的・政治的・経済的な観点からの世界の実情を調べる。 【担当】小川
2	多様な世界の現実 (1) 政治の側面 【授業内容】政治や思想の歴史の変遷と現在の政治体制について 【授業方法】講義 【予習】60分：政治体制から見た世界の歴史の変遷について調べる。 【担当】小川
3	多様な世界の現実 (2) 経済の側面 【授業内容】経済に関する諸理論と国際社会における経済の概観 【授業方法】講義 【予習】60分：経済的視点からみた世界の様相を調べる。 【担当】小川
4	多様な世界の現実 (3) 文化の側面 【授業内容】政治・経済と文化の関連をふまえた、国際社会における文化の様相について 【授業方法】講義 【予習】60分：政治・経済と関連させながら、生活様式から見た文化の多様性について調べる。 【担当】小川
5	貧しさと豊かさについて考える 【授業内容】貧しさ・豊かさとは何かについて探究する。 【授業方法】講義 【予習】60分：貧しさ、豊かさの指標および具体的な国の状況を調べる。 【担当】小川
6	貧困と格差について考える 【授業内容】貧困の定義、貧困の種類、格差とは何か、貧困と格差について探究する。 【授業方法】講義 【予習】60分：貧困による生活、健康、環境への影響について調べる。 【担当】小川
7	開発とは何か 【授業内容】開発の定義、開発の視点、現代社会における開発の潮流 【授業方法】講義 【予習】60分：開発援助の具体例を調べる。 【担当】小川
8	援助と自立について考える 【授業内容】人間を中心とした開発と自立・自律的發展について 【授業方法】講義 【予習】60分：人間開発指数上位国と最下位国の差の要因について考える。 【担当】小川

9	開発と国際協力について 【授業内容】 開発を担う国際機関とその活動について 【授業方法】 講義 【予習】 60分：国際協力機関とを調べる。 【担当】 小川
10	開発事例①（東南アジア諸国） 【授業内容】 東南アジア諸国の開発事例の検討 【授業方法】 講義 【予習】 60分：東南アジア諸国における開発の具体例を調べる。 【担当】 小川
11	開発事例②（アフリカ諸国） 【授業内容】 アフリカ諸国の開発事例の検討 【授業方法】 講義 【予習】 60分：アフリカ諸国における開発の具体例を調べる。 【担当】 小川
12	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する① 【授業内容】 自分たちが興味をもつ開発事例について討議する。 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 60分：自分たちの興味のある開発分野と具体例を調べる。 【担当】 小川
13	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する② 【授業内容】 自分たちが興味をもつ開発事例の成果と課題について討議する。 【授業方法】 演習（GW） 【復習】 90分：前回の討議をふまえ、開発事例の成果と課題について考える。 【担当】 小川
14	開発事例の成果と課題、展望について議論する 【授業内容】 検討成果について発表し、さらに討する。 【授業方法】 演習（発表）（ICT双） 【予習】 90分：発表資料を準備する。 【担当】 小川
15	「開発」再考 これまでの学びからのフィードバック 【授業内容】 まとめとフィードバック 【授業方法】 講義 ICT双） 【復習】 60分：人間にとっての開発とは何かを再考し、自分が個人として、医療従事者としてどのようにかわることができるのか（あるいはできないのか）を考える。 【担当】 小川

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

斎藤文彦：国際開発論．日本評論社，2005．
山本一巳・山形辰史 編：国際協力の現場から―開発にたずさわる若き専門家たち．岩波ジュニア新書，2007．
アマルティア・セン：貧困の克服―アジア発展の鍵は何か．集英社新書，2002．
西川 潤：人間のための経済学．岩波書店，2000．
坪井ひろみ：グラミン銀行を知っていますか？．東洋経済新報社，2006．
佐藤寛：開発援助の社会学．世界思想社，2005．
佐藤寛 編：テキスト社会開発．日本評論社，2007．
青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』．古今書院，2000．

評価方法

授業への参加度 10％ プレゼンテーション40％ 評価試験（課題レポート）50％ 提出時期は授業中に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を発表し共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字やJICAで国際協力に携わった教員がその経験をふまえ、開発協力の現状や課題を学習できるよう講義・演習を担当します。

メッセージ

自分たちが調べ考えたことをふまえ、積極的に意見交換ができ議論が行なえる講義になると興味深いと思います。

キャリアデザインII

更新日：2025/02/25 16:12:01

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	611000	授業コード	61100
担当教員	小手川 良江, 西村 和美, 西山 陽子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

看護職者としての自己の課題を認識し、キャリア形成の基礎力と専門職として必要な知識を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成する**DP**の力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	キャリアに関する主要理論の概要について説明できる
2	看護職としてキャリア形成していくうえで必要な基礎的知識を獲得できる
3	看護職のキャリアについて探求し説明することができる
4	自己のキャリアについて創造的にデザインすることができる

授業計画

1	キャリアに関する主要理論（キャリアアンカー、キャリアドリフト、トランジション、レジリエンス等） 【授業方法】講義 【予習】15分：シラバスの内容を確認する 【復習】30分：講義資料の見直し 【担当】小手川
2	看護職のワークライフバランスを支える法律・制度 【授業方法】講義 【予習】30分：講義資料の確認 【復習】30分：講義資料の見直し 【担当】小手川
3	看護職のキャリア①高度実践看護師 【授業方法】講義 【予習】30分：講義資料の確認、看護協会のホームページの確認 【復習】30分：講義資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー
4	看護職のキャリア②国際医療救援活動 【授業方法】講義 【予習】30分：第1回講義資料の見直し 【復習】30分：講義資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー
5	看護職のキャリア③起業 【授業方法】講義 【予習】30分：第1回講義資料の見直し 【復習】30分：講義資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー：株式会社ホスピタリティワン代表取締役 高丸 慶
6	看護職のキャリアの探究① 【授業方法】演習（GW）：看護職のキャリア①②③を踏まえて、ディスカッションを行い自己のキャリアについて考える。また、提示するテーマ（Ⅰ～Ⅳ）の中から1つを選び、テーマ別のグループを形成する。 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】小手川、西村、西山
7	看護職のキャリアの探究② 【授業方法】演習（GW）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】30分：選択したテーマの文献を収集する 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】小手川、西村、西山

8	看護職のキャリアの探究③ 【授業方法】 演習（GW）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】 30分：選択したテーマの文献を収集する 【復習】 30分：調べたことをまとめ、発表準備をする 【担当】 小手川、西村、西山
9	看護職のキャリアの探究④ 【授業方法】 演習（発表・討議）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の修正 【担当】 小手川、西村、西山
10	看護職のキャリアの探究⑤ 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の修正 【担当】 小手川、西村、西山
11	看護職のキャリアの探究⑥ 【授業方法】 演習（ワールド・カフェ）：中間発表 探究課題について対話を通して考えを深める 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の仕上げ 【担当】 西山、小手川、西村
12	看護職のキャリアの探究⑦ 【授業方法】 演習（ワールド・カフェ）：中間発表 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の仕上げ 【担当】 西山、小手川、西村
13	全体発表① テーマⅠ、Ⅱ 【授業方法】 演習（発表・討議） 【予習】 30分：発表準備 【復習】 30分：発表資料を見直す 【担当】 小手川、西村、西山
14	全体発表② テーマⅢ、Ⅳ 【授業方法】 演習（発表・討議） 【予習】 30分：発表準備 【復習】 30分：発表資料を見直す 【担当】 小手川、西村、西山
15	まとめとフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 30分：これまでの講義・発表を踏まえて自己のキャリア像を明確にする 【復習】 30分：レポート作成 【担当】 小手川、西村、西山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しません。

参考文献

金井壽宏：働くひとのためのキャリア・デザイン。PHP研究所，2002。
Schein, E.：Career anchors：discovering your real values。1993，金井壽宏訳：キャリア・アンカー：自分のほんとうの価値を発見しよう。白桃書房，2003。
必要に応じて提示します。

評価方法

授業やワークへの参加度10%、第11～14回の発表40%、評価試験（レポート50%）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

看護師の臨床経験を有する教員、専門看護師、国際医療救援活動を経験した看護師、起業家がキャリアに関する主要理論と看護職の様々なキャリアについて講義し、学生が自己のキャリア像を明確にできるように支援します。

メッセージ

様々な看護職の方に、キャリアの実際を話していただきます。卒業を目前としている時期に、自分のキャリア像について考え、自分の望む働き方を見つける機会にしてください。

本科目の演習では、以下の4つのテーマの中から各自が1つを選択し、同じテーマでグループを形成し、看護職のキャリアについて探求します。

- I．看護職の新しい活躍の場の提案
- II．看護職の新しい働き方についての提案
- III．高度実践看護師の将来像
- IV．多様な背景をもつ対象者への看護の探究

リハビリテーション論

更新日：2025/01/30 16:49:40

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	620100	授業コード	62010
担当教員	千原 明美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について述べることができる。
2	リハビリテーションを必要とする人の特徴について述べることができる。
3	経過別・障害機能別リハビリテーションについて説明することができる。
4	リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について説明することができる。

授業計画

1	ガイダンス，リハビリテーション看護とは 【授業方法】講義，GW 【予習】30分：2年次地域看護Ⅰで履修した、ICFについてを再度復習しておく。 【復習】50分：テキストp12～p46を読んで、リハビリテーション看護について自分のことばでまとめられるようにしておく。 【担当】千原
2	生活の再構築①（障害とともに生きること、社会生活の適応に向けた心理的支援） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキストp64～p88を読む。 【復習】40分：講義内容の重要用語について復習し、合わせて講義内容を振り返る。 【担当】千原
3	生活の再構築②（健康維持のための支援、家族への援助） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキストp88～104を事前に読む。 【復習】40分：講義した心理・社会的なアセスメントが活用できるように、講義資料を基に振り返りを行う。 【担当】千原
4	リハビリテーションに必要な臨床倫理と法律 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp106～p124を読み、リハビリテーションにおける倫理的課題を考える。 【復習】30分：テキスト p 124の重要用語の説明をできるように振り返りを行う。 【担当】千原
5	対象理解と援助（ICFの枠組みを用いて） 【授業方法】講義，GW 【予習】30分：ADL,ICF,FIM,BIについて調べて、説明できるようにしておく。 【復習】30分：テキストp126～p148を読む。 【担当】千原
6	対象理解と援助（事例を用いて） 【授業方法】講義，GW 【予習】30分：障害のある人に関する法律・施策についてテキスト p 52～63までを読んで、障害のある対象者への生活再構築に向けての社会資源を調べてくる。 【復習】50分：テキストp232～p309を読んで、各事例のリハビリテーション看護について理解する。 【担当】千原
7	チームアプローチと看護の役割 【授業方法】講義 【予習】30分：p48～p61を読んで、チームアプローチの中での看護の役割を考えてくる。 【復習】30分：講義で学んだチームアプローチと看護の役割について、自分の考えをまとめる。 【担当】小倉リハビリテーション病院 地域リハビリテーションセンター センター長 森山 雅志

8	評価試験/リハビリテーション看護のまとめ/課題・試験のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義で学んだ重要用語について説明できるように復習しておく。 【担当】千原
---	--

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

石川ふみよ他 編集：ナースングラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護 第5版1刷．メディカ出版，2024．

参考文献

落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック 第2版．学研，2016．
酒井郁子，金城利雄，深堀浩樹 編集：リハビリテーション看護 改定第3版2刷．南江堂，2022．

評価方法

各回講義の確認テスト及び課題70％, 評価試験30％（第8回講義）

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Microsoft Formsを活用して、課題・小テストを実施し、フィードバックを行います。

担当する教員等の実務経験

急性期・慢性期病院での臨床、及び在宅・地域でリハビリテーションを他職種連携で実践してきた看護師経験のある看護教員がリハビリテーション看護に必要な知識について実践を含めてわかりやすく解説します。第7回講義には、実際に病院・施設で長期間勤務している理学療法士が、チーム医療で求められる看護職について求められるものを現場の経験もとにわかりやすく解説します。

メッセージ

多職種連携や在宅支援に向けた大事な科目です、テキストに使われているリハビリテーション看護での重要用語を予習・復習し今後の看護展開に活かせるようになりましょう。

母性看護Ⅱ

更新日：2025/01/16 18:02:01

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	620500	授業コード	62050
担当教員	石山 さゆり, 福田 陽子, 菊池 さよ, 内田 文月						
備考	必修/選択：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

周産期看護に必要な理論と技術について学び、周産期を中心とした母子およびその家族の看護に必要な基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：母性看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	周産期における対象の特性に応じた看護の視点を、基礎的知識を用いて説明できる。
2	母性の看護過程の展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。

授業計画

1	オリエンテーション/妊娠期における看護事例の紹介 【授業方法】講義 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容を復習し、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅰ 妊娠の異常と看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】50分：妊娠期事例の看護展開を行う。 【担当】内田・福田・菊池
2	妊娠期における看護過程の展開①/事例のアセスメント・看護診断立案の方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとにアセスメントを行う。グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：事例の看護過程の展開をもとに、必要な情報を個人で整理し、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメント・看護診断の発表準備を行う。 【担当】内田・福田・菊池
3	妊娠期における看護過程の展開②/アセスメント・看護診断に対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメント・看護診断をグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容やアセスメント・看護診断のポイントについて、フィードバックを行う。 【予習】30分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅰ 妊娠の異常と看護」をよく読み、グループワークをもとに発表資料の準備を行う。 【復習】50分：事例のアセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】内田・福田・菊池
4	分娩期における看護事例のアセスメント方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとに、事例のアセスメントを行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（分娩期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第4章 分娩期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅱ 分娩の異常と看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】50分：事例のアセスメントを行う。 【担当】福田・菊池・内田
5	産褥期における看護事例のアセスメント・看護診断立案の方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとに、事例のアセスメント・看護診断を行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（産褥期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅳ 産褥の異常と看護」をよく読み予習しておく。 【復習】50分：事例のアセスメント・看護診断を行う。 【担当】福田・菊池・内田
6	産褥期における看護過程の展開①/事例のアセスメント・看護診断立案の方法 【授業方法】演習（PBL，GW）個人ワークで行った情報整理・アセスメント・看護診断をもとに、グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で情報整理・アセスメント・看護診断を行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメント・看護診断の発表準備を行う。 【担当】福田・菊池・内田

7	産褥期における看護過程の展開②/アセスメント・看護診断に対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメント・看護診断をグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容について、フィードバックを行う。その後、グループで討議しながら、事例のアセスメント・看護診断の修正を行う。 【予習】30分：グループワークをもとに情報整理・アセスメント・看護診断を行い、発表の準備をする。 【復習】50分：アセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
8	新生児期における看護事例のアセスメント・看護診断立案の方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとにアセスメント・看護診断を行う。グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（新生児期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第5章 新生児期における看護」「第7章妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅲ新生児の異常と看護」をよく読み予習しておく。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメント・看護診断の発表準備を行う。 【担当】菊池・内田・福田
9	新生児期における看護過程の展開/アセスメント・看護診断に対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメント・看護診断をグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容について、フィードバックを行う。その後、グループで討議しながら、事例のアセスメント・看護診断の修正を行う。 【予習】30分：グループワークをもとに情報整理・アセスメント・看護診断を行い、発表の準備をする。 【復習】50分：事例のアセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】菊池・内田・福田
10	産褥期・新生児期における看護過程の展開①/看護計画立案の方法 【授業方法】演習（PBL，GW）個人ワークで立てた看護計画をもとに、グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で看護計画の立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、看護計画の発表準備を行う。 【担当】福田・菊池・内田
11	産褥期・新生児期における看護過程の展開②/看護計画のフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）グループ毎に、作成した産褥期・新生児期の看護計画を発表し討議を行う。 【予習】30分：グループワークをもとに発表の準備を行う。 【復習】50分：看護計画の加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
12	周産期に関わる看護技術 【授業方法】演習（実技，GW）グループ毎に実施する(日程がグループで異なる)。産褥期（退行性変化・進行性変化の観察）、および新生児期（バイタルサインの測定、全身状態の観察、清潔の保持）の看護技術を用いながら、立案した看護計画をもとに、事例の情報収集とアセスメント、報告までを行う。 【予習】30分：テキストもしくは参考文献（根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版. 医学書院）のARコンテンツから該当の動画を視聴し、事前学習課題（演習後に要提出）に取り組みながら、看護技術実践の準備を行う。 【復習】50分：演習後、演習時に収集した情報をもとに事例のアセスメント、看護計画の加筆修正を個別に行う。 【担当】石山・福田・菊池
13	女性生殖器疾患における看護 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとにアセスメントを行う。 【予習】30分：人体の構造と機能Ⅳ「女性生殖器の構造と機能」、疾病と治療Ⅲ「女性生殖器系疾患」を予習しておく。 【復習】50分：事例のアセスメントを行う。 【担当】内田
14	女性生殖器疾患の看護過程の展開 【授業方法】演習（PBL，GW）個人ワークで行った情報収集・アセスメントをもとに、グループで討議しながら、事例のアセスメント・看護診断を行う。【予習】40分：事例をもとに、個人で情報収集・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。【復習】40分：グループワークをもとに、情報収集・アセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】石山・福田・菊池・内田
15	母性看護Ⅱの評価試験/看護過程の展開・評価試験に対するフィードバック 【授業方法】講義（評価試験） 【予習】60分：第1回から第14回までの講義内容を学習しておく。看護過程の展開で理解不十分だった箇所について整理しておく。 【復習】20分：母性看護過程の展開・母性看護技術についてまとめる。 【担当】石山・福田・菊池・内田

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論（第14版）．医学書院，2023．
森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）．医学書院，2023．

参考文献

石村 由利子：根拠と事故防止からみた母性看護技術（第3版）．医学書院，2022．
大平光子，他：母性看護学Ⅱ マタニティサイクル（改訂第3版）．南江堂，2022．
小林康江，他：ナーシング・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践（第3版）．メディカ出版，2024．
中村幸代，他：根拠がわかる母性看護過程：事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画．南江堂，2018．
仁志田博司：新生児学入門（第5版）．医学書院，2018．
鈴木久美：女性性を支えるがん看護．医学書院，2015．

評価方法

評価試験30%、課題提出60%、授業参加度10%をもとに総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双方向型授業：発表時タブレット等の画面のミラーリングを活用しながら、講義を行う。

担当する教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟・産婦人科外来・地域での実践経験がある教員が、その経験を活かし、妊産褥婦および新生児を看護するための知識、技術を身につけることができるよう講義・演習を行います。

メッセージ

本科目は、女性のライフサイクルの中で特に変化の大きい周産期に特化した科目になります。本科目での講義や演習課題（看護過程展開）への取り組みを通して、女性とその家族への支援について、学修していきましょう。

小児看護Ⅱ

更新日：2025/01/30 15:08:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	620700	授業コード	62070
担当教員	松中 枝理子, 太田 純代, 川崎 幹子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

小児の健康問題を理解し、病院や地域において種々の健康レベルにある子どもと家族への看護方法・技術、健康教育、継続的支援の方法を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学

本科目で育成する**DP**の力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	小児看護Ⅰで学んだ基礎的知識を踏まえて、対象の特性に応じた看護の視点を説明できる。
2	小児の看護展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。
3	小児の健康障害を持つ子どもと家族の看護の特性を説明できる。

授業計画

1	障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護：①小児の病気に対する認識過程、②入院時、入院中の看護、③家族の反応と心理理解・評価試験(小テスト)① 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P2～23、P278～279 予習キーワード：小児の療養の場、小児の病気の理解と説明、インフォームドコンセント、インフォームドアセント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
2	急性的経過をたどる健康問題／障害と看護、慢性的経過をたどる健康問題／障害と看護・評価試験(小テスト)② 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P128～134（急性期）、P144～154（慢性期） 予習キーワード：＃8000、急性期の小児の特徴、急性状態が小児に与える影響、小児慢性特定疾病対策事業、慢性期疾患に伴う小児の状態、移行期 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
3	低出生体重児と家族の看護・評価試験(小テスト)③ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P26～36、P199～203、P376～402 予習キーワード：新生児の分類、ハイリスク新生児の特徴と要因、アセスメントの視点、入院中の看護 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
4	ターミナル期および災害時における小児と家族の看護・評価試験(小テスト)④ 【授業方法】講義 【予習】50分、教科書P156～163、P262～268 予習キーワード：発達段階における死の概念、終末期の小児をもつ家族看護、災害による小児への影響 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
5	先天的な健康問題のある小児と家族の看護、感染予防の必要がある小児と家族の看護・評価試験(小テスト)⑤ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P204～208 予習キーワード：先天異常の定義と分類、小児の発達段階に応じた援助、心室中隔欠損症、感染経路、感染経路別予防策、急性細気管支炎 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
6	周術期における小児と家族の看護、活動制限が必要な小児と家族の看護・評価試験(小テスト)⑥ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P134～143、P177～182、P514～516 予習キーワード：周術期にある小児と家族の体験、手術が小児に与える影響、周術期の小児と家族の看護、直腸肛門奇形、活動制限の種類や目的、活動制限による影響、小児の骨折と治療 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中

7	看護過程の展開・評価試験(小テスト)⑦ 【授業方法】講義 【予習】30分 予習キーワード：急性期・周手術期・慢性期にある小児と家族の体験、病気や入院が小児と家族に与える影響、急性期・周手術期・慢性期の小児と家族の看護 【復習】50分：講義資料の振り返り 【担当】松中
8	小児看護に必要な看護技術・評価試験(小テスト)⑧ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P290～348内の動画も視聴すること。 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換、身体計測、採血、採尿、骨髄穿刺、腰椎穿刺、与薬、注射、輸液療法、吸引、酸素療法、経管栄養、プレパレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
9	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換①評価試験(小テスト)⑨ 【授業方法】演習（実技、グループワーク） 【予習】50分：教科書P290～318、課題1（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中・太田・川崎
10	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換②評価試験(小テスト)⑩ 【授業方法】演習（実技、グループワーク） 【予習】50分：教科書P290～318、課題1（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中・太田・川崎
11	プレパレーション①評価試験(小テスト)⑪ 【授業方法】演習（実技、グループワーク、発表） 【予習】50分：教科書P279～287、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：プレパレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田・松中・川崎
12	プレパレーション②評価試験(小テスト)⑫ 【授業方法】演習（実技、グループワーク、発表） 【予習】50分：教科書P279～287、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：プレパレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田・松中・川崎
13	心身障害のある小児と家族への看護、医療的ケアを必要としながら退院する小児と家族への看護・評価試験(小テスト)⑬ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P208～222、P517～519 予習キーワード：大島分類、超重症児、てんかん、脳性麻痺、医療的ケア、経管栄養法、気管切開、入院生活から在宅への移行に向けた支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
14	在宅・地域で医療的ケアを必要とする小児と家族への看護、家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族への看護・評価試験(小テスト)⑭ 【授業方法】講義 【予習】50分、教科書P234～245 予習キーワード：慢性疾患のある小児へのセルフケア支援、ネフローゼ症候群 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
15	小児看護Ⅱの評価試験・フィードバック 【授業内容】小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題についてのフィードバックを行う。 【授業方法】評価試験(筆記試験)60分、フィードバック30分 【予習】50分：小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中・太田・川崎

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

小林京子他：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 第7版．メヂカルフレンド社，2022．

参考文献

小林京子他：小児看護学① 小児看護学概論 小児保健 第7版．メヂカルフレンド社，2024．
真部 淳他：小児看護技術 改訂第2版．南江堂，2024．
荻津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程．医歯薬出版，2021．
岡田喜篤監修：新版 重症心身障害療育マニュアル．医歯薬出版，2015．

鈴木康之他監修：写真でわかる重症心身障害者(児)のケア，インターメディカ，2015．
中村友彦他：小児の疾患と看護 第3版第2刷．メディカ出版，2024．

評価方法

第15回評価試験(筆記試験60％：第15回、小テスト20％：第1～14回、課題20％：第7、第8回、第9回、第10回提出課題)

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

メッセージ

本科目は、出生から小児期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。本科目を学習する際に、小児看護Ⅰから知識を集積している講義ノートを準備してください。各回講義前の予習として学習課題に予習キーワードを挙げています。ただし、キーワードがすべて該当ページにあるとは限りませんので、事前に自身で調べておいてください。該当ページでのキーワードの予習を講義ノートに記載した上で、講義に臨んでください。講義では、講義ノートに必要事項を書き加えてください。演習は、事前課題と指定の視覚教材の視聴を課して、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。

老年看護Ⅱ

更新日：2025/03/13 13:09:11

開講年度	2025		学期	前期	科目コード	620900	授業コード	62090
担当教員	千原 明美, 高比来 ひとみ, 町島 希美絵, 原田 紀美枝, 姫野 稔子							
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員							
配当	学部/学科	大学 看護学部						
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1		
	備考(配当)							

授業の目的

加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の健康課題から生じる日常生活上の問題に対し、個別的援助方法を導くための視点と技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	高齢者特有の健康問題のメカニズムおよび看護を説明することができる。
2	生活者として的高齢者をとらえるために必要なアセスメントの視点を理解し、高齢者の個性性を捉えた生活援助技術を実施することができる。
3	高齢者特有の健康問題を持つ対象のアセスメント結果から科学的根拠に基づいた看護援助方法を具体的に述べるることができる。

授業計画

1	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン①（栄養障害・浮腫） 【授業方法】科目オリエンテーション（千原）、講義 【予習】20分：テキスト高齢者の生活を支える看護1-1- 4 低栄養、1-7-7浮腫を精読する。 【復習】40分：高齢者の栄養障害、浮腫の特徴について整理する。 【担当】原田
2	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン②（脱水・皮膚掻痒症） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト高齢者の生活を支える看護 1-1-2脱水および1-3-2 掻痒を精読する。 【復習】40分：授業資料を読みわからないところを調べる。 【担当】高比来
3	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 活動・運動/睡眠・休息パターン（転倒・廃用症候群・睡眠障害） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト1-4.3睡眠障害、1-5.1歩行・移動、1-5.4廃用症候群を事前に読む。 【復習】40分：高齢者の転倒・廃用症候群・睡眠障害の看護について復習する。 【担当】町島
4	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン①（抑うつ・せん妄） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト2.2うつ病、2.3せん妄を事前に読む。 【復習】40分：高齢者のうつ病、せん妄の看護について復習する。 【担当】高比来
5	高齢者のEnd-of-Lifeケア 【授業方法】講義 【復習】60分：終末期の看護を理解し、講義内容を踏まえてそれぞれの死生観を考察する。 【担当】町島
6	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン③（コミュニケーション障害） 【授業方法】講義 【復習】60分：コミュニケーション障害の原因と種類を理解し、各々の看護について復習する。 【担当】姫野
7	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン②（認知障害）認知症サポーター養成講座 【授業方法】講義 演習（認知症サポーター養成講座） 【復習】60分：認知症の病態及び症状に対する看護について復習する。 【担当】原田 ゲストスピーカー：松永（宗像市社会福祉協議会 認知症地域支援推進員）
8	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン③（摂食・嚥下障害） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章ー1 摂食嚥下障害を精読する。 【復習】30分：摂食・嚥下のメカニズム及び看護について復習する。 【担当】高比来

9	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法1 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。 【担当】 高比来 千原 町島 原田 姫野
10	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法2 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法について復習する 【担当】 高比来 千原 町島 原田 姫野
11	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 排泄パターン（排尿障害・排便障害） 【授業方法】 講義 【予習】 30分：排泄のメカニズムについて人体の構造と機能及び看護技術で学んだ内容を復習しておく。 【復習】 50分：排泄障害およびその看護について復習をする。 【担当】 千原
12	高齢者への排泄の援助 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 40分：11回目の授業内容の復習を行い、排泄援助の具体的な看護技術について実際に演習が行えるように考えてくる。 【復習】 40分：実施した技術の振り返りを行う。 【担当】 千原 高比来 町島 原田 姫野
13	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 1 【授業方法】 講義・演習(GW) 【予習】 20分：事前に配布された課題に取り組みGWに備える。今までの看護過程を復習する。 【復習】 60分：GWでの意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 千原 高比来 町島 原田 姫野
14	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 2 【授業方法】 演習（GW・発表） 【予習】 20分：事前に配布された課題に取り組み発表に備える。 【復習】 60分：発表での意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 千原 高比来 町島 原田 姫野
15	評価試験および老年看護Ⅱの総括/事例の看護過程展開の解説・フィードバック 【授業方法】 講義 【復習】 60分：老年看護Ⅱにおける学習内容で理解が不十分であった箇所の知識の整理を行う。 【担当】 千原 原田

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべきすべての科目

テキスト

堀内ふさ他：ナースングラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践．メディカ出版，2025.

参考文献

上鶴 重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版. 医学書院，2021.
マージョリー・ゴードン,看護アセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-. 医学書院，2010.
山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2012.
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017.
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画.メディカルビュー社，2008.
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程.医歯薬出版株式会社，2015.
大塚真理子:カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2014.

評価方法

第15回評価試験：30% 講義時に提示する課題：30% 演習課題：20%(第9、10、12回) 各回講義の小テスト：20%
小テストの実施方法及び課題等の詳細については講義内で説明します。
提出期限は厳守して下さい。

本科目で取得が望ましい点数

75

ICTの活用・教育リソース

MoodleやFormsを活用して、課題の提出、フィードバックを行います。

担当する教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、健康障害を持つ高齢者に対応できるように、看護過程や高齢者の看護援助技術についての講義や実技指導を行います。

メッセージ

本科目は、3年後期に控える老年看護実習につなげる位置づけです。老年看護実習で活用できるように知識・技術を身につけてください。

クリティカルケアⅡ

更新日：2025/01/30 22:24:03

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	621100	授業コード	6211A, 6211B
担当教員	吉原 駿, 立野 淳子, 鴨川 めぐみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

救急およびクリティカルな状況下にある患者への看護を展開するための方法を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成する**DP**の力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	予測的視点を用いて患者の観察項目を見出すことができる。
2	クリティカルな状況にある患者の状態を正しい方法で観察できる。
3	得た情報をアセスメントし、患者の看護問題を抽出することができる。
4	看護問題に対して具体的・個別的な看護計画を根拠に基づいて立案することができる。
5	チームで協力しながら、主体的に課題に取り組むことができる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】クリティカルケアⅡの全体像の説明、事前・事後課題、演習の進め方 【クリティカルケアに必要な看護技術】 急変時の看護、救急処置を必要とする患者への看護 患者の初期評価・一次評価・二次評価、報告 【授業方法】講義、演習（GW） 【予習】40分： クリティカルケアⅠ資料の確認 【復習】40分： 事例患者の看護過程の展開（病態の整理、行われている検査、治療内容の学習、アセスメント） 【評価試験】（小テスト：10点）クリティカルケアⅠの復習テスト 【担当】吉原、鴨川、立野
2	【クリティカルケアに必要な看護技術：必修編】 モニタリング、人工呼吸器管理、意識レベルの判断、鎮痛鎮静管理、血液検査データの評価、せん妄ケア 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT支援） 【予習】40分： 事例患者の病態についてまとめ、観察項目を抽出する 【復習】40分： 事例患者のモニタリングの内容、人工呼吸器管理の状況、意識レベルを判断する方法、鎮痛鎮静管理方法、血液検査データの評価方法、せん妄ケアを整理する 【担当】吉原、鴨川、立野
3	【クリティカルケア看護に必要な看護技術：選択編】以下の項目から2つ以上選択して受講する 水分出納の管理、口腔ケア、家族看護、ドレーン／カテーテル類の管理、早期リハビリテーション、創傷管理、PICS、体温管理、睡眠 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT支援） 【予習】40分： クリティカルケアⅠおよびこれまで学習した資料の見直し 【復習】40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションできるようまとめる（資料作成、プレゼン準備） ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】吉原、鴨川、立野

4	【クリティカルケア看護に必要な看護技術：選択編】以下の項目から2つ以上選択して受講する 水分出納の管理、口腔ケア、家族看護、ドレーン／カテーテル類の管理、早期リハビリテーション、創傷管理、PICS、体温管理、睡眠 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT支援） 【予習】40分： クリティカルケアⅠおよびこれまで学習した資料の見直し 【復習】40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションできるようまとめる（資料作成、プレゼン準備） ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】吉原、鴨川、立野
5	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合（1） 【授業方法】演習（GW、反転） 【予習】40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備 【復習】40分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習 【担当】吉原、鴨川、立野
6	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合（2） 【授業方法】演習（GW、反転） 【予習】40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備 【復習】40分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習 【評価試験】（小テスト：10点 選択編） 【担当】吉原、鴨川、立野
7	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（1） 【授業方法】演習（実技） 【予習】40分： 1）フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2）必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する 【復習】40分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 【担当】吉原、鴨川、立野
8	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（2） 【授業方法】演習（実技） 【予習】40分： 1）フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2）必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する 【復習】40分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 【担当】吉原、鴨川、立野
9	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察・評価（実践）（1） 【授業方法】演習（実践確認テスト、シミュレーション） 【予習】40分： 1）事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 2）情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】40分： 得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める 【担当】吉原、鴨川、立野
10	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察・評価（実践）（2） 【授業方法】演習（実践確認テスト、シミュレーション） 【予習】40分： 1）事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 2）情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】40分： 得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める 【担当】吉原、鴨川、立野

11	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 40分： 1）観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2）事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める 【復習】 40分 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【担当】 吉原、鴨川、立野
12	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化（2）・発表会に向けての準備 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 40分： 1）観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2）事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める 【復習】 40分 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【担当】 吉原、鴨川、立野
13	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（1） 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 40分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など ※Teamsなどを使ってのディスカッション 【復習】 40分： 1）発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2）最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 吉原、鴨川、立野
14	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（2） 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 40分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など ※Teamsなどを使ってのディスカッション 【復習】 40分： 1）発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2）最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 吉原、鴨川、立野
15	【まとめ】 事例患者の看護過程の展開、技術確認テスト、小テストについてのフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 40分： クリティカルケアIIにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認（第2・3回で視聴したオンデマンド講義の再確認など） 【復習】 40分： 学習内容の復習（専門性強化演習Iにて小テストを実施） 【評価試験】（小テスト：10点 クリティカルケアIIで学修した内容に関する問題） 【担当】 吉原、鴨川、立野

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

- 1) 林直子, 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ：概論・周手術期看護（改訂第4版）．南江堂，2023．
2) 佐藤まゆみ, 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ：クリティカルケア（改訂第4版）．南江堂，2023．

参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2020．
2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2024．
3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用．日本看護協会出版会，2007．
4) クリティカルケア・災害看護領域ホームページで提供する各種情報を参考にする：<https://gongehed5.wixsite.com/jrckicn-ccdn/general-1>

その他、適宜提示する

評価方法

評価試験（1・4・6・15回で行う小テスト）40％、最終発表会とその取り組み20％、授業参加度10％（ピア評価含む）、9・10回目で行う実践確認テスト10％、事前・事後課題20％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

授業を行う上では、患者の事例展開を行う際に、Web上電子カルテシステム「Medi-EYE」を活用する。Medi-EYEを使用した事例展開を行った上で、実際の観察やフィジカルアセスメントを高機能シミュレーターを用いて実践する。また、学生はスマートフォンやタブレット端末を使用し、授業中でも過去の講義や資

料を閲覧しながら授業を受けることができるようにする。

学生の学習支援として、第2回、第3回の授業でMicrosoft Teams、LMSを活用したオンデマンドでの講義を行い、クリティカルケアに必要な観察のポイントを繰り返し学習できるように支援を行う。オンデマンドでの講義では、学生の閲覧回数やアクセス回数を確認し、学習に支援が必要な学生に対しては個別に連絡を行うなど配慮する。また、オフィスアワーを活用し、学生が患者状態の観察やフィジカルアセスメントを繰り返し実践できるよう、教員に質問できる時間の確保を行う。

担当する教員等の実務経験

救命救急センターやICU、CCUなどの救急・集中治療領域での臨床経験のある教員が、その経験を活かしてクリティカルな状況にある患者の観察のための技術やアセスメントの視点、患者への具体的な介入方法などクリティカルケア領域の看護に必要な知識・技術についてグループワークや演習を通して学生が身につけることができるよう授業を行います。

メッセージ

クリティカルな状況にある患者は、その病態が複雑だったり、重症で高度な治療が必要だったりしますので、「人体の構造と機能」、「疾病と治療」や「クリティカルケアI」で学修した知識などを駆使しなければ太刀打ちできません。また、クリティカルケア領域の最新の知見についても紹介していきます。それらの知識を用いて受け持つ患者は、突然、特殊な環境に身を置かれ、そのような環境で生活をしなければならなくなった人です。病態や治療上の理由から、基本的ニードや自立・自律性が脅かされています。このような患者・家族を理解し、根拠に基づいた看護を実践するための方法について学んでいきます。

みなさんには（事例）患者の受け持ち看護師として、これまで学修した知識や観察の技術、日常生活援助技術を用いて、患者に合わせた工夫を行い、小さな変化を見逃さず、その人の生活を支えて行く事を求めます。難しいこともあると思いますが、「命を救い、生を支える」というクリティカルケア看護の実践を目指してみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。一人の力だけでなく、チームとして、そして私たち教員と一緒に学んでいきましょう。

在宅看護Ⅱ

更新日：2025/02/25 13:12:01

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	621300	授業コード	6213A, 6213B
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養を支える基礎的な技術を習得し、在宅療養者・家族との信頼関係形成の重要性を説明できる。
2	事例展開を通して在宅療養者の健康状態や意向・希望、生活環境、家族介護力、社会資源の活用についてアセスメントすることができる。
3	事例展開を通して在宅療養者の健康課題を明確化し、看護計画を立案できる。
4	事例展開を通して在宅療養者が望む暮らしを支える看護について考察できる。
5	在宅療養者に提供されるケアマネジメントの実際を検討し、社会資源の活用について考察できる。
6	在宅療養者と家族を支援する多職種連携と協働の重要性について説明できる。

授業計画

1	在宅看護Ⅱガイダンス、対象別看護：在宅療養における難病療養者の看護（１）難病療養者の療養移行支援 【授業方法】講義（ICT双）、復習テスト（評価の対象に含まない） 【予習】40分：地域・在宅看護論②p220-223（事例：在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者）を熟読する。 復習テスト範囲（在宅看護Ⅰ）： 地域・在宅看護論①p33-42（地域・在宅看護の基盤、地域療養を支える在宅看護の役割・機能）、 p56-66（在宅看護の対象者、在宅療養の成立要件）、 p198-212（訪問看護の特徴、在宅ケアを支える訪問看護ステーション） 【復習】40分：在宅看護Ⅰの復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
2	対象別看護：在宅療養における難病療養者の看護（２）難病療養者のケアマネジメント 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：地域・在宅看護論①p103-109（療養の場の移行に伴う看護）、地域・在宅看護論① p142-144（社会資源の活用）、地域・在宅看護論② p34-53（コミュニケーション・ヘルスアセスメント・環境整備・生活リハビリテーション）を熟読し、地域・在宅看護論②p220-223（事例：在宅での生活に不安を抱きつつ退院するALS療養者）のアセスメントを記載する。 【復習】40分：事例（ALS）の病態・症状・治療・看護、社会資源についてまとめる。授業内容の疑問点を追加学修する。 【担当】西村
3	在宅療養における看護過程演習（１）演習オリエンテーション①、在宅療養における看護過程の展開技術 【授業方法】演習（ICT双）：事例提示、事例のアセスメント（個人ワーク） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p212-226（訪問看護サービスの展開、訪問看護の記録）、地域・在宅看護論② p18-31（家庭訪問・初回訪問、在宅療養における看護過程の展開技術）を熟読する。 【復習】50分：事例の病態・症状・治療・看護、社会資源について復習する。 【担当】西村
4	在宅療養における看護過程演習（２）：情報収集を目的とした訪問看護のロールプレイ 【授業方法】演習（PBL）：情報収集を目的とした訪問看護のロールプレイ（ICT支援） 【予習】40分：プロフィール用紙を記載する。演習事例の行動計画を作成する。 【復習】40分：演習の学びと指定されたアセスメント用紙を記載する。 【課題】レポート（演習の学び）とアセスメント用紙を指定された期日までに提出（評価対象） 【担当】西村、鎌田
5	在宅療養における看護過程演習（３）：アセスメント・健康課題の明確化 【授業方法】演習（PBL）：事例のアセスメントの視点の共有 【予習】40分：情報収集した内容をプロフィール用紙、アセスメント用紙、関連図に追記する。 【復習】40分：グループでのディスカッションをふまえてアセスメント・関連図を追加・修正する。 【担当】西村、鎌田

6	在宅療養における看護過程演習（４）：優先順位・目標・計画の検討 【授業方法】演習（PBL）：事例の健康課題の優先順位、目標・計画の検討 【予習】40分：情報収集した内容をプロフィール用紙、アセスメント用紙、関連図に追記する。 【復習】40分：グループでのディスカッションをふまえ健康課題の優先順位、目標・計画の追加・修正する。 【課題】プロフィール用紙、アセスメント用紙、関連図、健康課題リストを指定された期日までに提出（評価対象） 【担当】西村、鎌田
7	対象別看護：在宅療養における子どもと家族への看護 【授業方法】講義（ICT支援）：事例 医療的ケア児の看護ケア、家族支援 【予習】50分：地域・在宅看護論②p232-236（事例）を熟読し、事例の病態・症状・治療・看護、社会資源と設問について調べたことをまとめる。 【復習】30分：地域・在宅看護論①p63（疾病や障害をもつ小児）、p180-182（子どもの在宅療養を支える制度と社会資源）、地域・在宅看護論②p145-150（在宅経管栄養法）、p132-137（在宅人工呼吸療法）についてまとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
8	対象別看護：地域生活を基盤とする精神障がい者への看護（精神科訪問看護） 【授業方法】講義（ICT支援）：事例 精神障がい者の地域生活を支援する看護支援 【予習】30分：地域・在宅看護論① p63（精神科訪問看護）、p167-172（障害者総合支援法）、地域・在宅看護論② p228-231（事例）を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
9	在宅療養における看護過程演習（５）：健康課題・看護計画に関する中間発表 【授業方法】演習（PBL）：健康課題・看護計画の発表および意見交換 【予習】40分：健康課題、看護計画を追加・修正する。 【復習】30分：グループでのディスカッションをふまえて看護計画を追加修正する。 【担当】西村、鎌田
10	在宅療養における看護過程演習（６）：演習オリエンテーション②、演習計画立案 【授業方法】演習（PBL）：実践にむけた行動計画の具体化、フィードバック 【予習】20分：演習要項を精読する。 【復習】60分：グループでのディスカッションをふまえて看護実践の訪問計画・シナリオを追加修正する。 【担当】西村、鎌田
11	在宅療養における看護過程演習（７）：演習準備、訪問看護の実践 【授業方法】演習（PBL）：実践にむけた行動計画の具体化 【予習】50分：事例の病態・症状・治療・看護、社会資源について復習する。 【復習】40分：グループでのディスカッションをふまえて、訪問計画を具体的に記入する。 【担当】西村、鎌田
12	在宅療養における看護過程演習（８）：訪問看護の実践、評価 【授業方法】演習（PBL）：訪問看護をロールプレイで実施 【予習】50分：訪問計画を見直し模擬練習する。 【復習】40分：訪問記録、演習の学びを記入する。看護計画を追加・修正する。 【課題】演習の学び（レポート）と事例のプロフィール用紙、アセスメント用紙、関連図、健康課題リスト、看護計画、訪問記録を指定された期日までに提出（評価対象）。 【担当】西村、鎌田
13	在宅療養における看護過程演習（９）ケアマネジメント、多職種連携・協働 【授業方法】講義（PBL）：事例について介護保険における居宅介護支援（ケアプラン）を検討 【予習】30分：地域・在宅看護論① p121-134.ケアマネジメントを精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
14	対象別看護：終末期がん療養者へのエンド・オブ・ライフケア 【授業方法】講義（PBL）：事例 において全人的苦痛をやわらげる看護ケア 【予習】30分：地域・在宅看護論②p239-241（事例：独居で終末期を迎える療養者）を熟読する。 【復習】30分：地域・在宅看護論① p63（健康レベルからみた対象者）、地域・在宅看護論② p175-180疼痛管理、p150-155在宅中心静脈栄養法の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
15	評価試験/在宅看護ⅡのまとめⅠ演習課題・評価試験に関するフィードバック 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（筆記試験：第１～14回）、演習課題・評価試験に関するフィードバック 【復習】30分：演習および評価試験のフィードバックをふまえて疑問点を追加学修する。 【担当】西村

指導教員

大森健太郎

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

在宅看護Ⅰで使用したテキスト（下記の2冊）

臺有佳 他：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2024.

臺有佳 他：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，2024.

参考文献

河野あゆみ：新体系看護学全書 地域・在宅看護論。メヂカルフレンド社，2021.

尾崎章子 他：療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程。医歯薬出版，2023.

石垣和子 他：看護学テキストNiCE 地域・在宅看護論Ⅰ総論 改訂第3版，南江堂，2024.
石垣和子 他：看護学テキストNiCE 地域・在宅看護論Ⅱ支援論 改訂第3版，南江堂，2024.

評価方法

評価試験（筆記試験：第15回）40%
看護過程の演習課題の提出状況・内容・発表 50%：中間（第4回・第6回）10%、最終（第12回）40%
授業参加度 10%

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

病院（病棟・外来）や地域（NPO法人）、訪問看護ステーションで看護師として実務経験のある教員が、在宅療養者と家族への在宅療養支援（療養移行支援を含む）の経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

療養者が望む暮らしを支える看護、その人らしさを支える看護とは何かを考えながら、在宅看護Ⅰの学修内容を活かし積極的に取り組みましょう。

精神保健看護Ⅱ

更新日：2025/03/10 16:32:07

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	621500	授業コード	62150
担当教員	牧　マリコ, 高瀬　理恵子, 高橋　清美, 森　千郷						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「授業担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	主な精神症状と生活障害について説明できる。
2	精神科医療で提供される医療・保健・福祉の概要が説明できる。
3	精神疾患を有する人のセルフケアの観察とアセスメントの視点を説明できる。
4	精神疾患を有する人に対する看護の役割について倫理観、人権の視点を含めて述べることができる。
5	地域における精神保健福祉のサポートシステムについて説明できる。

授業計画

1	精神看護に必要な理論と看護過程 【授業内容】オリエンテーションおよび精神看護に必要な理論と看護過程について学修します 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】40分：以下を精読 1）教科書Ⅱ　第1章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高橋
2	精神科アセスメント（精神症状・状態像・セルフケアの把握） 【授業内容】精神看護における看護過程の思考のプロセスを説明します 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】40分：以下を精読 1）疾病と治療Ⅳ　精神科的疾患講義資料の振り返り 2）教科書Ⅱ　第1章 3）標準精神医学　第3章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高橋
3	統合失調症を有する人とその家族への看護①（急性期看護） 【授業内容】統合失調症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、隔離室の看護、精神療法、薬物療法について学修します 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：以下を精読 1）疾病と治療Ⅳ　精神科的疾患講義資料の振り返り 2）標準精神医学　第10章 3）教科書Ⅱ　第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬
4	統合失調症を有する人とその家族への看護②（回復期・慢性期看護） 【授業内容】統合失調症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、SST、心理教育について学修します 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：以下を精読 1）疾病と治療Ⅳ　精神科的疾患講義資料の振り返り 2）標準精神医学　第10章 3）教科書Ⅱ　第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬

5	気分・感情障害を有する人とその家族への看護①・電気けいれん療法 【授業内容】気分・感情障害を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、電気けいれん療法時の看護について学修します 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第11章、第6章p.150-152 3) 教科書Ⅱ 第5章、第2章p.93 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】森
6	気分・感情障害を有する人とその家族への看護② 【授業内容】気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、家族看護、認知行動療法について学修します 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第5章、第2章p.101-105 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
7	摂食障害を有する人とその家族への看護/評価試験 【授業内容】摂食障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義・評価試験(筆記試験30分間) 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第16章 3) 教科書Ⅱ 第5章 4) 第1講義目から第6講義目までの内容の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】40分：評価試験の見直しと第7講義の内容・小テストの復習 【担当】牧、森
8	発達障害・知的障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】発達障害・知的障害を有する人の併存症状(精神状態)とセルフケアのアセスメント、看護について学修します 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第9章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
9	物質関連障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】アルコール依存症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読（ICT支援） 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第18章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
10	パーソナリティ障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】パーソナリティ障害を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読（ICT支援） 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第21章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
11	ストレス関連障害(パニック障害・適応障害・PTSD)・認知症を有する人とその家族への看護 【授業内容】ストレス関連障害(パニック障害・適応障害・PTSD)・認知症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読（ICT支援） 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第13・15・19章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧

12	アウトリーチ型精神医療と看護について 【授業内容】ACTの実際について学修します（ゲストスピーカー：渡邊（ちはやACTクリニック院長）） 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読し、関連文献を収集する。 1）地域移行、退院支援に関する文献を収集し目を通す 2）教科書Ⅰ 第3章 3）教科書Ⅱ 第4章 【復習】40分：授業資料の見直し 【担当】牧
13	精神看護における安全管理 【授業内容】精神科で起こりやすい事故や治療に伴う合併症（誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群）に対する安全管理について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1）教科書Ⅱ 第2章、第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬
14	精神疾患を有する人とその家族の看護の実際 【授業内容】事例を用いて看護過程を学修します 【授業方法】講義(GW・討議)、自分で展開した看護過程(関連図と看護計画)に関して、グループワークでディスカッションし、追加修正する。（授業後に関連図と看護計画を提出。15回で返却、フィードバックを行います。） 【予習】40分：以下を精読 1）事例を熟読 2）これまでの授業の振り返り 【復習】40分：これまでの授業の振り返り 【担当】高瀬
15	評価試験および精神保健看護Ⅱの総括/評価試験へのフィードバック 【授業内容】評価試験・精神保健看護Ⅱおよび評価試験の解説とまとめ 【授業方法】評価試験(筆記試験30分間)・講義 【予習】40分：第7講義目から第14講義目の内容の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】40分：すべての学習内容 【担当】牧、高瀬、高橋、森

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

吉松和哉，他編：精神看護学Ⅰ 精神保健学（第6版）．ヌーヴェルヒロカワ，2015．
川野雅資，他：精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学（第6版）．ヌーヴェルヒロカワ，2015．
尾崎紀夫，他：標準精神医学（第9版）．医学書院，2024．

参考文献

中井久夫，他：看護のための精神医学（第2版）．医学書院，2004．
長嶺敬彦：抗精神病薬の「身体副作用」がわかる：The Third Disease．医学書院，2006．
宇佐美しおり，他：オレムのセルフケアモデル：事例を用いた看護過程の展開（第2版）．ヌーヴェルヒロカワ，2003．

評価方法

評価試験：
①第1講義から第6講義までの内容を第7講義目で評価試験(筆記試験)40％、②第7講義目から第14講義目までの内容を第15講義目で評価試験(筆記試験)45％を行う。
さらに③として第14講義目の看護過程のグループディスカッション後の加筆修正した看護過程個人ワークの成果物15％の①②③合計で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双：講義中にタブレット上でクイズを解き、その場で結果を示しながら講義を進めます。
ICT支援：講義後にMoodleで設定した小テストを受験し、繰り返しできる自己学習を支援します。

担当する教員等の実務経験

精神科看護師の臨床経験がある教員が、精神症状やセルフケアのアセスメントに基づく看護実践と患者看護師関係の構築における知識・技術を身につけることができるように講義を展開します。

メッセージ

授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を行ってください。
第3回講義で看護過程様式を配布します。第14回講義で、個人で看護過程展開した看護過程様式を持参してください。
疾患とその看護に関して、講義時間内に看護過程を演習し繰り返し学習します。

地域看護Ⅱ

更新日：2025/03/05 15:36:40

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	621900	授業コード	62190
担当教員	小川 有希子, 松尾 和枝, 山田 桜子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

地域で生活する様々なライフステージにある人々の健康課題、健康に関連する行動や生活と環境の特性を理解し、生涯にわたる継続的な健康支援とプライマリヘルスケアシステムの重要性、地域における看護活動を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2	プライマリヘルスケアの概念について説明できる。
3	看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
4	各ライフステージにおける健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
5	リスクの高い人々の健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
6	国内外の社会情勢に応じた健康ニーズについて説明できる。

授業計画

1	ガイダンス、母子保健（親子保健）活動（1）／レポート課題① 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の広報を持参する。母子が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
2	母子保健（親子保健）活動（2）／レポート課題② 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：乳幼児の成長・発達について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
3	高齢者保健活動／レポート課題③ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：高齢者保健活動について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】松尾
4	精神保健活動／レポート課題④ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：精神保健活動について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】松尾
5	難病保健活動／レポート課題⑤ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：難病保健活動について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】松尾
6	障がい者（児）保健活動／レポート課題⑥ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の障がい者（児）が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）

7	危機（管理）に焦点を当てた活動／レポート課題⑦ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：自分が住んでいる地域の保健所が策定している健康危機管理基本指針について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
8	感染症保健活動／レポート課題⑧ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：感染症法の対象となる感染症の種類、予防接種、結核の病態生理について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
9	学校保健活動／レポート課題⑨ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：学校保健の対象、児童・生徒の健康課題を調べ、対策と支援について考える。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
10	歯科保健活動／レポート課題⑩ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：歯科保健医療対策について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
11	成人保健活動（1）／レポート課題⑪ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：成人保健や生活習慣病対策に関する指標、法律や施策について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】山田
12	成人保健活動（2）／レポート課題⑫ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：特定健康診査や特定保健指導など成人保健活動の実際について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】山田
13	産業保健活動（1）／レポート課題⑬ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：産業保健の歴史、労働災害、労働安全衛生法について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
14	産業保健活動（2）／レポート課題⑭ 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：産業看護について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し、理解を深める。 【担当】小川（有）
15	評価試験、地域看護Ⅱのフィードバック 【授業方法】評価試験（範囲：第1～14回目：60分）、フィードバック 【復習】60分：全体の振り返り 【担当】小川（有）、山田、松尾

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

上野昌江他編：公衆衛生看護学 第3版【電子版】．中央法規出版，2021．
（2年後期「地域看護Ⅰ」で使用したテキスト）
厚生労働統計協会：厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向 2024/2025【電子版】．厚生労働統計協会，2024．

参考文献

評価方法

第15回目に実施する評価試験50％（筆記試験）
第1回から第14回目で行うレポート課題14回40％、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双：Forms等を用いてその場で結果を提示しながら講義を行う
ICT支援：Moodleを用いた自主学習支援を行う

担当する教員等の実務経験

産業保健師、行政保健師、学校保健の実務経験のある教員が地域で生活する人々への様々な保健活動について知識が深まるよう講義を担当します。

メッセージ

地域で生活する様々な健康レベル・ライフステージにある人々への保健活動がどのようなヘルスケアシステムの中で実施されているかを理解し、地域を体系的にとらえることができるように学修していきます。

既習の科目「保健統計学」「慢性看護Ⅰ」「地域看護Ⅰ」「在宅看護Ⅰ」などで学修した内容を復習しておきましょう。

看護技術Ⅳ

更新日：2025/02/21 15:22:46

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	622100	授業コード	6221A, 6221B
担当教員	鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

健康レベル、ライフステージ、個もしくは集団など、対象の特性に対して、適切な看護を行うための看護技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	侵襲度の高い看護技術を適切に実施するために必要な基本的知識と、科学的根拠に基づいた原理原則について説明できる。
2	援助の必要性を判断し、侵襲度の高い看護技術を対象の特徴に合わせて安全に実施できる。
3	実施した結果を患者の状況に合わせて評価することができる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】看護技術（注射の技術）を適切に実践するための要素【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (1) 【授業方法】講義（一部オンデマンド講義）（ICT支援） 【予習】40分：1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 「序章 看護技術を学ぶにあたって」 p2～15 「第2章 感染防止の技術 F 感染性廃棄物の取り扱い G 針刺し防止策」p92～98 「第3章 安全確保の技術 B 誤薬防止」 p105～114 2）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「序章 看護技術の根底をなすもの B 看護技術の基盤」 p2～p 8 3）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ「第9章与薬の技術 H注射」 p310～313 p326～367 4）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」 p346～367 1）から4）内に記載されている内容を熟読する。また動画はすべて視聴する。 【復習】40分：静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストを作成する。チェックリストの内容は演習中に担当教員よりフィードバックを受ける。 【担当】鴨川・吉原
2	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (2) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う シミュレーターを用い 静脈内注射／点滴静脈内注射 技術の演習を行う。 【予習】：40分1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」を熟読する。 2）注射の技術に必要な安全管理や感染管理の項目について実践できるようにMoodleに格納された動画を 2 回以上は視聴し本科目の演習に必要なマニュアルを熟読する。 【担当】吉原
3	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (3) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う シミュレーターを用い 静脈内注射／点滴静脈内注射 技術の演習を行う。 【復習】：60分1）事前に作成した点滴静脈内注射チェックリストについて演習の際に気がついた点や追加すべき点などを加筆する。この課題はmoodle内に投稿し教員よりフィードバックをうける。（事後課題） 2）Moodle上に作成された小テストに取り組む。※評価試験 【担当】吉原
4	【与薬の技術：注射】 筋肉内注射 (1) 【授業方法】講義（一部オンデマンド講義）（ICT支援） 【予習】40分：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章与薬の技術 C筋肉内注射」 p342～345を熟読する。 【復習】40分：テキストおよびMoodle内のオンデマンド講義を視聴し、演習に必要な筋肉内注射におけるチェックリストを作成し担当教員より演習中に担当教員よりフィードバックを受ける。 【担当】鴨川
5	【与薬の技術：注射】 筋肉内注射 (2) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う。 【予習】40分：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章与薬の技術 C筋肉内注射」 p342～345を熟読する。 【担当】鴨川

6	【与薬の技術：注射】筋肉内注射（3） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う。 【復習】40分：1）演習で実践した内容や教員からの助言を参考にチェックリストに、自己の課題や実践時の工夫を追加する。この課題はmoodle内に投稿し教員よりFBをうける。（事後課題）2）Moodle上に作成された小テストに取り組む。※評価試験 【担当】鴨川
7	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（1） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シュミレータを用い筋肉内注射の実践を行う。 【予習】40分：1）筋肉内注射チェックリストを見直し手技や根拠を確認しておく。2）動画の再視聴やオフィシアワーを活用し、筋肉内注射の技術を再確認する。3）事例患者の問題点をもとに筋肉内注射や看護行為の目的と観察のポイントをまとめる。 【担当】鴨川
8	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（2） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シュミレータを用い筋肉内注射の実践を行う。 【復習】40分：技術テストに向けて、動画の再視聴やオフィシアワーを活用し、筋肉内注射の技術を再確認する。 【担当】鴨川
9	【与薬の技術：注射】技術テスト前の準備 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（グループワーク） Moodle上の動画を視聴し筋肉内注射の技術テストについてグループで学習する。（ICT支援） 【予習】40分：作成した筋肉内注射のチェックリストを見直し、技術テストに向けて手順を確認する。 【担当】鴨川
10	【与薬の技術：注射】技術テスト 【授業方法】演習（技術テスト）※評価試験 互いに患者役、看護師役を行い筋肉内注射の技術テストを担当教員より受ける。 【復習】40分：筋肉内注射の技術テストを行い、教員より受けたFBについて振り返り自己の傾向を見出す。 【担当】鴨川・吉原
11	【与薬の技術：注射】技術テスト後の振り返り 【授業方法】演習（グループワーク） 技術テストを受け、修正する点などをグループで学習する。 【復習】40分：技術テストでうけた教員からのFBをもとに、安全管理の技術や感染対策の技術などの注射の技術における自己の傾向を振り返る。後期の血液検査に向け、到達目標に準じ評価しレポートにまとめる。この課題はmoodle内に投稿し教員よりFBをうける。（事後課題） 【担当】鴨川・吉原
12	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査(1) 【授業方法】講義（一部オンデマンド講義）（ICT支援） 【予習】40分：系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第 11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413を熟読する。 【復習】40分：静脈血採血におけるチェックリストを作成する。 【担当】鴨川・吉原
13	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（2） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シミュレーターを用いて採血の実践を行う。 【予習】40分： 1) 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第 11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413を熟読する。 【担当】鴨川
14	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（3） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）演習（実技） Moodleに格納された動画を確認しながら演習を行う（ICT支援） シミュレーターを用いて採血の実践を行う。 【復習】40分：1）静脈血採血のチェックリストに追加修正を行う。この課題はmoodle内に投稿し担当教員よりフィードバックをうける（事後課題） 2）Moodle上に作成された小テストに取り組む。※評価試験 【担当】鴨川
15	演習を終えてフィードバック／事後課題・小テストに対するフィードバック 【授業方法】講義 【予習】40分：看護技術Ⅳにおける学習内容で理解不十分だった部分について確認を行う。 【復習】40分：全体の学びを整理する。 【担当】鴨川・吉原

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

茂野香おる，他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ（第19版）．医学書院，2024．
任和子，他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ（第18版）．医学書院，2024．

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

評価試験：技術テスト30%、演習態度10%、事前・事後課題30%、第3回、第6回、第14回で行う評価試験：小テスト30%

本科目で取得が望ましい点数

85点

ICTの活用・教育リソース

教科書内の動画やMoodleを活用したオンデマンド講義の視聴で、侵襲の高い看護技術をイメージしてもらいます。それらを活用し患者さんへの実践について必要な個人の知識を習得し、グループでの活動で学習効果を高めます。Moodle内の視聴状況について担当教員で確認し、学習に支援が必要な学生においては個別に支援を行います。

担当する教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その実務経験を活かして、侵襲度の高い看護技術を患者に対し安全に行うことができるように教授します。

メッセージ

看護技術Ⅳで取り扱う技術は、患者にとって侵襲度の高い看護技術です。そのため、単に手技を実施するのではなく、その技術に関する正しい知識に基づき、看護職者としての責任と態度を自覚し演習に臨んで下さい。3年次の科目ですので、演習の準備から片付け、および演習の進行についても学生主体で取り組んでもらいます。
個人の学習にとどまらず、チームで課題に取り組み、互いに高め合いながら学修していくことを希望します。

専門性強化演習Ⅰ

更新日：2025/02/21 15:24:25

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622200	授業コード	62220
担当教員	鴨川 めぐみ, 原田 紀美枝, 高橋 清美, 永松 美雪, 姫野 稔子, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 川崎 幹子, 西村 和美, 立野 淳子, 町島 希美絵, 太田 純代, 鎌田 ゆき, 福田 陽子, 内田 文月, 菊池 さよ, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

各専門領域の実習に必要な知識、技術、態度を強化する。
実習の体験で得られた看護の現象について探求し、課題としてとらえた看護の現象について言語化・抽象化・概念化といった思考過程を繰り返しながら、次の看護実践の方向性を見出す能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	各専門領域における技術演習を通して、レベルⅣ実習に向けて必要となる知識、技術、態度を主体的に身につけることができる。
2	実習中に直面しうる倫理的問題について、看護の視点から考えることができる。
3	実習での体験をもとに、看護の現象に潜む探究課題を見出すことができる。
4	探究課題を明らかにするために必要な情報資源を収集、活用することができる。
5	看護実践の探求を通して、看護実践の言語化、抽象化、概念化するための方法を学ぶことができる。

授業計画

1	コースガイダンス：レベルⅣ実習に必要な援助技術、看護学実習における倫理とは 【授業方法】講義 コースガイダンス① 各専門領域における実習に必要な技術演習の到達目標や演習の進め方、事前課題などを理解 することで、主体的な演習参加のための準備を整える。 コースガイダンス② ケースメソッドによる倫理的課題の検討の進め方を理解し、討議に参加するための準備を整 える。 【復習】60分：講義内容および倫理に関する既習学習を参考にしながら、これまでの実習に おける倫理的課題について振り返る。 【担当】原田・鴨川
2	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
3	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
4	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
5	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
6	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員

7	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
8	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
9	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
10	【学内一斉週】倫理的問題や場面の振り返り 【授業方法】演習（グループワーク） 前半クールの実習で体験した倫理的問題についてグループワークを行い振り返る。 【予習】60分：グループ内で有意義なディスカッションができるよう、レベルⅣ実習で直面した倫理的問題について既習の学習内容と照らし合わせまとめておく。この課題は演習中に発表され担当教員よりフィードバックされる（事前課題） 【復習】20分：ディスカッションした内容を自己の学習内容としてまとめる。 【担当】原田 鴨川
11	【学内一斉週】看護倫理・ケースメソッド法について 【授業方法】講義 1. 看護倫理に関する既習学習内容を振り返る 2. ケースメソッドの目的・手法を学ぶ 【復習】30分：ケースメソッド法における学習方法の目的を理解するため講義内容を整理する。 【担当】原田 鴨川
12	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する① 【授業方法】講義 1. ケースメソッドの進め方について 2. 検討事例紹介 提示された事例について倫理的課題の様相を見出し、その様相に対する考えを確立できるよう自己学習を行う。 【復習】60分 事例を精読し、論理的課題を理論立て見出し、講義資料や文献検索をしながら、自身の考えを整理し全体討議で発言ができるよう準備する。 【担当】原田 鴨川
13	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する② 【授業方法】演習（グループワーク） 個人学習で導き出した学習内容と意見交換が必要な事項をグループ内に提示する。主に自己の考えを確立するに至る文献などを検索し、根拠を持ち事例検討を行う。 【予習】40分：グループワークで意見交換ができるように文献検索を行なう。 【復習】40分：事例の設問に対する自分なりの考えを整理し、意見交換ができるようにメモを準備する。 【担当】原田 鴨川
14	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する③ 【授業方法】演習（討議）グループ討議へのフィードバック ディスカッション設問に対しグループ内で討議する。自己学習で準備してきた自分なりの考えを述べ、他者の意見を聞くことで共通点や相違点を明らかにしつつ全体討議に向けた準備を行う。 【予習】40分：自己学習を基盤に、グループ討議に向けて自身の考えを整理する。 【復習】20分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。 【担当】原田 鴨川 高橋 西村 川崎
15	【レベルⅣ実習終了後】倫理的問題においてケースメソッドを展開する④ 【授業方法】演習（討議）全体討議へのフィードバック グループ討議において、その問題に関連する記述や資料に関連付け自己の解釈として導いた自己の倫理観を発言する。 【予習】10分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。 【復習】70分：ケースメソッドをもとに自己の倫理観について抽象度をあげ最終レポートを作成する。この課題はMoodle上でフィードバックされる（事後課題）※評価試験 【担当】原田 鴨川 高橋 西村 川崎 太田 高瀬理 高比来

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要時、資料を配布する。

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

各領域における技術演習での取り組み状況（30%）、グループディスカッションへの参加状況（10%）ケースメソッドへの自己学習に対する取り組み状況（30%）、評価試験：レポート（30%）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、さまざまな看護活動について講義・演習のサポートをします。

メッセージ

レベルⅣ実習では、約3か月という短い時間で対象や場の特徴が異なる5領域、6つの実習でそれぞれの実習目的を達成しなければなりません。一方で、レベルⅣ実習での各専門領域における実習は、実践を通し経験することで「看護」についての意味を考え、看護観を形作るという大切な時期になるのではと思っています。ぜひ各領域での学びが深まることを期待しています。

自らの経験についてじっくりと振り返ることは、難しい作業となるかもしれません。しかし、その作業の中でしか気づくことのできない言動の意味、自身の思考などは、みなさんが自分自身の「看護」を発展させていく上での大きな味方ともなってくれるはずです。この科目では、みなさんの「もっと成長したい」気持ちを伸ばしていくことをモットーに、レベルⅣ担当教員全員でサポートしていきます。学生同士で討議することで学びを深めていき、じっくり、しっかり「考え」、「討議し」それぞれの問いの答えを見つけていきましょう。

成育看護実習

更新日：2025/02/18 11:21:30

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622400	授業コード	62240
担当教員	永松 美雪, 石山 さゆり, 川崎 幹子, 松中 枝理子, 福田 陽子, 太田 純代, 菊池 さよ, 内田 文月						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	3	
	備考(配当)						

授業の目的

リプロダクションサイクルにある人々の健康と次代を担う子どもが健やかに育つための看護を提供できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学、母性看護学

本科目で育成する**DP**の力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	胎児期、新生児期、小児期、青年期を経て成人に至るリプロダクションサイクルにある対象者を、成長発達過程をふまえ、連続的に身体的、心理的・社会的存在として説明できる。
2	リプロダクションサイクルにおける対象者の健康状態を、身体的、心理・社会的特性をふまえて明確にし、健康の保持増進と発達を促すような看護を展開できる。
3	リプロダクションサイクルにある対象者の人権を尊重し、倫理的態度に関わる事ができる。
4	看護と保健医療・福祉・教育などの関連諸機関との連携について説明できる。
5	自己を内省し、主体的・積極的に実習に取り組むことで、リプロダクションサイクルにある対象者と援助の人間関係を構築できる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】臨地実習もしくは学内実習 【担当】永松・石山・川崎・福田・太田・松中・菊池・内田
2	I．実習方法 1．実習期間 3週間 2．実習場所 臨地実習もしくは学内実習 3．実習の進め方 1）母性看護実習（1週間）： 周産期または婦人科疾患の対象者と家族を対象とした看護過程の展開を行う。 2）小児看護実習（1週間）： 健康問題または障がいをもって入院する子どもと家族を対象とした看護過程の展開を行う。 3）成育実習（1週間）： 地域で生活する乳幼児期の子どもの成長・発達の特徴を理解し、 乳幼児期の子どもと援助の人間関係を築くためのコミュニケーションの特徴について説明できることを目標に、保育所もしくは幼稚園で実習を行う。 ＊学習の進捗状況に応じて、実習指導教員が実習記録物や課題レポートに関するフィードバックを行う。 4．実習時間 9：00－16：00
3	II．実習上の留意点 対象の特性から感染防止には特に注意しなければならない。学生自身が感染媒介となることを防止するために体調不良時には必ず医療機関を受診する。
4	III．学修課題 【予習】取り組み時間：90分 内容：事前課題に取り組み、課題ノートにまとめる。 母性、小児看護学の講義内容および演習内容を振り返る。 母性、小児領域の主な疾患について病態を振り返る。 【復習】取り組み時間：80分 内容：成育看護実習で課されている記録をまとめる

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

1. 母性看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料
(1)森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔1〕母性看護学概論（第14版）．医学書院，2023．
(2)森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学〔2〕母性看護学各論（第14版）．医学書院，2023．
2.小児看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料
(1) 小林京子他：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 第7版．メヂカルフレンド社，2022．
(2)小林京子他：小児看護学① 小児看護学概論 小児保健 第7版．メヂカルフレンド社，2024．

参考文献

石村 由利子：根拠と事故防止からみた母性看護技術（第3版）．医学書院，2022．
堀内成子，他：パーフェクト臨床実習ガイド：母性看護（第2版）．照林社，2017．
横尾京子，他：ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術（第6版）．メディカ出版，2024．
小林康江，他：ナーシング・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践（第3版）．メディカ出版，2024．
中村幸代，他：根拠がわかる母性看護過程：事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画．南江堂，2018．
浅野 みどり，他：発達段階からみた 小児看護過程 (第4版): +病態関連図．医学書院，2021．
山元恵子 編：新訂第2版 写真でわかる小児看護技術 アドバンス．インターメディカ，2022．
鈴木康之，舟橋満寿子 編：写真でわかる重症心身障害児(者)のケア．インターメディカ，2017．
倉田慶子，市原真穂，仁宮真紀 編：ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護計画．へるす出版，2017．

評価方法

①母性看護実習評価40％ ②小児看護実習評価40％ ③成育実習評価20％
成育看護実習は母性看護実習、小児看護実習、成育実習にて構成されていることから、本実習の単位取得は総合評価とする。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

助産師として産婦人科またはNICUの臨床経験のある教員が、その経験を活かして、母性看護看護実習の技術や看護過程の指導に活かします。看護師として小児科等の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護実習の技術や看護過程の指導に活かします。

メッセージ

成育看護実習は母性看護学、小児看護学、成育実習にて構成されています。本科目の病棟実習はそれぞれ1週間であり、その1週間の中で受け持ち対象者の看護展開を行う必要があります。それまでの実習と比べると戸惑いを覚えるかもしれませんが、実際には、成育看護の対象となる人々の状態変化は著しく、入院期間も短いことが一般的です。したがって、その看護展開には十分な準備と予測的視点を持って臨むことが求められます。とくに母性看護Ⅱと小児看護Ⅱは実習を想定した授業内容になっており、母性看護Ⅱと小児看護Ⅱで学んだ知識を総動員して実習に臨んでほしいと思います。

老年看護実習

更新日：2025/02/18 12:39:39

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622500	授業コード	62250
担当教員	原田 紀美枝, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 町島 希美絵, 姫野 稔子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

療養が必要となった高齢者を包括的に捉え、尊厳や生命の維持およびQOLの向上を目指す援助を実践できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	高齢者および家族と良好な援助関係を築くことができる。
2	高齢者の身体的・心理的・社会的特性を踏まえ、個性性を尊重した看護を展開することができる。
3	高齢者の医療を支える職種の役割・機能および看護師の役割・機能を説明することができる。
4	看護の現象を振り返り、それに基づいたそれぞれの老年観および看護観を言語化できる。
5	自らの課題を認識し、課題解決に向けた目標を持ち、主体的に行動することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】8時間：事前課題に取り組む。 ・老年医学の講義内容の振り返り ・高齢者に起こりやすい健康問題の講義内容の振り返り ・高齢者に関連する社会保障制度について ・看護過程 【担当】原田・高比来・千原・姫野
2	I．実習方法 1．実習期間 2週間 2．実習場所 今津赤十字病院、嘉麻赤十字病院、有吉病院 遠賀中間医師会おかがき病院、白十字リハビリテーション病院、福岡みらい病院、 3．実習の進め方 1～2名の患者を受け持ち、看護過程の展開を行う。 【スケジュール】 1日目(学内)：オリエンテーション/受け持ち患者概要説明、実習の個人目標の確認 2日目(臨地)：病棟オリエンテーション、受け持ち患者を決定し情報収集 3日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 4日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 5日目(学内)：看護計画立案 6日目(臨地)：看護計画発表 7日目(臨地)：看護計画実施・実習個人目標中間評価 8日目(臨地)：看護計画実施・評価発表 9日目(臨地)：病院実習のまとめ 10日目(学内)：全体でのまとめ ※看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。また実習中間時期に、実習個人目標の中間評価を行い、教員のフィードバックを受け自己課題を明確にする。 【担当】原田・高比来・千原・姫野
3	II．実習上の留意点 ・実習スケジュールは、施設や祭日の状況に応じ調整をしながら進行するため、教員の指示を確認する。 ・臨地実習においては、自分の健康管理を行うこと。特に新型コロナウイルス等様々な感染症における感染拡大防止対策に関しては、別途示す対策を遵守する。対策の遵守ができていない場合は、臨地実習を中止せざるを得ないことがあることを十分に理解しておく。 ・受け持ち対象者へのケアの実施に関しては、患者の安全を確保するため、単独では実施しない。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設するすべての必修科目

テキスト

堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害．メディカ出版，2023．
堀内ふき他：ナーシンググラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践．メディカ出版，2025．
鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患論．医学書院，2023．

参考文献

山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2012．
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程．医歯薬出版株式会社，2015．
大塚真理子：カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2018．
上鶴重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版．医学書院，2021．
マージョリー・ゴードン，看護アセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-．医学書院，2010．
その他、実習中に適宜提示する。

評価方法

看護過程ルーブリック評価（DP問題解決力）52％
実習目標達成度（DP人間の尊厳を擁護する力・自己教育力・チームで働く力・看護の専門性を探究する力）48％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員がその経験をカンファレンスや実習記録のフィードバック等に活かして実習指導を行います。

メッセージ

受け持ち対象者は、疾患や障害を持ちながら生活をされています。対象者が、健やかにその人らしい老年期を過ごすために、どのような援助が必要なのかを考えてほしいと思います。

クリティカルケア実習

更新日：2025/01/27 18:30:37

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622600	授業コード	62260
担当教員	立野 淳子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

救急およびクリティカル状況下で集中治療・看護を受ける患者および家族の危機状態に対する看護を提供できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	救急およびクリティカルな状況下にある患者や家族への看護に必要な態度を身につけることができる。
2	患者やその家族の身体・心理・社会的危機状況についてアセスメントすることができる。
3	患者の生命を守るために行われている治療・検査を理解し、必要な看護を実施できる。
4	救急およびクリティカルな状況下での看護における看護師の役割と専門性について述べるることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 1. 授業方法：実習 2. 予習（事前課題）：1日1時間程の学習を2週間程度（合計10～15時間。予習の目安は個々でことなるため、あくまで目安である） 1) 学習項目は、8月上旬、実習オリエンテーション時に提示する予定 2) クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡの内容についての復習 3) フィジカルアセスメントの技術についての復習（オフィスアワーを活用する） 4) 実習要項および実習評価表（ルーブリック）をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 また、実習の心構えをよく読み、目的・目標を達成するための自己の課題を明らかにしておく。 3. 実習概要 1) 実習時間 2週間（90時間） 2) 実習施設 福岡赤十字病院、熊本赤十字病院、飯塚病院、小倉記念病院のICU、CCU、HCU、SCU、救急病棟、救命救急センターや救急外来 3) 実習スケジュール 1週目 月：【学内】実習オリエンテーション／学内演習 火～金：【病院】臨地実習（木の午後：記録の整理） 2週目 月～木：【病院】臨地実習（水の午後：記録の整理） 金：【学内】学びの共有／記録の整理／面接 など 4) 実習方法 ・各実習施設の救急・集中ケアのユニットにおいて実習を行う。 ・学生は複数名のチームでクリティカルな状況にある患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。 ・救命救急センターや救急外来では見学実習を行う。 ・看護過程の展開は実習記録やカンファレンスを通して、適宜実習指導者や担当教員からフィードバックを受けながら進める。 ・実習の中間時期に中間評価を行う。個人の目標の達成度の確認と教員からのフィードバックを受けて自己課題を明確にする。
---	---

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開講する全ての必修科目

テキスト

- 1) 林直子，他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ：概論・周手術期看護（改訂第4版）．南江堂，2023．
- 2) 佐藤まゆみ，他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ：クリティカルケア（改訂第4版）．南江堂，2023．

参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2020．
- 2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2024．
- 3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用．日本看護協会出版会，2007．

その他、実習中に適宜提示する
※学生自身で実習に関連する書籍・文献等も収集し活用する。

評価方法

実習評価表（ルーブリック）に基づき評価する。
実習目標の達成度：実習態度 25%（ピア評価を含む）、看護の実践、記録物 75%
なお、遅刻・早退は1点、欠席は2点の減点となる

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

クリティカルケア領域（ICU、CCUなどの集中治療ケアのユニット、救急病棟）に従事する高い専門性をもつ臨地実習指導者と、クリティカルケア領域での臨床経験のある教員が協力して実習の指導を行います。看護チームの一員としてディスカッションを繰り返しながら、クリティカルな状況にある患者とその家族にとって最善の看護をともに考え、実践を支援していきます。

メッセージ

クリティカルケア実習では、クリティカルな状況下で集中治療・看護を受ける患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を展開します。クリティカルケアⅠ／Ⅱおよびその他、既習の知識や理論を用いて患者を全人的に捉え、頭におよび潜在する問題に対して予測的な視点と科学的根拠に基づいた看護を実践し、評価していきます。

また、クリティカルケア実習では「受け持ち看護師」としての責任を持った行動を求めます。患者に対して必要となる看護は何かを臨地実習指導者や日々の担当看護師、実習担当教員を含めた看護チームで常に意見交換を行いながら、最善の看護を検討し実践してください。そのため、学生は複数名で1名の患者を受け持ち、常に学生同士のチーム間で意見交換をしつつ、看護チームの一員という自覚を持って実習に取り組むことを期待します。また、自己教育力を育成・向上するために、自己分析を繰り返し常に自己の課題を明確にしながら、目標達成のために継続的に取り組む事を期待します。

在宅看護実習

更新日：2025/02/19 09:12:12

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622700	授業コード	62270
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、訪問看護で提供する看護援助の方法を学ぶ。また、在宅ケアシステムにおける専門職種間の連携・協働を理解するとともに、その中で果たす看護職の役割を考える。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養者とその家族の健康と暮らしを支援し、QOL向上をはかるための看護を展開することができる。
2	在宅ケアにおける看護職の果たすべき役割を説明できる。
3	在宅療養を支える保健・医療・福祉の社会資源について理解を深め、多職種間の連携・協働の必要性を説明できる。
4	在宅療養者とその家族の看護に必要な態度を身につけることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習（ICT支援） 【事前課題】 ・事前課題提示 1．在宅医療・看護・福祉に関する知識の確認 2．訪問看護制度（医療保険、介護保険等）に関する知識の確認 3．事例に関連する人体の構造と機能、疾病と治療・看護、社会資源等の確認 4．在宅看護過程 ＊事前課題は実習に活用されるものであり、実習中の自己学習も追加していくこと 【予習】 ・自己の実習目標について指定された用紙にまとめる（取組時間：40分） ・在宅看護実習の実習要項を熟読し、実習目的、目標を理解する（取組時間：30分）
2	実習方法 1．実習期間／単位：2025年10月6日（月）～12月19日（金） 2週間／2単位 1クール：10月6日（月）～ 10月17日（金） 2クール：10月20日（月）～ 10月31日（金） 3クール：11月10日（月）～ 11月21日（金） 4クール：11月25日（火）～ 12月5日（金） 5クール：12月8日（月）～ 12月19日（金） 2．実習場所：福岡県内の訪問看護ステーション及び関連施設、学内（実習初日と最終日） 3．実習の進め方： 【臨地実習】 ・受持療養者に複数回訪問し看護過程を展開する。 ・受持療養者以外にも訪問可能な事例の訪問に同行し、在宅療養者・家族の生活環境や、療養に対する価値観の多様性の理解と、個性性に配慮した援助のあり方を学ぶ。 ・在宅ケアシステムにおける多職種連携・協働の実践を学ぶ。 ・臨地実習でのカンファレンスは、週1回（中間・最終）の計2回行う。 ＊中間カンファレンスの日時は受持療養者の訪問の状況に応じて実習指導者と調整する。 ＊最終カンファレンスの日時は実習指導者と担当教員と調整する。 ＊カンファレンスは、学生が主体で行い、事前準備や司会進行を行う。 【学内実習】実習初日と最終日 ・学内実習の実習初日に事前課題の内容を含めた筆記試験（評価試験）を行う。 ・学内実習は、事例展開および多職種連携に関するグループディスカッションを実施する。 ・学内実習最終日は学習成果および評価試験、事前課題に対してフィードバックを行う。 4．実習担当教員：西村、鎌田
3	実習上の注意事項 ・事前課題の提出は、実習の前提条件および評価対象(内容に不足あるいは提出が遅れた場合減点)となるので留意する。 ・報告・連絡・相談は適切なタイミングで、担当教員の実習用携帯電話や指定された方法（Teams等）で行う。

指導教員

大森 健太郎

先行履修要件科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

在宅看護Ⅰ・Ⅱで使ったテキストおよび資料

参考文献

実習に関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

ループリック評価：90%

評価試験(筆記試験)：10%

＊事前課題の内容不足および、実習記録の提出遅れを含め実習態度の逸脱がみられる場合は減点対象とする。

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。

担当する教員等の実務経験

外来や地域（NPO法人）、訪問看護ステーションでの看護師の実務経験をもつ教員が、在宅療養者とその家族への在宅療養支援の経験を活かして、在宅療養者と家族の暮らしや価値観を尊重した個性や、療養者・家族が望む暮らしを支える看護について実習指導を行います。

メッセージ

これまでの学びを臨地で確認するとともに、臨地でなければ学べない在宅看護活動を学修していきましょう。在宅療養者と家族の暮らしや価値観を尊重した個性や、療養者・家族が望む暮らしを支える看護について考えていきましょう。

精神保健看護実習

更新日：2025/01/22 11:33:55

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	622800	授業コード	62280
担当教員	高瀬 理恵子, 森 千郷, 牧 マリコ, 高橋 清美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

精神疾患をもつ人々とその家族に対する精神看護の展開方法ならびに基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	精神に障害をもつ人の尊厳を重視した倫理的行動の重要性を説明する事ができる。
2	患者一看護者関係の発展過程や治療の関わりを通してよりよい援助の人間関係を築く事ができる。
3	自己を分析的に捉え、自主的かつ自律的に実習に取り組む事ができる。
4	多職種連携における看護の役割を認識し、チーム内での自己の役割を実践できる。
5	精神疾患をもつ対象者及び家族の抱える問題をアセスメントし、主体性を尊重した看護を展開できる。
6	精神疾患をもつ人とその家族に対する看護の役割と専門性について述べる事ができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】事前課題A（以下の①～③、8月上旬に提示） ①知識の復習：精神保健福祉に関する知識の確認 ②自己学習ノート：主な精神疾患の病態と症状・治療・アセスメントの視点と援助のポイントをまとめる ③プロセスレコードの記載：これまでの実習で経験した場面で記載する ※取り組み時間は、平日の1日1時間の学修を2週間程度実施すること。 ※自己学習ノートは、疾病と治療Ⅳ、精神保健看護Ⅰ・Ⅱの内容を復習しながら、実習で活用できるように作成すること。 【復習】6時間程度 実習で明らかとなった自己の課題への取り組み 【担当】高瀬・森・牧・高橋
2	Ⅰ．実習方法 1) 実習期間 2週間 2) 実習場所 太宰府病院、福岡病院、福岡保養院、一本松すずかけ病院、晴明病院、中村病院 3) 実習の進め方 患者1名を受け持ち、看護過程を展開する。 実習初日【学内】大学オリエンテーション／学内演習（プロセスレコード検討会） 実習2日目以降【病院】 1週目 受け持ち患者の情報収集・アセスメント・看護計画の発表 2週目 立案した看護計画の実施・プロセスレコード検討会・看護計画の評価 実習最終日【学内】記録の整理・レポート作成・個人面談 ※看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。 ※個人面談では、担当教員との面談を通し、実習の到達目標の達成状況、課題についてフィードバックを受ける。 ※実習の進め方は、施設や祭日の状況、感染症等の状況により、計画変更する可能性があるため、教員の指示を確認する。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設するすべての必修科目。

テキスト

疾病と治療Ⅳ、精神保健看護Ⅰ・Ⅱの講義で使用したテキストおよび配布資料。

参考文献

適宜、提示する。

実習用図書として準備したものを活用できるが、学生自身でも実習に関連する書籍・文献等を収集し活用すること。

評価方法

精神保健看護実習 ルーブリック評価表に基づき評価する。

①実習目標の達成状況および実習態度 80%

②事前課題A 14%

③レポート（形式分）6%

なお、遅刻・早退は1点、欠席は2点の減点となる。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

精神科看護の臨床経験のある教員が、臨地実習指導者と協力し、その経験を活かして精神疾患がある人々とその家族に対する看護について実習指導を行う。

メッセージ

精神保健看護実習では、看護における倫理観や倫理的行動について十分に学修を深めてほしい。

実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解して実習に取り組むことを期待する。

災害と看護

更新日：2025/02/17 08:11:05

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	630100	授業コード	63010
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

災害サイクルの特徴を概観し、各サイクルにおける健康課題や看護ニーズ、看護職者の役割について理解するとともに、災害看護に必要な基礎的能力を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	災害および災害医療・災害看護に関する基礎的知識について理解できる。
2	災害サイクルに応じた被災者の特性と看護について理解できる。
3	トリアージの基本的知識および方法について理解できる。
4	災害時における看護職者の役割について理解できる。

授業計画

1	災害とは、災害の種類と特徴、災害と法律について 【授業内容】災害の基礎知識を学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：日本や世界で起きた災害について調べる。 【担当】小川
2	災害と健康、災害サイクルと災害医療、災害時要援護者、要配慮者について 【授業内容】災害サイクルの特徴と各期の健康問題について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害サイクルとその特徴、健康問題についてまとめる。 【担当】小川
3	災害急性期の看護（1）—赤十字医療施設・救護班の活動 【授業内容】災害急性期における赤十字に活動について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：赤十字の災害救護活動について調べる。 【担当】小川
4	災害急性期の看護（2）—DMATについて 【授業内容】過去の災害からDMATが組織された背景について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：DMATとは何かを調べる。 【担当】ゲストスピーカー
5	災害急性期の看護（3）—DMATの活動の実際 【授業内容】DMATの活動の実際、課題や展望について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：DMATの活動と赤十字の救護活動の類似と相違について調べる。 【担当】ゲストスピーカー
6	災害慢性期の看護—仮設住宅・復興住宅における健康問題と看護 【授業内容】災害慢性期・復興期の特徴、生活や健康問題について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害復興期の特徴と被災者の生活や健康問題とその看護について整理する。 【担当】小川、森山
7	災害静穏期・準備期の看護について 【授業内容】災害静穏期・準備の特徴と対応について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害静穏期・準備期における医療施設での対応についてまとめる。 【担当】小川、森山

8	災害時のこころのケア 【授業内容】災害時のメンタルヘルスケアについて学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害がもたらす精神的影響とそのケアについてまとめる。 【担当】小川、森山
9	受援、災害支援ナース、放射線災害について 【授業内容】受援とは何か、災害支援ナースの役割、放射線災害の概要について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：受援や災害支援ナースの受け入れに必要なことは何かについてまとめる。 【担当】小川
10	災害看護演習（災害時の対応について考える）① 【授業内容】提示された事例から災害時の対応について討議する。 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：これまでの授業内容をふまえ、災害時の対応とその課題について整理する。 【担当】小川、森山
11	災害看護演習（災害時の対応について考える）② 【授業内容】提示された事例から災害時の対応について討議する。 【授業方法】演習（GW） 【復習】60分：グループで検討した内容をまとめる。 【担当】小川、森山
12	災害看護演習（災害対応マニュアルについて考える）③ 【授業内容】災害対応マニュアルについて検討する。 【授業方法】演習（GW） 【復習】60分：災害対応マニュアルについて調べる。 【担当】小川、森山
13	災害看護演習（災害対応マニュアルを作成してみる）④ 【授業内容】災害対応マニュアルについて検討する。 【授業方法】演習（GW） 【復習】90分：発表用の資料を作成する。 【担当】小川、森山
14	災害看護演習（災害対応マニュアルの妥当性について検討する）⑤ 【授業内容】作成した災害対応マニュアルを発表し、共有する。 【授業方法】演習（発表、討議）（ICT双） 【復習】60分：自分たちが作成したマニュアルの妥当性、課題を明らかにする。 【担当】小川、森山
15	災害と看護のまとめ フィードバック 【授業内容】授業の振り返り、まとめ、フィードバック 【授業方法】講義（ICT双） 【復習】60分：これまでの講義・演習での学びを振り返り、災害看護について自己の考えをまとめる。 【担当】小川、森山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない
必要に応じて資料を配付する。

参考文献

小原真理子：いのちとこころを救う災害看護．学研，2008．
小原真理子：演習で学ぶ災害看護．南山堂，2010．
齋藤正子，他編：災害看護：心得ておきたい基本的な知識（改訂3版）．南山堂，2019．
その他、必要に応じて紹介する。

評価方法

授業への参加度10％ 課題への取り組み40％ 評価試験（レポート）50％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

国内外で災害救護の実務経験のある教員がその経験をふまえ、これからの災害看護に求められることについて講義します。

メッセージ

講義の他、演習を通して災害看護について考えます。各自の積極的な取り組みを期待します。

国際保健・看護Ⅱ

更新日：2025/02/17 07:47:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	630300	授業コード	63030
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

グローバル化の進展に伴い、多様化・複雑化する世界の健康問題について、海外研修を通して学習し、保健医療分野、特に看護の役割・課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因について調べ、まとめることができる。
2	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因を訪問国の看護学生らと討議し、課題解決に向けた取り組みを考え、実施できる。
3	日本および国際交流協定校のある国の保健医療・看護の実情と課題や課題解決への取り組みについて、自己の考えをまとめ発表できる。

授業計画

1	国際交流協定校のある国に関する事前学習、先方の学生との討議の準備を行い、資料をまとめる。 【授業内容】【演習】 第1回~第9回：準備活動 GW、発表、討議 コースガイダンスおよび活動内容を決める。 事前学習を行い、その内容をまとめ、発表する。 【学修課題：予習60分】 訪問国の概要（政治・経済、医療システム、健康指標等）を調べ、まとめる。
	第10回~第40回：国際交流協定校を訪問。国際交流協定校の学生との討議 フィールドワーク、グループワーク・プレゼンテーション 学習目的、討議内容を英語で伝える。日本の文化や看護について説明する（英語）。事前学習・準備を活かし、国際交流協定校の看護学生らと健康課題への取り組みについて討議する。 【学修課題：復習60分】 日々の研修内容をふりかえり、各自で学修成果をまとめる。
	第41回~第45回：研修レポートおよび報告書の作成、フィードバック 国際交流協定校との一連の活動で、学習、経験したことをまとめる。研修全般を通して、自己の体験・考えをまとめる。報告書を期日までに編集する。

指導教員

先行履修要件科目

2年前期までに履修すべき全ての科目

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には目を通す。訪問国や研修内容に基づいて、必要な文献を読む。

評価方法

事前学習（30％）
研修中の活動への参加度（30％）
評価試験：研修終了後のレポート（40％）提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、事前学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員がその経験をふまえ、国際活動に求められる基礎的な知識・技術・態度を修得できるよう研修を担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者を対象にしています。

研修に必要な英語力を修得するよう、例えば、英語IIIの履修やTOEIC700点など目標を掲げ、意図的に英語の学習をすることが必要です。

研修国を知るためにも、保健医療・看護に限らず、様々な文献を調べるとともに、英語の文献も積極的に読むようにして下さい。

国際保健・看護Ⅲ

更新日：2025/02/17 07:50:08

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	630400	授業コード	63040
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

自ら企画した研修を通して国内外の健康問題を多角的に探究し、保健医療、看護の役割・課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	知的興味や関心に基づき、研修で取り組むテーマを明確にできる。
2	研修目標を設定し、その達成に向けた具体的な計画を立案できる。
3	研修を遂行するために、関係機関との交渉ができる。
4	研修計画に基づいた実践ができる。
5	研修成果をまとめ・発表し、レポートとして記述できる。
6	自己の研修目標を適切に評価できる。

授業計画

1	学生自身が選択したテーマに基づき研修計画を立案し、主体的に研修を行う。 【研修方法】 1．研修期間：現地での研修は、原則として5日間以上10日間以内で行う。 流協定校への短期留学の場合は、先方との調整で決定する。） 2．研修場所：国際交流協定校を含む国内外の施設 3．研修の進め方【演習】 ・自ら選択したテーマに基づき実施可能な研修計画を立案する。 （日本語・英語） ・研修テーマに関連する事前学習を行い、発表資料を作成し、発表する。 （英語） ・先方と調整しながら現地での研修を行う。（施設訪問、フィードワーク等） ・自己のテーマに関する討議の機会を設定し、事前学習を活用しながら討議を行う。 ・研修終了後、学修成果をレポートにまとめ、研修目標の達成について評価する。 ・教員よりフィードバックを行う。 【学修課題】 事前学習として研修テーマに関連する文献や統計資料等を読み込み、日本と訪問国・地域の状況についてまとめる。 最終日に学修成果を発表することになるので、日々学修したことをまとめ、発表資料の作成につなげる。 （予習90分）	（国際交
---	---	------

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健・看護Ⅲに挙げている文献には、目を通す。研修内容に必要な文献を検索し読む。

評価方法

研修計画書（30%）
研修への取り組み姿勢（20%）
研修目標の達成度（30%）：学生各自が自己の研修目標に沿って評価表を作成し評価する。
評価試験：研修終了後の課題レポート（20%）提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員がその経験をふまえ、国際活動に求められる基礎的な知識・技術・態度を修得できるよう研修を担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者の選択科目です。
本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ」の単位修得していることが望ましいです。
研修には相当な準備と事前学習が必要です。興味・関心のある国内外の健康・保健医療・看護の課題を見出し、自分で研修を企画・立案し、実践することで、将来のキャリアを考えるきっかけにしてほしいと考えています。

看護政策

更新日：2025/02/28 16:23:54

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	630600	授業コード	63060
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護行政・政策の概要を理解し、国民によりよい看護サービスを提供するための仕組みについて理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	政策に関する基本概念をふまえたうえで、医療や看護に関する政策はどのように決定されるのか、例を挙げて説明できる。
2	現在の日本における保健医療福祉行政の課題を批判的に吟味し、解決のための方法（これからの自分の行動を含む）を具体的に提案することができる。
3	政策決定において看護職として意見を反映させる方法を述べることができる。

授業計画

1	看護における政策過程：よりよい看護の提供と看護制度・政策の関係 【授業方法】講義 【予習】30分：事前資料の確認。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。
2	保健師助産師看護師法関連トピックス（看護師特定行為研修制度） 【授業方法】講義 【予習】30分：事前資料の確認。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。
3	診療報酬改定への看護職の関与 【授業方法】講義 【予習】30分：事前資料の確認。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。
4	日本看護協会、日本看護連盟と看護政策 【授業方法】講義 【予習】30分：事前資料の確認。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。
5	政策提言コンペティションの準備①（個人での文献検討とグループ形成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：教員が提示したテーマから1つ選び、関連する文献を調べる。
6	政策提言コンペティションの準備②（グループでの検討） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：グループで検討した政策を洗練させる。
7	政策提言コンペティションの準備③（グループで発表資料作成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：発表資料の作成
8	政策提言コンペティションレポートへのフィードバック 【授業方法】講義（プレゼンテーション・討議） 【予習】60分：発表資料の作成

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

適宜紹介

参考文献

日本看護協会出版会編：日本看護協会の政策提言活動．日本看護協会出版会，2010．
田村やよひ著：私たちの抱りどころ 保健師助産師看護師法第2版．日本看護協会出版会，2015．

評価方法

授業参加度（20％）、プレゼンテーションの内容（20％）、評価試験：レポート（60％）で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

「ICT等による死亡診断補助」事業 ガイドライン策定、研修会講師、評価会議委員等
近時の議論状況を活かした講義内容とする。

メッセージ

あなたも看護変革者になりうる一人です。

将来、政策的アプローチで看護を変えていけるよう、本科目では看護政策の基礎的知識を学びましょう。対象者によりよい看護を提供したいと考えたときに、今ある制度や政策をどこをどうすればよいか・・・攻め方を掴みましょう。

本科目の演習では、各自が掲げる政策を提言します。例えば

- ・私が、厚生労働省看護技官なら、新たにこんな制度を作りたい
- ・今後の診療報酬・介護報酬改定で、新たに加えるべき看護サービス(看護行為)はこれだ
- ・保健師助産師看護師法または看護師等の人材確保の促進に関する法律のここを改正したい
- ・私が日本看護協会労働政策部の職員なら、看護師の働き方のここを変えたい

看護教育

更新日：2025/02/20 15:50:51

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	630700	授業コード	63070
担当教員	阿部 オリエ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護学教育の歴史的変遷を踏まえ、その目的、達成に向けた看護教育制度および教育課程について基礎的な理解を深め、看護学教育の今日的課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題について説明できる
2	看護教育制度の歴史的変遷を理解し、社会情勢との関連において説明できる
3	看護教育の仕組みと課題を理解し、看護学を大学で学ぶ意味について説明できる
4	看護学教育を具体化するためのカリキュラムの概要について説明できる
5	看護学教育の今日的課題について考察し、今後の展望について自己の考えを述べることができる

授業計画

1	看護教育学を学ぶ意義について理解するI看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：看護職は専門職といえるのか、文献などを活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（2） 【授業方法】講義 【予習】60分：制度も含め、新人看護職員に対する支援がどのように行われているか調べる 【担当】阿部
3	看護教育制度の歴史的変遷 【授業方法】講義 【予習】60分：資料を活用し、看護制度の変遷について概要をまとめる 【担当】阿部
4	看護教育に関するTOPICS 【授業方法】講義（ICT支）、討議 【予習】60分：看護大学が増えた理由について、統計などの資料を活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
5	看護教育の仕組みと課題（1） 【授業方法】講義 【復習】60分：これまでの資料、参考図書を活用し疑問点を明らかにする 【担当】阿部
6	看護教育の仕組みと課題（2） 【授業方法】講義、討議 【予習】40分：自分の興味のある海外における看護について調べる 【担当】阿部
7	看護学教育を具体化するためのカリキュラムについて 【授業方法】講義（ICT支）、討議 【予習】20分：カリキュラムとは何かについて調べる 【復習】50分：本学カリキュラムの良い点と改善点について、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
8	看護学教育の今日的課題と今後の展望について考える・課題のフィードバック 【授業方法】講義、GW 【予習】20分：課題レポートのテーマについて考え、必要な文献・資料を収集する 【復習】60分：課題レポートの作成を行う 【担当】阿部

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

レジュメを配布し、適宜参考文献を紹介する

参考文献

- 1)看護行政研究会編：看護六法 令和7年版．新日本法規出版株式会社，2025．
- 2)グレッグ美鈴・池西悦子編：看護学テキストNICE 看護教育学（改訂第3版） 看護を学ぶ自分と向き合う．南江堂，2024．
- 3)佐々木幾美：看護基礎教育課程テキスト 学生のための看護教育学．医歯薬出版株式会社，2023．
- 4)杉森みど里・舟島なをみ：看護教育学 第8版．医学書院，2024．
- 5)小山真理子編：看護教育講座2 看護教育のカリキュラム．医学書院，2000．

評価方法

以下の2点を基に総合的に評価を行う

- 1)評価試験：課題レポート（60%）
【レポート課題】
「看護学教育の今日的課題と今後の展望」について、自己の考えをまとめる
※A4横書き、一行40字×37行程度で文献を使用してまとめること。枚数制限なし。
課題提出日：2025年11月25日（火）13時まで
課題提出場所：講義棟1階エレベーターホール前提出ボックス
- 2)授業への参加度・予習（40%）
毎回、FORMSを用いて確認を行う

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

- 1)ICT双：FORMSを用いて予習の確認やフィードバックを行う

担当する教員等の実務経験

外科病棟、内科病棟、外来（救急含む）、画像診断治療センターの看護師として臨床経験があり、看護教育学を探究している教員が、その経験を活かして、看護教育のトピックスや今後のキャリア形成にむけてどのように学習していくかについて教授する。

メッセージ

看護と教育がどのように関係し合っているか、皆さんは考えたことがありますか？看護教育とは、いつ、どこで、誰が、何の目的で始めたのでしょうか？看護教育が始まる前に、看護は存在していなかったのでしょうか？この授業では、皆さんがこれまで学習してきたこと、これから学習していくことをふまえ、看護教育の歴史的変遷、現在、将来的な展望について考察を深める授業となります。よって、選択科目ではありますが、看護学生として、皆、受講してもらう必要がある科目と考えています。看護は学習することで成立します。学習とは、専門職である以上、生涯かけて行う営みです。現在だけではなく、今後、看護職としてどのように学習していけばよいのかを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。きっと、社会に出た時に役に立ったり、拠り所になると思います

看護管理

更新日：2025/01/31 08:12:37

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	630900	授業コード	63090
担当教員	原田 紀美枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

質の高い看護サービスを提供するための、システムやマネジメントに必要な基礎知識を学習し、リーダーシップやマネジメントを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	看護管理のプロセスについて説明できる。
2	看護師の仕事とその管理、看護管理に求められる能力について説明できる。
3	看護の質向上のために必要な知識について説明できる。
4	看護職の教育制度と人材育成について説明できる。
5	看護活動を取り巻く法律・制度を説明できる。

授業計画

1	看護管理の基本となるもの① 1. 看護管理とは 2. 看護管理の基盤となる知識 3. 看護管理のプロセス 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第3章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
2	看護管理の基本となるもの② 4. 市民・多職種との連携・協働 【授業方法】講義 GW 討議 【予習】50分：テキスト第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
3	看護師の仕事とその管理 業務のマネジメント 資源管理 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第4、7章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
4	看護管理に求められる能力 1. 集団に働きかけるスキル 2. 看護管理能力の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
5	看護職の教育制度と人材育成 1. 看護の教育体系 2. 看護職としてのキャリア 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第9章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田

6	看護の質保証 1. 看護管理と倫理 2. 医療・看護の質と評価 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第5章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
7	看護活動を取り巻く法律・制度 1. 医療保険制度 2. 看護管理に関連する法律 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第10章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
8	看護管理の総括 / 評価試験とフィードバック 【授業方法】講義（発表・ディスカッション）評価試験とフィードバック 【予習】50分：発表・ディスカッションの準備をする。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

吉田千文他編：ナースィング・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践（1）第10版．医学書院，2018．
他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

各回で指定する学習課題および授業参加度40％、ディスカッションの事前課10％、評価試験（8回目）50％で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodleを活用して課題提出を行います。

担当する教員等の実務経験

認定看護管理者（日本看護協会）の認定を受け、看護管理者として病棟管理者の経験がある教員が、経験事例をもとに、組織的に質の高い看護サービスを提供するための基礎的知識について講義します。

メッセージ

看護管理は、看護管理者だけに必要な知識ではなく、一人一人の看護師にも必要とされる知識やスキルです。基礎教育での最終段階でこの科目を学ぶことは今後、看護職者として働く皆さんの実践をよりよいものにすると考えます。
各回で、皆さんに考えていただきたいポイントを提示します。看護管理に関する理論を深く理解するために、能動的に参加してください。

看護研究方法

更新日：2025/01/28 09:34:39

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	631000	授業コード	63100
担当教員	牧　マリコ, 高瀬　理恵子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文（原著）のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。
2	研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。
3	研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬研究計画書を作成できる。
4	研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。
5	看護研究論文のクリティークが実施できる。

授業計画

1	看護研究の意義と役割/研究の基本的な考え方/論文の種類と読み方と検索/研究プロセスの概観 【授業方法】科目オリエンテーション、講義 【予習】60分：テキスト「1 看護研究とは」を事前に読む 【復習】20分：研究の基本的事項をまとめる 【担当】牧
2	研究の問い（研究課題）/研究枠組みと研究デザインの位置づけ/研究デザインの種類/論文の構成 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト「2 研究課題の選定」を事前に読む 【復習】20分：Research Questionについてまとめる 【担当】牧
3	量的研究① データの収集、母集団と標本/データの分析/記述統計 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト「4 量的研究の基礎」を事前に読む 【復習】40分：量的研究の特徴、データの種類と質問紙法についてまとめる 【担当】高瀬
4	質的研究① 質的研究とは/質的研究の特徴/質的研究のデータ/質的研究の課題 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト「5 質的研究の基礎」を事前に読む 【復習】20分：質的研究の特徴についてまとめる 【担当】牧
5	量的研究② 推測統計 【授業方法】講義 【予習】40分：第3回の内容を整理し、テキスト「4 量的研究の基礎」を読む 【復習】40分：推測統計の種類を提示し、どういう場合に用いるのか事例を考える 【担当】高瀬
6	研究論文の構成/よい論文とは/論文クリティーク 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト「2.2 文献検索」を事前に読む 【復習】40分：提示された2つの研究論文（量的研究・質的研究）を熟読し、クリティークの準備をする 【担当】牧

7	指定論文（量的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】50分：指定論文（量的研究）の熟読/クリティーク 【復習】30分：指定論文（量的研究）に対するクリティークをまとめ、期日(講義内で説明)までに提出する 【担当】高瀬 牧
8	指定論文（質的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】50分：指定論文（質的研究）の熟読/クリティーク 【復習】30分：指定論文（質的研究）に対するクリティークをまとめ、期日(講義内で説明)までに提出する 【担当】牧 高瀬
9	研究計画書の書き方 【授業方法】講義・研究計画書作成課題の提示 【予習】40分：テキスト「6.研究計画書の作成」を事前に読み、指定論文の計画書部分を調べる 【復習】40分：研究計画書作成の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成開始 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】牧
10	指定論文（量的研究/質的研究）のクリティークへのフィードバック 【授業方法】講義・演習(個人ワーク) 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究/質的研究）のクリティークの見直し 【復習】50分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】牧 高瀬
11	研究倫理の確保/研究計画書への倫理的配慮の記載/リサーチクエスションへの熟考 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト「3 研究における倫理」を事前に読む 【復習】50分：研究計画書に必要な倫理的配慮、および量的研究、質的研究の特徴に応じた研究倫理の確保の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】高瀬
12	研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスション及び研究目的の決定）① 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】20分：研究計画書の作成方法の復習 【復習】60分：研究計画書作成 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】牧 高瀬
13	研究計画書作成（文献検索・研究目的に応じた研究方法の検討）② 【授業方法】講義・演習(個人ワーク) 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成） ※文献検討は、主として、研究目的に応じた研究方法を検討するため 【復習】50分：研究目的に応じた研究方法を検討する。決定した内容を研究計画書に記述する 研究計画書を期日(講義内で説明)までに提出 【担当】牧 高瀬
14	看護研究プロセスについてのまとめ/研究計画書へのフィードバック 【予習】30分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】50分：研究を計画するうえでの重要事項を整理する 【担当】牧 高瀬
15	優秀論文から学ぶ 【授業方法】講義・演習(優秀論文の発表会に参加し、看護研究を実施するうえでの留意点を学ぶ) 【予習】30分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】50分：優秀論文から学んだ内容をレポートにまとめる 【担当】牧 高瀬

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

前田ひとみ，他：ナースィング・グラフィカ 基礎看護④ 看護研究（第4版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂下玲子，他：系統看護学講座 別巻 看護研究（第2版）．医学書院，2023．
南裕子，他：看護における研究（第2版）．日本看護協会出版会，2017．
黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step（第6版）．医学書院，2023．
他、適宜提示する

評価方法

評価はレポート（100％）で、内訳は、クリティークに関するレポート（40％）、研究計画書（60％）とする。
レポートの提出は、前期に3回（クリティークに関するレポート2編、研究計画書）とする。

詳細なレポートの提出の期日は講義内で説明しますので、提出期限は厳守する。

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用してレポート(課題)の提出や小テストを行う。

担当する教員等の実務経験

看護研究を継続してきた教員が、看護研究の意義と役割を理解し、研究を実施するための知識や方法を身につけられるように講義や演習を展開します。

メッセージ

1～14回は前期に、15回目(優秀論文発表会に参加)は後期に開講する。

本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館での指導(データベースガイダンスを受講)も活用し、文献データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。

4年次の卒業研究のためだけでなく、就職後も看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学びましょう。

卒業研究

更新日：2025/02/17 14:33:26

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	631100	授業コード	63110
担当教員	本田 多美枝, 中山 晃志, 木村 涼平, 小川 里美, 高橋 清美, 永松 美雪, 姫野 稔子, 阿部 オリエ, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 川崎 幹子, 立野 淳子, 西村 和美, 原田 紀美枝, 森山 ますみ, 小手川 良江, 太田 純代, 鎌田 ゆき, 西山 陽子, 福田 陽子, 山本 孝治, 内田 文月, 小川 有希子, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高堂 香菜子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 町島 希美絵, 森 千郷, 吉原 駿, 山田 桜子, 松尾 和枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

4年間の学習過程で培われた自己の問題意識を、既習知識と文献検索の結果を活用して、研究上の問い、研究テーマへと発展させ、それらへの答えを探索する過程を通し、論理的・科学的探究方法の基礎的能力を育成する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	これまで体験した看護実践を踏まえてResearch Questionを立てることができる。
2	Research Questionを明らかにするための研究計画を立案することができる。
3	研究のプロセスに沿って自らを律し積極的に研究を遂行することができる。
4	研究における倫理的問題を考慮し、基本的人権を擁護することができる。
5	研究結果を論文にまとめることができる。

授業計画

1	学生は、主体的かつ計画的に下記のとおり研究を実施する。実施過程において、適宜教員にアポイントを取り、助言を受けながら進める。 【授業方法】演習 1. Research Questionの設定 授業科目「看護研究方法」で学修した内容を踏まえ自ら関心のあるResearch Questionを設定する。 2. 研究計画書作成【提出期限：5月8日（木）13時】 1) 設定したResearch Questionについて研究計画書作成例に基づき研究計画書を作成する。 2) 研究計画書は提出期限までに指導教員に提出する。 3) 研究対象が患者、住民、家族などの人を対象とする場合は本学研究倫理審査委員会および臨床側が指定する研究倫理審査機関の規定に基づき倫理審査申請を行う。 3. データ収集・分析 作成した研究計画書に基づき実施する。 4. 予習・復習 【予習】研究内容の事前学習及び検討 【復習】研究内容を振り返り、自身の課題の整理 5. 論文作成、抄録、ルーブリック評価表の提出【提出期限：10月31日（金）13時】 研究論文本文と抄録は作成規定に従い作成する。 6. 卒業研究へのフィードバック 提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰する。 12月下旬に全体に対するフィードバックと全学年対象に優秀論文の発表会を開催する。 ※卒業研究に関する様々な情報提供などは、Teams等を用いて行う。
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

看護研究方法で使用したテキスト

評価方法

卒業研究ルーブリック評価（ディプロマポリシーにもとづく）（40％）、研究計画書（20％）、論文本文および抄録（40％）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

各担当教員により、適宜TeamsなどのICTの活用を行う。

担当する教員等の実務経験

臨床経験（看護師等）を持つ教員は、実際の現場で得た知識や技術を基に、学生が卒業研究において実践的な視点を持つことができるよう指導する。また、リベラルアーツ各分野の教員は、広範な学問的視野を提供し、学生が多角的なアプローチで研究を進める際にその経験を活かしてサポートする。

メッセージ

提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰します。
選ばれた学生には、12月の優秀論文発表会で発表していただきます。

看護技術 V

更新日：2025/01/30 10:20:35

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	631200	授業コード	63120
担当教員	西山 陽子, 西村 和美, 山本 孝治, 鈴鹿 綾子, 鎌田 ゆき, 菊池 さよ, 内田 文月, 立野 淳子, 鴨川 めぐみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

専門性のある看護職者として必要な知識・技術等の能力が身についているか客観的評価を行うとともに、自らの課題解決に向けて取り組む。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	看護実践能力向上に向け、現時点における自己の課題を明確にし、課題解決に向けて取り組むことができる。
2	既習の知識や技術を用いて看護における状況判断を行い、観察、実施、報告ができる。
3	客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination:OSCE)への取り組みを通して、今後の課題を明確にできる。

授業計画

1	【ガイダンス】授業概要の説明、事例提示 【授業方法】講義、GW 看護技術Vの進め方、OSCEについて、事例提示 【復習】60分：事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査、関わる関係法規など） 【担当】西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
2	【事例に基づく技術演習1-1】在宅看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（PBL，GW，ICT支援） 【予習】60分 事例についてアセスメントし訪問計画を立案する。 【担当】西村、鎌田
3	【事例に基づく技術演習1-2】在宅看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（PBL，GW，実践、ICT支援）＊評価試験：レポート 【復習】60分 事例について訪問時のアセスメント・評価についてレポート作成する。 【担当】西村、鎌田
4	【事例に基づく技術演習2-1】母性看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（PBL，GW，技術演習） 【予習】60分：事例についてアセスメントし、看護計画を立案する。 【担当】菊池、内田
5	【事例に基づく技術演習2-2】母性看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（PBL，GW，技術演習）、FB ＊評価試験：事後レポート 【復習】60分：立案した看護計画について、GWや演習を通じて修正を行い、看護技術の実施上の注意点も整理する。 【担当】菊池、内田
6	【事例に基づく技術演習3-1】慢性看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（GW・討議、技術演習）＊事前課題あり 【予習】80分：事例の状況をアセスメントするための個人学修（人体の構造と機能、疾病と治療、事例の病状、看護等）、演習課題に応じた看護ケアの方法を考察する。 【担当】西山、山本、鈴鹿
7	【事例に基づく技術演習3-2】慢性看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（GW・討議、技術演習）、FB 【復習】80分：演習とFBを通した学びを踏まえ、事例患者への適切なアセスメントと看護ケアについて事前課題へ追加記入してまとめる。 ＊評価試験：事例への取り組みとして提出 【担当】西山、山本、鈴鹿
8	【事例に基づく技術演習4-1】急性期看護の事例を用いた学修 【授業方法】演習（GW・討議、技術演習） 【予習】80分：事例患者への日常生活支援を行うことができるように必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査、フィジカルアセスメント、身体観察の技術）を行い、看護支援の方法、注意点をノートにまとめる。 【担当】立野、鴨川

9	【事例に基づく技術演習4-2】 急性期看護の事例を用いた学修 【授業方法】 演習（技術演習・GW・討議）FB ＊評価試験：事例への取り組み 【復習】 80分：演習を通し、事例患者の看護援助技術を安全、安楽に実施するうえでの注意点をまとめる（事後課題） 【担当】 立野、鴨川
10	OSCEオリエンテーション、OSCEに向けた技術演習① 【授業方法】 演習（実技、G.W.） 【予習】 60分：OSCEに向けた技術練習をグループで計画する。 【復習】 20分：演習を振り返りOSCEのに向けた課題に取り組む。 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
11	OSCEに向けた技術演習② 【授業方法】 演習（実技、G.W.） 【予習】 50分：前回の課題を確認しどのような臨床判断が必要か、患者の安全・安楽の視点でどのように行うことが最善か話し合い、技術手順を練ってくる。 【復習】 30分：OSCEのに向けた課題に取り組む。 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
12	OSCEに向けた技術演習③ 【授業方法】 演習（実技、G.W.） 【予習】 30分：課題についての復習を行う。 【復習】 30分：OSCEのに向けた課題に取り組む 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
13	OSCE① 【授業方法】 演習、OSCEの実施（個人で実施）＊評価試験：OSCE 【予習】 20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】 60分：OSCEにおける自己の課題を明らかにする 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
14	OSCE② 【授業方法】 演習、OSCEの実施（個人で実施）＊評価試験：OSCE 【予習】 20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】 60分：OSCEにおける自己の課題を明らかにする 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川
15	【まとめ】 フィードバック 【授業方法】 演習、講義、GW、OSCEと技術演習に対するフィードバック 【予習】 30分：OSCEの結果を振り返り、自己の課題を明確にする。 【担当】 西山、西村、山本、鈴鹿、鎌田、菊池、内田、立野、鴨川

指導教員

大森健太郎

先行履修要件科目

なし

テキスト

参考文献

既習科目のテキストを用いてください。担当教員から適宜提示することもあります。

評価方法

評価試験：【事例への取り組み 第3回、5回、7回、9回】60%、【技術試験】40%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodlesを用いた学修支援を行う

担当する教員等の実務経験

看護の各専門領域における経験のある教員が、その経験を活かして臨床判断や技術の修得ができるよう指導します。

メッセージ

この科目は看護技術の集大成となる演習です。これまで学んできた講義、演習、実習における実践を統合して取り組んでください。具体的には、これまで学修した知識を根拠に看護における状況を判断し、看護専門職を目指す者として適切な態度に基づき、患者の状況に応じた看護技術の実践ができることを目指します。その際、看護実践能力の向上を目指すための自己の課題を明らかにしたり、課題達成に向けて取り組んだり、看護実践の取り組みを通して新たな課題を発見するために

チームで協力したり、最適なリソースを活用しながら主体的に学習を深めてください。数か月後には看護師として社会に巣立つためのステップとして学習できることを望んでいます。

専門性強化演習Ⅱ

更新日：2025/02/19 13:24:24

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	631300	授業コード	63130
担当教員	川崎 幹子, 鎌田 ゆき, 松中 枝理子, 太田 純代, 高橋 清美, 永松 美雪, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 原田 紀美枝, 西山 陽子, 立野 淳子, 山本 孝治, 阿部 オリエ, 小手川 良江, 福田 陽子, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 高堂 香菜子, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 内田 文月, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿, 町島 希美絵, 松尾 和枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

- 1．健康課題を持つ人々への看護を探究するために、これまで学んだ知識や技術を統合させ、専門的な技能を獲得する。
- 2．地域で生活する人々への看護を探究するために、地域包括ケアシステムを学び、多職種連携・協働およびケアマネジメントについて理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、地域・在宅看護論、地域包括ケア実習

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自身の看護実践に対する興味・関心や自己の課題に基づき、実習で取り組む看護実践を明確にできる。
2	実習目標を設定し、その達成に向けた実習計画を具体的に立案できる。
3	地域包括ケアシステムの必要性を説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態、生活の状況に応じたケアマネジメントの特徴を述べることができる。
5	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態に応じた支援について説明できる。

授業計画

1	専門性強化演習Ⅱコースガイダンス（看護の統合実習・地域包括ケア実習合同） 【授業方法】演習 【予習】60分：実習要項を読み、自己課題を整理してくる。 【担当】阿部・鎌田
2	既習の臨地実習や学内実習を通して学んだ看護を学生カンファレンスや教員からの指導を受けてリフレクションし、自己の学習課題を明確にする 学習課題を明確にするためにリフレクションを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
3	看護の統合実習計画立案1（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目的の明確化と実習目標の設定） 自己の学習課題を明確にし、実習目的の明確化と実習目標の設定を行う。演習の中で、実習目的や実習目標に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
4	看護の統合実習目標達成に向けて必要な知識の習得 関心のある看護実践について文献等で学習をする。演習の中で、学習した内容に関してフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
5	看護の統合実習計画2（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員

6	看護の統合実習計画3（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
7	看護の統合実習計画4（学生カンファレンスや教員・臨床指導者からの指導を受け実習計画を修正する） 学生カンファレンスや教員・臨床指導者の指導をもとに実習計画を修正する。演習の中で、実習計画の修正に関してフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成。学生カンファレンスや教員・臨床指導者より指導を得るための実習計画書案を作成する。 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
8	学生カンファレンスや教員の指導に基づき実習計画を完成させる 実習計画書の改善点を反映させ、実習計画を完成させる。 【授業方法】演習 ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：助言・指導を受けた内容をまとめ、実習計画書の改善点を明らかにする。 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
9	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（1）地域包括ケアシステム・ケアマネジメント 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、地域包括ケアシステム・ケアマネジメントについて探求する。 【予習】40分：地域包括ケアシステムやケアマネジメントについて説明できるよう、文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
10	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（2）医療機関における入退院支援 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、医療機関における入退院支援について探求する。 【予習】40分：在宅移行支援の現状と課題について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
11	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（3）高齢者の地域包括ケアシステム 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、高齢者の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：高齢者のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、社会資源、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
12	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（4）地域アセスメント 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 【予習】40分：実習施設所在地の地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、実習施設の特徴（サービスの種類、関連する法制度、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
13	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（5）障害者（成人）の地域包括ケアシステム 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、障害者（成人）の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：障害者（成人）のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、社会資源、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
14	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（6）障害児（こども）のケアマネジメント 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、障害児（こども）の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：障害児（こども）のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、社会資源、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：講義・演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員・ゲストスピーカー
15	地域包括ケア実習に向けたフィードバック、実習オリエンテーション 【授業方法】演習のフィードバック、実習オリエンテーション 【予習】40分：演習で学んだことを活用して地域包括ケア実習（臨地・学内）における実習目標を検討する。 【復習】40分：臨地及び学内における実習目標・学びたいことを所定の用紙に記述する。 【担当】実習指導担当教員

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

看護の統合実習のための演習：特に指定しない。
地域包括ケア実習のための演習：
・在宅看護Ⅰで使用したテキスト
 臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，第 7 版，2022。
・地域看護Ⅱで使用したテキスト
 上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版。中央法規，2021。
 厚生労働統計協会編：厚生 の指標増刊国民衛生の動向2023/2024【電子版】。厚生労働統計協会，2023。

参考文献

実習テーマに関する文献は、学生各自で収集し、活用する。
クエスチョン・バンク2025（メディックメディア）

地域包括ケア実習にむけた演習：
・在宅看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト
 臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，第 2 版，2022。
・地域看護Ⅰで使用したテキスト
 上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版。中央法規，2021。
・藤澤まこと：ナースが行う入退院支援 患者・家族の“その人らしく生きる”を支えるために。株式会社メヂカルフレンド社，2020。
・佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学。メヂカルフレンド社，2019。 他

評価方法

看護の統合実習のための演習（2回から8回）：実習計画書作成30% 取り組み姿勢20%
地域包括ケア実習のための演習（9回から15回）：課題レポート30% 取り組み姿勢20%

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

看護の統合実習のための演習では、各領域によって、ICT支援：Moodle、TEAMS、ZOOMを用いた自主学修支援を行う。
地域包括ケア実習のための演習では、ICT支援：Moodleを用いた自主学修支援を行う。

担当する教員等の実務経験

看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を活かして、学生がこれまでに学んだ知識や技術を統合させ、専門的な技能を獲得しつつ、看護の統合実習に生かせるように演習を展開します。
保健・医療・福祉の実務経験のある教員がその経験を活かし、地域包括ケアシステムにおける対象の特徴や法制度・社会資源について知識の定着を図り実習に生かせる演習を展開します。

メッセージ

看護基礎教育において総仕上げの実習に向けた演習になります。各自、主体的に実習計画を立案しましょう。

地域包括ケア実習

更新日：2025/02/19 08:54:07

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	631400	授業コード	63140
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美, 緒方 文子, 小川 有希子, 山田 桜子, 松尾 和枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動の実際について、多職種連携/協働によるチームアプローチの視点から学ぶとともに健康に寄与する看護職の役割を理解する。
また、地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアの意義を学ぶとともに、将来の地域ケアシステムのあり様を考える。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、看護の統合と実践
別表1：個人・家族・集団・組織の支援実習

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動における多職種連携/協働によるチームアプローチの実際を説明できる。
2	地域で生活する人々に対するケアマネジメントと看護職の役割を説明できる。
3	地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアについて説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康段階に応じた将来の地域ケアシステムのあり様を考察することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【事前課題】 1. 地域包括ケアシステム / 地域ケアシステムとは 2. 高齢者の地域包括ケアシステム ①高齢者の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度、社会資源 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 3. 障害者（成人）の地域包括ケアシステム ①障害者（成人）の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度、社会資源 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 4. こども（障害児）の地域包括ケアシステム ①こども（障害児）の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度、社会資源 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 5. 実習施設（2か所）の所在地における地域の特徴（地域アセスメント）、実習施設の概要、関連する法律・制度 【予習】30分 事前課題でまとめた資料（実習施設に関連する法制度など）を熟読する。 【復習】50分 臨地実習で学んだケアマネジメント・多職種連携の実際とその意義について考察をまとめ、臨地実習で明らかになった自己の学修課題に取り組む。
2	1. 実習期間 1クール：2025年5月12日（月）～5月23日（金） 2クール：2025年5月26日（月）～6月6日（金）
3	2. 実習方法 実習期間は2週間（10日間）で臨地8日間、学内2日間で構成する。 事前課題、臨地実習、学内実習を通して地域保健医療福祉活動と看護職が行うケアマネジメント及び多職種連携/協働によるチームアプローチの実際と現状の課題について総合的に学ぶ。また、地域包括ケアシステムの現状と課題及び将来の地域ケアシステムのあり様を考察する。 最終日は学習成果に対してフィードバックを行う。

4	3. 実習場所 宗像市、福津市、福岡市、北九州市などの保健医療福祉施設とし、詳細は別途資料を配布する。 原則、学生1名につき2か所の臨地実習施設での実習を行う。 1) 医療機関の地域医療連携室、入退院支援センターなど 2) 居宅介護支援事業所 3) 地域包括支援センター 4) 介護保険施設、高齢者施設 5) 障害福祉サービス事業所 6) 訪問看護ステーション、相談支援事業所 他
---	--

指導教員

先行履修要件科目

3年次後期に開講される成育看護実習、老年看護実習、クリティカルケア実習、在宅看護実習、精神保健看護実習の単位をすべて修得していること。

テキスト

- ・2・3年次の在宅看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト
臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，第7版，2022。
臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，第2版，2022。
- ・2年次の地域看護Ⅰで使用したテキスト
上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版。中央法規，2021。
- ・3年次の地域看護Ⅱで使用したテキスト
上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版。中央法規，2021。
厚生労働統計協会編：厚生 の指標増刊国民衛生の動向2023/2024【電子版】。厚生労働統計協会，2023。

参考文献

- ・藤澤まこと：ナースが行う入退院支援 患者・家族の“その人らしく生きる”を支えるために。株式会社メヂカルフレンド社，2020。
- ・佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学。メヂカルフレンド社，2019。 他

実習に関する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

ルーブリック評価	
ディプローマポリシー(実習目標に基づく)	50%
レポート評価	50%

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉の実務経験のある教員がその経験を活かし、多職種連携やケアマネジメントについて学修が深まるよう実習施設と調整し指導いたします。

メッセージ

レベルⅣ実習での学びを生かし、地域包括ケア実習では人々の多様な生き方・価値観に応じたケアマネジメントや多職種連携の実際を学びます。地域での暮らしを支えるしくみ（法制度・社会資源）の理解を深めて自らの学修課題を見つけ、地域ケアシステムについて俯瞰的に考える力を身につけましょう。

看護の統合実習

更新日：2024/12/12 12:27:27

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	631500	授業コード	63150
担当教員	川崎 幹子, 太田 純代, 松中 枝理子, 高橋 清美, 永松 美雪, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 立野 淳子, 原田 紀美枝, 西山 陽子, 山本 孝治, 阿部 オリエ, 小手川 良江, 福田 陽子, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 高堂 香菜子, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 内田 文月, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 町島 希美絵, 森 千郷, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	3
	備考(配当)						

授業の目的

病院や施設で、臨床に即した看護を経験する中で、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	実習計画を遂行するために、必要な関係者と調整ができる。
2	人間の尊厳と人権の擁護に配慮しながら、対象者の持つ健康問題に対して実習計画に基づき看護実践ができる。
3	チームアプローチや多職種連携の視点をを用いて、医療チームの一員として看護師の役割を理解できる。
4	創造的に看護を探究するために、実習で経験した看護実践を記述して分析し、その成果をレポートにまとめることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】 60分：シラバスをよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 2週間程度：自らが選択したテーマに関連する領域の知識・技術を十分に振り返った上で臨地実習や学内実習へ臨む。 【担当】実習担当教員
2	実習方法 専門性強化演習Ⅱで立案した実習計画に基づき主体的に実習を行う。 1．実習期間 臨地および学内での実習は、原則として2025年6月9日～7月11日の期間とする。 2．実習場所 病院・施設・学内 3．実習の進め方 「基礎看護学・看護教育学」「成人看護学（急性期）」「リプロダクティブヘルス看護学」「小児看護学」「精神看護学」「老年看護学」「成人看護学（慢性期）」の領域の中から決定した1領域で実習を行う。学生は、担当教員や臨地実習指導者からフィードバックを受け、看護展開に対する指導を受けながら主体的に実習に取り組むことが求められる。また、臨地実習終了後には、教員よりフィードバックを受け、創造的に看護を探究した成果をレポートにまとめる。

指導教員

先行履修要件科目

3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて修得していること。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

実習目標の達成度（50％）、実習への取り組み姿勢：（20％）、課題レポート（30％）を総合して評価を行う。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

看護の統合実習では、各領域によって、ICT支援：Moodle、TEAMS、ZOOMを用いた自主学修支援を行う。

担当する教員等の実務経験

看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を生かし、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得できるよう指導にあたります。

メッセージ

看護基礎教育課程最後の実習になります。自分たちで立案した実習企画を実践することで、卒業までに解決すべき自己課題を明確にし、より多くのことを学習しましょう。臨地実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、主体的に充実した実習にしてください。

公衆衛生看護Ⅰ

更新日：2025/03/07 09:45:29

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	640100	授業コード	64010
担当教員	松尾 和枝, 緒方 文子, 小川 有希子, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	—	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

地域で生活を営む対象（個人・家族・集団・地域）の健康に影響を及ぼす要因を理解し、地域特性と健康課題をアセスメントする方法を学習する。

指定規則上の教授内容

別表1：個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題を明確化するための方法やプロセスを理解することができる。
2	地域特性を把握するために必要な既存資料を収集することができる。
3	既存資料や住民インタビューの結果を分析・統合して地域特性を把握することができる。

授業計画

1	ガイダンス、公衆衛生看護の基盤となる理論（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：公衆衛生看護の基盤となる理論について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】松尾
2	公衆衛生看護の基盤となる理論（2） 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：公衆衛生看護の基盤となる理論についてまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田
3	公衆衛生看護の基盤となる理論（3）／レポート課題① 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：公衆衛生看護の基盤となる理論についてまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田
4	公衆衛生看護の基盤となる理論（4）「コミュニティ・アズ・パートナーモデル」 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：コミュニティ・アズ・パートナーモデルについてまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】松尾
5	地域特性の把握・情報収集（地区踏査を含む）（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：地域診断について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】山田
6	地域特性の把握・情報収集（2） 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：情報を収集し整理する。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）
7	地域特性の把握・情報収集（3）／レポート課題② 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：情報を収集し整理する。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）

8	地域のアセスメント（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：地域診断について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】山田
9	地域のアセスメント（2） 【授業方法】演習、ICT 【予習】30分：収集した情報からアセスメントする。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）
10	地域のアセスメント（3）／レポート課題③ 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：収集した情報からアセスメントする。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）
11	地域の健康課題の抽出（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：地域診断について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】山田
12	地域の健康課題の抽出（2）／レポート課題④ 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：保健・医療・福祉に関する健康課題を導き出す。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）
13	地域診断の整理 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：地域診断を整理する。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】山田、松尾、緒方、小川（有）
14	地域診断の発表（1） 【授業方法】発表、討議、ICT支援 【予習】30分：発表に向けて、地域診断を整理しまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田
15	地域診断の発表（2）、フィードバック／評価試験 【授業方法】発表、討議、ICT支援 【予習】30分：発表に向けて、地域診断を整理しまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

標美奈子編：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版【電子版】．医学書院，2024．
中村裕美子他編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版【電子版】．医学書院，2024．
上野昌江他編：公衆衛生看護学 第3版【電子版】．中央法規出版株式会社，2021．
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2024/2025．厚生労働統計協会，2024．

参考文献

井伊久美子他編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2025．

評価方法

第1～13回で行うレポート課題①～④及び第15回で行う評価試験（プレゼンテーションスキル）90%、授業参加度10%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学习支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

公衆衛生看護の基礎となる理論や地域診断の方法について、公衆衛生看護の実務経験のある教員が担当します。

メッセージ

この科目では講義の一部でデータ処理を行うため、情報機器の操作で学んだ内容を復習し、使い慣れた状態で講義に臨んでください。また、集計した結果を分析・統合して地域特性を把握する際には、既習科目で学んだ統計学や疫学Ⅰ、保健統計学の知識や技術が必要となります。

公衆衛生看護Ⅱ

更新日：2025/03/07 11:41:21

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	640200	授業コード	64020
担当教員	松尾 和枝, 緒方 文子, 小川 有希子, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						

授業の目的

地域において健康課題を持つ個人や集団にアプローチやエンパワメントするための知識を深め、看護活動方法や技術を学習する。

指定規則上の教授内容

別表1：公衆衛生看護活動展開論

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	地域に暮らす個人・家族・集団が持つ健康への力を向上するための保健活動について理解できる。
2	地域で生活している個人の健康課題を明確化し、保健指導による支援活動の展開が理解できる。
3	地域で生活している家族に対し家庭訪問の場における支援活動の展開が理解できる。
4	地域で生活している集団に対し健康教育による支援活動の展開が理解できる。
5	地域の健康課題を解決するための施策化へのプロセスが理解できる。

授業計画

1	ガイダンス、対人支援活動の展開（健康相談・健康診査・保健指導）（1） 【授業方法】ガイダンス、講義、ICT支援 【予習】30分：対人支援活動の展開について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】松尾
2	対人支援活動の展開（健康診査・保健指導）（2） 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：対人支援活動の展開についてまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田
3	対人支援活動の展開（健康診査・保健指導）（3）／レポート課題① 【授業方法】演習、討議、ICT支援 【予習】30分：対人支援活動の展開についてまとめる。 【復習】30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】松尾、緒方、小川（有）、山田
4	対人支援活動の展開（新生児・乳児の身体計測）（4） 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：新生児・乳児の身体計測について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を参考に修正する。 【担当】小川（有）、松尾、緒方、山田
5	家庭訪問による支援の展開（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：家庭訪問について熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小川（有）
6	家庭訪問による支援の展開（家庭訪問計画の立案）（2） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：家庭訪問の重要な視点をまとめる。 【復習】30分：家庭訪問基本的技術チェックリストを参考に追加・修正する。 【担当】小川（有）
7	家庭訪問による支援の展開（家庭訪問計画の立案）（3） 【授業方法】演習、ICT支援 【予習】30分：家庭訪問計画を立案する。 【復習】30分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】小川（有）、松尾、緒方、山田

8	家庭訪問による支援の展開（家庭訪問の実際）（4） 【授業方法】 演習、発表、ICT支援 【予習】 30分：家庭訪問計画をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 小川（有）、松尾、緒方、山田
9	家庭訪問による支援の展開（家庭訪問の実際）（5）、フィードバック／レポート課題② 【授業方法】 演習、発表、ICT支援 【予習】 30分：家庭訪問計画をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 小川（有）、松尾、緒方、山田
10	健康教育の展開（1） 【授業方法】 講義、ICT支援 【予習】 30分：健康教育について熟読する。 【復習】 30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】 緒方
11	健康教育の展開（2）：企画書と指導案の作成 【授業方法】 演習、ICT支援 【予習】 30分：健康教育で重要なポイントについてまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 緒方、松尾、小川（有）、山田
12	健康教育の展開（3）：シナリオと教材の作成 【授業方法】 演習、ICT支援 【予習】 30分：健康教育の企画内容をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 緒方、松尾、小川（有）、山田
13	健康教育の展開（4）：シナリオと教材の作成／レポート課題③ 【授業方法】 演習、討議、ICT支援 【予習】 30分：健康教育の企画内容をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 緒方、松尾、小川（有）、山田
14	健康教育の展開（5）：健康教育の実施 【授業方法】 発表、討議、ICT支援 【予習】 30分：健康教育の企画内容をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 緒方、松尾、小川（有）、山田
15	健康教育の展開（6）：健康教育の実施、フィードバック／レポート課題④ 【授業方法】 発表、討議、ICT支援 【予習】 30分：健康教育の企画内容をまとめる。 【復習】 30分：他者の意見を取り入れ修正する。 【担当】 緒方、松尾、小川（有）、山田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

標美奈子編：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版【電子版】．医学書院，2024．
中村裕美子他編：標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第5版【電子版】．医学書院，2024．
中谷 芳美他編：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版【電子版】．医学書院，2024．
上野昌江他編：公衆衛生看護学 第3版【電子版】．中央法規出版株式会社，2021．
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2024/2025．厚生労働統計協会，2024．

参考文献

井伊久美子他編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2025．

評価方法

第1～15回で行うレポート課題①～④90%、授業参加度10%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

地域での対人支援活動について、公衆衛生看護活動の実務経験のある教員が担当します。

メッセージ

実践の場面では対象と課題により支援手法が異なるため、既習科目の看護コミュニケーションや健康行動論を復習して講義に臨んでください。

公衆衛生看護Ⅲ

更新日：2025/03/07 11:50:02

開講年度	2025		学期	前期	科目コード	640300	授業コード	64030
担当教員	松尾 和枝, 小川 有希子, 山田 桜子							
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員							
配当	学部/学科	大学 看護学部						
	配当時期	4年	曜日/時限	一		単位	1	
	備考(配当)							

授業の目的

公衆衛生看護管理の目的および機能を理解し、公衆衛生看護管理の実際、保健師の担うべき役割について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	地域診断の概念、課程、実際について説明できる。
2	事業計画、保健福祉計画の策定のプロセスと仕組みが理解できる。
3	公衆衛生看護管理の特色、諸相について述べることができる。
4	健康危機管理と保健活動が理解できる。
5	地域ケアシステムの発展過程について理解できる。

授業計画

1	ガイダンス、公衆衛生看護管理（組織運営と管理、人事管理、予算管理など）／レポート課題① 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：公衆衛生看護管理の基本、その内容を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】松尾
2	健康危機管理（1）災害／レポート課題② 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：災害保健活動の基本、その内容について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】松尾、小川（有）、山田
3	健康危機管理（2）感染症／レポート課題③ 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：感染症調査の基本、その内容について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小川（有）、松尾、山田
4	保健医療福祉における施策化と事業化（1） 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：保健計画の目的と意義、その内容を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】山田、松尾、小川（有）
5	保健医療福祉における施策化と事業化、公衆衛生看護管理（うち情報管理）（2）／レポート課題④ 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：自分で事業計画を展開する（様式6を作成する）。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】山田、松尾、小川（有）
6	地区組織活動の展開（1） 【授業方法】講義、ICT支援 【予習】30分：市町の地区組織活動について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小川（有）
7	地区組織活動の展開（2）／レポート課題⑤ 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：市町の地区組織活動を展開する（様式2を作成する）。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】小川（有）、松尾、山田

8	福岡県内の情報収集、まとめと振り返り 【授業方法】講義、演習、ICT支援 【予習】30分：福岡県内の保健事業や保健師活動について調べまとめる。 【復習】30分：予習を踏まえたうえで、実習目標を計画する（様式1を作成する）。 【担当】松尾、小川（有）、山田
---	---

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

標美奈子編：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版【電子版】．医学書院，2024．（3年後期「公衆衛生看護Ⅰ・Ⅱ」で使用したテキスト）
上野昌江他編：公衆衛生看護学 第3版【電子版】．中央法規出版，2021．（3年前期「地域看護Ⅱ」で使用したテキスト）
厚生労働統計協会：厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向 2024/2025【電子版】．厚生労働統計協会，2024．

参考文献

井伊久美子他編：新版 保健師業務要覧 第4版．日本看護協会出版会，2025．

評価方法

第1回から第7回で行うレポート課題①～⑤90%、授業参加度10%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

公衆衛生看護管理における政策化や地区組織活動について、地域活動の実務経験のある教員が担当します。

メッセージ

公衆衛生看護に関連する既習の科目について、内容を復習しておきましょう。

公衆衛生看護実習

更新日：2025/02/26 15:38:15

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	640400	授業コード	64040
担当教員	小川 有希子, 松尾 和枝, 緒方 文子, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	5	
	備考(配当)						

授業の目的

これまでの学修を踏まえ、地方自治体を中心に、地域における対象（個人・家族・集団・組織・地域）の健康課題をアセスメントし、地域住民のQOL向上のために行われるヘルスプロモーション活動を学び、地域での看護実践を行う意義を理解するとともに基本的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表1：個人・家族・集団・組織の支援実習、公衆衛生看護活動展開論実習、公衆衛生看護管理論実習

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題や強みを把握する方法を修得することができる。
2	公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解することができる。
3	対象の健康ニーズを捉え、特性に応じた援助方法を修得することができる。
4	地域の保健・医療・福祉、その他の関係機関の役割と連携の実践を理解することができる。
5	住民の主體的な保健組織活動の実践を学び、健康施策への住民の参画の意義を理解することができる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】実習 【予習】18時間：以下の課題を事前に実施し実習に臨む 【事前学修課題】 1) 実習目標および実習計画を作成する。 2) 実習に行く保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 3) 参加する保健事業の法的根拠や事業内容について学習する。 4) 健康教育の企画案、指導案、シナリオ案、媒体案を作成する。 5) 家庭訪問計画を立案する。 6) 実習に必要な知識・技術の復習をする。 【担当】小川（有）、松尾、緒方、山田
2	1) 実習期間 学外：2025年8月18（月）～9月19日（金） 5週間 225時間（5単位）
3	2) 実習施設 福岡県内の保健福祉環境事務所（保健所）と市町（保健センター等） または政令指定都市（保健所・区役所）である。
4	3) 実習配置 別途配布
5	4) 指導体制 学外実習では実習機関の指導者と教員が連携して指導を行う。
6	5) 実習の進め方 実習期間は5週間である。 実習施設は、福岡県内の保健福祉環境事務所10日と市町14日、または政令指定都市（保健所3日と区役所21日）で構成する。 実習の流れは、保健福祉環境事務所、市町、政令指定都市によって、実習時間・実習の進め方・留意点等が異なるため、実習オリエンテーションで提示する。 実習目標および実習計画に沿って、毎日の行動計画を立案し主体的に学習を進める。
7	学修課題 (1) 事前に作成した実習目標および実習計画の実施 (2) 地域診断および暫定的な地域の健康課題を発表し助言をもとに修正し完成版の作成 (3) 保健事業の法的根拠や事業内容について調べ地区組織活動に参加 (4) 健康教育の企画案、指導案、シナリオ案、媒体案を作成し地域住民へ実施 (5) 家庭訪問計画を立案し家庭訪問に同行

8	フィードバック 実習終了後に公衆衛生看護実習での学習成果をまとめた成果報告会を実施する。
---	---

指導教員

先行履修要件科目

保健師国家試験受験に必要なすべての科目(公衆衛生看護実習を除く)。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

それぞれの政策に関する法律に関連する文献などは各自で検索・収集し，実習に活用する。

評価方法

実習参加度（個人の取り組み10％、グループでの地域地域診断と健康教育の取り組み20％）、実習目標に基づくルーブリック評価（40％）、ディプロマポリシーに基づく評価（20％）、事前課題（5％）、課題レポート（5％）

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

産業保健師、行政保健師、学校保健の実務経験のある教員がその経験を活かして、学生がこれまでに学んできた地域診断、地域集団の健康課題の抽出、保健事業の法的根拠などの知識と実習地域で展開されている保健事業や地区組織活動などと結び付くように実習指導を行います。

メッセージ

地域診断や健康教育の準備では，グループメンバーと協力して計画的に進めていくように心がけてください。また，主体的に実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り，積極的な姿勢で実習に臨んでください。

人体の構造と機能 I

更新日：2025/02/28 14:36:35

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100010	授業コード	A100010
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構(運動器系・神経系・感覚器)を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	細胞、筋骨格系、脳神経系に関わる人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	細胞、筋骨格系、脳神経系に関わる人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	細胞、筋骨格系、脳神経系の構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	解剖生理学の基本的事項，細胞・細胞膜・細胞内小器官 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 人体の腔所，細胞・細胞膜・細胞小器官について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 人体の腔所，細胞・細胞膜・細胞内小器官について講義内容と要点を整理する。
2	結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織について講義内容と要点を整理する。
3	骨格系とは（体の支持と運動） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体の支持と運動について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体の支持と運動について講義内容と要点を整理する。
4	全身の骨格 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 頭頸部，体幹，上肢・下肢の骨格について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 頭頸部，体幹，上肢・下肢の骨格について講義内容と要点を整理する。
5	関節，筋の種類 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 関節，筋の種類（頭頸部，体幹，上肢・下肢の筋）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 関節，筋の種類（頭頸部，体幹，上肢・下肢の筋）について講義内容と要点を整理する。
6	筋の収縮 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 筋の収縮について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 筋の収縮について講義内容と要点を整理する。
7	神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導について講義内容と要点を整理する。
8	大脳，機能局在 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 大脳，機能局在について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 大脳，機能局在について講義内容と要点を整理する。
9	間脳，脳幹，小脳，脳の保護機能，脳の高次機能（睡眠・記憶・本能行動・情動行動） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 間脳，脳幹，小脳，脳の保護機能，脳の高次機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 間脳，脳幹，小脳，脳の保護機能，脳の高次機能について講義内容と要点を整理する。

10	脳神経（12脳神経の機能） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳神経（12脳神経の機能）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脳神経（12脳神経の機能）について講義内容と要点を整理する。
11	脊髄と脊髄神経（感覚機能と上行伝導路，運動機能と下行伝導路） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脊髄と脊髄神経について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脊髄と脊髄神経について講義内容と要点を整理する。
12	交感神経・副交感神経（自律神経による内臓機能の調節） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 交感神経・副交感神経について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 交感神経・副交感神経について講義内容と要点を整理する。
13	皮膚の構造と機能・体性感覚 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 皮膚の構造と機能・体性感覚について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 皮膚の構造と機能・体性感覚について講義内容と要点を整理する。
14	特殊感覚の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 特殊感覚の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 特殊感覚の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
15	脳神経系・運動器・感覚器の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T. , et al. ：Introduction to the human body （11th ed. ）．2019，佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R. , et al. ：Gray's anatomy for students （4th ed. ）．2020，秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K. , et al. ：Ganong's review of medical physiology （26th ed. ）．2019，稻田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology （アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

人体の構造と機能Ⅱ

更新日：2025/02/28 14:36:12

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100020	授業コード	A100020
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（呼吸器系・循環器系・消化器系）を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	循環器系、呼吸器系、消化器系に関わる人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	循環器系、呼吸器系、消化器系に関わる人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	循環器系、呼吸器系、消化器系の構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	循環器系の構成，心臓の構造 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環器系の構成，心臓の構造について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 循環器系の構成，心臓の構造について講義内容と要点を整理する。
2	刺激伝導系と心電図 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 刺激伝導系・心電図について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 刺激伝導系・心電図について講義内容と要点を整理する。
3	心周期と心内圧 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 心周期と心内圧について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 心周期と心内圧について講義内容と要点を整理する。
4	血圧，心負荷 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血圧，心負荷について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血圧，心負荷について講義内容と要点を整理する。
5	冠状血管系，冠状循環 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 冠状血管系，冠状循環について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 冠状血管系，冠状循環について講義内容と要点を整理する。
6	末梢循環系の構造，特殊な循環（頭部・門脈・胎児・微小循環：毛細血管における物質交換） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 末梢循環系の構造，特殊な循環について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 末梢循環系の構造，特殊な循環について講義内容と要点を整理する。
7	呼吸器の構造，肺の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 呼吸器の構造，肺の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 呼吸器の構造，肺の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
8	呼吸：肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節について講義内容と要点を整理する。
9	呼吸気量，ガス交換（酸素と二酸化炭素）とガスの運搬 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 呼吸気量，ガス交換とガスの運搬について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 呼吸気量，ガス交換とガスの運搬について講義内容と要点を整理する。

10	肺循環，換気血流比 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肺循環，換気血流比について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肺循環，換気血流比について講義内容と要点を整理する。
11	消化器系の構造・胃の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 消化器系の構造、胃の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 消化器系の構造、胃の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
12	小腸の構造と機能，膵臓の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 小腸，膵臓について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 小腸，膵臓について講義内容と要点を整理する。
13	肝臓・胆嚢の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肝臓・胆嚢の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肝臓・胆嚢の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
14	栄養の吸収と排泄（大腸） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 栄養の吸収と排泄（大腸）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 栄養の吸収と排泄（大腸）について講義内容と要点を整理する。
15	循環器・呼吸器・消化器の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り復習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T. , et al. ：Introduction to the human body （11th ed. ）．2019，佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R. , et al. ：Gray's anatomy for students （4th ed. ）．2020，秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K. , et al. ：Ganong's review of medical physiology （26th ed. ）．2019，稲田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology （アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

人体の構造と機能III

更新日：2025/02/28 14:37:53

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100030	授業コード	C100030
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（血液系・内分泌系・腎泌尿器系）を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	血液、内分泌系、腎泌尿器系、生殖系に関わる人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	血液、内分泌系、腎泌尿器系、生殖系に関わる人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	血液、内分泌系、腎泌尿器系、生殖系系の構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	血液の組成と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血液の組成と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血液の組成と機能について講義内容と要点を整理する。
2	血液の凝固と線維素溶解，血液型 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血液の凝固と線維素溶解，血液型について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血液の凝固と線維素溶解，血液型について講義内容と要点を整理する。
3	自然免疫系，獲得免疫系 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 自然免疫系，獲得免疫系について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 自然免疫系，獲得免疫系について講義内容と要点を整理する。
4	リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器について講義内容と要点を整理する。
5	内分泌系による内臓機能の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 内分泌系による内臓機能の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 内分泌系による内臓機能の調節について講義内容と要点を整理する。
6	甲状腺と副甲状腺 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 甲状腺と副甲状腺について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 甲状腺と副甲状腺について講義内容と要点を整理する。
7	膵臓，副腎，性腺 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 膵臓，副腎，性腺について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 膵臓，副腎，性腺について講義内容と要点を整理する。
8	腎臓の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 腎臓の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 腎臓の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
9	傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質について講義内容と要点を整理する。

10	排尿路，体液の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 排尿路，体液の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 傍排尿路，体液の調節について講義内容と要点を整理する。
11	体液の調節、酸塩基平衡 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体液の調節、酸塩基平衡について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体液の調節、酸塩基平衡について講義内容と要点を整理する。
12	男性生殖器官の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 男性生殖器官の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 男性生殖器官の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
13	女性生殖器官の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 女性生殖器官の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 女性生殖器官の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
14	受精と発生，ホルモンの変化 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 受精と発生，ホルモンの変化について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 受精と発生，ホルモンの変化について講義内容と要点を整理する。
15	血液・泌尿器・生殖器官の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナースিং・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T. , et al. ：Introduction to the human body （11th ed. ）．2019，佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R. , et al. ：Gray's anatomy for students （4th ed. ）．2020，秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K. , et al. ：Ganong's review of medical physiology （26th ed. ）．2019，稲田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology （アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

人体の構造と機能Ⅳ

更新日：2025/03/13 11:04:05

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100040	授業コード	A100040
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅲの学びから、ヒトの生命を維持する細胞・器官レベルにおいて、正常な生体における構成要素の相互作用と生体反応について学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能
本科目で育成する DP の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	細胞および器官レベルで起こる構成要素の相互作用について説明できる。
2	構成要素の相互作用によって引き起こる生体反応について説明できる。
3	解剖学実習見学を通してヒトの3次元構造について説明できる。

授業計画

1	ヒトの器官系における構成要素と構成要素の相互作用の破綻 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 器官系の構成要素、各器官系の相互作用の破綻についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 器官系の構成要素、各器官系の相互作用の破綻について整理する
2	構成要素の相互作用①神経系・感覚系 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳・神経系・感覚器系の構造と機能についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 脳・神経系・感覚器系の構成要素の相互作用について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
3	構成要素の相互作用と生体反応①神経系・感覚系 1 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳・神経系・感覚器系の構成要素の相互作用についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 脳・神経系・感覚器系の生体反応について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
4	構成要素の相互作用と生体反応①神経系・感覚系 2 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳・神経系・感覚器系の構成要素の相互作用についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 脳・神経系・感覚器系の生体反応について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
5	構成要素の相互作用②循環器・呼吸器・泌尿器 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の構造と機能についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の構成要素の相互作用について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
6	構成要素の相互作用と生体反応②循環器・呼吸器・泌尿器 1 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の構成要素の相互作用についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の生体反応について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
7	構成要素の相互作用と生体反応②循環器・呼吸器・泌尿器 2 【【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の構成要素の相互作用についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 循環器系・呼吸器系・泌尿器系の生体反応について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
8	構成要素の相互作用③消化器・内分泌器 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 消化器系・内分泌器系の構造と機能についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 消化器系・内分泌器系の構成要素の相互作用について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する

9	構成要素の相互作用と生体反応③消化器・内分泌器 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 消化器系・内分泌器系の構成要素の相互作用についてテキストを用いて学習する 【復習】30分 消化器系・内分泌器系の生体反応について整理する ※講義では事例を用いて器官系の相互作用と生体反応について学習する
10	解剖学実習：オリエンテーション 【授業方法】演習（解剖学実習の見学を通じた体験学修） 【予習】30分 医療が発展するための医学研究の礎、全身の器官系の解剖学・生理学 【復習】50分 献体を通して学ぶ医の倫理、全身の器官系の解剖学・生理学を整理する 解剖学実習見学では、実際に医学部の解剖学実習を見学し、ヒトの体の形態学的特徴やご献体を通して医療人としての倫理観を養う。貴重な経験となるので、実習前には十分な予習復習を行って臨むこと。
11	解剖学実習 【授業方法】演習（解剖学実習の見学を通じた体験学修） 【予習】30分 医療が発展するための医学研究の礎、全身の器官系の解剖学・生理学 【復習】50分 献体を通して学ぶ医の倫理、全身の器官系の解剖学・生理学を整理する 解剖学実習見学では、実際に医学部の解剖学実習を見学し、ヒトの体の形態学的特徴やご献体を通して医療人としての倫理観を養う。貴重な経験となるので、実習前には十分な予習復習を行って臨むこと。 【担当】木村・中山・川崎
12	解剖学実習 【授業方法】演習（解剖学実習の見学を通じた体験学修） 【予習】30分 医療が発展するための医学研究の礎、全身の器官系の解剖学・生理学 【復習】50分 献体を通して学ぶ医の倫理、全身の器官系の解剖学・生理学を整理する 解剖学実習見学では、実際に医学部の解剖学実習を見学し、ヒトの体の形態学的特徴やご献体を通して医療人としての倫理観を養う。貴重な経験となるので、実習前には十分な予習復習を行って臨むこと。 【担当】木村・中山・川崎
13	解剖学実習 【授業方法】演習（解剖学実習の見学を通じた体験学修） 【予習】30分 医療が発展するための医学研究の礎、全身の器官系の解剖学・生理学 【復習】50分 献体を通して学ぶ医の倫理、全身の器官系の解剖学・生理学を整理する 解剖学実習見学では、実際に医学部の解剖学実習を見学し、ヒトの体の形態学的特徴やご献体を通して医療人としての倫理観を養う。貴重な経験となるので、実習前には十分な予習復習を行って臨むこと。 【担当】木村・中山・川崎
14	解剖学実習 【授業方法】演習（解剖学実習の見学を通じた体験学修） 【予習】30分 医療が発展するための医学研究の礎、全身の器官系の解剖学・生理学 【復習】50分 献体を通して学ぶ医の倫理、全身の器官系の解剖学・生理学を整理する 解剖学実習見学では、実際に医学部の解剖学実習を見学し、ヒトの体の形態学的特徴やご献体を通して医療人としての倫理観を養う。貴重な経験となるので、実習前には十分な予習復習を行って臨むこと。 【担当】木村・中山・川崎
15	構成要素の相互作用、生体反応を総合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義 【予習】40分 構成要素の相互作用、生体反応、解剖学実習での学びと知識の補完 【復習】40分 構成要素の相互作用、生体反応、解剖学実習での学びと知識の補完について整理する

指導教員

中山 晃志 川崎 幹子

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナースিং・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) . 2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R. , et al. : Gray's anatomy for students (4th ed.) . 2020, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K. , et al. : Ganong's review of medical physiology (26th ed.) . 2019, 稲田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology（アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第8回の間で行う評価試験

小テスト：20％

- ・第1～4回および第5～8回で学修した内容
- ・2回実施（各10％）
- ・実施方法はMoodleを使用

第9回～第14回の間で行う評価試験

レポート10％

- ・レポートのテーマは第9回講義時に提示する

第15回

構成要素の相互作用、生体反応を総合的に理解するため（第1回～第14回）の評価試験70%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）

ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

解剖学実習見学の日程の都合により、授業計画が前後する場合がある。

疾病と治療Ⅰ

更新日：2025/01/17 10:07:42

開講年度	2025	学期	3期, 4期	科目コード	A100050	授業コード	
担当教員	木村 涼平, 鎌田 ゆき, 高比来 ひとみ, 池村 聡, 継 仁, 吉岡 努, 北山 次郎, 竹下 弘道, 山口 宗男, 高岩 一貴						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

生命の維持に関わる疾病（運動器系・神経系・感覚器系）とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	運動器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	脳神経系の疾病とその治療法について説明できる。
3	感覚器（皮膚・耳・眼）系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	運動器系疾病について理解する：①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
2	運動器系疾病について理解する：②骨折・脱臼，変形性関節症 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
3	運動器系疾病について理解する：③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
4	脳神経系疾病について理解する：①脳・神経疾患概論，中枢神経・末梢神経 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】吉岡努（福岡赤十字病院）
5	脳神経系疾病について理解する：②脳神経疾患の主要症候，観察，検査，脳・神経疾患の治療（侵襲的治療），脳卒中（脳出血・くも膜下出血） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】吉岡努（福岡赤十字病院）
6	脳神経系疾病について理解する：③脳腫瘍，頭部外傷 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】継 仁（福岡赤十字病院）
7	脳神経疾病について理解する④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能性疾患（てんかん）， 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）

8	脳神経系疾病について理解する⑤脳卒中（脳梗塞），認知症 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
9	脳神経系疾病について理解する⑥中枢神経系の感染症，末梢神経障害，筋疾患/神経筋接合部疾患，その他 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
10	皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】竹下弘道（福岡赤十字病院）
11	眼科系疾病について理解する：①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
12	眼科系疾病について理解する：②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
13	耳鼻咽喉系疾病について理解する：①耳鼻咽喉の主要症候（耳/難聴・聴覚障害・めまい，鼻/鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭/構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
14	耳鼻咽喉系疾病について理解する：②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
15	運動器・脳神経系・感覚器のまとめ：評価試験・フィードバック 【授業方法】講義(評価試験含む) 【予習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器官疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器官疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について整理する。 【担当】鎌田ゆき・木村涼平・高比来 ひとみ

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

萩野浩 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑦運動器第1版.メディカ出版,2020.
永廣信治 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑤脳・神経第1版.メディカ出版,2020.
永井由巳 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚第1版.メディカ出版,2020.

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
Gerard J. Tortora, et al：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版，2020.
山内豊明：ナースিং・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進 病態生理学 第7版. メディカ出版，2023.
土居 健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進② 病態生理学（第3版）. 医学書院，2023.
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進① 病理学（第6版）. 医学書院，2021.

評価方法

評価試験 70%(第15回に実施; 第1回～14回の内容), 各回講義の小テスト30%(第1～5回:10%, 第6～9回:10%, 第10～14回10%)
小テストの具体的な実施等の詳細についてはmoodle上で別途お知らせします。

本科目で取得が望ましい点数

70

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）

担当する教員等の実務経験

各診療科の臨床医が診療での経験をもとに、各専門分野で特有な疾病の特徴やその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。
講師は2025年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

疾病と治療Ⅱ

更新日：2025/03/05 16:05:09

開講年度	2025	学期	3期, 4期	科目コード	A100060	授業コード	
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江, 吉原 駿, 向井 靖, 徳留 正毅, 松川 龍一, 河合 俊輔, 大坪 俊夫, 中垣 憲明, 冬野 雄太, 岩下 英之, 吉原 崇正						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

生命の維持に関わる疾病（循環器系・呼吸器系・消化器系）とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	循環器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	呼吸器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	消化器系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	循環器疾患について理解する：心臓・血管の基礎知識と心疾患 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 心臓・血管系の機能に関して、人体の構造と機能での既習内容の振り返り 【復習】60分 心臓・血管の基礎知識と心疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】向井靖（福岡赤十字病院）
2	循環器疾患について理解する：心拍動の仕組み～不整脈とその治療・ペースメーカー 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 心電図と不整脈に関して、人体の構造と機能での既習内容の振り返り 【復習】60分 不整脈治療とペースメーカーに関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河合俊輔（福岡赤十字病院）
3	循環器疾患について理解する：虚血性心臓病～動脈硬化とはなにかを学ぶ 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 心臓血管の基礎知識、冠動脈の走行と心疾患に関する振り返り 【復習】60分 虚血性心臓病、動脈硬化に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】徳留正毅（福岡赤十字病院）
4	循環器疾患について理解する：心不全～血行動態とはなにかを学ぶ 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 心臓血管の基礎知識、機能に関する振り返り 【復習】60分 心不全、血行動態に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】松川龍一（福岡赤十字病院）
5	循環器疾患について理解する：高血圧症と関連臓器障害を学ぶ＊大動脈解離等血管系疾患を含む 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 高血圧、高血圧に関する関連臓器障害に関して使用テキストを用いての予習 【復習】60分 高血圧症と関連臓器障害、大動脈解離等血管系疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】大坪俊夫（福岡赤十字病院）
6	呼吸のしくみと防御機能について理解する：呼吸不全、呼吸器系の症状と検査と治療 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 呼吸に関わる筋肉や各臓器に関して人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 呼吸不全、呼吸器系の症状と検査、治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）

7	呼吸器系疾患について理解する：呼吸器感染症（かぜ、インフルエンザ、気管支炎、肺炎、結核などの抗酸菌症、真菌・寄生虫疾患を含む日和見感染）について 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 呼吸器感染症に関する事項について、ナーシング・グラフィカEX疾患と看護①呼吸器を用いて予習を行う。呼吸器感染症に関わる細菌やウイルスに関する振り返りを行う。 【復習】60分 呼吸不全、呼吸器系の症状と検査、治療に関しての振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
8	呼吸器系疾患について理解する：間質性疾患、気道疾患（喘息・気管支拡張症）、COPD、肺気腫について 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 気道、気管支、肺に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 間質性肺炎、気道疾患やCOPD、肺気腫に関して呼吸機能への影響や疾病の成り立ちに関しての振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
9	呼吸器系疾患について理解する：呼吸不全、肺腫瘍、環境・職業と関連する疾患、縦隔・胸膜疾患などについて 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 呼吸器感染症、間質性肺炎や気道疾患、COPD、肺気腫に関する振り返り 【復習】60分 呼吸不全の種類や評価指標、職業・環境関連肺疾患や腫瘍、縦郭・胸膜疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
10	消化器系疾患について理解する：消化器系疾患の総論、症状のおこるメカニズム 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 消化器系の人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 消化器疾患、症状発現の機序に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】吉原崇正（福岡赤十字病院）
11	消化器系疾患について理解する：食道、胃など上部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 食道・胃など上部消化管に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 上部消化管疾患と検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】冬野雄太（福岡赤十字病院）
12	消化器系疾患について理解する：十二指腸、小腸、大腸、直腸など下部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 下部消化管に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 下部消化管疾患、治療と検査に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】冬野雄太（福岡赤十字病院）
13	消化器系疾患について理解する：肝臓疾患の検査・治療 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 肝臓に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 肝臓疾患の検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】岩下英之（福岡赤十字病院）
14	消化器系疾患について理解する：胆嚢、膵臓疾患の検査・治療 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 胆嚢、膵臓に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 胆嚢、膵臓疾患の検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】岩下英之（福岡赤十字病院）
15	授業のまとめと評価試験：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患に関する評価試験とフィードバック 【授業内容】循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について振り返り、内容を整理する。 評価試験（筆記試験70%） 授業・定期試験に関するフィードバック 【授業方法】評価試験・講義 【予習】45分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】45分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について整理する。 【担当】櫻本秀明・吉原駿

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- 1) 讀井將満 他：ナーシング・グラフィカ EX疾患と看護①呼吸器第1版.メディカ出版,2020.
- 2) 野原隆司 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護②循環器第1版.メディカ出版,2020.
- 3) 三原 弘 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護③消化器第1版.メディカ出版,2020.

参考文献

1)坂井建雄 他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
2)Gerard J. Tortora et al：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原書11版）. 丸善出版，2020.
3)山内豊明：ナースング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進① 病態生理学 第7版. メディカ出版，2023.
4)土居健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進② 病態生理学（第3版）. 医学書院，2023.
5)大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進① 病理学（第6版）. 医学書院，2021.

評価方法

第15回に行う評価試験70%（筆記試験70%）、第5・9・14回に行う小テスト30%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：moodleを用いて授業資料の公開を行う。また、第5・9・14回に行う小テストに関してはmoodle上にて実施する。

担当する教員等の実務経験

専門臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。
講師は2025年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

疾病と治療III

更新日：2025/02/18 11:04:49

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100070	授業コード	
担当教員	石山 さゆり, 福田 陽子, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子, 井元 博文, 徳本 正憲, 中井 健太郎, 清島 圭二郎, 井上 靖, 谷本 一樹, 藤田 恭之, 濱崎 洋一郎						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

生命の維持に関わる疾病（内分泌系・腎泌尿器系・女性生殖器系・血液系）とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	内分泌系の疾病とその治療法について説明できる。
2	腎・泌尿器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	女性生殖器系の疾病とその治療法について説明できる。
4	自己免疫系の疾病とその治療法について説明できる。
5	血液・リンパ系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	内分泌疾患について理解する：内分泌機能の概論と典型的な異常 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの内分泌・代謝疾患の構造と機能、病状とその病態生理の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえテキストの重要な箇所を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
2	糖尿病の発症機序と治療方針 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの糖尿病の発症機序、診断、治療の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえテキストの重要な箇所を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
3	内分泌疾患の機能亢進と機能低下症を中心に各内分泌器官別に理解する 【授業方法】講義 【予習】50分：内分泌系の検査、内分泌系疾患の特に機能亢進、機能低下症についてテキストを熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえ要点を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
4	甲状腺、副腎について 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの甲状腺、副腎の疾患に関する箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
5	腎疾患について理解する：腎臓の機能 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの腎の構造と機能、関する箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】徳本正憲（福岡赤十字病院）
6	腎疾患について理解する：急性腎炎・慢性腎炎 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの急性腎炎、慢性腎炎に関する箇所（症状、病態生理、検査、治療）を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】中井健太郎（福岡赤十字病院）
7	腎疾患について理解する：急性・慢性腎不全、透析、移植 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの急性・慢性腎不全の箇所（原因疾患、症状、病態生理、検査と治療）および透析療法、腎移植について熟読する。 【復習】30分：原因疾患も含め、要点をまとめ暗記する。 【担当】中井健太郎（福岡赤十字病院）

8	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：①尿路・生殖系の機能 【授業方法】講義 【予習】50分：泌尿器の構造と機能の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義の要点を暗記する。 【担当】清島圭二郎（福岡赤十字病院）
9	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：②尿路の閉塞性疾患③尿路の炎症、男性の生殖器疾患 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの尿路の閉塞性疾患、尿路の炎症、男性の生殖器疾患の疾患、症状、病態生理、検査、治療の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義の要点を暗記する。 【担当】清島圭二郎（福岡赤十字病院）
10	女性生殖器系疾病について理解する：女性生殖器の診察・検査、侵襲的治療、女性ライフサイクル（ AYA 世代、更年期）に伴う疾病、不妊症 【授業方法】講義 【予習】50分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】濱崎洋一郎（福岡赤十字病院）
11	妊娠合併症について理解する：妊娠前疾患（心疾患、糖尿病、甲状腺疾患、精神疾患、腎・泌尿器疾患）、妊娠中に発症する疾患（妊娠糖尿病、妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群） 【授業方法】講義 【予習】50分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】藤田恭之（福岡赤十字病院）
12	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：全身性エリテマトーデス、関節リウマチ 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの膠原病、自己免疫疾患とその機序、症状とその病態生理、疾患の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を暗記する。 【担当】井上靖（福岡赤十字病院）
13	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：シェーグレン症候群、ベーチェット病 他 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストのシェーグレン症候群、ベーチェット病（症状とその病態生理）の箇所を熟読する。 【復習】30分：要点を暗記する。 【担当】井上靖（福岡赤十字病院）
14	血液リンパ系疾患について以下の事項を理解する：① 造血器疾患概論と検査 ② 白血球系の異常（白血病）とその他の骨髄増殖疾患。悪性リンパ腫と脾・網内系疾患③輸血・骨髄移植 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの血液の生理と造血の仕組み、検査・診断と症候・病態生理、疾患と治療の箇所と概要に沿ってテキストの該当箇所を熟読する。 【復習】30分：要点を暗記する。 【担当】谷本一樹（福岡赤十字病院）
15	評価試験フィードバック：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、女性生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患 【授業方法】講義 【予習】40分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、女性生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患の講義内容を復習する。 【復習】40分：内分泌系疾患、腎・泌尿生殖器系疾患、女性生殖器系疾患、自己免疫疾患、造血器系疾患について整理する。 【担当】石山さゆり・福田陽子・西山陽子・鈴鹿綾子

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

薊隆文,矢野久子 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護④血液/アレルギー・膠原病/感染症第1版.メディカ出版,2020.
繪本正憲,西山博之 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護⑧腎/泌尿器/内分泌・代謝第1版.メディカ出版,2020.
苛原稔,渡邊浩子 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護⑨女性生殖器第1版.メディカ出版,2020.

参考文献

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
Gerard J. Tortora,? Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版, 2020.
山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第7版. メディカ出版, 2023.
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）. 医学書院, 2021.
土居 健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第3版）. 医学書院, 2023.

評価方法

評価試験 100%

本科目で取得が望ましい点数

70

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

内分泌疾患、甲状腺疾患、腎疾患、泌尿器疾患、生殖器疾患、周産期疾患、自己免疫疾患、血液リンパ系疾患のそれぞれの臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。

疾病と治療Ⅳ

更新日：2025/03/27 12:05:22

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100080	授業コード	
担当教員	太田 純代, 高瀬 理恵子, 長友 太郎, 黒木 理恵, 園田 有里, 宮田 正和, 古野 憲司						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

小児期特有の疾病とその治療および精神疾患とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	小児科系の疾病とその治療法について説明できる。
2	精神科系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	新生児疾患,先天異常（染色体異常を含む） 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第1、2章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】長友太郎（福岡赤十字病院）
2	先天性心疾患、後天性心疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第9章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】古野憲司（福岡赤十字病院）
3	感染症疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第7章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】黒木理恵（福岡赤十字病院）
4	アレルギー疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第5章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】渡部貴秀（福岡赤十字病院）
5	小児特有の消化器疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第10章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】長友太郎（福岡赤十字病院）
6	腎疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第11章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】黒木理恵（福岡赤十字病院）
7	血液疾患・腫瘍性疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第12章、第13章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】古野憲司（福岡赤十字病院）
8	神経疾患・小児救急 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 第14章、第20章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】園田有里（福岡赤十字病院）

9	統合失調症 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第10章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高瀬
10	気分（感情）障害 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第11章・第12章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】森
11	神経症性障害、ストレス関連障害、身体症状症および関連症群 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第13章・第14章・第15章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院／本学学校医）
12	発達障害 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第9章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院／本学学校医）
13	人格障害、摂食障害、物質関連障害、てんかん 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第16章・第18章・第20章・第21章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】牧
14	脳の機能と薬物療法 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第2章・第6章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高橋
15	評価試験（60分）・まとめ（フィードバック） 小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について振り返り、内容を整理する 【授業方法】講義 【予習】30分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】30分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について整理する 【担当】太田・高瀬

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

尾崎紀夫，他：標準精神医学（第9版）．医学書院，2024．
岩崎弥生，他：精神看護学Ⅱ 精神障害をもつ人の看護（第6版）．メヂカルフレンド社，2021．
中村友彦,西沢博子 他：小児看護学③小児の疾患と看護第3版.メディカ出版,2023.

参考文献

坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
Gerard J. Tortora, Bryan Derrickson：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香, 細谷安彦, 高橋研一, 桑木共之, 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
山内豊明：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち① 病態生理学 第5版．メディカ出版，2021．
田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学（第2版）．医学書院，2021．
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進① 病理学（第6版）．医学書院，2021．

評価方法

評価試験 100％
※試験は第15講で行います。配点の内訳は、コマ数によって配分します。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

臨床医および当該領域での臨床経験のある本学教員がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。
講師は2025年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。
授業終了後は必ず学習課題に記載された学修方法で復習を深めてください。

病態生理学

更新日：2025/02/17 10:40:06

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100090	授業コード	D100090
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

正常性の破綻により生じる生体の形態や機能の変化、症状や徴候の発生機序、及び遺伝的素因による疾病の発生機序について学修することで、疾病の成因や治療などを理解するための基礎となる知識を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成する**DP**の力

DP2-2【内省し、学び続ける力】
自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	疾病に伴う生体の構造の変化について説明できる。
2	疾病に伴う生体の機能の変化について説明できる。
3	症状や徴候の発生メカニズムを説明できる。
4	ヒトが生命を維持するための反応について、科学的視点から考察することができる。

授業計画

1	病理病態：身体構造の障害と機能の乱れ・人間の死 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 身体構造の障害と機能の乱れについて講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 身体構造の障害と機能の乱れについて講義内容と要点を整理する。
2	病理病態：炎症と修復 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 炎症と修復について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 炎症と修復について講義内容と要点を整理する。
3	病理病態：遺伝子異常・腫瘍 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 遺伝子異常と腫瘍について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 遺伝子異常と腫瘍について講義内容と要点を整理する。
4	病理病態：細胞障害・変性と細胞死 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 細胞障害・変性と細胞死について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 細胞障害・変性と細胞死について講義内容と要点を整理する。
5	病理病態：免疫異常・感染 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 免疫異常・感染について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 免疫異常・感染について講義内容と要点を整理する。
6	病理病態：循環障害・体液異常 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環障害・体液異常について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 循環障害・体液異常について講義内容と要点を整理する。
7	病理病態：代謝異常 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 代謝異常について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 代謝異常について講義内容と要点を整理する。
8	病態症候：不整脈、ショック、意識障害 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 不整脈、ショック、意識障害について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 不整脈、ショック、意識障害について講義内容と要点を整理する。
9	病態症候：運動機能障害：運動麻痺、運動失調 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 運動機能障害について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 運動機能障害について講義内容と要点を整理する。

10	代表的な疾患における病態生理：心不全 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 心不全の病態生理について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 心不全の病態生理について講義内容と要点を整理する。
11	代表的な疾患における病態生理：慢性閉塞性肺疾患 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 慢性閉塞性肺疾患の病態生理について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 慢性閉塞性肺疾患の病態生理について講義内容と要点を整理する。
12	代表的な疾患における病態生理：糖尿病 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 糖尿病の病態生理について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 糖尿病の病態生理について講義内容と要点を整理する。
13	代表的な疾患における病態生理：肝硬変 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肝硬変について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肝硬変について講義内容と要点を整理する。
14	代表的な疾患における病態生理：慢性腎臓病 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 慢性腎臓病の病態生理について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 慢性腎臓病の病態生理について講義内容と要点を整理する。
15	徴候や症状、各疾患での病態など病態生理を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

山内豊明，他：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進1 病態生理学（第7版）．メディカ出版，2023．

参考文献

讃井將満，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護1 呼吸器．メディカ出版，2019．
野原隆司，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護2 循環器．メディカ出版，2019．
三原弘，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護3 消化器．メディカ出版，2019．
土居健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学（第3版）．医学書院，2023．
大橋健一，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進1 病理学（第6版）．医学書院，2021．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body（11th ed.）．2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学习支援を行う）

担当する教員等の実務経歴

メッセージ

臨床栄養学

更新日：2025/02/28 13:23:08

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100100	授業コード	B100100
担当教員	金澤 孝浩, 藤田 由佳						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

生化学の知識を基礎とした、栄養素がもたらす人体への影響を学修し、人々の健康の維持・増進、疾病及び障がい予防・治療を理解する上での基礎的な知識を身に着ける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】
自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	摂取した食物の消化・吸収およびその後の栄養素の体内での代謝と生理的役割を理解し、食物摂取の意義を説明できる。
2	妊娠期から高齢期までの各ライフステージの栄養と健康の関わりを理解し、健康を保持・増進するための食生活を自ら考え、説明できる。
3	疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方について説明できる。
4	チーム医療における栄養管理の重要性を説明できる。

授業計画

1	栄養素の種類とはたらき（糖質、脂質、たんぱく質）、消化・吸収 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
2	栄養素の種類とはたらき（糖質、脂質、たんぱく質）、消化・吸収 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
3	栄養素の種類とはたらき（ビタミン、ミネラル） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
4	チーム医療、エネルギー代謝、肥満 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
5	栄養素の種類とはたらき（ミネラル） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
6	臨床栄養（腎疾患など） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
7	ライフステージと栄養（乳児期、学童期、思春期・青年期、成人期） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】藤田
8	ライフステージと栄養（妊娠期、授乳期、更年期、高齢者） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】藤田

9	臨床栄養（消化器疾患） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
10	臨床栄養（糖尿病） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
11	臨床栄養（下痢、便秘など） 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
12	臨床栄養（肝臓）、食中毒 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
13	疾患別食事療法 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
14	疾患別食事療法 【授業方法】講義・演習（討議） 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
15	テスト・フィードバック 【授業方法】評価試験（テスト） 【担当】金澤

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能3 栄養学（第13版）．医学書院，2020．

参考文献

日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版．文光堂，2013．
厚生労働省策定：日本人の食事摂取基準[2020年版]．第一出版，2019．

評価方法

評価試験60%、授業参加度40%

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

福岡赤十字病院でのチーム医療（NST、緩和、褥瘡など）の経験のある管理栄養士が、その経験を活かし、臨床で必要な栄養学の基礎知識について講義します。

メッセージ

栄養は治療の一環になります。疾患の成立機序や経過に栄養がどのように関わっており、また病態に対してどのような栄養療法が最適であるか、病気と栄養との関係について一緒に学びを深めましょう。

臨床薬理学

更新日：2025/02/28 10:50:01

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100110	授業コード	A100110
担当教員	大石 裕樹, 是松 良隆, 松本 和寛, 樺島 美沙子, 杉 慎介, 中島 美衣子, 児玉 修哉						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

薬物の基礎知識、薬物の体内動態と薬理作用について学修し、臨床現場における疾病の治療を理解する上で必要となる薬物の基礎知識を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】

自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	個々の薬物、あるいは一群の薬物について生体のどの部位に作用するのか説明できる。
2	薬物の薬理作用およびその作用機序を説明できる。
3	薬物の臨床応用について説明できる。
4	薬物の使用にともなう副作用の症状とその対策について説明できる。

授業計画

1	薬理学総論（Ⅰ） 【授業方法】講義 【予習】50分 薬理学総論の予習 【復習】30分 臨床薬理学の基礎（Ⅰ）の復習 【担当】大石裕樹
2	薬理学総論（Ⅱ） 【授業方法】講義 【予習】50分 薬理学総論の予習 【復習】30分 臨床薬理学の基礎（Ⅱ）の復習 【担当】大石裕樹
3	末梢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：自律神経系と薬の作用・交感神経作用薬 【授業方法】講義 【予習】50分 自律神経作用薬について予習 【復習】30分 交感神経作用薬について復習 【担当】是松良隆
4	末梢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：副交感神経作用薬・筋弛緩薬局所麻酔薬 【授業方法】講義 【予習】50分 自律神経作用薬について予習 【復習】30分 副交感神経作用薬の復習 【担当】是松良隆
5	中枢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・麻薬性鎮痛薬 【授業方法】講義 【予習】50分 中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分 麻酔薬、抗不安薬、麻薬性鎮痛薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】松本和寛
6	中枢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：抗精神病薬・抗うつ薬・パーキンソン症候群治療薬・抗てんかん薬 【授業方法】講義 【予習】50分 中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分 抗精神病薬・抗うつ薬・抗てんかん薬糖の中枢神経作用薬の復習 【担当】松本和寛
7	抗アレルギー薬・抗炎症薬 【授業方法】講義 【予習】50分 抗アレルギー薬・抗炎症薬の予習 【復習】30分 オータコイドによるアレルギーや炎症反応に対する治療薬の復習 【担当】樺島美沙子

8	呼吸器・消化器・生殖器官に作用する薬物 【授業方法】講義 【予習】50分 呼吸器・消化器・生殖器官に作用する薬物の予習 【復習】30分 臓器別治療薬の復習 【担当】樺島美沙子
9	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅰ)：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬 【授業方法】講義 【予習】50分 循環器系薬物の予習 【復習】30分 抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】杉慎介
10	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅱ)：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬・血液に作用する薬物 【授業方法】講義 【予習】50分 循環器系薬物の予習 【復習】30分 抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】杉慎介
11	物質代謝に作用する薬物 【授業方法】講義 【予習】50分 物質代謝に作用する薬物の予習 【復習】30分 ホルモン等の物質代謝に影響する薬物の復習 【担当】中島美衣子
12	抗感染症 【授業方法】講義 【予習】50分 抗感染症の予習 【復習】30分 抗生物質等の感染症治療薬の復習 【担当】中島美衣子
13	抗がん剤・免疫治療薬 【授業方法】講義 【予習】50分 抗がん剤・免疫治療薬等の予習 【復習】30分 癌や免疫治療薬の復習 【担当】児玉修哉
14	薬害問題 【授業方法】講義 【予習】50分 過去の薬害事件等についての予習 【復習】30分 過去の薬害の復習 【担当】児玉修哉
15	まとめとフィードバック 評価試験 【授業方法】講義 【予習】50分 過去の全般的な講義の予習 【復習】30分 薬物治療学全般の復習 【担当】大石裕樹

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

吉岡充弘 他：系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 ③。
 医学書院，2019。（14版2019年）

参考文献

加藤隆一 他：NEW薬理学。南江堂，2017。

評価方法

評価（筆記）試験（90％）、授業態度や授業参加度（10％）
 試験後に、ポータルサイトを使ってフィードバックします。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

病院薬剤師としての臨床経験を生かして、薬物の基礎知識、薬物の体内動態と薬理作用について講義を行う。

メッセージ

臨床の現場で働く看護師にとって、薬物の薬理作用や副作用の知識はとても大切です。薬物の基礎知識について解説し、講義毎に小テストを行い、理解を深められるような授業を行います。

微生物学

更新日：2025/02/28 12:21:23

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100120	授業コード	C100120
担当教員	石丸 敏之						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

微生物とは何かについて学び、この感染によって引き起こされる感染症や疾病の成因となる病原微生物、生体の感染防御機構、感染性疾患の病態、治療、予防、対策（消毒・滅菌、ユニバーサルプレコーション、感染経路別対策、法律）の基礎知識を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】
自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	個々の病原微生物の性状・特徴・病原性が理解できる。
2	滅菌・消毒法を理解できる。
3	感染予防の原則となっている標準予防策・感染経路別対策を理解し、実習時に実践できる。
4	生体の感染防御免疫のしくみを理解できる。

授業計画

1	感染症の歴史、微生物とはどのような生物か（細菌） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 感染症と微生物の関連について理解する
2	微生物とはどのような生物か（ウイルス（プリオンを含む）、真菌、原虫、蠕虫） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 微生物の概略を理解する
3	国内外の感染症の現状（COVID-19などを例として） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 現在問題となっている感染症を参考として、何が問題となっているのかを理解する
4	感染症関連の法律、化学療法と免疫療法 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 感染症に関連した法律、治療で使用する化学療法について理解を深める
5	感染症の予防とコントロール（消毒＆滅菌、標準予防策・感染経路別対策） 【授業方法】講義・小テスト 【復習】40 分 内容 感染症予防対策の原理と実際の方法について理解、習得する
6	生体の感染防御機構Ⅰ（総論） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 感染に対する生体の防御機構を理解する
7	生体の感染防御機構Ⅱ（アレルギー、自己免疫疾患、免疫学的検査法、ワクチン） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 防御機構に関連した病態を理解する
8	細菌感染症・各論Ⅰ（グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性通性桿菌） 【授業方法】講義・小テスト 【復習】30 分 内容 病原体各論
9	細菌感染症・各論Ⅱ（カンピロバクター属、ヘリコバクター属、グラム陰性桿菌、抗酸菌、放線菌、嫌気性菌） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論
10	細菌感染症・各論Ⅲ（スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 病原体各論
11	ウイルス感染症・各論Ⅰ 【授業方法】講義・小テスト 【復習】30 分 内容 病原体各論

12	ウイルス感染症・各論Ⅱ（プリオン病を含む） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論
13	真菌感染症、原虫・蠕虫感染症 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 病原体各論
14	海外で注意すべき感染症 【授業方法】講義 【復習】10 分 内容 病原体各論
15	微生物学のフィードバック 【授業方法】講義・評価試験・フィードバック 【復習】20 分 内容 感染症に対する考え方を総合的に理解する

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

増澤俊幸：感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学．羊土社，2020．

参考文献

なし

評価方法

小テスト（小単元毎に知識確認を行う）を3回（第5回、8回、11回）で行い、その結果を踏まえ、授業への取り組みを評価（30％）全体を通した知識確認評価テスト1回（第15回（60％）
知識確認が不十分な場合の課題（10％）

本科目で取得が望ましい点数

70点以上

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

細菌感染を中心とした微生物研究と、福岡赤十字病院で感染症科としての診療、感染対策を12年間行ってきた教員が、その経験を活かして国内外の感染症の現状や感染症の原因となる病原微生物について紹介すると共に、感染症発症に際してのヒトの感染防御機構の関連、ならびに感染性疾患の病態、治療、予防と感染対策について講義します。

メッセージ

医療現場での経験を交えて、皆さんが今後の実習だけでなく就業後にも役立つ知識を習得していただけるように心がけています。

生物

更新日：2025/02/28 14:05:17

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100130	授業コード	A100130
担当教員	野黒美 俊介						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (15)
	備考(配当)					

授業の目的

ヒトの構造や機能の理解において基礎的知識となる生物学を通して、ヒトの構成について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	体内環境が維持されるしくみについて説明できる。
2	刺激の受容から行動までのしくみについて説明できる。
3	生殖と発生のしくみについて説明できる。

授業計画

1	体内環境の維持（1）血液循環・血液凝固 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
2	体内環境の維持（2）免疫 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
3	体内環境の維持（3）肝臓・腎臓 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
4	体内環境の維持（4）自律神経系・内分泌系 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
5	動物の反応と行動（1）受容器 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
6	動物の反応と行動（2）神経系・効果器 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
7	生殖と発生（1）減数分裂・遺伝 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
8	生殖と発生（2）配偶子形成・受精と発生，評価試験・フィードバック 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

高畑 雅一 他：生物学 第10版.医学書院,2019.

参考文献

なし

評価方法

評価試験100%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

大手予備校から医進系の中小予備校まで，大学受験生物の指導を専門とした授業をしています。

メッセージ

高校生生物の範囲に絞った授業を行っていきますので，大学での専門的な学習に入る前の準備としてこの授業で生物の基本を身に付けてください。

化学

更新日：2025/02/25 13:01:55

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100140	授業コード	A100140
担当教員	伊藤 克治						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

ヒトの構造や機能の理解において基礎的知識となる化学を通して、ヒトの構成について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	物質の性質や変化をもとに，原子の構造や化学結合，化学変化等の基礎知識を説明できる。
2	中和反応や酸化還元反応などの基本的な化学反応について説明できる。

授業計画

1	物質の三態、原子とその構造 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：物質の三態，原子とその構造，同位体，電子配置に関してテキストや参考文献に目を通しておく 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
2	化学結合・レポートに対するFB・小テスト 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：イオン結合，共有結合等の化学結合に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
3	物質量と溶液の濃度・レポートに対するFB 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：物質量と溶液の濃度に関してテキストや参考文献に目を通しておく 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
4	化学反応式とその量的関係・レポートに対するFB・小テスト 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：化学反応式とその量的関係に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
5	酸と塩基、中和反応(1)・レポートに対するFB 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸と塩基の定義，中和反応に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
6	酸と塩基、中和反応(2)・レポートに対するFB・小テスト 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：塩の性質，水溶液のpHに関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
7	酸化還元反応(1)・レポートに対するFB 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸化還元反応の定義，酸化剤や還元剤の定義に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。
8	酸化還元反応(2)・レポートに対するFB・小テスト 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸化還元反応に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：レポート作成の中で講義で取り扱った演習問題を再度解く。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

授業内容に関するプリントを配布します。

参考文献

参考文献は適宜紹介します。また，高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にしてください。

評価方法

偶数回に行う評価試験（小テスト4回） 60％
各回で課す小レポート 40％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

文部科学省から指定されたスーパーサイエンスハイスクール（SSH）２校における課題研究指導や評価の経験を活かして，グループワークも含めて探究的に学ぶ手法について，高等学校での実践例を挙げながら授業を行います。

メッセージ

私たちの身体をはじめ，身の回りにある物質は全て原子・分子からできているので，その性質や反応は化学で説明することができます。高校までの化学に対して，何か難しいイメージや苦手意識をもっている人でも，友達と意見交換しながら楽しく学ぶことができるように，身近なものや，看護や医療に関係するものを紹介しながら授業を行います。この授業で学んだことは，この後の専門的な内容を理解するための助けになります。ぜひ，楽しんで授業を受けてください。

運動科学

更新日：2025/02/25 10:41:19

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100150	授業コード	C100150
担当教員	樋口 善之						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

運動・スポーツに関する基本的な実践を学び、生涯の健康増進に役立つ知識、教養、態度を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	演習を通してスポーツや身体運動時のメカニズムや機能に関する理論、その実施方法を身につけ、運動と健康の関連についての確に意味づけることができる。
2	他者への運動支援を想定した運動・スポーツの具体的計画を立て、実践することが出来る

授業計画

1	オリエンテーションー運動、スポーツの捉え方 【授業方法】 講義 【予習】 45分 内容：シラバスの確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
2	運動機能演習①ーレクリエーション・スポーツ 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
3	運動機能演習①ーバレーボール 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：バレーボールのルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
4	運動機能演習②ーバレーボール 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
5	運動機能演習③ー卓球 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：卓球のルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
6	運動機能演習④ー卓球 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
7	運動機能演習⑤ーバドミントン 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：バドミントンのルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
8	運動機能演習⑥ーバドミントン 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認
9	運動機能演習⑦ーレクリエーション・スポーツ 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：レクリエーション・スポーツの意義等を調べる 【復習】 45分 内容：授業内容の確認

10	運動と計画 【授業方法】 講義・演習（実技）、GW 【予習】 45分 内容：運動の計画について考えてくる 【復習】 45分 内容：自分たちの運動計画の確認
11	運動の計画と支援① 【授業方法】 講義・演習（実技、体験学修） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り
12	運動の計画と支援② 【授業方法】 講義・演習（実技、体験学修） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り
13	運動の計画と支援③ 【授業方法】 講義・演習（実技、体験学修） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り
14	運動と運動の計画と支援④ 【授業方法】 講義・演習（実技、体験学修） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り
15	総括（フィードバック） 【授業方法】 講義 【予習】 45分 内容：シラバスやこれまでの授業計画を振り返る 【復習】 45分 内容：授業全体の振り返り

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

九州大学健康科学センター編：実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学．大修館書店，2008．
 東京大学身体運動科学研究室編：教養としての身体運動・健康科学．東京大学出版会，2009．

評価方法

授業参加度40％ レポート60％（運動計画と振り返り30％，運動と健康についての理解30％）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

メッセージ

実技・演習を通じて運動機能やスポーツ実践について理解を深めてもらいたい。
 活動時は楽しく安全に行うため，運動に適した服装等の準備，注意事項の遵守をお願いしたい。

心理学

更新日：2025/03/04 10:48:14

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100160	授業コード	B100160
担当教員	熊木 悠人						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

人格の発達を含む人間の心理を理解するための理論、概念、方法を学習し、保健医療における各種場面の心理学的な援助について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成する**DP**の力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	人間の健全な心の働きや発達について理解できる。
2	現代社会における心の健康と諸問題について理解できる。

授業計画

1	心の生物学的基盤 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
2	心の発達 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
3	感覚と知覚 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
4	情動と動機付け 【授業方法】講義 【復習】40分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
5	記憶 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
6	推論と意志決定 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
7	社会と心 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示
8	心の健康と心理療法（全体振り返り：フィードバック）・評価（筆記）試験 【授業方法】講義 【復習】50分 内容 授業の内容全体を振り返り、疑問点等をまとめる。 ※Microsoft Teamsを使っての復習課題提示

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特になし

参考文献

特になし

評価方法

毎回の提出物への評価 40%、評価試験 60%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（Microsoft Teamsを活用した自主学習支援を行う。）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

患者さんのケアや心理療法の理解、子どもの心の発達理解など、医療現場でも役立てることのできる心理学の授業を目指します。あわせて、心の仕組みを基礎から学ぶことで、ヒトという動物や自分自身を見つめ直す機会にいただければと思います。

生命倫理

更新日：2025/03/05 11:37:37

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100170	授業コード	C100170
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)
	備考(配当)					

授業の目的

生命倫理の発展と基本となる考え方を理解し、いのちに関わる人間の行為についての倫理的問題を多角的に捉え、考える力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	生命倫理の4原則について説明できる。
2	生命倫理問題について向き合い、自らの倫理観について述べることができる。
3	生命倫理に関わる社会的動向、問題に関心を持つことができる。
4	生命、健康、人間の尊厳について考えることができる。

授業計画

1	生命倫理の講義において理解しておくべき基礎的知識（基本概念、4原則） 生命倫理を理解するための概要 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト序章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
2	医学・医療の発展と生命倫理の歴史的展開 生命倫理を理解するための概要 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第1章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
3	生命の始まりをめぐる諸問題① 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第2章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
4	生命の始まりをめぐる諸問題② 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第3章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
5	生命の始まりをめぐる諸問題③ いのちの選択について 【授業方法】講義 【予習】40分 課題について 【復習】20分 小課題提出
6	医療資源の配分 限りある医療資源と公平な配分について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第11章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
7	インフォームドコンセント 患者の自己決定権について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第10章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出

8	プライバシーと守秘義務 患者の自己情報コントロールする権利について 個人情報保護法を含む 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第10章・第13章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
9	性に関わる諸問題 ジェンダーと倫理について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第3章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
10	生命の終わりをめぐる諸問題① 人生の最終段階の迎え方について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第8章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
11	生命の終わりをめぐる諸問題② 人生の最終段階の迎え方について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第9章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
12	生命の終わりをめぐる諸問題③ いのちの選択について 【授業方法】講義 【予習】40分 課題について 【復習】20分 小課題提出
13	医学研究の倫理 医学研究における倫理について（歴史的背景を踏まえて） 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第5章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
14	エンハンスと新優生学 最先端の技術と人体改造について 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第12章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出
15	今後の医療のあり方について 生命倫理の学習を看護に活かす フィードバック 【授業方法】講義 【予習】40分 テキスト第14章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出

指導教員

先行履修要件科目

特になし

テキスト

玉井真理子・大谷いづみ：初めて出会う生命倫理．有斐閣，2011．

参考文献

黒崎剛・野村敏明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014.
 小林亜津子：看護が直面する11のモラル・ジレンマ．ナカニシヤ出版，2010.
 他、随時紹介する。

評価方法

評価試験：小テスト（30％）、参加度（20％）第15回講義内期末テスト（50％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

日本生命倫理学会、日本医学哲学倫理学会、九州医学哲学倫理学会、日本看護倫理学会 会員
 A医療施設内倫理審査委員会委員 近時の議論状況を踏まえ、講義内容を更新する。

メッセージ

看護の対象では「人」です。科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮はどのようなものでなぜ必要なのでしょう。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の

気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い倫理観を育てるよう積極的に参加してください。

日本国憲法

更新日：2025/03/05 11:35:31

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100180	授業コード	B100020
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

法と国家また社会の関係を理解し、日本国憲法の理念や構成を理解し、現代社会における様々な法関係に対応できる力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	憲法の全体像をつかみ、基本的な用語と考え方を説明できる。
2	立憲主義の思考や成立過程を説明できる。
3	日本国憲法制定の背景やその内容について説明できる。
4	法的なものの見方を習得できる。
5	社会の仕組みや社会の出来事に関心を持ち、憲法の理念、制度と結びつけて、考えを述べることができる。

授業計画

1	憲法とは何か、憲法の位置づけ 【授業方法】：講義（テキスト第0章） 【予習】30分：ニュースや新聞等で憲法的话题を1つ取り上げ要点を整理する。 【復習】20分：講義内容を振り返る。
2	日本国憲法の基本原理と基本構造 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第1章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
3	天皇 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第2章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
4	人権保障とその限界 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第4章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
5	信教の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第5章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
6	表現の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第6章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
7	婚姻の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第7章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
8	学問の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第8章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。

9	社会権と生存権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第9章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
10	国会と参政権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第10章第11章読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
11	内閣と行政機構 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第12章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
12	司法と裁判制度 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第13章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
13	地方自治 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第14章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
14	平和主義 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第3章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。
15	憲法改正 【授業方法】：講義、フィードバック 【予習】30分：テキスト第15章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

毛利徹：グラフィック憲法入門第3版．新世社，2024．

参考文献

適時指定する。

評価方法

毎回小テスト（40％）、期末テスト（60％）第13回 講義内に行います。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

日本公法学会、九州法学会所属 近時の議論状況を取り入れ講義内容を更新する。

メッセージ

法の学習は、条文を覚えることと思いませんか。一人で生きていくことができれば法は必要ないかもしれません。しかし、多くの人とともに生きるには、決まりごとを決めておくが必要になります。無用な争いを避けるため、また争いが生じたときに解決するため、法はそのための道具です。その道具の中で、社会の根幹を決めているのが憲法です。社会の中で身近に起こる様々な問題を例に法を学んでみませんか。多くの法律の根拠となる日本国憲法は、何であるか、そして何が書かれているのか、一緒に考えてみませんか。日本国憲法の改正の是非が議論されています。答えとこれからの未来は、皆さんの憲法に対する理解と自らの権利を守るという意思にかかっています。

社会保障制度論

更新日：2025/02/25 14:46:47

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100200	授業コード	
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

社会保障の理念と制度を体系的に学び、保健・医療・福祉の現状と課題を学ぶとともに、医療・保健の担い手として活用できる法と制度を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：保健医療福祉行政論

本科目で育成するDPの力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	社会保障の目的と機能、歴史的変遷について説明できる。
2	保健・医療・福祉に関する社会資源の活用方法と法的根拠について説明できる。
3	医療保険制度と介護保険制度について説明できる。
4	社会福祉と社会保障の諸制度と日々の生活との関連について説明できる。
5	現代社会の変化と社会保障制度の動向から今後の社会保障制度のあり方について、考えを述べることができる。

授業計画

1	現代社会の変化と社会保障の動向 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p12-58（現代社会と社会福祉）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて社会保障の目的と機能、社会保障の動向について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
2	社会資源の活用と法的根拠 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p60-94（社会福祉のしくみ）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて社会福祉と看護の連携、社会資源の活用方法について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
3	社会保険（1）医療保険制度① 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p220-232（医療保険制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて医療保険制度の体系としくみについて理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
4	社会保険（2）医療保険制度②、年金制度、小テスト① 【授業方法】講義（ICT双）、小テスト① 【予習】30分：健康支援と社会保障③p233-237（医療保険制度）、健康支援と社会保障③p212-219（年金制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて高齢者医療制度、年金制度について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
5	社会保険（3）介護保険制度① 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p238-252（介護保険制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて介護保険制度のしくみについて理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
6	社会保険（4）介護保険制度② 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p238-252（介護保険制度） 【復習】30分：教科書と資料にて介護保険制度の主なサービス内容について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
7	社会保険（5）雇用保険制度・労災保険制度 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p252-266（雇用保険制度・労災保険制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて雇用保険制度・労災保険制度について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

8	公的扶助制度：生活保護制度や生活困窮者対策 【授業方法】講義（ICT支援）、小テスト② 【予習】30分：健康支援と社会保障③p194-210（貧困に対する支援）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて生活保護制度や生活困窮者対策について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
9	評価試験①、生活と福祉（１） 【授業方法】講義（PBL、ICT双） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p268-290（生活と福祉）を熟読する。ALSの病態・症状・治療・看護について学習する。 【担当】西村
10	生活と福祉（２） 【授業方法】講義（PBL、ICT双） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p268-290（生活と福祉）を熟読する。ALSの病態・症状・治療・看護について学習する。 【課題レポート】ALS患者の生活と支援の現状と課題について自分の考えをまとめる。 【担当】西村
11	社会福祉実践 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p94-125（社会福祉のしくみ、地域福祉の推進）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて社会福祉のしくみ、地域福祉について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村、ゲストスピーカー
12	対象別にみた社会福祉と社会保障（１）障害児・者の福祉の現状と課題 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p151-173（対象別にみた社会福祉）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて障害児者の現状と課題について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
13	対象別にみた社会福祉と社会保障（２）子どもを取り巻く保健・医療・福祉の現状と課題 【授業方法】講義（ICT支援）、小テスト③ 【予習】30分：健康支援と社会保障③p128-151（対象別にみた社会福祉）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて子どもを取り巻く保健・医療・福祉の現状と課題について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
14	対象別にみた社会福祉と社会保障（３）高齢者の保健・医療・福祉の現状と課題 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：健康支援と社会保障③p173-192（対象別にみた社会福祉）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて高齢者の保健・医療・福祉の現状と課題について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
15	評価試験②、まとめ、評価試験・小テスト・課題レポートに関するフィードバック 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験②、評価試験・小テストに関するフィードバック 【復習】30分：教科書と資料にて今後の社会保障制度のあり方について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

増田雅暢，他：ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障③ 社会福祉と社会保障，メディカ出版，2025．

参考文献

平野かよこ，他：ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障①健康と社会・生活，メディカ出版，2024．
石田千絵，他：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア，メディカ出版，2025．
太田勝正，他：エッセンシャル看護情報学 2024年版，医歯薬出版，2024

評価方法

評価試験50％（第9回20％、第15回30％）
小テスト30％：3回（第4回、第8回、第13回）×10％
課題レポート10％（第10回）
参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

病院（病棟や外来）や地域（NPO法人）等で看護師として実務経験のある教員が、地域で暮らすさまざまな背景をもつ患者との関わりや保健・医療・福祉の機関や職種との連携の経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

地域で暮らす人々の生活を支える社会保障に関する法律・制度のしくみや社会資源を理解し、医療・保健の担い手として看護活動に生かせるよう学習していきましょう。ひとりを看る目、世界をみる目を育ててください。

疫学

更新日：2025/03/05 13:55:40

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100210	授業コード	
担当教員	緒方 文子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎についても理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

別表1：疫学

本科目で育成する**DP**の力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	疫学指標の意義を理解し、適切に使用することができる。
2	相関関係と因果関係を区別し、因果関係の立証過程を説明できる。
3	横断研究・症例対照研究・コホート研究などの方法を課題に応じて説明できる。
4	介入研究の方法を課題に応じて説明できる。
5	スクリーニングの考え方を理解し、適切に説明できる。
6	疫学的視点で、看護領域における課題を具体的な場面に応じて説明できる

授業計画

1	疫学の概念 【授業方法】ガイダンス、講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の1章（疫学の概念）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
2	集団の健康状態の把握① 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
3	集団の健康状態の把握② 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
4	集団の健康状態の把握③ 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
5	疫学的研究方法① 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
6	疫学的研究手法② 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
7	疫学的研究手法③ 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
8	疾病の予防とスクリーニング① 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。

9	疾病の予防とスクリーニング② 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
10	疾病の予防とスクリーニング③ 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
11	疾病登録 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の5章（疾病登録）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
12	おもな疾患・生活習慣の疫学① 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の6章（おもな疾患・生活習慣の疫学）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
13	おもな疾患の疫学② 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の6章（おもな疾患・生活習慣の疫学）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
14	疫学と公衆衛生看護 【授業方法】講義、討議（ICT支援） 【予習】30分：教科書の7章（疫学と公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：Moodleの復習用教材を確認し、講義内容を復習する。
15	評価試験、フィードバック 【授業方法】評価試験、フィードバック 【予習】60分：テキスト及び過去14回の講義資料に目を通す。 【復習】30分：フィードバック受けた内容を復習する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

宮松直美他：標準保健師講座4 疫学・保健統計学．医学書院，2025．

参考文献

- ・厚生労働統計協会編：厚生指の指標 増刊，国民衛生の動向2024/2025，2024．
- ・中村好一著：基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版．医学書院，2020．
- ・尾島俊之 他：保健学講座4 疫学・保健統計学〔電子版〕．メヂカルフレンド社．2022．
- ・柳川洋編集：疫学マニュアル 改訂7版．南山堂，2012．
- ・大木秀一著：基礎からわかる 看護疫学入門 第3版．医歯薬出版株式会社，2017．
- ・日本疫学会監修：はじめて学ぶやさしい疫学～疫学への招待～改訂第4版．南江堂，2024．

評価方法

第1～14回で行う評価試験42％（課題レポート14回：1回あたり3％）、第15回の評価試験（筆記試験）48％、授業参加度10％、

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

メッセージ

疫学は単に研究について学ぶ学問ではなく、看護師や保健師の業務でも必須な学問です。疫学研究で得られた知見を科学的根拠（エビデンス）と呼び、臨床ではエビデンスに基づいた看護実践が求められます。また疫学を学ぶと物事を論理的に考え、数値を正しく理解できることにつながりますので、本講義で疫学の基礎をしっかりと学んでおきましょう。

保健統計学

更新日：2025/02/14 14:25:54

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100220	授業コード	A100220
担当教員	中山 晃志						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

病気の予防や健康増進を図るために行われる保健統計調査の概念と方法などの基本を理解したうえで、各種調査から得られる保健指標について正しい情報を修得する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

別表1：保健統計学

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	日本における人口に関する統計および指標について特徴や傾向を理解し、説明することができる。
2	日本における出生や死亡などに関する統計および指標について特徴や傾向を理解し、説明することができる。
3	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査について特徴を説明することができる。
4	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査で得られる保健指標について説明することができる。

授業計画

1	保健統計の概要と用語、統計資料（データ、図表）の見方 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】20分：前期「統計学」で学んだ図表に関して見直しておく 【復習】20分：用語の意味や使い方について理解する
2	人口静態統計 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：人口に関わる統計の種類や人口構成について用語、値、傾向などを理解する
3	人口動態統計と生命表 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：人口動態（死亡、出生、死産、婚姻、離婚）および生命表について用語、値、傾向などを理解する
4	主な疾患の死亡統計 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：年齢階級別の死因順位や疾患による死亡の特徴や傾向などについて理解する
5	基幹統計 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査などの基幹統計について特徴や動向などを理解する
6	基礎的な統計調査 他 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：国民健康・栄養調査や国民医療費などについて特徴や動向などを理解する
7	保健統計調査の振り返り 【授業方法】演習（調査学修） 【予習】30分：様々な統計調査の概要や保健指標について整理しておく 【復習】30分：講義を受けて理解の不足点を確認し、振り返りを行う
8	保健統計のまとめ（評価試験） ， 評価試験に対するFB 【授業方法】演習〔評価試験〕 【予習】50分：これまでの内容で理解できていない部分を重点的に学修する 【復習】20分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

白戸亮吉，鈴木研太：ていねいな保健統計学（第2版）．羊土社，2022．
厚生労働統計協会編：国民衛生の動向 2025/2026．厚生労働統計協会，2025．

参考文献

福富和夫，橋本修二：保健統計・疫学（改訂7版）．南山堂，2023．

評価方法

第1回から第6回に行う評価試験 20%（小テスト 6回：20%）
第8回に行う評価試験 80%（筆記試験）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレット端末を活用した授業を行う）
ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

講義内で出てきた様々な調査の特徴や保健指標を自分で表にまとめるなどして，調査や指標について整理するよう復習をしてください。

人間関係論

更新日：2025/02/28 12:32:28

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100230	授業コード	A100230
担当教員	植村 善太郎						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)
	備考(配当)					

授業の目的

人間社会を形成する人と人との関係について理解し、対人関係づくりに必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成する**DP**の力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	人間のコミュニケーションについて理解できる。
2	受容的、共感的関わり方のスキルについて理解できる。
3	チームの人間関係について理解できる。

授業計画

1	人間関係とは 【授業方法】講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
2	人間関係の構築について 【授業方法】講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
3	他者との信頼関係・依存関係① 【授業方法】講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
4	他者との信頼関係・依存関係② 【授業方法】講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
5	自己について① 【授業方法】講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
6	自己について② 【授業方法】講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
7	他者理解について① 【授業方法】講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
8	他者理解について② 【授業方法】講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
9	チームでの行動におけるダイナミックス① 【授業方法】講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習

10	チームでの行動におけるダイナミックス② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
11	コミュニケーション① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
12	コミュニケーション② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
13	患者との人間関係 【授業方法】 講義と演習（体育館） 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
14	危機対処時の人間関係 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習
15	まとめ、フィードバック 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

参考文献

山蔦圭輔・本田周二：メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論. 南山堂 2021
西口利文・植村善太郎・伊藤崇達：グループディスカッション 心理学から考える活性化の方法. 金子書房 2020

評価方法

毎回の授業時、授業後に行う課題やワークシート（10点×8回）（80％）と期末課題（20％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

特になし

担当する教員等の実務経験

メッセージ

教室外での演習もあるので、動きやすい服装で参加して下さい。

教育学

更新日：2025/02/28 15:17:15

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100240	授業コード	A100240
担当教員	川口 俊明						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の生涯発達という視点から人間の成長・発達を理解し、教育の果たす役割について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	教育学の基礎的な知識／考え方を習得できる。
2	現代日本の学校・教育の在り方について、批判的に考えることができる。

授業計画

1	授業内容と受講上の諸注意 【授業方法】講義 【予習】30分：シラバスを読み、テキストを確認する
2	教育格差（1） 社会経済的地位 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
3	教育格差（2） 子どもの貧困 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
4	教育格差（3） デジタル化 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
5	教育格差（4） ジェンダー 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
6	教育格差（5） 国籍・日本語教育 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
7	英語教育 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
8	共通テスト 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
9	EdTech 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
10	9月入学論 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
11	学費 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
12	教員の働き方 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる
13	審議会 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（3章の後半）をもとに、日本の学校について自身の考えを書く

14	全国学力テスト 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（全体）を読み，わからないところをまとめる
15	授業の総括（フィードバック） 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み，わからないところをまとめる

指導教員

川口 俊明

先行履修要件科目

なし

テキスト

松岡亮二編著：教育論の新常識 格差・学力・政策・未来，中公新書ラクレ，2021.

参考文献

授業中に紹介する。

評価方法

講義内で指示される課題の提出状況および質（70%） 発言や議論への参加など授業への貢献（30%）
※詳細は講義内で指示する
※最終試験・レポートなどは課さない

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

授業では，Microsoft Teams等を活用する予定です。インターネットに接続できるタブレットか，ノートパソコンを用意してください。

担当する教員等の実務経験

メッセージ

『教育学』と聞いてもピンとこないかもしれませんが，人と向き合うという点で，看護と教育には共通点があります。教育の視点から日本社会を見つめてみると，看護現場や将来の医療に役立つ新たな発見が得られるはずです。

社会学

更新日：2025/02/25 09:07:55

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100250	授業コード	D100250
担当教員	谷本 純一						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

社会学の基本的な考え方、概念、方法について学び、人と文化、社会とのかかわり、人びとの社会生活のあり方について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	人間が社会的存在であるとは何か、個人とは何かを考えることができる。
2	個人と社会との相互作用の諸相を理解することができる。
3	個人（自分）を取り巻く今日的課題の多様性を把握することができる。

授業計画

1	科学としての社会学ー社会学の原理・基礎理論 【授業方法】講義 【授業内容】社会学の目的 【復習】80分：社会学の目的と位置づけについて理解する。
2	科学としての社会学ー社会学の原理・基礎理論 【授業方法】講義 【授業内容】社会学の目的 【復習】80分：社会学の目的と位置づけについて理解する。
3	古典社会学：マルクスとウェーバー 【授業方法】講義 【授業内容】マルクスによる近代認識とウェーバーの官僚制理解について 【復習】80分：マルクスとウェーバーの社会学史上における意味を確認する。
4	古典社会学：マルクスとウェーバー 【授業方法】講義 【授業内容】マルクスによる近代認識とウェーバーの官僚制理解について 【復習】80分：マルクスとウェーバーの社会学史上における意味を確認する。
5	ステレオタイプについてーリップマン『世論』を中心に 【授業方法】講義 【授業内容】リップマンを中心にステレオタイプや偏見について 【復習】80分：ステレオタイプや偏見と差別との関連性を確認する。
6	ステレオタイプについてーリップマン『世論』を中心に 【授業方法】講義 【授業内容】リップマンを中心にステレオタイプや偏見について 【復習】80分：ステレオタイプや偏見と差別との関連性を確認する。
7	構造としての権力ーフーコーの「生ー権力」論 【授業方法】講義 【授業内容】権力論全般とフーコーの権力論について 【復習】80分：権力の社会的機能、特に福祉国家との関係について確認する。
8	構造としての権力ーフーコーの「生ー権力」論 【授業方法】講義 【授業内容】権力論全般とフーコーの権力論について 【復習】80分：権力の社会的機能、特に福祉国家との関係について確認する。
9	アガンベンの「ホモ・サケル」ー臓器移植と社会学 【授業方法】講義 【授業内容】アガンベンの「ホモ・サケル」および例外状態論について 【復習】80分：医療問題にとどまらない、臓器移植の社会学的意味を確認する。

10	アガンベンの「ホモ・サケル」ー臓器移植と社会学 【授業方法】講義 【授業内容】アガンベンの「ホモ・サケル」および例外状態論について 【復習】80分：医療問題にとどまらない、臓器移植の社会的意味を確認する。
11	公共性①アレントの「公的領域」 【授業方法】講義 【授業内容】アレントの「公的領域」と「私的領域」の区別について 【復習】80分：アレントの「公的領域」と現代社会との差異を確認する。
12	公共性②ハーバーマスの公共性論 【授業方法】講義 【授業内容】ハーバーマスの公共性論について 【復習】80分：ハーバーマスの公共性論におけるコミュニケーションの意味を確認する。
13	ウォーラーステインの世界システム論 【授業方法】講義 【授業内容】ウォーラーステインの世界システム論について 【復習】80分：世界システム論概論を確認する。
14	ウォーラーステインの世界システム論 【授業方法】講義 【授業内容】ウォーラーステインの世界システム論について 【復習】80分：ウォーラーステインの世界システム論を確認する。
15	フィードバック（社会学の基礎概念の整理と個人を取り巻く現代的課題再考）　まとめで 【授業方法】講義 【授業内容】まとめ 【予習】40分：授業内容をもとに、社会的知識と現代的課題との関連について考える。 【復習】40分：授業内容をもとに、自らと社会との関連について考える。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。その他必要に応じて資料を適宜示す。

参考文献

井上俊・大村英昭『社会学入門』改定版　放送大学教育振興会、1993年。
長谷川公一他『新版　社会学』有斐閣、2019年。
その他適宜紹介する。

評価方法

授業参加度20％　授業内での評価試験80％

本科目で取得が望ましい点数

75点以上

ICTの活用・教育リソース

特になし

担当する教員等の実務経験

メッセージ

人々の相互作用とコミュニケーションによって形成されるのが「社会」です。コミュニケーションの不足・不在が様々な社会問題の要因となっていると言っても過言ではありません。

統計学

更新日：2025/01/15 09:35:35

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100260	授業コード	
担当教員	中山 晃志						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するための基本的な概念と手法を学修し、科学的に評価できる視点を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

別表1：保健統計学

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】

自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる。
2	データ間の関連について記述方法を理解し、図表や統計値を用いて適切に表現することができる。
3	統計検定の流れについて意味を理解したうえで、正しい検定結果の解釈ができる。
4	統計検定の目的を踏まえて、適切な検定手法を選ぶことができる。

授業計画

1	母集団と標本（記述統計と推測統計），データの種類 【授業方法】講義，演習 【復習】30分：統計学の概要とデータの種類について理解する
2	1 変数データの記述 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：集計データの記述方法（図表）について理解する
3	1 変数データの記述－代表値 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：データの特性を表す「代表値」について理解する
4	1 変数データの記述－散布度 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：データの特性を表す「散布度」について理解する
5	2 変数データの記述－量×量－ 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：2つの量的データを同時に記述したり，関連性を調べる方法を理解する
6	2 変数データの記述－質×質 他－ 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：2つの質的データを同時に記述したり，関連性を調べる方法を理解する
7	記述統計のまとめ（評価試験） 【授業方法】演習〔評価試験〕 【予習】50分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する 【復習】20分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る
8	評価試験に対するFB，確率・確率分布 【授業方法】講義，演習 【復習】30分：推測統計を考えるうえで必要となる確率・確率分布について理解する
9	推定論 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：推定論の概要を理解する

10	検定の流れ 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：検定論の基本となる「検定の流れ」について理解し，正しい結果の解釈ができるようにする
11	検定手法各論(1) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する
12	検定手法各論(2) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する
13	検定手法各論(3) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する
14	推測統計の振り返り 【授業方法】演習 【予習】20分：推測統計について整理する 【復習】30分：講義を受けて理解の不足点を確認し，振り返りを行う
15	推測統計のまとめ（評価試験），評価試験に対する FB 【授業方法】演習〔評価試験〕 【予習】50分：これまでの内容で理解できていない部分を重点的に学修する 【復習】20分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

白戸亮吉，鈴木研太：ていねいな保健統計学（第2版）．羊土社，2022．

参考文献

稲葉由之：プレステップ統計学Ⅰ 記述統計学（第2版）．弘文堂，2024．

評価方法

第7回に行う評価試験 50％（筆記試験）
第15回に行う評価試験 50％（筆記試験）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

メッセージ

毎回の講義内容が連続しています。講義で出てきた用語や流れなどはしっかり復習し、理解するようにしてください。

哲学

更新日：2025/02/25 09:08:48

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100270	授業コード	
担当教員	松井 貴英						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の在り方、また存在や認識に関する哲学における根本的な問題について、「じっくり」と、そして「しっかりと」哲学的に考え、論理的思考力、概念を正しく理解する能力、単眼的かつ一面的な思考ではなく複眼的かつ多面的な思考の能力を養うことを目指す。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】
自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	哲学における様々な概念について、その意味を理解できる。
2	哲学における概念や思想を、自分の現実の問題としてフィードバックできる。
3	様々な問題に関して、文脈に即しつつ多面的に考えることができる。
4	適切な根拠や理由を示すことができる。

授業計画

1	イントロダクション「哲学における考察とはどのようなものか」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書を全体を通して目を通す。 【復習】 45分 内容 授業の概略およびこの授業で学ぶ内容について理解し説明できるようにする。
2	プラトン『メノン』 徳を定義することについて 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書のプラトン『メノン』の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
3	プラトン『ゴルギアス』 弁論術と哲学の違いについて 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書プラトン『ゴルギアス』の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
4	デカルトの方法的懐疑について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の「デカルト」の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
5	アーレント「孤独」と「独りぼっち」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の「アーレント」の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
6	【主体】デカルトにおける「われ思うゆえにわれあり」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の27頁～「主体」の章のデカルト『省察』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
7	【知覚】パークリにおける「存在するとは知覚されること」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の32頁～の「知覚」の章のパークリ『人知原理論』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
8	【他者】ハイデガー、レヴィナスにおける「他者」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の38頁～の「他者」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
9	【欲望】（その1）快楽主義について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の45頁～の「欲望」の章のプラトン『ピレボス』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。

10	【欲望】（その2）ピコにおける「人間の尊厳」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の45頁～の「欲望」の章のピコ『人間の尊厳について』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
11	【存在と時間】アウグスティヌス、ベルクソンの時間論について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の51頁～の「存在と時間」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
12	【言語】哲学において「言語」はどのようなものと考えられるか 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の57頁～の「言語」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
13	【芸術】芸術作品の美しさは万人共通であるかという問題について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の63頁～の「芸術」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
14	【歴史】歴史的出来事を語るとは、どのようなことなのだろうか 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の76頁～の「芸術」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。
15	【物質と精神】哲学における「存在」の問題について～まとめにかえて（フィードバック） 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の97頁～の「物質と精神」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

曾我千亜紀・松井貴英・三浦隆宏・吉田寛『フランス・パカロレア式 書く！ 哲学入門』ナカニシヤ出版（ISBN13：978-4-7795-1495-1）2021

参考文献

授業の中で適宜紹介する。

評価方法

授業参加度50％ 課題レポート50％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

特になし

担当する教員等の実務経験

メッセージ

哲学は難しいものだと感じる人も多いと思います。そんな「"難しい" 哲学」を、できる限り「"明るく楽しく興味深い" 哲学」というスタンスで授業していくつもりです。また、レポート作成のために必要な論理的な文章の作成の方法やコツについても説明していく予定です。最後まで頑張って授業を受けてくださいね！

人間工学

更新日：2025/02/25 09:13:03

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100280	授業コード	C100280
担当教員	香川 治美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)
	備考(配当)					

授業の目的

患者、看護両者の安全、安楽を確保するために、人間工学の知識と技術を応用して環境整備する方法について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】

自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	人間工学の視点から、看護環境を向上させるための技術について考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる
2	人間工学の視点から、看護のQOLを向上させるための技術について考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる
3	客観的なデータをもとに、看護環境とQOLを質的かつ量的に向上させるための技術を考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる

授業計画

1	人間工学の方法論 【授業方法】講義 【予習・復習】30分 人間工学の方法論を纏める。
2	日常生活行動と環境 【授業方法】実習（GW、発表） 【復習】30分 生活行動に対する環境を把握する。
3	データの種類とまとめ方 【授業方法】演習 【復習】30分 データの種類とまとめ方に関する練習問題を解く。
4	生活行動に対する環境の調査方法 【授業方法】講義 【復習】30分 生活行動に対する環境を把握するための方法を纏める。
5	生活行動に対する環境の調査 【授業方法】実習（調査、計測と体感、発表） 【復習】30分 計測により得られたデータをチームで共有できるように纏める。
6	時系列データの把握 【授業方法】演習（表計算ソフトを利用） 【復習】30分 時系列データを把握するための練習問題を解く。

7	生活行動に対する状況点検方法 【授業方法】講義 【復習】30分 状況を把握するための調査方法を纏める。
8	生活行動に対する状況点検 【授業方法】実習（車椅子等を利用する、GW、体験） 【復習】30分 状況点検により得られた情報をチーム共有できるように纏める。
9	データのばらつき 【授業方法】演習（表計算ソフトを利用） 【復習】30分 データのばらつきに関する練習問題を解く。
10	生活行動に対する環境物理の調査方法 【授業方法】講義 【復習】30分 環境をデータで把握するための調査方法を纏める。
11	生活行動に対する環境物理の調査 【授業方法】実習（調査、計測と体感） 【復習】30分 計測により得られたデータをチームで共有できるように纏める。
12	データの相関 【授業方法】演習（表計算ソフトを利用） 【復習】30分 データの相関に関する練習問題を解く。
13	生活行動に対する環境・状況・環境物理の調査結果 【授業方法】グループ演習（GW） 【予習】30分 生活行動に対する環境・状況・環境物理の調査結果についての考察をまとめる。
14	生活行動に対する環境・状況・環境物理の調査結果の考察 【授業方法】グループ討議（GW、討議） 【予習】30分 生活行動に対する環境・状況・環境物理の調査結果についての説明資料を纏める。
15	生活行動に対する看護環境改善の提案 【授業方法】グループ演習（PBL）/フィードバック 【復習】30分 人患者、看護両者の安全、安楽を確保するために、人間工学の知識と技術を応用する方法について纏める。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

大河原千鶴子・酒井一博：『ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学』、医歯薬出版株式会社、2002
白戸亮吉・鈴木研太：『ていねいな保健統計学 第2版』、株式会社羊土社、2022

参考文献

平田雅子：『ベッドサイドを科学する－看護に生かす物理学 改訂第4版』、株式会社学研メディカル秀潤社、2021
柳川洋 他『社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年版』、医歯薬出版株式会社、2023

評価方法

毎回の授業の提出物に対する評価（75点＝5点×15回）
グループ発表に対する評価（25点＝5点×5回）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、WEBサイト教材等を活用した授業、自主学習支援を行う。
ICT双方向型授業：発表時タブレット等の画面のミラーリングを活用した講義を行う。
学内の室内環境（例えば体育館等）で車椅子等を利用した講義を行う。
データに基づいた考察のために、表計算ソフトを活用した講義を行う。

担当する教員等の実務経験

住居学に関する家政学系大学ならびに建築環境・設備に関する工学系大学院で学び、博士（工学）の学位、福祉住環境に係る資格を取得している。総合病院・高齢者施設・障がい者施設・避難場所・小中学校・オフィス・住まいなどにおける多様な居住者の安全・安楽・快適のための居住環境調査と評価検証経験のある教員が、患者、看護両者の安全、安楽を確保するために、人間工学の知識と技術を応用した環境整備する方法について講義を行う。

メッセージ

患者、看護両者の安全、安楽を確保するために、環境整備にも目を向けてみましょう。

情報科学

更新日：2025/01/15 14:41:49

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100290	授業コード	A100290
担当教員	中山 晃志, 木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

大学における学修や情報社会で求められている情報活用能力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成する**DP**の力

DP2-1【内省し、学び続ける力】
自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	学内ICTシステムについて理解し、状況に応じて適宜活用することができる。
2	情報セキュリティや情報モラル等について理解し、説明および活用することができる。
3	情報機器を活用して、状況に応じた適切な文書やプレゼンテーション、図表を作成できる。
4	インターネットや図書館の検索機能・操作を理解し、適切な情報を検索できる。

授業計画

1	学内 ICT システムの操作 (1) ： Moodle 他 【授業内容】 Moodleなどの学内ICTシステムの利用について学ぶ 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Moodle 他の操作を振り返る 【担当】 木村、中山、ICT推進会議
2	学内 ICT システムの操作 (2) ： Teams 他 【授業内容】 Teamsなどの学内ICTシステムの利用について学ぶ 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Teams 他の操作を振り返る 【担当】 木村、中山、ICT推進会議
3	情報リテラシー・メディアリテラシー 【授業内容】 情報リテラシーおよびメディアリテラシーについて学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：情報リテラシーおよびメディアリテラシーについて振り返る 【担当】 木村
4	生成系 AI の活用について 【授業内容】 生成系AIのメリット・デメリット等、活用する上での倫理的な考え方について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：生成系AIについて振り返る 【担当】 木村
5	文書作成ソフトの基本操作 【授業内容】 Wordの基本操作について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Wordの操作について振り返る 【担当】 中山
6	プレゼンテーションソフトの基本操作 【授業内容】 PowerPointの基本操作について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：PowerPointの操作について振り返る 【担当】 中山
7	情報検索 (1) －図書館情報検索－ 【授業内容】 図書館の情報検索システムについて学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：図書館の情報検索について振り返る 【担当】 図書館司書、中山

8	学内ICTシステムの操作 (3) ：応用 【授業内容】 情報処理室を利用した学内ICTシステムについて学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：これまでの学内ICTシステムの操作を振り返っておく 【担当】 木村、中山
9	表計算ソフトの操作 (1) －基本操作－ 【授業内容】 Excelの基本操作について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Excelの操作について振り返る 【担当】 中山
10	表計算ソフトの操作 (2) －計算・グラフ－ 【授業内容】 Excelでの計算やグラフ作成について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Excelによる計算やグラフ作成について振り返る 【担当】 中山
11	表計算ソフトの操作 (3) －課題－ 【授業内容】 Excelを利用した課題作成を行う 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：Excelの操作について振り返っておく 【担当】 中山
12	情報検索 (2) －インターネット検索－ 【授業内容】 各種リテラシーの知識に基づき、インターネット検索を活用する 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：情報リテラシーおよびメディアリテラシーについて振り返っておく 【担当】 中山
13	まとめ課題 (1) 【授業内容】 WordやPowerPoint、インターネット検索を用いてグループで課題作成を行う 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：WordやPowerPoint、インターネット検索などの操作を振り返っておく 【担当】 中山
14	まとめ課題 (2) 【授業内容】 WordやPowerPoint、インターネット検索を用いてグループで課題作成を行う 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：WordやPowerPoint、インターネット検索などの操作を振り返っておく 【担当】 中山
15	フィードバック 【授業内容】 学内ICTシステムやソフトウェアの利用・操作の確認を行う 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：学内ICTシステムを積極的に利用し、活用能力を高める 【担当】 中山、木村、ICT推進会議

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じて電子資料を配布

参考文献

なし

評価方法

ICTシステムの活用度 25%
第1回から第14回に行う評価試験 45%（課題 30%、小テスト 15%）
授業への参加度 30%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（学内ICTシステムおよびタブレット端末を活用した授業を行う）
ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

担当する教員等の実務経験

メッセージ

高度情報通信ネットワーク社会において、本学ではICT（情報通信技術）の利活用を推進しています。学内のICTシステムの利用方法については、1年生のうちにしっかり身につけてください。また、日常も含めICT利用にあたっては、何がよくて、何がよくないかを正しく判断して利用する習慣を身につけてください。授業や大学内で機器やICT操作で周囲に困っている人がいたら、進んで教えてあげるようにしてください。

アサーショントレーニング

更新日：2025/02/17 15:12:19

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100300	授業コード	D100300
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ, 高瀬 理恵子, 森 千郷						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)
	備考(配当)					

授業の目的

自分も相手も大切にしたい自己表現を身につけていくトレーニング。論理的批判的思考と他者との議論に基づいて、自分の見解や訴えを、他者に理解されるように明確に表現する文章を書く技能を高めること、および医療の対象者や連携すべき専門家の理解を得られるよう、明晰さと好ましさを備えた説明・発表を行う基礎力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】

自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて日本語と資料を準備して発表することができる：具体的には、ある疑問に答えるための情報を収集して妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を行うことができる。
2	自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができるとともに、他者の発信に対し、有意義な反応をすることができる。
3	文章作成の目的とその前提条件を認識し、適切な構成と表現を企画することができる。
4	情報を収集し、その質を吟味して、論証の中に有機的に引用することができる。
5	自己または他者による批評を受容し、明瞭な自己表現の手段を理解できる。
6	科学的学術的な文章に用いられる構造、語彙、表現に関する知識を活用することができる。

授業計画

1	自分も相手も大切にしたい自己表現を知る 【授業内容】コースガイダンスを受ける。「朝鑑賞」による考える体験を通して、考えたことを表現し合い、互いの違いを認め合うことを学ぶ。 【授業方法】講義、GW（朝鑑賞の体験を通して互いの考えを受け止め合う） 【予習:30分】アサーティブコミュニケーションについて予習ノートにまとめる。 【復習:30分】本日の学習内容をノートに整理する 【担当】高橋
2	文献を調べて読解する 【授業内容】ウォーミングアップとして「朝鑑賞」を体験する。その後は、文献検索の方法を学修し、テーマ（ヒヤリハット）に関する論文を抽出し、なぜこの論文を選んだのかについてグループ内で話し合う 【授業方法】演習、文献検索の方法に関する講義、GW、討議 【予習:30分】ヒヤリハットについて事前に個人で文献を1つ準備する 【復習:50分】選んだ文献で自身が主張したい内容を要約し第3講義の際に説明を行う準備をする。 【担当】高橋、図書館（多川、白倉）
3	文献の要約に対する話し合いをする 【授業内容】個人ワークで準備したテーマ（ヒヤリハット）に関する文献要約をグループ内で発表し合い、自身が選んだ根拠、自身が主張したいことについて、他者に理解できるように発信し合う。 【授業方法】GW、討議 【予習:50分】第2講義の復習内容に準ずる 【復習:30分】GWの経験を踏まえたうえで、テーマ（ヒヤリハット）に対する自身の疑問を文章化し第5講義で説明できるように事前準備する 【担当】牧、高瀬
4	テキストの読解と要約の方法を学ぶ 【授業内容】テキストの読解と要約の方法について学ぶ 【授業方法】講義 【予習:40分】配布資料を通読する 【復習:40分】学習内容をまとめる 【担当】高橋

5	自身や他者の疑問を理解するために話し合う 【授業内容】 テーマ（ヒヤリハット）に対する自身や他者の疑問について話し合い、他者の疑問や他者からのコメントを通して自身の疑問をより明らかにする 【授業方法】 討議、GW 【予習:30分】 第3講義の復習内容に準ずる 【復習:50分】 自身の疑問について、GW後により深く明らかになったことやはっとしたことについて文章化し、第6講義で説明できるように準備する。その際にこれまでに学修した知識に関連づけるように、努力しながら文章化する。 【担当】 牧、高瀬
6	既存の知識との関連付けについて話し合う 【授業内容】 テーマ（ヒヤリハット）への疑問について、どのような既存の知識と関連付けられるのかについて話し合いのなかで学び合う。 【授業方法】 討議、GW 【予習:30分】 第5講義の復習内容に準ずる 【復習:50分】 本講後のまとめを行ったうえで、自分自身のこと（過去・現在・未来の自分自身や対人関係、所属集団等）と関連付けたものを文章化し、第7講義で説明できるように準備する。 【担当】 高瀬、牧
7	自己との関連付けの内容について話し合う 【授業内容】 自身との関連付けの内容を話し合い、他者との話し合いを通してテーマ（ヒヤリハット）についての考えを深める方法を学ぶ。 【授業方法】 討議、GW 【予習:30分】 第6講義の復習内容に準ずる 【復習:50分】 テーマ（ヒヤリハット）に関する疑問、自己が主張したいこと、その理由を文章化して第10講義で説明できるように努力して事前準備する 【担当】 高橋、森
8	レポートを書く方法を学ぶ 【授業内容】 レポートを書く方法を学び、これまでの演習で学んだことを振り返る 【授業方法】 講義 【予習:30分】 配布資料を通読する 【復習:50分】 学習内容をまとめる 【担当】 高橋
9	レポートの論理的な書き方を学ぶ 【授業内容】 レポートを書くための「問いと主張と論証」を学修する 【授業方法】 講義 【予習:30分】 講義資料を通読しておく 【復習:50分】 第9講義と第10講義は連続コマであるため、ここでの表示は第9講義と第10講義を終了した後の復習時間とし、レポート作成に充てる。 【担当】 高橋
10	レポートにおける「問いと主張と論証」について話し合う 【授業内容】 レポートを書くための「問いと主張と論証」を学修し、事前学習した文章を討議によってブラッシュアップする 【授業方法】 講義、討議、GW 【予習：30分】 第7講義の復習内容に準ずる。テーマ（ヒヤリハット）に関する疑問、自己が主張したいこと、その理由を文章化して第10講義で説明できるように努力して準備する。 【復習:50分】 第9講義と第10講義は連続コマであるため、ここでの表示は第9講義と第10講義を含めた復習時間とし、レポート作成に充てる。 【レポート提出】 テーマ（ヒヤリハット）に関するレポート（文字数1000字程度） レポート様式、提出日時、格納場所は別途提示する。 【担当】 高橋、森
11	自己分析中心の課題に必要な思考訓練 ① 【授業内容】 プロセスレコードについて学修する 【授業方法】 講義 【予習:40分】 教科書 P70～P71を通読する 【復習:40分】 プロセスレコードを作成し教員が指示する場所に電子媒体で提出する 【担当】 高橋
12	自己分析中心の課題に必要な思考訓練 ② 【授業内容】 プロセスレコード検討会 【授業方法】 討議、GW、発表 【予習:40分】 第11講義の復習内容に準ずる 【復習:40分】 プロセスレコードの修正を行う。 【プロセスレコード提出】 教員が指定した日時、格納場所に提出する 【担当】 森、高橋
13	アサーティブコミュニケーションについて学ぶ 【授業内容】 アサーティブコミュニケーションの技法であるDESC法について理解する。 【授業方法】 講義、討議 【予習:40分】 講義資料を通読する 【復習:40分】 解決できない困難な場面を振り返りシートにまとめ、第14講義では説明ができるように努力しながら準備する 【担当】 高橋
14	アサーティブコミュニケーションを活用する 【授業内容】 解決できない困難な場面をテーマ設定し、医療の対象者や連携すべき専門家の理解が得られるようにアサーティブなコミュニケーションを話し合いで導き出す方法を学ぶ 【授業方法】 GW、討議、発表 【予習:30分】 第13回講義の復習内容に準ずる 【復習:50分】 振り返りシートを完成させる 【振り返りシート提出】 教員が指定した日時、格納場所に提出する 【担当】 高橋、森

15	まとめ 【授業内容】全演習時間の振り返りとまとめを行う。テーマ（ヒヤリハット）に関するレポートのの全体フィードバックを行う。 【授業方法】 フィードバック 【予習:30分】 これまでの学修で理解不足なところや未解決の内容を整理する。 【復習:30分】 学修のまとめを行う 【担当】 高橋、牧、高瀬、森
----	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- ・高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション．へるす出版，2014．
- ・必要資料はmoodleに格納する

参考文献

戸田山和久：最新版 論文の教室—レポートから卒論まで．NHK出版,2022

小林康夫,大澤真幸：「知の技法」入門．河出書房新社,2014．

岩崎美紀子：「知」の方法論—論文トレーニング．岩波書店,2008．

Murray, R.：How to Write a Thesis. Open University Press, 2006.

評価方法

参加度35%、テーマ（ヒヤリハット）に関するレポート35%、プロセスレコード20%、振り返りシート10%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

アサーティブコミュニケーション教育、基礎力総合ゼミナール、看護研究、卒業論文指導に従事する精神保健看護学領域の教員4名で本演習を担当いたします。

「朝鑑賞」による学修経験を生かし、本演習では、学生間のチームビルディングを目指して、演習冒頭に「朝鑑賞」を取り入れています。

メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。1年生の皆さんの相互交流が話し合いによって活性化し、効果的な演習となるように皆さんのワクワク感を大切にしています。

基礎ゼミナール

更新日：2025/02/17 11:24:18

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100310	授業コード	
担当教員	中山 晃志, 木村 涼平, 鎌田 ゆき, 高瀬 理恵子, 内田 文月, 高比来 ひとみ, 鈴鹿 綾子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

大学生としての学修スキルを身につけるために、各種情報の検索、文献の読解、文章の作成、プレゼンテーション、ディスカッション等の各技能を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】

自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	自分の考えや意見を分かりやすく正確に表現し、要点を的確に記述することができる。
2	テーマに沿って適切な情報の収集や読解をすることができる。
3	周囲とコミュニケーションを取りながら、協力して取り組むことができる。
4	建設的なディスカッションをすることができる。
5	個人やグループの考えをまとめ、明確に発表することができる。

授業計画

1	ガイダンス，自己紹介 【授業方法】演習（GW） 【復習】20分：ガイダンス内容を振り返り，授業への取り組みを考える 【担当】担当教員全員
2	大学を知る：グループで大学マップを作成し，他グループと情報共有する 【授業方法】演習（GW） 【復習】20分：緊急時・非常時をイメージし，大学での動きを振り返る 【担当】担当教員全員
3	大学でのレポート課題について（体裁や提出に向けて） 【授業方法】演習（ICT支援） 【復習】20分：授業からの学びを振り返る 【担当】中山
4	大学生活を考える(1)：先輩学生とのグループワーク 【授業方法】演習（GW／ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】高比来，内田，高瀬，鈴鹿
5	看護師の役割や仕事(1)：看護教員の体験談 【授業方法】講義，演習（ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】鈴鹿，内田，高瀬，高比来
6	看護師の役割や仕事(2)：学びから将来を考え，発表準備をする 【授業方法】演習（ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】高瀬，内田，高比来，鈴鹿，木村，中山
7	それぞれの看護師への道：グループでの発表および情報の共有 【授業方法】演習（発表，討議／ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】内田，高瀬，高比来，鈴鹿
8	大学生活を考える(2)：自身の暮らしを理解する 【授業方法】演習（GW／ICT双，ICT支援） 【予習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】鎌田

9	文献データベース検索と文献の引用，評価試験（小テスト） 【授業方法】 演習（ICT支援） 【復習】 30分：授業からの学びを振り返る 【担当】 中山
10	児童虐待の発生と脳科学 【授業方法】 講義，演習（GW／ICT双，ICT支援） 【復習】 30分：授業からの学びを振り返る 【担当】 木村
11	児童虐待を減らすための支援 【授業方法】 講義，演習（GW／ICT双，ICT支援） 【復習】 30分：授業からの学びを振り返る 【担当】 木村
12	文献検索(1)：「児童虐待」に関する文献を検索し，グループで検討 【授業方法】 演習（GW） 【復習】 30分：収集した文献に目を通しておく 【担当】 中山，木村，鎌田
13	文献検索(2)：各自で論文を読み，内容の要約と考えをまとめる 【授業方法】 演習（ICT支援） 【予習】 30分：収集した文献に目を通しておく 【担当】 中山，木村，鎌田
14	文献検索(3)：グループでの発表および情報の共有 【授業方法】 演習（発表，討議／ICT支援） 【復習】 30分：グループで共有した学びを振り返る 【担当】 中山，木村，鎌田
15	フィードバック，今後の大学生活を考える 【授業方法】 演習 【復習】 30分：後期に向けての学修・生活にかかわる自己点検を行う 【担当】 中山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じて電子資料を配布

参考文献

なし

評価方法

授業への参加度 53%
第3回から第8回（うち 5回）に関わる課題・提出物 20%
第9回で行う評価試験（小テスト） 5%
第10回から第14回（うち 3回）に関わる課題・提出物 22%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（学内ICTシステムおよびタブレット端末を活用した授業を行う）
ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

担当する教員等の実務経験

精神看護，母性看護，老年看護，成人看護（慢性期）での臨床経験を持つ教員が，医療現場等での経験を語り，実際の看護師の役割や仕事についてイメージを持つことができるような授業を行います。

メッセージ

本科目では「全体での学習」とグループ別に分かれて行う「ゼミナール（ゼミ）」とを組み合わせで行います。回ごとに異なりますので，確認のうえ，受講してください。

英語Ⅰ

更新日：2025/03/04 10:36:58

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100320	授業コード	
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

国際活動に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「聞く」「話す」力を総合的に高める。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	ListeningとSpeakingを中心とした学習で英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	英会話の実践力を強化できる。
3	英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。
4	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。
5	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

授業計画

1	オリエンテーション、Unit 0 Can I have your name? オリエンテーション、Unit 0 Can I have your name? 【授業方法】講義・演習(L&S)・PairとGroup (PW&GW) でのSpeaking活動 【予習】60分：テキスト(p.6-p.13)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Classroom Englishに関する L&S、教科書の練習問題、Clarifying and Confirmingへのフォーカス 【復習】30分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW&GW) でSpeakingタスク
2	Unit 1 How do you spell that? Unit 2 I usually get up at six Unit 1 How do you spell that? Unit 2 I usually get up at six 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.14-p.29)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Class SchedulesとDaily Routinesに関するL&S、教科書の練習問題、Clarifying and Confirming meaningへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW&GW) でSpeakingタスク
3	Unit 3 What do you call it ? Unit 3 What do you call it ? 【授業方法】演習 (PW、GW、発表) 授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.30-p.37)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Describing household objectsに関するL&S、教科書の練習問題、Talking around unknown wordsへのフォーカス Review 001 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW&GW) でSpeakingタスク
4	Unit 4 That's my cousin Unit 4 That's my cousin 【授業方法】演習 (PW、GW、発表) 授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.38-p.45)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Describing peopleに関するL&S、教科書の練習問題、Asking questions about peopleへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW&GW) でSpeakingタスク
5	Unit 5 It's next to the window Unit 5 It's next to the window 【授業方法】演習 (PW、GW、発表) 授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.46-p.53)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Describing rooms and physical spaces に関するL&S、教科書の練習問題、talking around unknown wordsへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW&GW) でSpeakingタスク

6	Unit 6 How much was it? Unit 6 How much was it? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.54-p.61)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） prices and how much things cost に関するL&S、教科書の練習問題、repeating key informationへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
7	Unit 7 Are you gonna go to France? Unit 7 Are you gonna go to France? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.62-p.69)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） future plans に関するL&S、教科書の練習問題、confirming meaningへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
8	Review 1 and Mid-Term Test レビュー1と中期テスト（評価試験） Review 1 and Mid-Term Test レビュー1と中期テスト 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 20分：テキスト(p.70-p.73)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Review 001、Mid-term Test 【テスト】 60分：PairとGroup （PW & GW）でのSpeakingタスク（評価試験）－ 5分程度のPWそして5分程度のGWでのSpeaking力を評価します。全体に対してSpeakingの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。
9	Unit 8 How was the concert ? Unit 8 How was the concert ? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.74-p.81)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） recent and past events に関するL&S、教科書の練習問題、follow up questionsへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
10	Unit 9 It's east of Seattle , Unit 10 So, how was your trip? Unit 9 It's east of Seattle , Unit 10 So, how was your trip? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.82-p.97)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） introducing places, describing trips and telling storiesに関するL&S、教科書の練習問題、follow up questionsへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
11	Unit 11 What's the population Unit 11 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 30分：テキスト(p.98-p.105)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） understanding and saying large numbersに関するL&S、教科書の練習問題、repeating key informationへのフォーカス 【復習】 50分：Unit 9とUnit10の復習、テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
12	Unit 12 What does your brother do? Unit 12 What does your brother do? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.106-p.113)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） jobsに関するL&S、教科書の練習問題、talking around new wordsへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
13	Unit 13 When I was in school... Unit 13 When I was in school... 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.114-p.121)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） past experiencesに関するL&S、教科書の練習問題、asking about meaning, paraphrasingへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
14	Unit 14 When do classes start? Unit 14 When do classes start? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.122-p.130)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） asking and giving information about courses of studyに関するL&S、教科書の練習問題、clarifying and confirmingへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup （PW & GW）でSpeakingタスク
15	Review 2, Final Test and Feedback レビュー2，期末テスト（評価試験）とフィードバック Review 2, Final Test and Feedback レビュー2，期末テストとフィードバック 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 20分：テキスト(p.131-p.133)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） Review 2、End Term Test 【フィードバック】 10分：フィードバック 【テスト】 60分：PairとGroup （PW & GW）でのSpeakingタスク（評価試験）－ 5分程度のPWそして5分程度のGWでのSpeaking力を評価します。全体に対してSpeakingの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

Communication Spotlight - Speaking Strategies and Listening Skills (Pre-Intermediate).Abax,2021.
その他 配布プリント。

参考文献

なし

評価方法

授業参加度 30%、クラスでの活動評価（Review 1、Review 2を含む）20%、中期テスト（評価試験）20%、評価試験30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が、全員、英語で発信するための基礎となるListeningとSpeakingを着実に理解し、Funtional Spoken English力、リスニング力を伸ばす教育を行う。

メッセージ

本科目では、授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで400点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

英語 II

更新日：2025/03/04 10:36:32

開講年度	2025	学期	3期, 4期	科目コード	A100330	授業コード	
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

ReadingとPresenting力と発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	Readingを中心とした学習で英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	知識の習得から実践力（ReadingとSpeaking）を強化できる。
3	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。
4	自立した学習者を目指し、自己学習法を習得することができる。
5	人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

授業計画

1	オリエンテーション、Unit 1 Places - (A)Yakushima, Japan オリエンテーション、Unit 1 (A)Yakushima, Japan 【授業方法】講義・演習(Reading)・PairとGroup（PW＆GW）でのReading活動 【予習】50分：テキスト(p.8-p.17)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）finding the main ideaに関する Reading、教科書の練習問題、fact vs. opinionへのフォーカス 【復習】30分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
2	Unit1 Places - (B)Tioman Island Malaysia 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.18-p.27)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）identifying supportに関する Reading、教科書の練習問題、writer purposeへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
3	Unit 2 Culture - (A) Intercultural Differences 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.28-p.36)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）finding the main ideaに関する Reading、教科書の練習問題、fact vs. opinionへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
4	Unit 2 Culture - (B) Cultural Similarities 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.37-p.45)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）identifying supportに関する Reading、教科書の練習問題、evidenceへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
5	Unit 3 Seasons - (A) The Rainy Season 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.46-p.54)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）cause and effectに関する Reading、教科書の練習問題、supportへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
6	Unit 3 Seasons - (B) Autumn Colors 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.55-p.65)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）guessing meaningに関する Reading、教科書の練習問題、explanationsへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
7	Unit 4 Cities - (A) Megacities と（B）Megacities: Problems 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.66-p.78)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）supporting evidenceに関する Reading、教科書の練習問題、inform vs. persuadeへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク

8	Unit 4 Cities - (B) Megacities: Problems と中期テスト（評価試験） 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】10分：テキスト(p.79-p.85)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）finding the main ideaに関する Reading、教科書の練習問題、emotional wordsへのフォーカス 【テスト準備】30分：Unit 1 からUnit 4の間でテーマを選んでMain IdeaとSupporting IdeasとEvidence等の発表の準備する。サマリーとして発表する。 【中期テスト】40分：（評価試験）Group（GW）内でテーマを元に英語で5分程度のプレゼンテーション発表。全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。
9	Unit 5 Travel - (A) Tourism: Advantages 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.86-p.94)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）main idea vs. topicに関する Reading、教科書の練習問題、causationへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
10	Unit 5 Travel - (B) Tourism: Disadvantages 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.95-p.105)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）identifying supportに関する Reading、教科書の練習問題、correlationへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
11	Unit 6 Food - (A) Hot Pot 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.106-p.114)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）finding the main ideaに関する Reading、教科書の練習問題、reasons and resultsへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
12	Unit 6 Food - (B) East Asian Food 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.115-p.125)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）...yes, but structureに関する Reading、教科書の練習問題、degree of certaintyへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
13	Unit 7 Entertainment - (A) Hollywood Movies 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.126-p.134)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）finding the main ideaに関する Reading、教科書の練習問題、generalizationsへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
14	Unit 7 Entertainment - (B) Asian Movies 【授業方法】講義・演習（PW、GW、発表）、授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.135-p.143)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題）identifying supportに関する Reading、教科書の練習問題、exaggerationsへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でReadingタスク
15	Final Test and Feedback 期末テスト（評価試験）とフィードバック Final Test and Feedback レビュー 2，期末テストとフィードバック 【授業方法】演習（PW、GW、発表）授業はじめにreadingのチェック、音読発表等 【フィードバック】10分：フィードバック 【テスト準備】30分：Unit 5からUnit 7の間でテーマを選んでMain IdeaとSupporting IdeasとEvidence等のプレゼンテーション発表の準備する。サマリーとして発表する。 【テスト】50分：（評価試験）Group（GW）内でテーマをを元に英語で7-8 分程度のプレゼンテーション発表。全体に対してプレゼンテーションの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

Asian Issues 1 - Practice in Critical Reading. Abax 2024

参考文献

なし

評価方法

授業参加度 30%、クラスでの活動評価 20%、中期テスト（評価試験）20%、期末テスト（評価試験）30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が、

全員、英語で発信するための基礎となるReadingを着実に理解し、Critical Reading力を伸ばす教育を行う。

メッセージ

本科目では、授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで450点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

英語Ⅲ

更新日：2025/02/25 09:00:16

開講年度	2025	学期	1期, 2期	科目コード	A100340	授業コード	
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

国際活動に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「聞く」「話す」力を総合的に高める。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	ListeningとSpeakingを中心とした学習で英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	英会話の実践力を強化できる。
3	英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。
4	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができるとともに、異なる文化的背景を持つ人と英語で討議ができる。
5	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。

授業計画

1	オリエンテーション、Unit 0 When are office hours? 【授業方法】講義・演習(L & S)・PairとGroup (PW & GW) でのSpeaking活動 【予習】50分：テキスト(p.6-p.13)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）School and educationに関する L&S、教科書の練習問題、Classroom Englishへのフォーカス 【復習】30分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
2	Unit 1 I usually work after school & Unit 2 So, what does it do? 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.14-p.29)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Work, part-time jobs and complex objectsに関するL&S、教科書の練習問題、Circumlocution, vague languageへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
3	Unit 3 That job really suits him 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.30-p.39)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）Peopleに関するL&S、教科書の練習問題、discourse markersへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
4	Unit 4 I used to be a swimming coach 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.40-p.47)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）lifestylesに関するL&S、教科書の練習問題、paraphrasingへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
5	Unit 5 What happened to you? 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.48-p.55)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）past eventsに関するL&S、教科書の練習問題、circumlocutionへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
6	Unit 6 It's over 100,000,000 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.56-p.63)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）trends & changesに関するL&S、教科書の練習問題、shadowing & confirmingへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク
7	Unit 7 This place sure has changed! 【授業方法】演習 (PW、GW、発表)、授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.64-p.72)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）how places have changedに関するL&S、教科書の練習問題、circumlocutionへのフォーカス 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup (PW & GW) でSpeakingタスク

8	Review 1 and Mid-Term Test レビュー1と中期テスト（評価試験） Review 1 and Mid-Term Test レビュー1と中期テスト 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 20分：テキスト(p.73-p.75)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） Review 1、Mid-term Test 【テスト】 60分：PairとGroup（PW＆GW）でのSpeakingタスク（評価試験）－ 5分程度のPWそして5分程度のGWでのSpeaking力を評価します。全体に対してSpeakingの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。
9	Unit 8 I used my cell phone for everything! 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.76-p.83)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） technology in daily lifeに関するL&S、教科書の練習問題、back channelingへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
10	Unit 9 I'm taking a global issue elective, Unit 10 Is an education worth the cost? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.84-p.99)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） school subjects, cost of an educationに関するL&S、教科書の練習問題、paraphrasingへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
11	Unit 11 It's a great story! 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.100-p.109)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） stories, books and movies に関するL&S、教科書の練習問題、discourse markers へのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
12	Unit 12 You have to pass the written test 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.110-p.117)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） processesに関するL&S、教科書の練習問題、circumlocutionへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
13	Unit 13 It was supposed to start at six... 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.118-p.125)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） past problemsに関するL&S、教科書の練習問題、paraphrasingへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
14	Unit 14 Where will you be in five years? 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）、授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.126-p.134)中の聴解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） future plansに関するL&S、教科書の練習問題、hesitation devicesへのフォーカス 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、PairとGroup（PW＆GW）でSpeakingタスク
15	Review 2, Final Test and Feedback レビュー2，期末テスト（評価試験）とフィードバック Review 2, Final Test and Feedback レビュー2，期末テストとフィードバック 【授業方法】 演習（PW、GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 20分：テキスト(p.135-p.137)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識（課題） Review 2、End Term Test 【フィードバック】 10分：フィードバック 【テスト】 60分：PairとGroup（PW＆GW）でのSpeakingタスク（評価試験）－ 5分程度のPWそして5分程度のGWでのSpeaking力を評価します。全体に対してSpeakingの良かったところ、そしてもっと力を入れてほしいところをフィードバックします。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

Communication Spotlight - Speaking Strategies and Listening Skills (Intermediate).Abax,2021.
その他 配布プリント。

参考文献

なし

評価方法

授業参加度 30%、クラスでの活動評価（Review 1、Review 2を含む）20%、中期テスト（評価試験）20%、評価試験30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が、

全員、英語で発信するための基礎となるListeningとSpeakingを着実に理解し、Funtional Spoken English力、リスニング力を伸ばす教育を行います。

メッセージ

本科目では、授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで500点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

フランス語

更新日：2025/02/25 09:17:16

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	A100360	授業コード	F100360
担当教員	河野 敦子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

フランス語文法の基礎を学び、フランス語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	フランス語の基礎について理解することができる。
2	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
3	フランス語を通して、人々の暮らしや文化について学習することができる。

授業計画

1	0 課：オリエンテーションと身近にあるフランス語 【講義方法】 講義 [予習] 40分：身近にあるフランス語を探しましょう。 [復習] 20分：alphabet をフランス語で言いましょう。
2	1 課：フランス語で挨拶しましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：1 課 [復習] 20分：フランス語の挨拶を身につけましょう。
3	1 課：フランス語で足し算と引き算をしてみましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：1 課 [復習] 20分：0 ～ 100 までの数字を覚えましょう。
4	2 課：パンを買いましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：2 課 [復習] 20分：毎日使う不規則動詞 être を覚えましょう。
5	3 課：国籍を伝えましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：3 課 [復習] 20分：疑問文の作り方と答え方を確認しましょう。
6	3 課：今日授業があるか尋ねましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：3 課 [復習] 20分：毎日使う不規則動詞 avoir を覚えましょう。
7	3 課：出身都市や今いる場所、体調を伝えましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：3 課 [復習] 20分：être と avoir の使える表現を身につけましょう。
8	4 課：話せる言葉を確認しましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：4 課 [復習] 20分：フランス語の動詞の中で同じ活用が最多の第1群規則動詞 (-er 動詞)を覚えましょう。
9	4 課：好きなものを言いましょう。 【講義方法】 講義 [予習] 40分：4 課 [復習] 20分：不定冠詞・部分冠詞・定冠詞を区別しましょう。

10	5課：市場で食べたいものを買いましょう。 【講義方法】講義 [予習] 40分：5 課 [復習] 20分：便利な動詞 prendre とお買い物で使える数量表現を覚えましょう。
11	6課：どちらか好きなホテルを選びましょう。 【講義方法】講義 [予習] 40分：6 課 [復習] 20分：2 番目に同じ活用が多い第2群規則動詞 (-ir動詞) を覚えましょう。
12	6課：家族を紹介しましょう。 【講義方法】講義 [予習] 40分：6 課 [復習] 20分：便利な動詞 faire を覚えましょう。
13	まとめ：評価試験（筆記試験・口述試験）の準備 【講義方法】講義・演習 [予習] 40分：1 課～6 課 [復習] 20分：これまでに学んだことを確認しましょう。
14	評価試験（筆記試験・口述試験） 【講義方法】評価試験 [予習] 40分：これまで学んできたことを復習しましょう。 [復習] 20分：これまで身につけてきたフランス語を振り返りましょう。
15	次の段階へ（フィードバック） 【講義方法】講義 [予習] 40分：これからフランス語を使ってやってみたいことを考えましょう。 [復習] 20分：フランス語で使えるようになったことを確認しましょう。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ1ーパリをめぐるー, 朝日出版社, 2016年

参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
評価試験（筆記試験 30% + 口述試験 20%）50% + ミニ・テスト 30% + レポート 20% = 100%
評価試験：筆記試験はこれまでに学んだ学習内容の試験 (最高30点)。
口述試験はフランス語による自己紹介 (最高20点)。
ミニ・テストは毎回の授業で身につけたフランス語の確認 (最高30点)。
レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献(書名・著者名・出版社名・発行年など)を明記し、結論を作成し、11月4日火曜24時までに提出することで20点。

本科目で取得が望ましい点数

総合得点80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

メッセージ

講義概要
テキスト『なびふらんせ1ーパリをめぐるー』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するように努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語が使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。このテキストはフランス語学習サポート教材 Web <なびふらんせ1> を利用することができ、授業内容に沿って学習内容を振り返りながらゲームをするように語学学習を進めることができるようになっています。この授業ではテキスト前半6課まで進みます。
受講上の留意点
『ル・ディコ』などの仏和辞典を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。
6月と11月に行われる仏検で5級・4級合格を目指し、フランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

中国語

更新日：2025/02/28 12:24:13

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100370	授業コード	D100370
担当教員	秋吉 収						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

中国語文法の基礎を学び中国語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	中国語の基礎について理解することができる。
2	中国語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
3	中国語を通して、人々の暮らしやの文化について学習することができる。

授業計画

1	オリエンテーション 【授業方法】講義と演習 【予習】30分 内容：中国語の基礎項目を自分なりに調べておく。 【復習】50分 内容：授業で習った、中国（語）の周辺について自分なりに調べて理解を深めると共に、将来にどう活かしていくかシミュレーションを行う。
2	発音（1）声調と母音 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（声調と母音）について教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。
3	発音（2）子音 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（子音）について教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。
4	発音（3）鼻音（-n, -ng） 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（鼻音）について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。
5	発音（4）声調変化 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（声調変化）について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。
6	発音（5）発音のまとめと復習 【授業方法】講義と演習 【予習】50分 内容：ここまで習った発音を、繰り返し練習して授業に備える。 【復習】30分 内容：ノートや教科書の授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を再度確認すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
7	挨拶 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「挨拶」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
8	名前を尋ねる 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「名前の尋ね方、答え方」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
9	指示代名詞、動詞述語文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「動詞述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。

10	疑問詞，助動詞“要”，反復疑問文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「疑問詞，助動詞“要”，反復疑問文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
11	年齢の言い方，数詞 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「年齢の言い方，数詞」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
12	所有と存在，量詞 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「所有と存在，量詞」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
13	経験の表し方，形容詞述語文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「経験の表し方，形容詞述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
14	助動詞“要”，主述述語文 【授業方法】講義と演習及びペーパーテスト 【予習】40分 内容：「助動詞“要”，主述述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。
15	発音・文法のまとめ（フィードバック） 【授業方法】講義と演習及び口述テスト 【予習】40分 内容：「発音・文法のまとめ」について、教科書に基づいた予習を行う。また、これまで習った文法全体について、ノートや教科書を確認しておく。 【復習】40分 内容：1学期の授業で習った、発音や文法事項の全体を理解できているかもう一度確認し、修得した能力が今後活かせるように自分なりに考えて準備をしていく。

指導教員
先行履修要件科目
なし
テキスト
別途指示する
参考文献
適宜紹介する
評価方法
授業中のテスト評価 30％、授業中の口述テスト評価 20％ レポート 評価30％、授業参加の状況評価20％
本科目で取得が望ましい点数
70点
ICTの活用・教育リソース
担当する教員等の実務経験
メッセージ

韓国語

更新日：2025/02/25 09:24:46

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100380	授業コード	D100380
担当教員	張 慧珍						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

韓国語文法の基礎を学び韓国語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成する**DP**の力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	コミュニケーション能力の向上及び韓国文化への理解を深めることができる
2	「ハングル」の構造について理解できる
3	「ハングル」の日本語表記（名前・地名など）ができる。
4	簡単な日常会話ができる。

授業計画

1	韓国語Ⅰの授業案内と挨拶表現 【授業方法】講義 【お知らせ】韓国語Ⅰの講義案内－課題・小テスト・評価試験及びフィードバックについて 【授業】1．ハングルとは何なのか。 2．ハングルの仕組みについて 3．日常生活に用いられる挨拶表現 4．Quizletの使い方 【予習】40分 授業資料を読む
2	基本母音 【授業方法】講義 【復習】40分 挨拶表現及びハングルの構造について 【授業】1．ハングルの仕組みと構造について 2．基本母音字母 【課題】Quizlet 1（挨拶表現） 【予習】40分 合成母音字母
3	合成母音 【授業方法】講義 【復習】40分 1．ハングルの仕組みと構造について 2．基本母音字母 【授業】合成母音字母 【課題】Quizlet 2 (基本母音字母語彙) 【予習】40分
4	合成母音と文字の構造 【授業方法】講義 【復習】40分 合成母音字母 【授業】合成母音字母の構造と発音 【課題】Quizlet 3（合成母音字母語彙） 【予習】40分 基本子音字母
5	基本子音字母と有声音化 【授業方法】講義 【復習】40分 合成母音字母の構造と発音 【授業】1．基本子音字母 2．有声音化 【課題】Quizlet 4 【予習】40分 パッチム (받침)

6	パッチム(받침) 【授業方法】講義 【復習】40分 1. 基本子音字母 2. 有声音化 【授業】パッチム(받침)について 【課題】Quizlet 5 (基本子音字母と有声音化の語彙) 【予習】40分
7	発音のコツと日本語のハングル表記 【授業方法】講義 【復習】40分 パッチム(받침) 【授業】1. 発音のコツ 2. 日本語のハングル表記 【課題】Quizlet 6 (パッチムの語彙) 【予習】40分
8	文字復習及び小テスト① 【授業方法】講義 【復習】40分 1. 発音のコツ 2. 日本語のハングル表記 【授業】2週目の授業内容から7週目までの振り替え練習と小テスト 【課題】 【予習】40分
9	私は○○○です。① 【授業方法】講義 【授業】「～です、ます表現」 1. 主格助詞 2. ～です。 3. かしこまった丁寧形の作り方 【課題】Quizlet 7 (日本語のハングル表記) 【予習】40分 かしこまった丁寧形の作り方
10	私は○○○です。② 【授業方法】講義 【復習】40分 1. 主格助詞 2. ～です。 3. かしこまった丁寧形の作り方 【授業】1. かしこまった丁寧形の否定形 2. 主格助詞 3. 存在詞 (かしこまった丁寧形①) 【課題】Quizlet 8 【予習】40分
11	ガールフレンドがいますか。① 【授業方法】講義 【復習】40分 1. かしこまった丁寧形の否定形 2. 主格助詞 3. 存在詞 【授業】1. 家族の呼び名 2. 自己紹介・家族紹介 【課題】Quizlet9 (かしこまった丁寧形②) 【予習】40分
12	ガールフレンドがいますか。② 【授業方法】講義 【復習】40分 1. 家族の呼び名 2. 自己紹介・家族紹介 【授業】1. 固有数詞 2. 漢数詞 【課題】Quizlet10 (家族の呼び名) 【予習】40分
13	ガールフレンドがいますか。③ 【授業方法】講義 【復習】40分 1. 固有数詞 2. 漢数詞 【授業】1. 時計の読み方 2. 年月日・曜日・年中行事 【予習】40分
14	文法と小テスト② 【授業方法】講義 【復習】40分 9週目から13週目までの文法内容の復習 【授業】1. かしこまった丁寧形の作り方・否定形 2. 数詞 (お金の数え方) 【課題】小テスト② 【予習】40分

15	評価試験及びフィードバック 【授業方法】評価試験及びフィードバック 【復習】40分 総復習 【授業】評価試験（60分）及びフィードバック（30分）
----	--

指導教員

張慧珍

先行履修要件科目

なし

テキスト

毎回の授業資料をアップロードいたします。

参考文献

民衆書林編集部：NEWポータブル日韓・韓日辞典．三修社，2003．

評価方法

15回目の評価試験（40％）授業参加度（20％）課題（20％）小テスト（20％）

本科目で取得が望ましい点数

60点以上

ICTの活用・教育リソース

特になし

担当する教員等の実務経験

メッセージ

毎回の授業に積極的に参加するように心がけましょう。
毎週の課題（Quizlet）には期限がありますので期限内に提出できるように取り組んで下さい。

国際関係論

更新日：2025/02/17 08:09:19

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100390	授業コード	A100390
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (15)
	備考(配当)					

授業の目的

進展・深化する国際社会の動向、課題とその解決について、多角的な視点から学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	国際社会の動向を政治・経済・社会・文化的な観点から説明することができる。
2	社会と人間の多様性について説明できる。
3	国際社会が直面する課題とその解決について探究することができる。

授業計画

1	国際社会の概観① 【授業内容】 政治的な視点から国際社会の動向を探る－歴史と理論政治の側面から 【授業方法】 講義 【予習】 60分：民主主義、君主制、独裁制について調べる 【担当】 小川
2	国際社会の概観② 【授業内容】 経済的な視点から国際社会の動向を探る－歴史と理論 【授業方法】 講義 【予習】 60分：資本主義、社会主義について調べる 【担当】 小川
3	国際社会の概観③ 【授業内容】 環境・文化・生活様式の多様性を探る 【授業方法】 講義 【予習】 60分：興味のある文化や生活様式について調べる 【担当】 小川
4	国際社会が直面する課題① 【授業内容】 貧困について考える 【授業方法】 講義 【予習】 60分：世界の貧困状況について調べる 【担当】 小川
5	国際社会が直面する課題② 【授業内容】 格差について考える 【授業方法】 講義、演習（討議、発表）（ICT双） 【予習】 60分：格差について調べる 【担当】 小川
6	国際社会が直面する課題③ 【授業内容】 環境問題、災害、紛争について考える 【授業方法】 講義、演習（討議、発表）（ICT双） 【復習】 60分：国際関係と国際問題について考える 【担当】 小川
7	国際機関と国際協力 【授業内容】 国際協力とは何か、国際協力に携わる機関 【授業方法】 講義、演習（討議、発表）（ICT双） 【復習】 60分：国際協力の具体例について調べる 【担当】 小川
8	まとめ 国際関係を学ぶ意味 フィードバック 【授業内容】 授業全体の振り返り、国際関係とは何か、フィードバック 【授業方法】 講義（ICT双） 【復習】 60分：国際関係とは何かについて、自己の考えをまとめる 【担当】 小川

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

斎藤文彦：国際開発論．日本評論社，2005．
山本一巳・山形辰史 編：国際協力の現場から―開発にたずさわる若き専門家たち．岩波ジュニア新書，2007．
アマルティア・セン：貧困の克服―アジア発展の鍵は何か．集英社新書，2002．
西川 潤：人間のための経済学．岩波書店，2000．青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』．古今書院，2000．

評価方法

授業への参加度 10% プレゼンテーション 40% 評価試験（課題レポート）50%

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、GWの学習成果を発表し共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字やJICAで国際協力に携わった教員がその経験をふまえ、国際関係と国際協力の現状や課題を学習できるよう講義・演習を担当します。

メッセージ

グローバル化が進展する社会において世界の健康課題、保健医療・看護において、国際関係を知ることは必須です。授業では多様な視点をもって国際社会の課題を議論したいと思います。

赤十字原理・活動論（基礎）

更新日：2025/02/17 07:59:37

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100400	授業コード	A100400
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

赤十字の理念・歴史・活動について学び、赤十字の使命を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】

赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字の理念、基本原則を説明できる。
2	国際赤十字、日本赤十字社の成り立ち、活動について説明できる。
3	人道危機と赤十字の活動について説明できる。
4	赤十字の使命と期待される役割を考察できる

授業計画

1	赤十字の誕生とその背景 【授業内容】赤十字の創設者アンリー・デュナンの生涯と赤十字 【授業方法】講義 【復習】30分：アンリー・デュナンが赤十字創設に至った経緯をまとめる。
2	赤十字の理念-人道について考える① 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義、演習（GW） 【予習】30分：赤十字の理念・人道の意味を調べる。
3	赤十字の理念-人道について考える② 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義、演習（GW） 【復習】30分：人道の意味を考える。
4	赤十字の理念-人道について考える③ 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義、演習（GW）
5	人道を具現化する-GW 【授業内容】人道を実現するために私たちがすべきことは何か 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：人道とは何か、自分の考えをまとめる。
6	人道を具現化する-成果発表 【授業内容】GWの成果を発表する 【授業内容】演習（発表、討議）（ICT双） 【復習】30分：人道とは何か、GWの内容をまとめる。
7	赤十字の基本原則 【授業内容】赤十字の基本原則の意味と意義 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字の基本原則についてまとめる。
8	国際人道法について 【授業内容】国際人道法とは何か 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際人道法についてまとめる。
9	国際赤十字のしくみ 【授業内容】赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社・赤新月社について 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際赤十字の組織とその役割をまとめる。

10	国際赤十字・赤新月の活動-赤十字国際委員会 【授業内容】赤十字国際委員会の活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字国際委員会の活動について調べる。
11	国際赤十字・赤新月の活動-国際赤十字・赤新月社連盟 【授業内容】国際赤十字・赤新月社連盟の活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：国際赤十字・赤新月社の活動について調べる。
12	日本赤十字社の成り立ちと歴史 【授業内容】佐野常民の生涯と日本赤十字社 【授業方法】講義 【復習】30分：日本赤十字社創立の経緯や活動をまとめる。
13	日本赤十字社の活動について 【授業内容】日本赤十字社の事業内容について 【授業方法】講義 【予習】30分：献血・血液センターの仕組みを調べ、まとめる。 【担当】ゲストスピーカー
14	赤十字の使命について－GW 【授業内容】赤十字が果たすべき役割について考える 【復習】60分：発表資料をまとめる 【授業方法】演習（GW）
15	GWの発表、まとめ、フィードバック 【授業内容】授業全体の振り返り、赤十字への期待と赤十字の使命、フィードバック 【授業方法】講義、演習（発表、討議）（ICT双） 【復習】60分：講義全般をふまえ、赤十字の理念、原則、赤十字の活動について復習する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和7年度版．日本赤十字社，2025．
アンリ・デュナン著，木内利三郎訳：ソルフェリーノの思い出．日赤出版普及会，1969．
ジャン・ピクテ著，井上益太郎訳：赤十字の諸原則．日本赤十字社，1958．
ジャン・ピクテ著，井上忠男訳：解説赤十字の基本原則―人道機関の理念と行動規範．東信堂，2006．
吉川龍子：日赤の創始者佐野常民．吉川弘文館，2001．
この他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度 10％ プレゼンテーション40％ 評価試験（レポート）50％ 提出時期は授業時間に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、GWの学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び、赤十字病院での勤務経験、国際救援や開発協力の経験のある教員が、赤十字の歴史と役割、課題等を学習できるよう講義を担当する。

メッセージ

なぜ、赤十字が誕生したのか、なぜ、赤十字が今も活動を続けているのか、国内外の情勢をふまえ、赤十字の存在意義を考えて下さい。

赤十字救護・援助法

更新日：2025/01/31 16:10:52

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	A100420	授業コード	
担当教員	吉原 駿, 立野 淳子, 鴨川 めぐみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

赤十字救急法の知識、技術を習得し、災害・事故時に互いに助け合うボランティア精神をもって、行動する能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成する**DP**の力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字救急法の知識・技術を習得できる。
2	赤十字の基本原則と赤十字救護・援助法の関連性が理解できる。

授業計画

1	授業ガイダンス】 【赤十字救急法について】 赤十字救急法救急員について 観察の基本、手当の基本 急病について（1） 予習：20分 赤十字救急法講習 第1章：赤十字救急法救急員について、第8章：救護 の内容を確認する 復習：30分 授業内容の復習 【担当】 吉原、鴨川、立野
2	授業ガイダンス】 【赤十字救急法について】 赤十字救急法救急員について 観察の基本、手当の基本 急病について（2） 予習：20分 赤十字救急法講習 第1章：赤十字救急法救急員について、第8章：救護 の内容を確認する 復習：30分 授業内容の復習、事後課題 【担当】 吉原、鴨川、立野
3	【一次救命処置（BLS）：知識の確認】 救命の連鎖 心肺蘇生のアルゴリズム 二次救命処置 【授業方法】 講義（ICT支援） 【予習】 30分： Moodle上の事前学習の資料を確認する 【復習】 30分： 授業内容の復習 【担当】 吉原、鴨川、立野
4	【一次救命処置（BLS）：実践】（実技） ・胸骨圧迫 ・人工呼吸 復習：60分 セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 授業内容の復習、小テスト① 【担当】 吉原、鴨川、立野
5	一次救命処置（BLS）：実践】（実技） 心肺蘇生法（BLS）の実践 AEDを用いた除細動 気道異物除去（1） 予習：20分 セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 復習：40分 心肺蘇生法の手技についてピア評価を受ける 【担当】 吉原、鴨川、立野
6	一次救命処置（BLS）：実践】（実技） 心肺蘇生法（BLS）の実践 AEDを用いた除細動 気道異物除去（2） 予習：20分 セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 復習：40分 心肺蘇生法の手技についてピア評価を受ける、小テスト② 【担当】 吉原、鴨川、立野

7	【外傷初期診療における看護活動】 外傷とは 外傷初期診療における看護活動の実例 標準的外傷初期診療のアルゴリズム 予習：30分 赤十字救急法講習 第3章：けが、第4章：止血、第5章：きずの手当 の内容を確認する 復習：30分 授業内容の復習 【担当】 吉原、鴨川、立野
8	応急処置（実技） 応急処置の基本 三角巾の基本的な使い方 【授業方法】 講義、演習（実技） 【予習】 30分： 赤十字救急法講習教本 第3章：けが、第4章：きずの手当、第5章：骨折の手当 【復習】 30分： 三角巾の基本的な使い方を練習する 小テスト③ 【担当】 日本赤十字社福岡県支部職員
9	応急処置：けが・きずの手当（実技） 止血の実践 包帯法の実践 固定法の実践（1） 予習：30分 授業資料の復習 三角巾の基本的な使い方を練習する 復習：30分 三角巾を用いた固定法についてピア評価を受ける 【担当】 日本赤十字社福岡県支部職員
10	【応急処置：けが・きずの手当】（実技） 止血の実践 包帯法の実践 固定法の実践（2） 【授業方法】 講義、演習（実技） 【予習】 30分： 授業資料の復習、三角巾の基本的な使い方を練習する 【復習】 30分： 三角巾を用いた固定法についてピア評価を受ける 【担当】 日本赤十字社福岡県支部職員
11	応急処置：搬送（実技） 搬送法の実践 頸椎の保護 ログロール／ログリフト（1） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 30分： 赤十字救急法講習教本 第6章：搬送 【復習】 30分： 授業内容の復習 【担当】 吉原、鴨川、立野
12	応急処置：搬送（実技） 搬送法の実践 頸椎の保護 ログロール／ログリフト（2） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 30分： 赤十字救急法講習教本 第6章：搬送 【復習】 30分： 授業内容の復習 小テスト④ 【担当】 吉原、鴨川、立野
13	【総合実技：練習】 総合実技に向けての技術の確認 【授業方法】 演習（実技、GW） 【予習】 30分： これまでの授業資料の確認 【復習】 30分： 総合実技に向けての知識と手技の確認 【担当】 吉原、鴨川、立野
14	【総合実技：実践】 多数傷病者に対する適切な応急処置の実践（1） 【授業方法】 演習（実技、発表） 【予習】 30分： これまでの授業資料の確認、学習した手技の確認・習得 【担当】 吉原、鴨川、立野
15	【総合実技：実践】 多数傷病者に対する適切な応急処置の実践（2） 【授業方法】 演習（実技、発表） 総合実技をふまえてのフィードバック 【予習】 30分： これまでの授業資料の確認、学習した手技の確認・習得 【復習】 15分： 小テスト⑤ 【担当】 吉原、鴨川、立野

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

日本赤十字社編：赤十字救急講習教本（第15版）

参考文献

- 1) 一般社団法人日本蘇生協議会監修：JRC蘇生ガイドライン2020．医学書院，2021．
 - 2) American Heart Association著：AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2020．シナジー，2021．
 - 3) 一般社団法人日本救急看護学会監修：改訂第4版外傷初期看護ガイドライン（JNTEC）．へるす出版，2018．
 - 4) 日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和4年度版．日本赤十字社，2022．
 - 5) 日本赤十字社講習内容 <https://www.jrc.or.jp/study/safety/>
 - 6) 日本赤十字社電子講習室 <https://www.jrc.or.jp/lp/webcross/>
- その他、適宜提示する

評価方法

授業参加度：10％
 第4回、6回、8回、12回、15回で行う評価試験（小テスト）：30％（小テスト）
 第14・15回に実施する評価試験（総合実技）：40％
 事前・事後課題：20％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodle等を活用した自主学習支援を行う。

担当する教員等の実務経験

救急・集中治療領域での臨床経験をもつ教員と、日本赤十字社福岡県支部の救急法インストラクターが、急病、事故に遭遇した場合に災害から自身を守り、傷病者をたたく救助するための知識、技術を身につけることができるように演習を展開します。

メッセージ

赤十字の理念を理解し、けが人や急病人などの傷病者を助けるための方法を学びます。赤十字の大学で看護学を学ぶ者として、災害時や事故発生時はもちろんのこと、日常生活においても人々を救うための方法をしっかり学び、その技術を獲得してください。

ボランティア実践

更新日：2025/01/17 09:19:42

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100430	授業コード	C100430
担当教員	小田 哲也						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

ボランティア活動を通して、国際交流・支援、災害救援・支援、地域の活動などに必要なボランティアの考え方とNGO・NPO・地域の活動について理解する

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	ボランティアに関する様々な捉え方とその多様な形態を理解し、説明することができる。
2	様々なボランティア実践者の話を聞き、ワークショップ等を通して自分の考えを整理しながら、ボランティアに必要な感性を身につけることができる。
3	演習を通してボランティア活動を行うための実践力を養うと共に、各自のボランティア観を形成し、社会課題の解決に取り組むことができる。

授業計画

1	オリエンテーション ボランティアとは？①：一般的なイメージと本来の意味 レクリエーションを介し、グループ分けを実施 【授業方法】講義 ワークショップ（GW） 【予習】30分 ボランティアとはなにか？ 自分なりに考えておく
2	ボランティアとは？②：歴史と文化的・宗教的背景、現代的課題、NPO／NGOについて 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 ボランティアの概念について、その他、歴史や現代的課題に関して整理する
3	ボランティアとは？③：多様な形態とその意義について（国内／海外、短期／長期、緊急援助／開発協力等） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】30分 ボランティアの多様な形態について調べておく
4	ボランティアの実例①：地域でのボランティア活動事例紹介 【授業方法】講義（ゲストティーチャー） 【復習】30分 地域で育てられたことに関して確認し、保護者等と振りかえりをする
5	ボランティアの実例②：被災地でのボランティア活動事例（国際緊急援助隊 医療チーム） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】30分 医療に関する国際緊急援助についての事前調査
6	ワークショップ①：被災地でのボランティア活動について（能登半島地震を参考に） 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 被災地で自分にできることを整理する
7	ボランティアの実例③：海外でのボランティア活動事例（看護師） 【授業方法】講義（ゲストティーチャー JICA海外協力隊経験者） 【予習】30分 JICA海外協力隊についての事前調査
8	ワークショップ②：海外でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 海外でのボランティアについて考え、整理する
9	事例演習①：ボランティア活動計画表の説明及び作成（論理的に考える 問題意識と課題設定） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】30分 論理的に物事を考え、計画を立てることに関し、事前調査しておく
10	事例演習②：ボランティア活動計画表の説明・作成（プロジェクト目標・達成のための必要事項） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画の課題設定、上位目標に関し、プロジェクト目標とは何か確認する
11	ボランティアの実例④：医療分野から幅広いボランティアの活動事例（元看護師） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習 復習】30分 JICA海外協力隊やその他のボランティアを調べる
12	事例演習③：ボランティア活動計画表の説明及び作成（具体的な活動内容） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画のプロジェクト目標、必要事項、活動内容等を確認する

13	事例演習④：ボランティア活動計画表の説明及び作成（活動の到達点・実施者等） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【予習】30分 ボランティア活動計画の未記入部分を考える
14	事例演習⑤：既習内容のまとめと講義及び発表最終準備 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画発表の最終確認
15	演習発表①： グループごとの発表及び課題レポートへのフィードバック 【授業方法】発表（GW） 【予習】60分 ボランティア活動計画発表準備

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントをアップ

参考文献

- 1) 岡本 栄一：学生のためのボランティア論， 社会福祉法人 大阪ボランティア協会，2006
- 2) 柴田 謙治・原田 正樹・名賀 亨一：ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ，（株）みらい，2010
- 3) 桜井 政成：コミュニティの幸福論 助け合うことの社会学. 明石書店, 2020.
- 4) 國井 修：国家救済医 私は破綻国家の医師になった 角川書店，2012
- 5) 島田 恒：NPOという生き方 PHP新書，2005

評価方法

授業への取り組み（毎回小課題）40%、プレゼンテーション20%、課題レポート（最終課題）40%

本科目で取得が望ましい点数

プレゼンテーション力：グループで100点満点の65点
課題レポート：100点満点の75点

ICTの活用・教育リソース

／

担当する教員等の実務経験

JICA海外協力隊OV（南米コロンビア 青少年活動）
国際緊急援助隊医療チーム（登録医療調整員）ハイチ（2010）・トルコ（2023）派遣経験あり
国際緊急援助隊感染症チーム（登録医療調整員）
東日本大震災（2011）、九州北部豪雨災害（2017．2023）、能登半島地震（2024）復興ボランティア参加
これらの実践を講義の中に盛り込む。

メッセージ

「ボランティア」という言葉が持つ幅広い意味を体系的に理解し、社会活動におけるその必要性や可能性を体感して欲しいと考えています。ボランティア活動は基本的に「必要な場面」で「できること」を「自発的」に行なうものです。その実践において「対話」「信頼関係」「協働」を意識することで、支援者・被支援者が共にその成果を喜び、お互いが成長することができる活動となります。看護師の資質として、「ボランティア精神」というものは必須と感じます。そこで、ボランティアとは何か？再度、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。さらに、物事を論理的に考え、提案できるボランティア活動計画を立て、プレゼンテーションをしていただきたいと思います。

異文化コミュニケーション

更新日：2025/03/04 10:41:30

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100440	授業コード	D100440
担当教員	ガックラ マヘンダークマール						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)
	備考(配当)					

授業の目的

国内外の研修を通して、異文化に対する観察力および想像力ならびに自文化への内省および分析力を涵養する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができるとともに、国際的文脈でコミュニケーションをする力を伸ばすための学習技能を活用することができる。
2	コミュニケーションにおける文化の役割と影響について知り、それに配慮するための行動と態度を取ることができる。
3	複数の人々と協力して、「適切な発表の準備と実行」を行う能力と態度を取ることができる。
4	体験を内省し記録することを通じて、内省から新たな目標を認識する態度と能力を活用することができる。

授業計画

1	研修準備1：目標および活動内容の確認と計画 【授業方法】演習（討議、GW、発表）：オリエンテーション 【予習】本科目を受講して達成すべき個人の目的・目標を明確にする。 【復習】海外に出る上での基本的手続きと学習活動内容を確認し、必要な準備を認識する。これに基づいて、発表および交流活動の準備を始める。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】ガックラ
2	研修準備2：発表主題探索 研修準備2：発表主題探索 - Cross Cultural Communicationについて 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】相手国の学生との活発な議論を誘発すると思われる話題や論点を考え、情報を収集して、主題案を構想する。 【復習】発表の主題を文章化する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】ガックラ
3	研修準備3：主題および論点の決定、小テスト1 研修準備3：主題および論点の決定：ことばを使用しない挨拶 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【小テスト】20分：Vocabularyを中心にCross Cultural Communication力をはかる為の小テスト。テスト後採点を行いフィードバックをします。 【予習】主題を決定し、議論の展開を予測して構成を考える。 【復習】具体的な発表資料を作成する。 【取組時間】予習20分 復習30分 【担当】ガックラ
4	研修準備4：発表案の検討 研修準備4：発表案の検討：Cross Cultural Communicationについて 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】発表案を他のグループに示し、相互にコメントする 【復習】コメントに基づいて修正する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】ガックラ
5	研修準備5：発表・挨拶予行、小テスト2 研修準備5：発表・挨拶予行: Cross Cultural Communicationについて 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【小テスト】20分：Vocabularyを中心にCross Cultural Communication力をはかる為の小テスト。テスト後採点を行いフィードバックをします。 【予習】予行で明らかになった問題に対し必要な修正を行う。 【復習】さらに練習を積む。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】ガックラ

6	研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など 研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など：自分を知る 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
7	研修活動2：Session 1 A班、B班の発表およびQA 研修活動2：Session 1 A班、B班の発表およびQA 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
8	研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA 研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
9	研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA 相互評価 研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA 相互評価：Cross Cultural Communicationについて 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
10	研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA 研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
11	研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA 研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
12	研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA 相互評価 研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA 相互評価 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
13	研修活動8：閉校式、スピーチ 諸施設訪問でのインタビュー 研修活動8：外国人からみた日本の習慣や社会についてプレゼンテーション準備① 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】 印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
14	内省と記録：報告書作成計画、個人および共働活動の内省と執筆 研修活動9：外国人からみた日本の習慣と社会についてプレゼンテーション準備と発表② 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】 班および全体としての活動に関する内省を共有する。報告書の構成と編集方法を定める。班としての報告文の分担部分および個人としての報告文を作成する。 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ
15	フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）とフィードバック 【予習】 相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】 授業の振り返り 【取組時間】 予習30分 復習30分 【担当】 ガックラ

指導教員

Gakkula Mahender Kumar

先行履修要件科目

なし

テキスト

配布物

参考文献

E. T. ホール（訳：國弘正雄、永井善見、斉藤美津子）：沈黙の言葉．南雲堂,1996．
リチャード・ルイス（訳：阿部朱里）：文化が衝突するとき．南雲堂,1996．
エリン・メイヤー（監訳：田岡恵,訳：樋口武志）：異文化理解力. 英治出版,2015．
井上逸兵：伝わるしくみと異文化間コミュニケーション．南雲堂,1999．
金子光茂,リチャード・H・シンプソン：英語脳の鍛え方．南雲堂,1996．
久米昭元,長谷川典子：ケースで学ぶ異文化コミュニケーション．有斐閣,2007．
八代京子　他：異文化トレーニング.三修社,2009．

評価方法

授業参加度　30%、事前プレゼンテーションの完成度（PPT作成+英訳）30%、授業内小テスト　20%
研修現場での役割実行（スピーチ、プレゼンテーションの完成度）20%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として外来語、TESL、Extensive Readingなどの「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が、国際的な行動ができるよう教育します。

メッセージ

「国際的」であるとはどういうことなのか―国際的な視点と思考、国際的な精神、国際的な姿勢・態度などについて、概念化し、国際的な場での的確な行動がとれるようにすることを目指してください。

看護学概論

更新日：2025/01/23 15:06:13

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100450	授業コード	A100450
担当教員	阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

人間の生命と尊厳を守り、最適な健康状態を実現するという看護の本質を理解するために、基本となる概念や看護倫理、看護独自の役割・機能について学び、「看護とは何か」について探究する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	看護提供者の位置づけについて説明できる
2	人間の尊厳を擁護するために必要となる視点を説明できる
3	看護の基本となる概念（人間、健康、環境、看護）について説明できる
4	「看護とは何か」について、自己の考えを述べることができる

授業計画

1	本授業の位置づけと全体像を概観する/看護とは何かについて考え、看護を学ぶにあたって自己の出発点を確認する 【授業内容】カリキュラムの中での本科目の位置づけ、看護学を学ぶにあたって必要となる視点、看護に対する自己の考え方の出発点の確認 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：「学生便覧/履修の手引き」および「シラバス」でカリキュラムの中での本科目の位置づけを確認しておく、テキスト1）p.2-8、10-22、220-222必読 【復習】20分：現時点における自己の看護に対する考えを自己のノートにまとめる
2	〈看護の基本となる概念①〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（1） 【授業内容】看護ケア、看護実践と質保証について理解する 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.39-53 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
3	〈看護の基本となる概念①〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（2） 【授業内容】疾病構造の変化、 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.59-76必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
4	看護提供者の位置づけについて理解する 【授業内容】日本における看護職の資格と養成制度、就業状況、ジェネラリストとスペシャリスト 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.150-168必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
5	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（1）：現代医療における倫理的課題、患者の権利 【授業内容】現代医療における倫理的問題、医療をめぐる倫理の歴史的経緯、患者の権利、なぜ倫理について学ぶ必要があるのかを考える 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.186-199、374-376必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
6	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（2）：職業倫理としての看護倫理 【授業内容】職業倫理としての看護倫理（国際看護師協会「ICN看護師の倫理綱領」、日本看護協会「看護職の倫理綱領」）、看護職は生命と人間の尊厳にどのように関わるのかを考える 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.199-218、370-373必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
7	〈看護の基本となる概念②〉看護の対象である「人間」について理解する（1） 【授業内容】人間を理解する諸側面（全体的存在、基本的欲求、成長発達、生活者としての人間） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.78-81、94-106必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う

8	〈看護の基本となる概念②〉看護の対象である「人間」について理解する（２） 【授業内容】事例を通して対象理解の重要性や看護の視点から「人間」を捉える必要性について考える 【授業方法】講義（GW） 【復習】30分：疑問点の追加学習を行う
9	〈看護の基本となる概念③〉看護の目標となる「健康」について理解する 【授業内容】健康の捉え方（定義、権利としての健康、捉え方の変遷）、健康と生活、クオリティオブライフ（QOL） 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト１）p.108-115必読。自分にとってどのような状態が健康であるか、健康でないかを考えておく 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
10	〈看護の基本となる概念④〉人間を取り巻く「環境」について理解する 【授業内容】環境の捉え方（定義、環境を捉える視点）、環境への適応機構（ホメオスタシス、コーピング、防衛機制） 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト１）p.81-93必読 【復習】20分：環境の変化によって生じた自己の反応を知識を活用して分析する
11	〈看護の基本となる概念①〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（３） 【授業内容】看護活動の場の拡大と課題（看護の継続性、チーム医療、多職種との連携・協働）、場を規定する法律から捉える 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト１）p.223-254必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
12	保健医療福祉を取り巻く状況と、その中での看護の役割について考える 【授業内容】保健医療福祉を取り巻く状況（国民の健康状態、ライフサイクル、地球規模で生じている健康課題等）とその中での看護の役割 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト１）p.115-136必読。保健医療関連の気になるニュースを調べ、まとめる 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
13	看護の歴史の変遷について理解し、これからの看護の目指すべき方向性について考える 【授業内容】歴史にみる看護の形態の変化、看護の専門職化に向けての動き（アメリカ）、日本の職業としての看護の変遷、評価試験：課題レポート 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト１）p.138-149、306-332、360-368必読。日本において、職業としての看護はどのようにしてつくられてきたのか概要を整理しておく 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
14	看護理論の発展経緯と代表的な看護理論の概要を理解する 【授業内容】看護理論とは、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、主な看護理論の焦点 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト１）p.23-39、354-359必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
15	看護とは何か、これから看護学をどのように学んでいくかを考える 【授業内容】将来のキャリア像、看護に対する自己の考え、授業目標の達成状況、レポートのフィードバック等から、各自がこれから看護学をどのように学んでいくかを考える、評価試験：小テスト 【授業方法】講義、評価試験：小テスト 【予習】40分：科目全体の学習内容について、各自でまとめをしておく 【復習】疑問点を残さずに今後の学習課題を明らかにする

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔1〕 看護学概論（第17版）【電子版】．医学書院，2024．
- 2) Nightingale, F. ：Notes on Nursing:What It Is, and What It Is Not. 1860, 薄井坦子・小玉香津子訳：看護覚え書 第8版．現代社，2023．
- 3) Henderson, V. ：Basic Principles of Nursing Care. 1977, 湯楨ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの（再新装版）．日本看護協会出版会，2020．

参考文献

適宜紹介する

評価方法

- 以下の4項目を基に総合的に評価を行う
- 1)課題レポート（40％）：第13回開講日9時までにPDFにしてTEAMSに提出
- 2)評価試験[小テスト]（30％）：第15回開講日に実施
- 3)学修課題をまとめたノート（10％）：第15回開講日9時までにPDFにしてTEAMSに提出
- 4)授業への取り組み（20％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

- 1)ICT双：①講義中にタブレットの画面をミラーリングし活用する ②FORMSを用いて評価試験を行い、結果をフィードバックする
- 2)ICT支援：課題レポートをTEAMSに提出してもらい全体もしくは個別フィードバックを行う。

担当する教員等の実務経験

外科病棟、内科病棟、外来（救急含む）、画像診断治療センターの看護師として臨床経験のある教員が、その経験を事例として活用しながら、看護とは何かを各自が探求できるように授業を行う。

メッセージ

看護とは何でしょうか？看護職は何をする人でしょうか？社会の人たちが看護職に求めていることはどのようなことでしょうか？
皆さんは、これから看護学を学ぶ者として主体的に授業に参加し、自分自身の考えを深めていく姿勢を養ってください。

看護過程

更新日：2025/02/20 15:48:10

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100460	授業コード	A100460
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

看護の対象をホリスティックに捉え、健康上の課題を科学的にアプローチするための看護過程について、基盤となる知識と方法を学ぶことで基礎的能力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護過程とは何かについて説明できる。
2	看護の本質と看護過程との関係について説明できる。
3	看護過程の各段階について説明できる。
4	看護過程を展開するための基礎的能力を身につけることができる。
5	看護実践における看護過程の意義について考察できる。

授業計画

1	看護過程とは何か 1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp76-80を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】30分：配布資料およびテキストも含め理解を深める 【担当】阿部
2	看護過程とは何か 2 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp81-88を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】30分：配布資料およびテキストも含め理解を深める 【担当】阿部
3	看護過程を展開していくための事例学習を深める 【授業方法】講義 【予習】60分：事前学習課題についてノートにまとめる。事例に関連した人体の構造と機能、疾患等について学習する。ノートを第3回講義に持参する。 【復習】30分：病態についてまとめる 【担当】小手川
4	第一段階：アセスメントの理解 1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp115-130を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：配布資料およびアセスメントガイドを活用し、「栄養/代謝」のクラスターに取り組む 【担当】阿部
5	第一段階：アセスメントの理解 2 【授業方法】講義、ICT支援：事例課題についてTEAMSにてフィードバックを行う（第7回までに） 【予習】30分：「栄養/代謝」のクラスターを完成させる 【復習】60分：配布資料およびアセスメントガイドを活用し、「活動/運動」「健康知覚/健康管理」「排泄」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川
6	第一段階：アセスメントの理解 3 【授業方法】講義 【予習】30分：「活動/運動」「健康知覚/健康管理」「排泄」のクラスターを完成させる 【復習】60分：配布資料およびアセスメントガイドを活用し、「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川

7	第一段階：アセスメントの理解4 【授業方法】講義 【予習】30分：「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」のクラスターを完成させる 【復習】60分：配布資料およびアセスメントガイドを活用し、「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川
8	第一段階：アセスメントの理解5 【授業方法】講義 【予習】30分：「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」のクラスターを完成させる 【復習】60分：全クラスターを完成させる 【担当】阿部、小手川
9	第一段階：アセスメントの統合（関連図）1 【授業方法】講義、ICT支援：事例課題についてTEAMSにてフィードバックを行う（第12回までに） 【予習】20分：テキストp92-94を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：関連図を描く 【担当】阿部
10	第一段階：アセスメントの統合（関連図）2 【授業方法】講義、 【予習】30分：関連図を完成させる 【復習】60分：関連図を描く 【担当】阿部
11	第二段階：看護問題の明確化1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp94を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：看護問題の明確化に取り組む 【担当】小手川
12	第二段階：看護問題の明確化2 【授業方法】演習（討議） 【予習】60分：看護問題の明確化に取り組む 【復習】30分：看護問題の明確化まで完成させる 【担当】小手川
13	第三段階：看護計画の立案1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp95-97、p104-105を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：看護計画に取り組む 【担当】小手川
14	第三段階：看護計画の立案2 【授業方法】演習（討議） 【予習】60分：看護計画に取り組む 【復習】30分：看護計画まで完成させる 【担当】小手川
15	第四段階：実施、第五段階：評価、看護記録、まとめ（フィードバック） 【授業方法】講義、評価試験（ICT双）：小テスト、フィードバック 【予習】60分：テキストp98-102までを熟読し、ポイントをおさえる 【担当】小手川、阿部

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

松尾ミヨ子 他監修：基礎看護学②基礎看護技術Ⅰコミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント. メディカ出版，2023．

参考文献

1)渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント（第3版）．ヌーヴェルヒロカワ，2011．
2)NANDA International, Inc. Nursing Diagnoses：Definitions & Classification 2024-2026 13th. 2024, 上鶴 重美訳：NANDA-I看護診断 定義と分類 2024-2026 原書第13版．医学書院，2025．その他、開講時文献リストを配布する

評価方法

- 以下の5項目を基に総合的に評価を行う
- 1)事例課題提出（10％）：第5回開講日9時までにPDFにしてTEAMSに提出
 - 2)アセスメント提出（10％）：第9回開講日9時までにPDFにしてTEAMSに提出
 - 3)評価試験[小テスト]（20％）：第15回開講日に実施
 - 4)記録用紙（40％）：6月5日(木)13時までにPDFにしてTEAMSに提出
 - 5)授業参加度（20％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

- 1)ICT双：①講義中にタブレットの画面をミラーリングし活用する ②FORMSを用いて評価試験を行い、結果をフィードバックする
- 2)ICT支援：事例課題をTEAMSに提出してもらい全体もしくは個別フィードバックを行う。不明な点は再度TEAMSで質問してもらう
- 3)ICT支援：アセスメントまでをTEAMSに提出してもらい個別フィードバックを行う。不明な点は再度TEAMSで質問してもらう

担当する教員等の実務経験

外科や内科等の臨床経験を有する教員が、その経験を活かして、看護職にとって必要不可欠な方法論である『看護過程』について講義・演習を行う。

メッセージ

看護の対象となる人間を捉え必要な看護援助を見出していくためには、人体のメカニズムを理解しておくことが不可欠となります。事例患者の病態、治療等については既習内容を活用しながら自己学習を行い、学習ノートに適宜まとめてください。本科目は講義ですが、毎回課題を提出します。そのため、予習・復習を活用しながら、主体的、計画的に課題に取り組みましょう。自身の視野を広げ、看護過程の展開能力を育成していくことが重要となります。

フィジカルアセスメント

更新日：2025/02/18 13:17:27

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	A100470	授業コード	G100470
担当教員	小手川 良江, 高堂 香菜子, 鬼丸 美紀, 添田 梨香, 隈井 寛子, 阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (60)	
	備考(配当)						

授業の目的

看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診査技法を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる
2	フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる
3	得られた情報から対象者の状態を判断することができる
4	看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる

授業計画

1	フィジカルアセスメントの総論 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト1)p76-81、テキスト2)p2-6を熟読する。 【担当】小手川
2	フィジカルアセスメントの基礎知識、フィジカルアセスメントに必要な診察技術 【授業方法】講義、演習 【予習】30分 ①フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分、診察技法）：テキスト2)p2-22、p108-109、p170-171を確認し、ノートにまとめる。 ②胸腹部前面と背面からの臓器（気管、肺、心臓、横隔膜、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、膵臓、脾臓、腎臓）をノートなどに描く。 【復習】60分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する。 【担当】小手川
3	生命徴候（バイタルサイン）の基礎知識 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】90分：テキスト1)p145-167、テキスト2)p34-83を熟読し手順をまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 テキスト2)p 42、p58、p69、p80のWeb動画を視聴する。 【担当】小手川
4	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習（反転） 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を確認する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川
5	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川
6	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川

7	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】 演習 【予習】 30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】 60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】 小手川
8	生命徴候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 演習 技術試験 【予習】 30分：血圧の測定を練習する。 【復習】 60分：血圧の測定を練習する。 【担当】 小手川
9	生命徴候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 演習 技術試験 【予習】 30分：血圧の測定を練習する。 【復習】 60分：血圧の測定を練習する。 【担当】 小手川
10	腹部のフィジカルアセスメントの基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)p260-274、テキスト2)p170-188を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。消化器系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 高堂
11	腹部のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：第10回を復習しながら、演習が行えるように手順を確認し、提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
12	腹部のフィジカルアセスメント 腹部のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 高堂
13	呼吸器系（胸郭・肺）の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)p218-228、テキスト2)p100-136を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。呼吸器系（循環器系も含む）の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
14	呼吸器系（胸郭・肺）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：呼吸器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】 小手川
15	呼吸器系（胸郭・肺）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 小手川
16	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)p229-241、テキスト2)p138-169を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。循環器系（呼吸器系も含む）の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
17	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：循環器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】 小手川
18	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：提示課題に取り組む。 【担当】 小手川
19	脳・神経系の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 60分：テキスト1)p305-325、テキスト2)p226-304を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。脳・神経系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 鬼丸
20	筋・骨格系の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 60分：テキスト1)p287～304、テキスト2)p326-353を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。筋・骨格系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 鬼丸

21	甲状腺・リンパ節の基礎知識 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】60分：テキスト1)p184～197、テキスト2)p90-99、p210-212（腋窩・鎖骨リンパ節の触診の評価）を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。甲状腺・リンパ系の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】鬼丸
22	脳・神経系（意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能）のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習（反転） 【予習】90分：循環器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】鬼丸
23	脳・神経系（意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能）のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】鬼丸
24	筋・骨格系（歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト）のフィジカルアセスメント、 【授業方法】演習（反転） 【予習】60分：筋・骨格系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【復習】30分：提示課題に取り組む。 【担当】鬼丸
25	甲状腺・リンパ節のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習（反転） 【予習】60分：甲状腺・リンパ節のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【復習】30分：提示課題に取り組む。 【担当】鬼丸
26	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習 【予習】90分：18回までに学んだフィジカルアセスメントについて復習する。 【担当】高堂、小手川
27	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習 【復習】90分：フィジカルアセスメントの発表内容をまとめる。 【担当】高堂、小手川
28	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習（発表） 【予習】90分：フィジカルアセスメントの発表内容をまとめる。 【担当】高堂、小手川
29	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習（発表） 【復習】60分：提示課題に取り組む。 【担当】高堂、小手川
30	看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ 課題フィードバック 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援） 【復習】60分：フィジカルアセスメントで学習した内容について復習する。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【フィードバック】課題についてのフィードバック 【担当】小手川、高堂、鬼丸

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

テキスト1)松尾ミヨ子 他監修：基礎看護学②基礎看護技術Ⅰコミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント. メディカ出版，2024.
テキスト2)熊谷たまき 他監修：看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント. メディックメディア，2019.

参考文献

Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.). 2019, 佐伯由香 他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版，2020.
Richard, D., et al. : Gray's anatomy for students (5th ed.). 2023, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第5版）. エルゼビア・ジャパン，2024.

評価方法

技術試験10％、評価試験90％（第9回～第29回の課題70％、最終課題20％）

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodleを活用した自主学習支援を行う。

担当する教員等の実務経験

外科や内科等の臨床経験を有する教員がその経験を活かし、フィジカルアセスメントの基礎的技術を学生が身につけ、臨床にて実践することができるように演習を展開する。

メッセージ

フィジカルアセスメントは、2年生で学ぶ看護過程や看護過程の展開実習につながる重要な科目です。また、人体の構造と機能や疾病と治療などの科目で学んだ知識を基礎にしてフィジカルアセスメントを行います。そのため、演習の前には、人体の構造と機能、疾病と治療、フィジカルアセスメントの方法を中心に予習を行ってください。演習後には、不足した知識の復習や技術練習に取り組んでください。

看護技術は、演習の中だけで身につけることはできません。演習の予習復習が重要になります。予習・演習・復習を繰り返すことで、看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけてください。

日常生活援助技術

更新日：2025/01/15 16:39:08

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	A100480	授業コード	G100480
担当教員	添田 梨香, 高堂 香菜子, 隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (60)	
	備考(配当)						

授業の目的

看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を理解することができる
2	看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を理解することができる
3	人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術を実施することができる
4	看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身に着けることができる

授業計画

1	ガイダンス、看護技術の概念および特徴、看護技術に共通する要素 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1) p.17～p28を熟読し、ポイントをノートにまとめる。 【復習】30分：授業で学んだことを復習する。 【担当】添田
2	快適な環境を作る技術、ベッドメイキング、ボディメカニクス、実習室の環境・使用方法 【授業方法】講義・演習（GW、討議） 【予習】30分：快適な環境を作る技術 テキスト1) p 29-42 , ボディメカニクス テキスト1) p 97-106を熟読し、ポイントをノートにまとめる。 【復習】30分：第1～2回の授業で学んだことを復習し、小テスト①（Moodle）、課題①に取り組む。 【担当】添田
3	感染予防を推進する技術：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱 【授業方法】講義・演習、小テスト②（授業内） 【予習】60分：感染防止を推進する技術 テキスト1) p 114-146を熟読し、ポイントをノートにまとめる。演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】高堂
4	感染予防を推進する技術：感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱 【授業方法】演習 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。 【担当】高堂
5	快適な環境を作る技術：ベッドメイキング 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】60分：演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】添田
6	快適な環境を作る技術：ベッドメイキング 【授業方法】演習 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、技術練習をする。 【担当】添田
7	技術テスト①：ベッドメイキング 【授業方法】演習 【予習】30分：技術練習をする。 【担当】添田
8	技術テスト①：ベッドメイキング 【【授業方法】演習 【復習】30分：技術練習をする。 【担当】添田

9	活動・運動を支援する技術：安楽姿勢・体位の保持、体位変換、歩行、車椅子、ストレッチャー 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学习支援） 【予習】30分：活動・運動を支援する技術 テキスト1) p.204-219、224-238、安楽な体位 テキスト1)p.44,45,47,51-61 を熟読し、ポイントをノートにまとめる。 【復習】60分：第9回の授業で学んだことを復習し、小テスト③（Moodle）を受ける。 ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】添田
10	体位変換、移動・移送、安楽姿勢・体位の保持 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】添田
11	体位変換、移動・移送、安楽姿勢・体位の保持 【授業方法】演習（GW、討議） 【復習】60分：第9回～11回の授業で学んだことを復習し、課題②に取り組む。 【担当】添田
12	身体の清潔を援助する技術：全身清拭、寝衣交換、洗髪、部分浴、整容・口腔ケア 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト1) p.256-279、281-286 を熟読し、ポイントをノートにまとめる。 【復習】30分：授業で学んだことを復習する。 【担当】添田
13	排泄を促す技術：床上排泄・おむつ交換、身体の清潔を援助する技術：陰部洗浄 【授業方法】講義、小テスト④（授業内：第12回・13回の内容） 【予習】30分：テキスト1)p.176-181、183-191、256-265、279-281 を熟読し、ポイントをノートにまとめる。 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。 【担当】添田
14	全身清拭、寝衣交換 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】60分：演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】添田
15	全身清拭、寝衣交換 【授業方法】演習（GW、討議）、小テスト⑤（授業内） 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。課題③に取り組む。 【担当】添田
16	床上排泄援助、陰部洗浄、おむつ交換 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】添田
17	床上排泄援助、陰部洗浄、おむつ交換 【授業方法】演習（GW、討議）、小テスト⑥（授業内） 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。課題④に取り組む。 【担当】添田
18	食事・栄養摂取を促す技術：食事援助 【授業方法】講義・演習（GW、討議） 【予習】30分：テキスト1)p.148-169、265-269を熟読し、前半で学んだ知識を活用しながら、moodle内の指定動画を視聴する。演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】高堂
19	食事援助（準備、体位調整） 【授業方法】演習（GW、討議）、小テスト⑦（授業内） 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。課題⑤に取り組む。 【担当】高堂
20	洗髪 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：テキスト1)p.272～275を熟読し、前半で学んだ知識を活用しながら、moodle内の指定動画を視聴する。演習ができるよう手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】高堂
21	洗髪 【授業方法】演習（GW、討議） 【復習】60分：授業で学んだことを復習する。 【担当】高堂
22	部分浴（足浴・手浴） 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：テキスト1)p.256-265,272-273を熟読し、前半で学んだ知識を活用しながら、moodle内の指定動画を視聴する。演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】添田
23	部分浴（足浴・手浴） 【授業方法】演習（GW、討議） 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑧（Moodle：第20回～23回の内容）を受ける。 【担当】添田

24	臥床患者のシーツ交換 【授業方法】 演習（GW、討議） 【予習】 30分：テキスト1) p.30-38 を熟読し、前半で学んだ知識を活用して、演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【担当】 添田、高堂
25	臥床患者のシーツ交換 【授業方法】 演習（GW、討議） 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、発表の準備を行う 【担当】 添田、高堂
26	臥床患者のシーツ交換 発表 【授業方法】 演習（GW、発表、討議） 【予習】 30分：発表に向けての準備を行う 【復習】 60分：授業で学んだことを復習する。レポート課題に取り組む。 【担当】 添田、高堂
27	身体可動性の障害がある患者の身体の清潔・排泄の援助：清拭・寝衣交換・おむつ交換 【授業方法】 演習（GW、討議） 【予習】 30分：テキスト1)256-265,276-279、281-286,176-180,187-189 を熟読及び前半で学んだ知識を活用して、演習が行えるように手順とポイントをノートにまとめる。 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、身体可動性の障害がある患者の清拭・寝衣交換・おむつ交換の手順書およびポイントの修正を行う。 【担当】 添田、高堂
28	身体可動性の障害がある患者の身体の清潔・排泄の援助：清拭・寝衣交換・おむつ交換 【授業方法】 演習（実技、GW） 【予習】 30分：授業で学んだことを復習し、身体可動性の障害がある患者の清拭・寝衣交換・おむつ交換の手順書およびポイントの修正を行う。 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、技術練習を行う。 【担当】 添田、高堂
29	技術テスト②：身体の清潔・排泄の援助 【授業方法】 演習 【予習】 30分：技術練習 【担当】 高堂、添田
30	技術テスト②：身体の清潔・排泄の援助 まとめ、フィードバック 【授業方法】 演習、講義 【予習】 30分：既習の日常生活援助技術における学習内容で理解不十分だった部分についての確認を行う 【復習】 60分：学習内容の復習を行う。 【担当】 高堂、添田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

1) 松尾ミヨ子,城生弘美,習田明裕,金壽子：ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術。メディカ出版，2024【電子版】

参考文献

- 1) 藤本真記子 他：看護がみえるvol.1 基礎看護技術第2版．医療情報科学研究所， 2024．
2) 坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】．医学書院, 2022．

評価方法

評価試験：小テスト（①～⑧）45%、演習後課題（①～⑤）15%、技術テスト（第7回、8回、29回、30回で実施）20%、レポート課題10%（第26回でレポート課題を提示する）、発表の相互評価（第26回）10% を総合して評価する

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT 支援（Moodleを用いた自主学習支援を行う）
学生はタブレット端末やスマートフォンを使用し、授業中でも過去の講義や資料を閲覧しながら授業を受けることができるようにする。学生の学習支援として、第9回の授業でMoodleを活用したオンデマンドでの講義を行い、第12回の講義については同様の内容をオンデマンドで配信し、日常生活援助技術の実施に必要な知識と技術実施のポイントを繰り返し学習できるように支援を行う。各单元ごとに対面またはMoodleを使用した小テストを実施し、学生の取り組み状況や知識の習得状況を確認し、学修に支援が必要な学生に対しては個別に連絡を行うなど配慮する。また、オフィスアワーを活用し、教員に質問できる時間の確保を行う。

担当する教員等の実務経験

医療機関や福祉施設において臨床経験を有する教員が、その経験を活かし、看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得することができるように演習を展開する。

メッセージ

本科目は、大学入学後初めての看護の方法論を学ぶ演習科目になります。今後看護実践能力を獲得するにあたり、看護技術の目的や根拠を考える力を身に着けてほしいと願っています。そのために、どのように学習していくかを自分自身で探求し、自己の課題を明確にする必要があります。受け身ではなく、積極的な取り組みを期待しています。

治療援助技術

更新日：2025/02/25 14:03:15

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	A100490	授業コード	A100490
担当教員	隈井 寛子, 鬼丸 美紀, 高堂 香菜子, 添田 梨香, 小手川 良江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						

配当	学部/学科	大学 看護学部				
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (60)
	備考(配当)					

授業の目的

治療・検査を受ける対象者に必要な看護実践を行うための基本的知識・看護技術を習得する

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	治療・検査における日常生活への影響について理解することができる。
2	治療・検査の目的および方法を理解することができる。
3	治療・検査を安全・安楽に実施するために必要な知識について理解して実施することができる。

授業計画

1	概要、治療援助、安全・安楽について 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1)p23「5. 基礎看護技術Ⅱ 第4部 治療・処置に伴う援助技術に置いて学ぶこと」、p84～111「3. 患者の安全・医療従事者の安全を守る技術」を熟読する。 【担当】隈井
2	感染防止の技術1 【授業方法】講義 【予習】30分：既習科目「微生物学」で学んだ内容を確認し、テキスト1) p114～143「4. 感染予防を推進する技術」を熟読する。 【復習】30分：演習に向けて手技や根拠の整理と確認を行う。 【担当】隈井
3	感染防止の技術2：個人防護具の着脱、無菌操作 【授業方法】演習 【予習】30分：動画視聴後、事前小テストを受ける。 【担当】隈井
4	感染防止の技術3：個人防護具の着脱、無菌操作 【授業方法】演習 【復習】60分：第1回～第4回の授業を復習し、事後小テスト①を受ける。 【担当】隈井
5	皮膚・創傷を管理する技術1：褥瘡予防ケア、創傷処置、ドレーン類の挿入部の処置 【授業方法】演習 【予習】30分：動画を視聴する。 【担当】隈井
6	皮膚・創傷を管理する技術2：褥瘡予防ケア、創傷処置、ドレーン類の挿入部の処置 【授業方法】演習 【復習】60分：第5～6回の授業を復習し、事後小テスト②を受ける。 【担当】隈井
7	排泄を促す援助1：導尿、膀胱留置カテーテルの挿入、管理 【授業方法】講義 【予習】30分：既習内容である尿の生成とメカニズム、自然排尿を阻害する要因、チューブ・ライントラブルの予防策について確認し、整理する。 テキスト1) p194～197「導尿」を熟読する。 【復習】60分：第7回の授業を復習し、事後小テスト③を受ける。 【担当】隈井
8	排泄を促す援助2：導尿 【授業方法】演習 【予習】30分：演習に向けて手技や根拠の整理と確認を行う。 【担当】隈井

9	排泄を促す援助 3 ：導尿 【授業方法】演習 【復習】60分：演習を振り返り、技術練習を行う。 【担当】隈井
10	排泄を促す援助 4 ：導尿 【授業方法】演習 【予習】30分：技術練習を行う。 【復習】60分：演習を振り返り、技術練習を行う。 【担当】隈井
11	排泄を促す援助 5 ・感染防止の技術 4 ：導尿（技術テスト） 【授業方法】演習 【予習】30分：技術練習を行う。 【復習】60分：第7～11回の授業を復習し、事後小テスト④を受ける。 【担当】隈井
12	排泄を促す援助 6 ：浣腸、第1回～第11回フィードバック 【授業方法】演習 【予習】60分：テキスト1)p198～199「浣腸」の内容を整理し、手技や根拠をまとめる。 【担当】鬼丸・隈井
13	食事・栄養摂取を促す技術 1 ：経管栄養法による流動食の注入 【授業方法】講義（ICT双方向性支援） 【復習】60分：第13回講義、テキスト1)p169～172「経管栄養の援助」の内容を整理し、第14・15回の演習に向けて手技や根拠をまとめる。 【担当】鬼丸
14	食事・栄養摂取を促す技術 2 ：経管栄養チューブの挿入、経管栄養の注入 【授業方法】演習（反転） 【予習】60分：第13回講義、テキスト1)p169～172「経管栄養の援助」の内容を整理し、第14・15回の演習に向けて手技や根拠をまとめる。 【担当】鬼丸
15	食事・栄養摂取を促す技術 3 ：経管栄養チューブの挿入、経管栄養の注入 【授業方法】演習（反転） 【復習】30分：第13～15回の授業を復習し、事後小テスト⑤を受ける。 【担当】鬼丸
16	呼吸を楽にする技術 1 ：呼吸管理について 【授業方法】講義（ICT双方向性支援） 【予習】30分：既習内容である、呼吸の解剖、生理学的メカニズムについて確認し、整理する。 【復習】60分：演習に向けて、手技の整理と確認を行う。 【担当】隈井
17	呼吸を楽にする技術 2 ：酸素吸入療法、気管内加湿（ネブライザー）、体位ドレナージ 【授業方法】演習（反転） 【予習】30分：演習に向けて、手技の整理と確認を行う。 【担当】隈井
18	呼吸を楽にする技術 3 ：口腔内・鼻腔内吸引、気管内吸引 【授業方法】演習（反転） 【復習】60分：第16～18回の授業を復習し、事後小テスト⑥を受ける。 【担当】隈井
19	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 1 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：テキスト1)p41～417「検査とは」、p422～441「検査の援助」（血液検査を除く）、p441～450「治療・処置」を熟読する。 【担当】隈井
20	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 2 【授業方法】講義（GW） 【復習】60分：発表資料の作成と準備を行う。 【担当】隈井
21	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 3 【授業方法】講義（発表、討議） 【予習】30分：発表の準備を行う。 【担当】隈井
22	検査・治療を安全かつ正確に行う技術 4 【授業方法】講義（発表、討議） 【復習】60分：第19～22回の授業を復習し、事後小テスト⑦を受け、課題①を提出する。 【担当】隈井、鬼丸
23	与薬を安全かつ正確に行う技術 1 ：与薬のための基礎知識、与薬のための援助技術 【授業方法】講義（ICT双方向支援） 【復習】60分：第19回講義、テキスト1)p356「与薬とは」～p375「与薬のための援助技術」の内容を整理する。 【担当】鬼丸
24	与薬を安全かつ正確に行う技術 2 ：注射のための援助技術 【授業方法】講義（ICT双方向支援） 【復習】60分：第20回講義、テキスト1)p375～403「注射のための援助技術」の内容を整理する。 【担当】鬼丸

25	与薬を安全かつ正確に行う技術3：注射の準備 【授業方法】 演習 【予習】 60分：第19・20回の講義、テキスト1) p375～403「注射のための援助技術」の内容を整理、第19・20回の演習に向けて手技や根拠をまとめる。 【担当】 鬼丸
26	与薬を安全かつ正確に行う技術4：注射の準備 【授業方法】 演習 【復習】 60分：第19・20回の演習の復習を行い、事後小テスト⑧を受ける。 【担当】 鬼丸
27	与薬を安全かつ正確に行う技術5：注射部位の選択、静脈内注射 【授業方法】 演習 【予習】 60分：第19・20回の講義、テキスト1) p375～403「注射のための援助技術」の内容を整理、第23・24回の演習に向けて手技や根拠をまとめる。 【担当】 鬼丸
28	与薬を安全かつ正確に行う技術6：注射部位の選択、静脈内注射 【授業方法】 演習 【復習】 60分：第23・24回の演習の復習を行い、課題②を提出する。 【担当】 鬼丸
29	与薬を安全かつ正確に行う技術7：静脈血採血 【授業方法】 演習 【予習】 60分：第19・20回の講義、テキスト1) p375～403「注射のための援助技術」の内容を整理、第25・26回の演習に向けて手技や根拠をまとめる。 【担当】 鬼丸
30	与薬を安全かつ正確に行う技術8：静脈血採血、第12回～第30回フィードバック 【授業方法】 演習 【復習】 60分：第25・26回の演習の復習を行い、事後小テスト⑨を受ける。 【担当】 鬼丸

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

1) 松尾ミヨ子,城生弘美,習田明裕,金壽子：ナースングラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術．メディカ出版，2024

参考文献

- 1) 藤本真記子，他監修：看護がみえるvol.1基礎看護技術（第2版）．メディックメディア，2024．
2) 近藤一郎，他監修：看護がみえるvol.2臨床看護技術．メディックメディア，2018．
3)三谷理恵，他：人体の構造からわかる看護技術のエッセンス．医歯薬出版，2019．

評価方法

技術テスト（14％）、小テスト（67％）、課題（19％）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援、双方向性の授業を行う。

担当する教員等の実務経験

幅広い発達段階、経過での看護の臨床経験を持つ教員が、その経験を活かして看護技術の講義、技術の習得を目指した演習を行っていく。

メッセージ

本科目では既習科目の知識を使い、治療・検査を受ける対象へ安全・安楽な看護実践を行うための知識と技術の習得を目指しています。

日常生活援助実習

更新日：2024/12/13 19:29:28

開講年度	2025		学期	前期	科目コード	A100500	授業コード	E100500
担当教員	隈井 寛子, 添田 梨香, 鬼丸 美紀, 高堂 香菜子, 小手川 良江, 阿部 オリエ							
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員							
配当	学部/学科	大学 看護学部						
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (45)		
	備考(配当)							

授業の目的

療養者への日常生活援助を看護師と共に実施し、日常生活援助の必要性や根拠を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成する**DP**の力

DP4-1【看護を实践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	日常生活援助を受けている療養者の情報を看護師から得ることができる
2	看護師と共に日常生活援助を実施する療養者に説明し同意を得ることができる
3	看護師と共に安全・安楽に日常生活援助を実施または見学することができる
4	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、日常生活援助技術の根拠が理解できる
5	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、療養者の自立や個性に応じた日常生活援助について考えることができる
6	振り返りを行い、日常生活援助技術に対する自己の課題を明らかにすることができる
7	看護技術の原理・原則（安全、安楽、自立、個別性、効率性）などに照らし合わせて、自身が行った日常生活援助を考察し記述できる

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】 実習 【予習】 臨地実習要項熟読、自身の実習先の情報収集、既存の日常生活援助に関する理解（取組時間：60分） 【復習】 課題への取り組み、実習でわからなかったことを調べる学習（取組時間：60分）
2	実習方法 1．実習期間（病院・学内） 8月25日（月）～9月4日（木）のうち5日間 2．実習場所 総合せき損センター、福岡赤十字病院、宗像医師会病院のいずれか1か所 3．実習の進め方 1) 全体オリエンテーション 8月25日（月） オリエンテーションと技術練習を実施する。 2) 病院実習 ・看護師より、日常生活援助を実施している療養者の情報を聞き、日常生活援助を看護師と共に実施する。 ・援助を実施する際には、看護師と共に療養者のところへ出向き、日常生活援助を看護師と共に実施させていただくことを説明し、療養者より同意を得る。 ・毎日、30分程度まとめのカンファレンスを行う。カンファレンスの目的は、一日を終えての感想や疑問点などを表出し解決の糸口を探ることである。 3) 学内実習 レポート作成

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

なし

参考文献

適宜紹介する

評価方法

実習目標達成度50%、レポート30%、実習態度20%

本科目で取得が望ましい点数

83点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

病院や施設で看護師の実践経験がある教員が、その経験を活かして、日常生活援助の原理・原則における思考について、臨地の場でタイムリーに指導を行います。

メッセージ

看護大学入学後、初めての实習科目になります。主に日常生活援助技術で学んだ知識や技術を、“個”の療養者にどのように応用していくか、いわゆる「個別性」を学ぶ機会となります。学生それぞれが、他者の意見を聴き、自分の考えを発信できるようになることを期待しています。そして、それは、コミュニケーションの1つの形です。日常生活援助を実施するにあたり、対象者とのコミュニケーションや観察を行うことは、基本的な能力として求められます。学内で学んだことを実習の場でどのように応用するか、かつ、更なる学修のための自己の課題は何かについて、深く考える機会にしましょう。

看護過程の展開実習

更新日：2024/12/05 15:20:45

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100510	授業コード	
担当教員	鬼丸 美紀, 小手川 良江, 高堂 香菜子, 添田 梨香, 隈井 寛子, 阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (90)	
	備考(配当)						

授業の目的

健康障害を持った対象者との関わりを通して、看護過程の展開方法を学ぶとともに、看護学実習における基本的学習方法を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護過程を展開できる。
2	看護実践における看護過程の意義について説明できる。
3	機会を捉え看護援助を実施し、振り返りを行なうことができる。
4	学生として責任のある行動をとり、主体的に知識、技術を学ぶことができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】 ・実習要項の看護過程の展開実習に関する箇所を熟読する（取組時間：60分） ・看護過程の教科書、資料、事例の看護展開を用いて、看護過程の復習を行う（取り組み時間：90分） ・看護技術の復習を行う（取り組み時間：90分） 【復習】 ・受け持ち対象者の疾患などの学習（取組時間：60分） ・看護実践の振り返り（取組時間：60分） ・看護技術練習（取組時間：60分）
2	実習方法と実習の進め方 1．実習方法 1）期間 7月14 日（月）～8月8日（金）の期間の内2週間の実習を行う。 ※オリエンテーション、学内演習については、別日程で実施予定。 2）実習場所 福岡赤十字病院 3）指導体制 一つの病棟に学生5～6名程度を配置し、担当教員と実習指導者が主に指導にあたる 2．実習の進め方 1）全体オリエンテーション ・実習目的および概要を理解する 2）実習前演習 ・技術演習 3）病院実習 ・入院している対象者1名（もしくは2名程度）を受け持ち、看護過程の展開を行う ・看護援助を実践する 4）学内実習 ・看護過程第一段階～第五段階までまとめる ・実習のフィードバック

指導教員

先行履修要件科目

日常生活援助実習、赤十字フィールド体験実習

テキスト

- 1) 松尾ミヨ子 他：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ② 基礎看護技術Ⅰ コミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント， メディカ出版, 2024.
- 2) 松尾ミヨ子 他：ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術， メディカ出版, 2024.

参考文献

1) 渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント（第3版）．ヌーヴェルヒロカワ，2011．

評価方法

実習目標の達成度（80％）、実習態度（20％）

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

外科系・内科系の臨床経験を持つ教員が、学生が臨床で看護過程を展開し、実践できるように指導します。

メッセージ

講義・演習で学んだ看護過程を基本とし、臨床の場で実際に看護過程を展開します。看護過程を展開するためには、1年生から学んだ人体の構造と機能、疾病の知識が重要になります。また、大学で学んでいないことを自分んで学び看護過程に繋げることも重要です。みなさんが主体的に取り組むことを期待しています。

地域・在宅看護学総論

更新日：2025/02/25 13:26:15

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100520	授業コード	C100520
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

地域で生活する人々の暮らしが健康に与える影響を理解し、人々の健康と生活を継続的に支援する地域・在宅看護を実践するために必要な基本的知識を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】
人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	地域で暮らす人々の生活と多様性を理解し、地域の環境が人々の生活に及ぼす影響を説明できる。
2	生活と健康をめぐる社会の動向を理解し、地域・在宅看護の変遷と課題について説明できる。
3	地域・在宅看護の目的と理念、対象者、看護実践の場について説明できる。
4	地域で暮らす人々の生活と健康を支える地域・在宅看護の役割や機能について説明できる。
5	地域・在宅看護における法・制度や社会資源を理解し、地域・在宅看護における多職種連携・協働やケアマネジメントについて説明できる。
6	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携の意義を考察することができる。

授業計画

1	地域で暮らす人々の生活と健康 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p15-25（地域と生活と健康）、健康支援と社会保障①p38-58（生活と生活者）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域で暮らす人々の生活と健康、その多様性について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
2	地域包括ケアシステムと共生社会 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p26-32（地域包括ケアシステムと共生社会）、健康支援と社会保障①p154-170（地域社会と健康）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域包括ケアシステム、コミュニティについて理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
3	生活と健康を支える地域・在宅看護 【授業方法】講義（ICT支援）、小テスト① 【予習】30分：地域・在宅看護論①p48-66（地域看護）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて生活と健康を支える地域・在宅看護の背景と実践の場について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
4	地域アセスメント 【授業方法】講義（ICT双）、地域アセスメント演習のオリエンテーション 【予習】30分：地域・在宅看護論①p33-45（地域アセスメント）、健康支援と社会保障①p90-124（社会的な健康、ヘルスプロモーション）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域アセスメントの方法や人口・世帯、健康、保健・医療提供体制に関する動向について、各種統計データをとおして理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
5	地域アセスメント演習（フィールドワーク）（1） 【授業方法】演習（フィールドワーク、ICT支援） 【予習】60分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、地域にある保健・医療・福祉施設の特徴（サービスの種類、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べる。 【復習】20分：教科書と資料にて地域の理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

6	地域アセスメント演習（フィールドワーク）（2） 【授業方法】演習（フィールドワーク、ICT支援） 【予習】20分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、地域にある保健・医療・福祉施設の特徴（サービスの種類、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べる。 【復習】60分：フィールドワークの内容をグループでまとめ、発表資料を作成する 【担当】西村
7	地域アセスメント演習（発表） 【授業方法】演習（発表、ICT双） 【予習】60分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と保健・医療・福祉施設（サービスの種類、対象、サービス内容）について発表資料にまとめる。 【課題（評価対象）】地域アセスメントの内容をまとめる（詳細は第4回オリエンテーションで説明する）。 【復習】20分：教科書と資料にて地域の環境が人々の生活や健康に及ぼしている影響について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村、鎌田
8	地域アセスメント演習（発表） 【授業方法】演習（ICT双、発表）、地域アセスメント演習の発表に関するフィードバック 【予習】20分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と保健・医療・福祉施設（サービスの種類、対象、サービス内容）について発表資料にまとめる。 【復習】60分：教科書と資料にて地域の環境が人々の生活や健康に及ぼしている影響について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【事後課題】地域で暮らす人々の生活と地域の環境が人々の健康に及ぼす影響について記述する。 【担当】西村、鎌田
9	評価試験①、地域・在宅看護の役割・機能 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験①：筆記試験（第1回～第4回の内容） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p68-78を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の役割・機能と変遷について理解を深め、疑問点を追加学修する。。 【担当】西村
10	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p79-105（入退院支援、多職種連携、地域連携、地域包括支援センター、事例：地域の多職種が連携して行う自宅退院への支援）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて入退院支援のプロセスと多職種・多機関連携、地域連携について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
11	地域・在宅看護の対象者 【授業方法】講義（ICT双）、小テスト② 【予習】30分：地域・在宅看護論①108-136（地域・在宅看護の対象者）、健康支援と社会保障①p134-152（家族と健康）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の対象者について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
12	在宅療養を支える訪問看護 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p138-156（訪問看護の制度、提供方法、管理・運営）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて訪問看護の制度や提供方法、訪問看護サービスの管理・運営について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
13	地域療養を支える法制度とケアマネジメント 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p158-226（ケアマネジメント、地域療養を支える制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域療養を支える制度について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
14	在宅療養を支える健康危機・災害対策 【授業方法】講義（PBL、ICT双） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p228-248（在宅療養における健康危機・災害対策）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて在宅療養における健康危機・災害対策について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
15	評価試験②、フィードバック、地域・在宅看護の動向 【授業方法】講義（ICT双、フィードバック）、評価試験②：筆記試験（第9回～第14回） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p250-264（地域・在宅看護の動向）、健康支援と社会保障①p172-190（国際社会と健康）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の動向と課題について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

平野かよこ，他：ナースিং・グラフィカ 健康支援と社会保障①健康と社会・生活．メディカ出版，2024．
石田千絵，他：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア．メディカ出版，2025．

参考文献

河野あゆみ：新体系 看護学全書 地域・在宅看護論 第6版．メヂカルフレンド社，2021．

評価方法

評価試験（筆記試験）：50%（第9回：20%、第15回：30%）

地域アセスメント演習（フィールドワーク）の発表および課題：20%（発表・プレゼンテーション10%、課題10%）

レポート課題：10%（第8回）

小テスト①②：10%（第3回5%、第11回5%）

授業参加度：10%

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。

また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

病院（病棟や外来）や地域（NPO法人）、訪問看護ステーション等で看護師として実務経験のある教員が、地域で暮らす人々の在宅療養支援や健康増進などの看護実践の経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

地域・在宅看護とは、暮らしを支える看護とは何かを考えながら、積極的に取り組みましょう。地域を理解するには、まず自分が住んでいる地域やそこで暮らしている人々に興味を持ち、調べていきましょう。ひとりを看る目、世界をみる目を育ててください。

地域・在宅看護学援助論

更新日：2025/02/25 17:54:47

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100530	授業コード	A100530
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

地域・在宅看護の対象とその家族の健康課題を理解し、健康と生活を支えるケアシステムおよび看護援助方法について基本的知識を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

別表1：個人・家族・集団・組織の支援実習

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	地域・在宅看護が提供されるさまざまな場と根拠となる制度について説明できる。
2	地域包括ケアシステムにおける療養移行支援と継続看護の意義や方法について説明できる。
3	暮らしの場におけるさまざまな慢性疾患管理に応じた看護援助方法について説明できる。
4	在宅療養者とその家族を対象とした在宅看護過程の目的と方法について説明できる。

授業計画

1	地域・在宅看護が 提供されるさまざまな場と制度 地域・在宅看護が提供される多様な場（訪問看護ステーションなど）について制度や提供内容・方法を理解について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論①P198～212, ①P154～P156を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
2	地域包括ケアシステムにおける療養移行支援・継続看護 治療の場から在宅への移行（退院支援）、在宅療養安定期、急性増悪期などの健康レベルに応じた継続看護の意義や方法について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論①P108～P121を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
3	地域・在宅看護の対象と慢性疾患管理の理解 地域・在宅看護の対象に多い慢性疾患やマルチモビディティ（多疾患併存）の特徴を理解し、慢性疾患療養者のセルフケア、服薬管理、症状管理などの看護の特徴を学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論①P56～P66、地域・在宅看護論②P58～P61を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
4	地域・在宅看護における家族支援 地域・在宅看護における家族のアセスメント方法を理解し、家族介護者への支援やならびに意思決定に関する家族支援の方法を学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論①P66～P85（事例情報を含む）を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
5	暮らしの場における 医療的ケア児の看護 医療的ケア児の特徴を理解し、暮らしの場における治療、家族支援を含めた看護援助（在宅経管栄養法・在宅中心静脈栄養法）、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 地域・在宅看護論②p279-284（事例）を熟読し、事例の病態・症状・治療・看護、社会資源と設問について調べたことをまとめる。 【復習】40分 地域・在宅看護論①p63（疾病や障害をもつ小児）、p180-182（子どもの在宅療養を支える制度と社会資源）、地域・在宅看護論②p195-201（在宅経管栄養法）、p183-186（在宅人工呼吸療法）についてまとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

6	在宅看護過程の展開，評価試験（小テスト①） 在宅療養者と家族に対する看護過程の目的ならびに特徴をふまえ、看護過程の展開方法について学ぶ。 【授業方法】小テスト①30分（範囲：1～5回目）/ 講義60分（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P24～P32を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
7	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：糖尿病・慢性腎不全① 糖尿病や慢性腎不全について在宅療養移行期、安定期、急性増悪期の特徴を理解し、暮らしの場における治療（インスリン療法・腹膜透析療法）、家族支援を含めた看護援助、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P57～P58，②P219～224，②P225～229を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
8	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：糖尿病・慢性腎不全②，評価試験（レポート①） 事例についてアセスメントを行い、暮らしの場でどのように治療および健康管理を支援するのかグループワークで検討し、レポートにまとめる。 【授業方法】講義（GW，ICT支援，ICT双） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P57～P58，P219～224，P225～229を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出）。 【担当】鎌田
9	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：認知症 認知症について在宅療養移行期、安定期、急性増悪期の特徴を理解し、暮らしの場における治療（服薬管理）、生活支援を含めた看護援助、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P44～P46を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
10	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：精神疾患，評価試験（小テスト②） 精神疾患について在宅療養移行期、安定期、急性増悪期の特徴を理解し、暮らしの場における治療（服薬管理）、生活支援を含めた看護援助、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】小テスト②30分（範囲：6～9回目）/ 講義60分（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P46～P47を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
11	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：慢性心不全・慢性呼吸不全① 慢性心不全・慢性呼吸不全について在宅療養移行期、安定期、急性増悪期の特徴を理解し、暮らしの場における治療（在宅酸素療法）、家族支援を含めた看護援助、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P53～P57，②P180～182を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
12	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：慢性心不全・慢性呼吸不全②，評価試験（レポート②） 事例についてどのように治療および健康管理を継続する支援をするのかグループワークで検討し、レポートにまとめる。 【授業方法】講義（GW，ICT支援，ICT双） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P53～P57，②P180～182を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出）。 【担当】鎌田
13	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：難病 難病（パーキンソン病/筋萎縮性側索硬化症）について在宅療養移行期、安定期、急性増悪期の特徴を理解し、暮らしの場における治療（薬物療法/在宅人工呼吸療法）、家族支援を含めた看護援助、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P47～P49，②P177～180を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
14	暮らしの場における慢性疾患管理の実際：エンド・オブ・ライフケア，評価試験（小テスト③） エンド・オブ・ライフケア（終末期）の特徴を理解し、暮らしの場における緩和ケア（疼痛管理）・看取り、家族支援、社会資源の活用について学ぶ。 【授業方法】小テスト③30分（範囲：10～13回目）/ 講義60分（ICT支援） 【予習】40分 テキスト地域・在宅看護論②P64～P65，②P287～280，②P230～234を通読する。 【復習】40分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
15	評価試験（筆記試験），授業全体のフィードバック 【授業方法】筆記試験（範囲：1～14回目）60分，授業全体のフィードバック30分 【復習】60分：全体のふり返り

指導教員

なし

先行履修要件科目

なし

テキスト

臺有桂, 他 編：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2022.
石田千絵他 編：ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 地域療養を支える技術，メディカ出版，2025.

参考文献

河野あゆみ編集：新体系看護学全書 地域・在宅看護論 第6版。メヂカルフレンド社，2022。
尾崎章子他編：療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程。医歯薬出版，2023。
河原加代子他 編：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基盤。医学書院，2024。
石垣和子他 編：看護学テキストNiCE 地域・在宅看護論Ⅰ総論 改訂第3版，南江堂，2024。

評価方法

8回，12回で実施するレポート課題：20%=10%×2
6回，10回，14回で実施する小テスト：30%=10%×3
15回で実施する評価試験（筆記試験：範囲1～14回）40%
取り組み姿勢（グループワーク含む）：10%

本科目で取得が望ましい点数

79点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
Moodleを用いた双方向性の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

訪問看護ステーションにおける実務経験 および 介護支援専門員の資格をもつ教員がその経験を活かし、暮らしの場における看護援助の特徴についてイメージしやすいよう授業を展開します。

メッセージ

地域・在宅看護では、人々の健康と暮らしを支援することが求められます。
慢性疾患や障害をもつ対象の暮らしを支える看護援助方法ついて関心をもてるよう取り組んでいきます。

成人看護学総論

更新日：2025/03/17 15:35:47

開講年度	2025	学期	1期	科目コード	A100550	授業コード	A100550
担当教員	山本 孝治, 西山 陽子, 立野 淳子, 鈴鹿 綾子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

成人期にある人々及びその健康行動の基本を理解し、健康レベルに応じた看護を実践するために必要な基本的知識を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1：【看護を実践する力】人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	成人期にある人々の生活と健康の特徴について説明できる。
2	成人の健康行動の特徴および健康行動を促進するための概念・理論を説明できる。
3	成人の健康レベルに応じた看護の特徴および必要な概念・理論を説明できる。
4	成人期にある人々に必要な看護について考察できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション/ライフサイクルからみた成人期の生活と健康の特徴、成人教育（アンドラゴジー） 【授業方法】講義 【予習】20分：「成人看護学総論」第2章「A成人を取り巻く環境と生活からみた健康」を熟読する。 【復習】30分：授業内容の復習・資料とノートにまとめる 【担当】山本
2	成人期の健康をおびやかす要因と予防（コンプライアンス・アドヒアランス）、様々な健康レベル 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】20分：「成人看護学総論」第5章「健康をおびやかす要因と看護」を熟読する。 【復習】30分：授業内容の復習・資料とノートにまとめる ※第1・2回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】山本
3	成人の様々な健康レベルの特徴と看護の基本(1)：急性の状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴と、それを支える社会システム 【授業方法】講義（周手術期の患者・家族の特徴とその支援の概要） 【予習】20分： 「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」第1部急性期看護概論 1急性期看護とはを熟読する。 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】立野、鴨川、吉原
4	成人の様々な健康レベルの特徴と看護の基本(2)：クリティカルな状態にある成人期の患者と家族の身体的・心理的・社会的特徴と、それを支える社会システム 【授業方法】講義 【予習】20分： 「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」第1部急性期看護概論 1急性期看護とはを熟読する。 【復習】60分：授業内容の復習 ※第3・4回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】立野、鴨川、吉原
5	成人の様々な健康レベルの特徴と看護の基本(3)：慢性病を持つ人のセルフケア 【授業方法】講義（ICT支援、GW） 【予習】30分：「成人看護学総論」第7章～第9章を読み、要点にマーカーを引き、わからない用語は調べてメモを書き加える。 【復習】20分：授業内容の要点を復習する。 【担当】西山
6	成人の様々な健康レベルの特徴と看護の基本(4)：がんとともに生きる人の特徴と援助 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキスト（がん看護）の第Ⅱ章「がんおよびがん医療の理解」を熟読し要点にマーカーを引く。わからない用語は調べてメモを書き加える。 【復習】20分：授業内容を振り返りテキスト（がん看護）の第Ⅲ章のポイントをまとめる。 ※第5・6回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】西山

7	成人の健康行動の特徴/健康行動促進のための概念・理論(1)：エンパワーメント、ヘルス・ビリーフ・モデル、セルフエフィカシー、コントロール所在 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】20分：「成人看護学総論」3章「成人への看護アプローチの基本／エンパワメントをうながすためのアプローチ」、第7章「慢性病とともに生きる人を支える看護／コントロールの所在／ヘルスビリーフモデル」を熟読する。 【復習】30分：授業の復習 【担当】鈴鹿
8	成人の健康行動の特徴/健康行動促進のための概念・理論(2)：概念・理論を活用した課題に取り組む 【授業方法】講義・演習（GW・発表） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】20分：学んだ理論の特徴をまとめる。第7章「慢性病とともに生きる人を支える看護／自己効力感」を熟読する。 【復習】45分：授業の復習、事後課題（支援計画書の作成） 【担当】鈴鹿
9	成人への看護とケアに必要な概念・理論(1)：急性期①侵襲と生体の反応 身体的反応 【授業方法】講義 【予習】60分： 「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」第1部急性期看護概論 2急性の状態にある患者の身体的・心理的反応の内容を熟読する。 【復習】20分：授業内容の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
10	成人への看護とケアに必要な概念・理論(2)：急性期②侵襲と生体の反応 心理的・社会的反応 【授業方法】講義 【予習】60分：事前課題 「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」第1部急性期看護概論 2急性の状態にある患者の身体的・心理的反応～3急性の状態にある患者と家族に対する看護の内容を熟読し、事前課題に取り組む。 【復習】30分：授業内容の振り返り ※第9・10回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】立野、鴨川、吉原
11	成人への看護とケアに必要な概念・理論(3)：慢性期①トランスセオリティカルモデル、病みの軌跡モデル 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】20分：「成人看護学総論」第3章の"トランスセオリティカルモデル"、第7章の"病みの軌跡"を読み要点にマーカーを引き、わからない用語は調べてメモを書き加える。 【復習】30分：講義内容の振り返りおよび小テストを受験して復習する。 ※第11回の講義内容（テキスト含む）からmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】西山
12	成人への看護とケアに必要な概念・理論(4)：慢性期②ソーシャルサポートの活用（患者会の役割含む） 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】20分：「成人看護学総論」第7章「B慢性病とともに生きる人を支える 2生活の再構築への支援/4ソーシャルサポートの活用～6ピアサポート」を熟読する。 【復習】30分：事後課題・授業内容の振り返り ※第12回の授業内容を対象として事後課題を提出する。 【担当】山本、ゲストスピーカー
13	成人への看護と家族 倫理的課題へのアプローチ・意思決定支援 【授業方法】講義 共同意思決定支援、3ステージモデル、臓器提供、家族の心理的反応 【予習】30分：事前に提示した資料を熟読する。 【復習】20分：授業内容の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
14	成人への看護におけるチームアプローチと看護の役割 保健・医療・福祉システムの活用 【授業方法】講義 リハビリテーションを含む退院支援、シームレスな看護・地域連携 【予習】20分： 「成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護」第V章退院へ向けた指導・支援 「成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア」第1部第Ⅱ章集中治療の現状 3．多職種連携によるチーム医療を熟読する。 【復習】30分：事後課題・授業内容の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
15	評価試験（筆記試験）・授業全体のフィードバック 【授業方法】科目全体の内容を対象とする評価試験（筆記試験60分）・講義：授業全体のフィードバック（30分） 【復習】30分：全体の振り返り 【担当】山本、西山、立野、鈴鹿、鴨川、吉原

指導教員

先行履修要件科目

看護学概論

テキスト

小松浩子, 井上智子, 麻原きよみ, 荒尾春恵, 雄西智恵美, 中村光江, 矢ヶ崎香：成人看護学総論 第16版. 医学書院, 2022.
林直子, 佐藤まゆみ編：成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第4版. 南江堂, 2023.
佐藤まゆみ, 林直子編：成人看護学 急性期看護Ⅱ 救急看護・クリティカルケア 改訂第4版. 南江堂, 2023.
鈴木久美, 旗持知恵子, 佐藤直美編：成人看護学 慢性看護 改訂第4版. 南江堂, 2023.
鈴木久美, 林直子, 佐藤まゆみ編：看護学テキストNICE がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える. 南江堂, 2025.

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

事後課題（20%）、評価試験【小テスト】（25%）、評価試験【筆記試験】（55%）

※事後課題の評価内訳：第7・8回分の支援計画（10%）、第12回ゲストスピーカーの授業に関する課題（5%）、第14回の退院支援に関する課題（5%）

※評価試験【小テスト】は、第2回、第4回、第6回、第10回、第11回の授業終了後、moodleを用いて実施する。

※評価試験【筆記試験】は、科目全体の内容を対象として、第15回に実施する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

moodleを活用した自主学習支援を行う。

担当する教員等の実務経験

急性期看護・慢性看護領域での臨床経験をもつ教員により、成人期にある対象者の特徴と健康レベルに応じた看護を実践するために必要となる知識について、具体的かつ分かりやすく、実例を交えながら授業を行います。

メッセージ

「成人看護学総論」では、成人期にある人に焦点をあて、様々な健康レベルに応じた看護について学びます。成人期にある対象の健康を維持、増進、回復に向けた支援に活用できる概念・理論は、根拠のある看護を実践する上で欠かせません。この科目での学びは、後期第3クォーターの「成人看護学援助論」でより具体化されますので、科目の連動性についても意識しましょう！

成人看護学援助論

更新日：2025/03/17 15:38:09

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100560	授業コード	A100560
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治, 立野 淳子, 鈴鹿 綾子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

成人期にある疾患とともに生きる人々の健康機能障害をアセスメントし、その人らしい生を支えるための看護援助方法の基礎的知識を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	健康障害とともに生きる成人を全人的に捉え説明することができる。
2	さまざまな成人の健康障害に対する治療や療養の特徴と生活への影響を多面的に理解し説明することができる。
3	成人の健康障害が家族に与える影響およびそれに対する家族の機能と対処能力を述べることができる。
4	健康障害とともに生きる成人を支えるための看護の役割について説明することができる。

授業計画

1	健康障害を持つ人の特徴と治療・療養の基本の理解 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】20分：テキスト（成人看護学 慢性期看護）第1章「慢性看護とは」 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ・小テストの振り返り ※moodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】山本
2	チームアプローチの基本と実際：短期間でのチームアプローチ、チームステップス 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト3）成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 第Ⅱ章3多職種連携によるチーム医療を熟読する 【復習】60分：授業を振り返りチームアプローチについての学びを記述する（課題） 【担当】立野、鴨川、吉原
3	病気・障害とともに生きる成人と家族へのセルフケア支援①高血圧を持つ患者への支援 【授業方法】演習（GW、ICT支援） 【予習】20分：テキスト（成人看護学慢性期看護）第5章-2循環器系の障害を有する人とその家族への援助「高血圧」を熟読する 【復習】30分：授業内容の復習 【担当】鈴鹿
4	病気・障害とともに生きる成人と家族へのセルフケア支援②高血圧を持つ患者の支援 【授業方法】演習（GW、ICT支援） 【予習】20分：セルフケアとセルフマネジメントについて、自分の言葉で説明できるように復習する。 【復習】30分：高血圧の看護についてまとめる 【担当】鈴鹿
5	病気・障害とともに生きる成人と家族へのセルフケア支援③病みの軌跡を用いたアプローチ (1) 【授業方法】演習（GW、ICT支援） 【予習】20分：成人看護学総論で学んだ「病みの軌跡モデル」について復習する。テキスト（成人看護学 慢性期看護）第Ⅲ章「G.病みの軌跡」を熟読し、慢性疾患の病みの軌跡モデルの概要について説明できるようにする。 【復習】30分：授業で取り組んだ事例の病みの軌跡について復習する 【担当】山本
6	がんとともに生きる成人と家族へのセルフケア支援① がん治療を受ける患者への支援 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】50分：テキスト4）がん看護第4章をよみ、わからない用語を調べてメモを追記する。 【復習】30分：講義内容の要点を復習する。 【担当】西山
7	病気・障害とともに生きる成人と家族へのセルフケア支援④病みの軌跡を用いたアプローチ (2) 【授業方法】演習（GW、ICT支援） 【予習】20分：第5回授業で取り組んだ事例の病みの軌跡について追加学習する 【復習】30分：授業内に新たに提示された事例の情報を踏まえ、病みの軌跡を記述する（課題） 【担当】山本

8	がんとともに生きる成人と家族へのセルフケア支援②　がん治療を受ける患者への支援 【授業方法】講義、演習（ICT支援、GW） 【予習】30分：テキスト4）がん看護の第4章、第5章の要点を振り返っておく。 【復習】30分：講義内容を振り返りがん治療を受ける患者への看護についてノートにまとめる。 ※moodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】西山
9	手術を受ける成人と家族への看護①：周手術期の看護（手術前～中の看護） 【授業方法】講義、演習（GW、ICT支援） 【予習】60分：テキスト2）成人看護学　急性期看護Ⅰ　概論・周手術期看護　第2部周術期看護第Ⅰ章～Ⅲ章を熟読する 【復習】20分：授業の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
10	手術を受ける成人と家族への看護②：周手術期の看護（手術直後の看護） 【授業方法】講義、演習（GW、ICT支援） 【予習】20分：テキスト2）成人看護学　急性期看護Ⅰ　概論・周手術期看護　第2部周術期看護第Ⅳ章を熟読する 【復習】60分：授業の振り返り ※評価試験（小テスト）：決められた期限内に小テストをMoodle上で実施する。 【担当】立野、鴨川、吉原
11	手術を受ける成人と家族への看護③：周手術期の看護（術後合併症予防への看護）：術後疼痛、術後感染症、 DVT 、褥瘡、 ADL の維持 【授業方法】講義、演習（GW、ICT支援） 【予習】60分：テキスト2）成人看護学　急性期看護Ⅰ　概論・周手術期看護　第2部周術期看護第Ⅳ章を熟読する 【復習】20分：授業の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
12	疾患からの回復過程にある成人と家族への看護：早期リハビリテーションと退院支援 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト2）成人看護学　急性期看護Ⅰ　概論・周手術期看護　第2部周術期看護第Ⅴ章を熟読する 【復習】60分：授業の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原 ※評価試験（小テスト）：決められた期限内に小テストをMoodle上で実施する。
13	急激な健康状態の破綻とその回復を支援する看護①：急性の状態を生じる原因と患者が体験する侵襲 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト2）成人看護学　急性期看護Ⅰ　概論・周手術期看護　第1部2　急性の状態にある患者の身体的・心理的反応、テキスト3）成人看護学　急性期看護Ⅱ　救急看護・クリティカルケア第Ⅴ章1を熟読し　侵襲に対する生体の反応についてまとめる（事前課題） 【復習】20分：授業の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原
14	急激な健康状態の破綻とその回復を支援する看護②：急性の状態にある患者と家族の心理的反応 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト3）成人看護学　急性期間後Ⅱ　救急看護・クリティカルケア第Ⅴ章1　ICU入室患者と家族の特徴を熟読する 【復習】60分：授業の振り返り 【担当】立野、鴨川、吉原 ※評価試験（小テスト）：決められた期限内に小テストをMoodle上で実施する。
15	健康機能障害を持つ成人への看護のまとめ、課題への取り組みについて FB を行う 【授業方法】演習（発表、ICT支援） 【予習】60分：これまでの学びを復習しながら課題に取り組む 【担当】西山、山本、立野、鈴鹿、鴨川、吉原

指導教員

先行履修要件科目

成人看護学総論

テキスト

- 1）鈴木久美，旗持知恵子，佐藤直美 編：成人看護学 慢性期看護病気とともに生活する人を支える 改訂第4版．南江堂，2023.
- 2）林直子，佐藤まゆみ編：成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第4版．南江堂，2023．
- 3）佐藤まゆみ，林直子編：成人看護学 急性期間後Ⅱクリティカルケア 改訂第4版．南江堂，2023．
- 4）鈴木久美，林直子，佐藤まゆみ編：がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える．改訂第2版，南江堂，2025.

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

評価試験45％（小テスト：第1回、第8回、第10回、第12回、第14回）、課題55％（第2回、第4回、第6回、第13回、第15回）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを用いて課題の提示や小テスト等を実施して自主学習支援を行う。

担当する教員等の実務経験

成人看護（急性期、慢性期、終末期）の分野で看護師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当し、臨床経験を活用した事例等を用いて臨床の実践に則した講義内容を展開する。

メッセージ

老年看護学援助論

更新日：2025/02/14 12:51:20

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100590	授業コード	A100590
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 千原 明美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

加齢に伴う諸機能の変化や高齢者特有の疾病および生活への影響、高齢者を取り巻く社会支援システムについて理解を深め、高齢者看護の基礎的能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	老化のメカニズムや加齢に伴う諸機能の変化について説明できる。
2	高齢者に特有の疾患と看護について説明できる。
3	高齢者に関する統計的輪郭と施策との関連について説明できる。
4	老年看護の場における看護の原理・原則および役割機能を説明できる。

授業計画

1	「若い」「老いを生きる」とはどういうことなのかを考える。 1）個々の老年観を言語化し、見つめ、洞察する 2）Agingの捉え方を理解する 【授業方法】講義 【復習】30分：老年期の特徴についてレジュメや教科書で復習する 【担当】姫野
2	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（1） 【授業方法】演習（GW・討議） 【復習】60分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野
3	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（2） 【授業方法】演習（GW・討議） 【復習】60分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野
4	国内外における高齢化の統計的輪郭と施策の変遷を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：統計的データから高齢化を理解し、保健福祉政策とのつながり整理する 【担当】姫野
5	老化のメカニズムと身体機能の変化を理解する 2・3コマ目の演習のレポートに関するフィードバック（FB） 【予習】40分：老年看護病態・疾病論1章、ナースンググラフィカ第1章pp50-66を読んでくる 【復習】40分：それぞれの器官の正常と加齢による生理的变化について復習する 【担当】姫野
6	社会の高齢化に伴う社会保障と権利擁護について理解する 【授業方法】講義 【予習】30分 ナースンググラフィカ①第2章3高齢者を支える制度を読んでくる 【復習】30分 介護保険、高齢者の権利擁護について授業資料を確認し知識の整理を行う 【担当】原田
7	高齢者に関するケアシステムを理解する 【授業方法】講義 【予習】30分 ナースンググラフィカ①第3章1地域包括ケアを読んでくる 【復習】30分 地域包括ケアについて授業資料を確認し知識の整理を行う 【担当】原田
8	認知症疾患の病態を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分 医学書院テキスト（老年看護 病態・疾患論）A.認知症を読んでくる 【復習】30分 授業資料を確認し知識の整理を行ない、提示した課題に取り組む 【担当】原田

9	認知症高齢者への対応方法を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分 ナーシンググラフィカ①第1章加齢に伴う変化3心理・精神機能を読んでくる 【復習】30分 授業資料を確認し知識の整理を行ない、提示した課題に取り組む 【担当】原田
10	老年医学（1）脳神経系・筋骨格系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分 人体の構造と機能で学んだ脳神経・筋骨格系の機能及び疾病を復習しておく 【復習】40分 講義で学んだ疾病について復習する 【担当】千原
11	老年医学（2）呼吸器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分 人体の構造と機能で学んだ呼吸器系の機能及び疾病を復習しておく 【復習】40分 講義で学んだ疾病について復習する 【担当】千原
12	老年医学（3）循環器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分 人体の構造と機能で学んだ循環器系の機能及び疾病を復習しておく 【復習】40分 講義で学んだ疾病について復習する 【担当】千原
13	老年医学（4）感覚器系・泌尿器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分 人体の構造と機能で学んだ感覚器・泌尿器系の機能及び疾病を復習しておく 【復習】40分 講義で学んだ疾病について復習する 【担当】千原
14	治療を受ける高齢者への看護の役割を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分 ナーシンググラフィカ①第1章 4高齢者とQOLを読んでくる 【復習】30分 治療を受ける高齢者の看護の役割を整理する 【担当】原田
15	評価試験と老年看護学援助論の総括およびフィードバック 【授業方法】評価試験・講義 【予習】60分 評価試験に向けた準備 【復習】30分 老年看護学援助論で学んだ知識の整理 【担当】姫野

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

佐々木英忠著：系統看護学講座21 老年看護 病態・疾患論．医学書院，2025．
堀内ふさ他著：ナーシンググラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害．メディカ出版，2025．

参考文献

メアリー A．マテソン他：看護診断にもとづく老人看護学1～5．医学書院，1992-1995．
E．H．エリクソン他：老年期-生き生きしたかわりあい．みすず書房，1997．
Lawton, M.P. : Environment and other determinants of well-being in older people. Gerontologist 23(4).349-357, 1983.

評価方法

2・3コマ目の演習に関するレポート20%、課題20%（単元によって指示します） 15コマ目の評価試験60%

本科目で取得が望ましい点数

75

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodleを活用しレポートや課題の提出、確認テストを行います。

担当する教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、それぞれの経験と知見を教授内容に引き寄せて、講義や演習を行います。

メッセージ

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳおよび疾病と治療Ⅰ～Ⅳの復習をして講義に臨んでください。人体の構造と機能の知識と加齢による変化がどのように高齢者の生活に影響していくのかの理解につながり、老年看護学実践や老年看護学実習の基盤となる科目です。

小児看護学援助論

更新日：2025/03/03 11:31:45

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100610	授業コード	
担当教員	川崎 幹子, 松中 枝理子, 太田 純代						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学

本科目で育成する**DP**の力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる
2	子どものフィジカルアセスメントの特徴を説明できる
3	子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を説明できる
4	子ども・家族の諸統計、家族看護理論を説明できる
5	子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を説明できる

授業計画

1	小児を取り巻く医療の変遷と課題 小児を取り巻く医療の変遷と課題・評価試験(小テスト)① 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P18～40 予習キーワード：小児看護・医療の歴史、小児看護の変遷、小児看護の国際動向、小児看護・医療の課題と展望 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
2	小児看護における概念と理念 小児看護における概念と理念・評価試験(小テスト)② 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P126～152、課題1に取り組む 予習キーワード：エリクソンの自我発達理論、ピアジェの認知発達理論、ボウルビイの愛着理論、マラーの分離-個体化理論、家族システム論、家族発達理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
3	小児を守る法律と制度 小児を守る法律と制度・評価試験(小テスト)③ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P41～46、P69～83 予習キーワード：小児看護・医療の法律、学校保健、予防接種、難病や障害をもつ小児への保健・福祉 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
4	小児期にある対象の理解と看護 小児期にある対象の理解と看護・評価試験(小テスト)④ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～15 予習キーワード：今までの講義を通して、「子どもとはどのような存在か」を考察する。 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
5	小児の成長・発達と看護（発達の基本） 小児の成長・発達と看護（発達の基本）・評価試験(小テスト)⑤ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123 予習キーワード：成長・発達・発育の概念と定義、成長・発達の区分・原則 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田

6	小児の成長・発達と看護（発達評価法） 小児の成長・発達と看護（発達評価法）・評価試験(小テスト)⑥ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123、課題2に取り組む 予習キーワード：遠城寺式乳幼児分析発達検査法、日本版デンバー式発達スクリーニング検査指数を用いた評価（カウプ指数、ローレル指数、肥満度） 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
7	小児の成長・発達と看護（日常生活援助の視点） 小児の成長・発達と看護（日常生活援助の視点）・評価試験(小テスト)⑦ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123、課題3に取り組む 予習キーワード：原始反射、姿勢反射、粗大運動、微細運動、眠る・食べる・排泄の機能 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
8	母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点 母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点・評価試験(小テスト)⑧ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P61～66 予習キーワード：母子保健、子育て支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
9	子どもの最善の利益にかなう医療・看護/子どもの人権 子どもの最善の利益にかなう医療・看護/子どもの人権・評価試験(小テスト)⑨ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P46～57 予習キーワード：子どもの権利条約、小児医療における倫理的配慮 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
10	子どもの事故防止と安全教育（家庭内と施設内） 子どもの事故防止と安全教育（家庭内と施設内）・評価試験(小テスト)⑩ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P166、P177～179、P197、P213～214、第2・6回の講義内容を復習してから本講義に臨む 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
11	障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護 障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護・評価試験(小テスト)⑪ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P78～83、P147、P148、P151、P152、予習キーワード：ノーマライゼーション、セルフケア理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
12	発達障害のある子どもと家族の看護 発達障害のある子どもと家族の看護・評価試験(小テスト)⑫ 【授業方法】講義 【予習】60分：P79、P267、予習キーワード：広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
13	子どもの虐待に関する小児看護の役割 子どもの虐待に関する小児看護の役割・評価試験(小テスト)⑬ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P44～45、P66～69 予習キーワード：ネグレクト、性的虐待、身体的虐待、心理的虐待、マルトリートメント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
14	小児看護の特質 小児看護の特質・評価試験(小テスト)⑭ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P2～7 予習キーワード：小児看護の目標、小児看護師の役割 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】松中
15	小児看護学援助論の評価試験/フィードバック 小児看護学援助論の評価試験/フィードバック 【授業内容】小児看護学援助論における学習内容の中で理解不十分だった箇所についてのフィードバックを行う。 【授業方法】評価試験(筆記試験)60分、フィードバック30分 【予習】60分：小児看護学援助論における学習内容の中で理解不十分だった箇所 【復習】30分：これまでの授業資料を確認しておく 【担当】川崎・太田・松中

先行履修要件科目

なし

テキスト

小林京子他：小児看護学① 小児看護学概論 小児保健 第7版．メヂカルフレンド社，2024．

参考文献

厚生労働統計協会：国民衛生の動向2024/2025.厚生労働協会，2025.
二宮啓子，他著：小児看護学概論 改訂第4版．南江堂，2022．
二宮啓子，他著：小児看護技術改訂第4版．南江堂 ，2022．

評価方法

評価試験(筆記試験50％：第15回、小テスト20％：第1～14回、課題30％：第2回、第6回、第7回提出課題)

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

小児看護の臨床経験を活かし、実際の事例を交えながら、現場で求められる知識や技術をわかりやすく講義します。

メッセージ

出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んでください。
提出課題については、演習ノートに記載して自己学習を行ってください。課題の詳細は、講義中に示します。また演習ノートを参考にして、復習の機会にしてください。演習ノートは、3年次科目の小児看護ⅡやレベルⅣ実習、国家試験の学習に活用するので、今から内容が充実した演習ノートを作成しましょう。

リプロダクティブヘルス看護学援助論

更新日：2025/01/16 16:48:04

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100630	授業コード	A100630
担当教員	石山 さゆり, 福田 陽子, 菊池 さよ, 内田 文月						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

各ライフステージのリプロダクティブヘルスに関する概念と健康課題を理解し、その看護と支援についての知識を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：母性看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	リプロダクティブヘルスに関する概念と対象の特性を説明することができる。
2	各ライフステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）の健康課題と支援について、考察することができる。
3	リプロダクティブヘルス看護の特性を説明することができる。
4	妊娠、分娩、産褥の正常経過を説明することができる。
5	新生児の生理的変化について説明することができる。

授業計画

1	リプロダクティブヘルスに関する概念・性を取りまく社会と現状・評価試験（小テスト①） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅰ章 母性看護学の概念、第Ⅱ章性を取りまく社会と現状」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】石山
2	母子保健統計と母子保健施策・評価試験（小テスト②） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅲ章 母子保健統計と母子保健施策」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】石山
3	生殖に関する形態機能とライフサイクル・性と生殖をめぐる倫理的課題・評価試験（小テスト③） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅳ章 生殖に関する形態機能とライフサイクル」「第Ⅵ章 性と生殖をめぐる倫理的課題」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】石山
4	国際化の中での母性看護の役割 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅶ章 国際化の中での母性看護の役割」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】内田
5	女性のライフサイクルと健康支援：思春期・評価試験（小テスト④） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅷ章 女性のライフサイクルと健康支援（1女性のライフサイクルの全体像・2思春期）」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】内田
6	学校保健(学校保健のしくみ、保健学習、保健指導) 【授業方法】講義、演習（討議）【予習】45分：事前に配布する資料をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】福田
7	女性のライフサイクルと健康支援：成熟期・評価試験（小テスト⑤） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅷ章 女性のライフサイクルと健康支援（3成熟期）」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】菊池
8	女性のライフサイクルと健康支援：更年期・老年期・評価試験（小テスト⑥） 【授業方法】講義、演習【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅷ章 女性のライフサイクルと健康支援（4更年期・5老年期）」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】菊池
9	評価試験①／妊娠期の看護 【授業方法】講義【予習】45分：第1回から第8回までの講義内容、「人体の構造と機能Ⅳ」での受精と発生（胎児の発達、妊娠による母親の変化）に関する学習内容の復習、およびテキスト（母性看護学Ⅱ マタニティサイクル）の「第Ⅰ章 妊娠期の看護1☒妊娠期の看護～4☒妊娠期の親になっていく過程のアセスメントと援助」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】石山、福田、菊池、内田
10	妊娠期の看護・評価試験（小テスト⑦） 【授業方法】講義【予習】45分：「人体の構造と機能Ⅳ」での受精と発生（胎児の発達、妊娠による母親の変化）に関する学習内容の復習、およびテキスト（母性看護学Ⅱ マタニティサイクル）の「第Ⅰ章 妊娠期の看護1☒妊娠期の看護～4☒妊娠期の親になっていく過程のアセスメントと援助」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】内田
11	分娩期の看護・評価試験（小テスト⑧） 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護Ⅱ マタニティサイクル）の「第Ⅱ章 分娩期の看護，1☒分娩期の概観～3☒正常分娩の経過とアセスメントと援助」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】福田

12	産褥期の看護・評価試験（小テスト⑨） 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト（母性看護Ⅱマタニティサイクル）の「第Ⅲ章 産褥期の看護、1☒産褥期の概観～4☒産褥期の親になっていく過程のアセスメントと援助」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】福田
13	新生児期の看護・評価試験（小テスト⑩） 【授業方法】講義 【予習】45分：テキスト（母性看護Ⅱマタニティサイクル）の「第Ⅶ章 新生児の看護」をよく読み、予習しておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】菊池
14	性と生殖の健康を支える看護技術 【授業方法】講義【予習】45分：テキスト（母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル）の「第Ⅴ章 性と生殖の健康を支える看護技術」をよく読み、予習をしておく。【復習】45分：講義内容を復習し整理する。【担当】福田
15	評価試験②・フィードバック 【授業方法】講義、演習【予習】40分：過去の学習内容について、振り返っておく。【復習】40分：全体を振り返り、苦手な箇所を復習する。【担当】石山、福田、菊池、内田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

齋藤いずみ他：母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル（改訂第3版）.南江堂, 2022.
大平光子他：母性看護学Ⅱ マタニティサイクル（改訂第3版）.南江堂, 2022.

参考文献

森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論．医学書院.
森恵美他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[2] 母性看護学各論．医学書院.
松浦賢長他：学校看護学．講談社, 2017.
苛原稔他：ナースィング・グラフィカ EX 疾患と看護9 女性生殖器．メディカ出版，2019．

評価方法

評価試験60％（実施回：第9回、第15回）、評価試験（小テスト）40％（実施回：第1～3回、第5,7,8回、第10～13回）

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

担当する教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟や地域の母子保健活動の経験がある教員が、その経験を活かし、女性の生涯を通じた健康支援と妊産褥婦および新生児への看護、リプロダクティブヘルス看護に必要な理論基盤や知識について講義します。

メッセージ

思春期から老年期まで、ライフステージごとに異なるリプロダクティブヘルスの健康課題があります。本講義では、各ライフステージに応じた支援や看護の基礎を学び、妊娠や分娩、新生児ケアに関する知識も習得します。多角的な視点からリプロダクティブヘルス看護を理解し、その役割を考察していきましょう。

精神看護学援助論

更新日：2025/03/11 14:06:17

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100650	授業コード	A100650
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ, 高瀬 理恵子, 森 千郷						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

パーソナリティーの発達と各ライフステージにおける精神的危機に対する看護の役割を学び、精神看護に必要な理論や基礎的能力を獲得し、精神健康が脅かされることで生じる問題に対するアセスメントと援助を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成する**DP**の力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	精神保健看護の意義、役割と機能が説明できる。
2	精神保健看護学の対象であるこころの健康、こころの発達が説明できる。
3	精神の健康に影響する因子を理解し、精神の健康保持・増進への援助について述べることができる。
4	精神の健康保持増進のための看護援助方法を説明できる。
5	自己の内面を振り返ることによって、援助的な人間関係を構築し、多様性を理解することができる。

授業計画

1	精神(心) の構造と働きや発達に関する主要な考え方 【授業内容】精神の健康、こころの発達について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 教科書Ⅰの第1章、2章の該当箇所を通読すること 【復習】30分 学修した内容のノートをまとめる 【担当】高橋
2	精神看護の考え方 【授業内容】精神看護の考え方について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 教科書教科書Ⅰの序章、Ⅱの第5章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
3	治療場における看護援助 【授業内容】治療場における看護援助について学修する。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱ第7章の該当箇所を通読すること 【担当】ゲストスピーカー（不知火病院 原看護部長）
4	精神保健医療の歴史―諸外国について 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 教科書Ⅰの第7章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
5	精神保健医療の歴史―日本について 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 教科書Ⅰの第7章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
6	精神障害を有する人を守る法・制度 【授業内容】精神保健福祉と法制度について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 教科書Ⅰの第7章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧

7	危機状況と精神（心の）健康 【授業内容】危機状況と精神（心の）健康について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 教科書Ⅰ第5章を通読する 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
8	教育の場、職場、地域社会におけるこころの健康 【授業内容】教育の場、職場、地域社会におけるこころの健康について事前学修した内容をグループに分かれて発表し看護職者として何ができるのかを意見交換し合う。話し合いの結論をteamsの投稿に記載する。 【授業方法】講義（討議、GW）（ICT双） 【予習】60分 教科書Ⅰ第4章を通読する。以下の要領でそれぞれ1200文字程度のレポートをまとめて指定されたteamsに格納すること。 ・教育の場におけるこころの健康については、文部科学省HPで児童・生徒・学生の心の健康に関し、教科書Ⅰ第4章のキーワードを参考にしながら関心ある内容についてワード1200文字程度にまとめる。 ・職場、地域社会におけるこころの健康については、厚生労働省HPにて教科書Ⅰ第4章のキーワードを参考にしながら関心ある内容についてワード1200文字程度にまとめる。 【課題レポート提出先】講義終了後に課題レポートの見直しをしたうえで、教員が指定した日時・格納場所に時間厳守でmoodle格納する。 【復習】30分：学修したものをノートにまとめておく。 【担当】高橋
9	精神看護専門看護師について学ぶ 【授業内容】 - 第1回～第8回までの講義に対する評価試験（筆記試験）を行う。 - 精神看護専門看護師について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。次回のプロセスレコードに関する概要を説明する。 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 教科書Ⅰ序章の関連部分を通読する 【復習】30分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋、牧、高瀬、森
10	精神看護援助の基本：生きる力と強さへの支援 【授業内容】精神看護援助の基本である生きる力と強さへの支援について学修し、多様性を理解することができる。 【授業方法】講義 【予習】30分 配布資料を通読しておく 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
11	精神看護援助の基本：患者—看護師関係 【授業内容】精神看護援助の基本である患者—看護師関係について学修する。患者—看護師関係での気がかりな場面の取り上げ方について説明する。 【授業方法】講義、演習 【予習1】30分；はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション．へるす出版，2014． p 70～71を通読する。 【復習】60分：プロセスレコード作成を行い、第1 2 講義のはじめにteamsに格納できるように準備をしておく。 【担当】高橋
12	プロセスレコード検討会 【授業内容】プロセスレコードで自己の振り返りを行ったものについてグループ討論を行う。講義の最初に、教員が設定したteamsに各自のプロセスレコードを格納し、グループ毎に検討会を行う。 【授業方法】講義（討議、GW）4～5名程度/グループで行う（ICT双） 【予習】50分 プロセスレコードの記載を行う 【復習】30分 グループディスカッションで得られた知見を踏まえてプロセスレコードを修正し完成させる。 【プロセスレコード提出先】完成されたプロセスレコードは教員が指定した日時・格納場所に時間厳守でmoodleに格納する。 【担当】森、高橋、牧、高瀬
13	精神保健医療福祉に関する社会資源 【授業内容】精神保健医療福祉に関する社会資源について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 教科書Ⅱの第8章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬
14	精神看護援助の基本：セルフケア理論による看護援助 【授業内容】精神看護援助の基本であるセルフケア理論による看護援助について学修する。授業の最後に振り返りクイズで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分 教科書Ⅱの第6章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬

15	精神保健看護Ⅰ全15コマで実施した小テストの実施と主要な内容に対するフィードバック 【授業内容】 1. 第9回～第14回までの講義に対する評価試験（筆記試験）を行う。 2. 15コマで学んだ内容について振り返りを行う 【授業方法】評価試験（筆記試験）、講義 【予習】30分 第14回までの復習、全小テスト見直し 【復習】45分 全ての学習内容の知識の整理を行う 本講義のフィードバックに関しては、特に押さえてほしい内容を「まとめシート」に記載しています。まとめシートの内容に沿って自己学習を進めてください。 【担当】高橋
----	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

岩崎弥生，他：精神看護学Ⅰ 精神看護学概論／精神保健（第6版）．メヂカルフレンド社，2021．
岩崎弥生，他：精神看護学Ⅱ 精神障害をもつ人の看護（第6版）．メヂカルフレンド社，2021．
高橋清美 編著：はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション．へるす出版，2014．
尾崎紀夫， 他：標準精神医学（第9版）．医学書院，2024．

参考文献

Erikson, E.H. ．The Life Cycle Completed ．1982，村瀬孝雄・近藤邦夫訳：ライフサイクル、その完結．みすず書房，1989．
野末聖香 編：リエゾン精神看護 患者ケアとナース支援のために．医歯薬出版，2004．

評価方法

・評価試験60％の内訳は、第1～第8講義に対する試験（30％）と第9回～第14回に対する試験（30％）である。
・プロセスレコード課題20％
・課題レポートの内訳は、教育の場、職場、地域社会におけるこころの健康で作成したワード1200文字分の課題レポート15％＋teamsでのグループワーク後の投稿5％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双 講義中にタブレット上でクイズを解き、自分で答え合わせをしていく方法で自己学習を支援します。

ICT支援 講義後にmoodleで設定した振り返りクイズで何度でも繰り返しの自己学習を支援します。

担当する教員等の実務経験

精神科臨床経験、病院心理士、スクールカウンセラー、保健師の実務経験がある教員、更には現任の精神科病院看護部長が、精神看護に必要な理論や基礎的能力を獲得するための知識や技術を身につけることができるように講義、演習を展開します。

メッセージ

精神看護を学ぶために、皆さんと教員による双方向性のコミュニケーションを大切にしていきたい思います。

国際看護学総論

更新日：2025/02/17 08:02:30

開講年度	2025	学期	4期	科目コード	A100670	授業コード	A100670
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	
	備考(配当)						

授業の目的

世界の健康、保健衛生の現状や課題、関連する要因について学び、人々の健康増進に関与する保健・看護の特性について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：看護の統合と実践

本科目で育成する**DP**の力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	世界の健康問題とその要因を説明できる。
2	世界の健康課題に取り組む国際的な支援の枠組みや活動を説明できる。
3	世界の健康課題に対する医療や看護の役割について説明できる。

授業計画

1	国際看護概論/国際保健概論 【授業内容】 授業の進め方、国際看護コースについて、 国際保健・グローバルヘルスとは、グローバルヘルスに関連する主要概念 保健指標の種類と読み方、活用方法について 【授業方法】 講義 【予習】 30分：国際看護とは何かを調べる。【復習】 30分：関心のある国について調べる 【担当】 森山
2	グローバルヘルスの課題（1） 【授業内容】 グローバルヘルスに関連する主要概念、国際機関、保健医療に関する開発理念、人間開発 【授業方法】 講義/演習（GW） 【復習】 30分：関心のある国の健康課題について調べる 【担当】 森山
3	グローバルヘルスの課題（2） 【授業内容】 健康の決定要因、グローバルヘルスの課題、ヘルスシステムなど 【授業方法】 講義 【復習】 30分：講義内の興味のあるテーマについて調べる 【担当】 森山
4	在留外国人の保健医療/異文化理解とケア 【授業内容】 在留・訪日外国人に対する保健医療のしくみなど 【授業方法】 講義 【予習】 30分：日本人出国者と外国人入国者の推移について調べる 【復習】 60分：在留・訪日外国人への県内の取り組みや課題について調べる 【担当】 森山
5	国際看護概論の概念と理論 【授業内容】 国際看護の概念、原理、活動など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：看護の定義、対象、健康の定義など復習しておく 【担当】 森山
6	紛争と看護 【授業内容】 戦傷外科、国際人道法、赤十字国際委員会の活動など、 【授業方法】 講義 【予習】 30分：紛争中の国や地域、赤十字の活動について調べる 【担当】 小川
7	難民と看護 【授業内容】 難民・国内避難民、スフィアプロジェクトなど 【授業方法】 講義 【復習】 60分：難民の生活、健康などについて調べる 【担当】 小川

8	開発と看護 【授業内容】 開発の概念、開発協力と赤十字など 【授業方法】 講義 【復習】 30分：開発協力と赤十字の活動、NGO等の活動について調べる 【担当】 ゲストスピーカー
9	国際看護の課題と今後の展望 【授業内容】 国際看護の課題（労働力移動、看護の人材育成など）、ICN、管理・政策・研究 【授業方法】 講義 【復習】 30分：国際看護師協会（ICN）と取り組みについて調べる 【担当】 小川
10	ケーススタディ 事例提示/展開 【授業方法】 講義/演習（GW） 【復習】 30分：事例を読みこみ、必要な情報を収集する。 【担当】 小川、森山
11	ケーススタディ事例展開 GW① 【授業方法】 演習（討議、GW） 【復習】 60分：グループワークで抽出された問題に対して自分の考えをまとめる。 【担当】 小川、森山
12	ケーススタディ事例展開 GW② 【授業方法】 演習（討議、GW） 【復習】 60分：資料内容の検討と提出資料の作成 【担当】 小川、森山
13	ケーススタディ事例発表 GW③ 【授業方法】 演習（発表）（ICT双） 【予習】 60分：発表資料を準備する。 【担当】 小川、森山
14	ケーススタディ事例発表 GW④ 【授業方法】 演習（発表）（ICT双） 【予習】 60分：発表資料の作成 【担当】 小川、森山
15	ケーススタディ事例発表/フィードバック 【授業方法】 講義・演習（発表、討議）（ICT双） 【復習】 60分：授業や演習をふまえ、国際看護についての考えをまとめる。 【担当】 小川、森山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

大橋一友 岩澤和子編集：：ナースিং・グラフィカ 看護の統合と実践④ 国際化と看護. 株式会社メディカ出版、2025

参考文献

授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度（30%）
授業中に課された課題への取り組み（40%）
評価試験（課題レポート30%）提出期限は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

国際赤十字やJICAでの救援や開発協力の経験のある教員がその経験を活かして、国際活動に求められる基礎的な知識・技術・態度を修得できるよう講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目では、前半はグローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、わが国における在留外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力等、国際看護に必要な基礎知識を学びます。後半は、具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して、グローバルヘルスの課題と国際看護を実践的に深く学びます。国際看護や国際協力について考え、他者に伝える機会を提供します。

家族看護学

更新日：2025/02/19 09:36:44

開講年度	2025	学期	3期	科目コード	A100780	授業コード	A100780
担当教員	西村 和美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						

配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

家族看護の基本的概念について理解し、家族を単位とした看護のアプローチ方法と、さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族への看護について学修する。

指定規則上の教授内容

別表3 看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	家族看護の意義や対象、目標、理念を説明できる。
2	家族看護を支える理論を説明できる。
3	家族看護展開の方法を説明できる。
4	家族看護の理論やモデルを用いて家族をアセスメントすることができる。
5	さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族への看護のアプローチ方法について考察できる。

授業計画

1	家族看護とは 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：テキストP2～28を熟読する。 【復習】30分：家族看護の特徴と理念、家族の発達段階をまとめる。
2	家族看護の対象理解 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：テキストP30～99を熟読する。 【復習】30分：家族の定義、家族構造の把握方法（ジェノグラム・エコマップ）、家族機能、現代家族のかかえる課題についてまとめる。
3	家族看護を支える理論と介入法 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP102～134を熟読する。 【復習】30分：家族看護の理論（家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論）、家族療法についてまとめる。
4	家族看護展開の方法 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP136～201を熟読する。 【復習】30分：家族看護過程、家族アセスメントモデルについてまとめる。
5	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（1）／評価試験 【授業方法】演習（ICT支援、GW）、評価試験（筆記試験）（出題範囲：第1回～第4回） 【予習】30分：テキストP204～286の事例（家族形成期・発展期・葛藤期・充実期・継承期の家族看護）を熟読する。 【復習】40分：指定された事例の家族アセスメントについてまとめる。
6	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（2） 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 【予習】40分：テキストP204～286の指定された事例（家族形成期・発展期・葛藤期・充実期・継承期の家族看護）を熟読し、個人でワークシートを作成する。 【復習】40分：グループワークで検討した内容をもとに発表資料を作成する。
7	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（3） 【授業方法】演習（ICT支援、発表） 【予習】50分：テキストP204～286の指定された事例（家族形成期・発展期・葛藤期・充実期・終末期の家族看護）を熟読し、発表資料を作成する。 【復習】30分：家族の発達段階に応じた家族看護の特徴をまとめる。
8	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（4）まとめ、課題および評価試験へのフィードバック 【授業方法】演習（ICT双）、課題および評価試験へのフィードバック 【予習】60分：事例発表を通して他のグループの発表資料を熟読する。 【課題レポート】さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族への看護のアプローチ方法について考察する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

上別府圭子：系統看護学講座 別巻 家族看護学 第2版【電子版】. 医学書院，2024.

参考文献

中野綾美 他：家族看護学－家族のエンパワーメントを支えるケア. メディカ出版，2020.
山崎あけみ 他：看護学テキストNICE家族看護学（改訂第3版）臨床場面と事例から考える. 南江堂，2022.

評価方法

評価試験（筆記試験）（第5回）50%
事例発表内容・課題（第7回）30%
レポート（第8回）10%
授業参加度（第1回～第8回）10%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

担当する教員等の実務経験

病院（病棟・外来）と地域（NPO法人）での看護師の実務経験をもつ教員が、さまざまな健康レベルや発達段階の患者と家族への家族支援を行った経験を活かして家族看護の事例を交えながら家族アセスメントと家族への看護のアプローチ方法について授業を行います。

メッセージ

定型的な家族の枠組みにとらわれず、多様な家族のあり方を考える機会とします。家族を理解するには、まず自分の家族体験を振り返り、家族のイメージを描きます。自己を振り返り、患者・家族を看る目を育ててください。様々な事例の家族看護について一緒に考えていきましょう。

緩和ケア

更新日：2025/02/27 15:03:34

開講年度	2025	学期	2期	科目コード	A100800	授業コード	A100800
担当教員	鈴鹿 綾子, 西山 陽子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1 (15)	
	備考(配当)						

授業の目的

全人的苦痛を有する人々とその家族のニーズを理解し、最善のQOLを実現するための看護について学修する。

指定規則上の教授内容

別表3:看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	生命を脅かす病苦を持つ人およびその家族のニーズを理解し、緩和ケアの特徴と意義を述べることができる。
2	生命を脅かす病苦を持つ人およびその家族への全人的ケアについて理解できる。
3	緩和ケアにおける倫理的課題（意思決定支援を含む）について理解できる。

授業計画

1	全人的苦痛と緩和ケアの特徴・意義 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習】20分：テキスト第Ⅰ章に記載されている1～5まで熟読する。 【復習】30分：授業内容を復習しノートにまとめる。 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。 【担当】鈴鹿
2	がん患者の全人的苦痛に対する緩和ケア① 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習】30分：第Ⅲ章に記載されている1身体的苦痛へのケアの1-1～1-7に記載されている苦痛について、および2精神的苦痛へのケアの2-1～2-4のメカニズムを熟読する。 【復習】20分：講義の要点をテキストと合わせて振り返り、重要な箇所に印をつける。 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。 【担当】西山
3	がん患者の全人的苦痛に対する緩和ケア② 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習】30分：第2回の講義内容の復習をする。 【復習】20分：講義の要点をテキストと合わせて振り返り、重要な箇所に印をつける。 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。 【担当】西山
4	緩和ケアの基盤となる考え方①：尊厳を支えるケア、意思決定を支えるケアA・B、緩和ケアにおける多職種チームアプローチ 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習】20分：テキスト第Ⅱ章に記載されている1尊厳を支えるケア、5意思決定を支えるケア（A・B）、までを熟読する。 【復習】30分：授業内容を復習しノートにまとめる。 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。 【担当】鈴鹿
5	さまざまな対象への緩和ケア 【授業方法】講義・演習（ICT支援） 【予習】20分：第Ⅳ章に記載されている1認知症を有する人への緩和ケア、2心不全を有する人への緩和ケア、3慢性呼吸不全を有する人への緩和ケアを熟読する。 【復習】30分：授業内容を復習しノートにまとめる。 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。 【担当】鈴鹿
6	全人的苦痛に対する緩和ケアの実践① 【授業方法】講義（GW） 【予習】60分：事例を用いた事前課題（個人ワーク）を提示する。第2回・3回の講義を復習しながら取り組んでください。提出については別途説明する。 【担当】西山・鈴鹿

7	全人的苦痛に対する緩和ケアの実践② 【授業方法】 演習（ワールド・カフェ） 【予習】 60分：第6回の学びをグループでまとめ発表準備をする。詳細は別途説明する。 【担当】 西山・鈴鹿
8	緩和ケアの基盤となる考え方②：アドバンス・ケア・プランニング、家族ケア、臨死期のケア 【授業方法】 講義・演習（ICT支援）・授業全体のFB 【予習】 20分：テキスト第Ⅱ章5意思決定を支えるケアC・D、6家族ケア、7グリーフケア、Ⅴ章臨死期のケア 【復習】 30分：：授業内容を復習しノートにまとめる。 【担当】 鈴鹿 ※講義の最後に小テスト（Moodleを使用）を行います。

指導教員

先行履修要件科目

看護学概論

テキスト

梅田恵，他編：緩和ケア 尊厳ある生と死，大切な生活をつなぐ技と心（改訂第3版）

参考文献

kübler-Ross, E.：On Death and Dying．1969，鈴木晶　訳：死ぬ瞬間―死とその過程について．中央
公論新社，2001．
鈴木久美，林直子，佐藤まゆみ編：がん看護 様々な発達段階・治療経過にあるがん患者を支える．改訂
第2版，南江堂，2025．

評価方法

評価試験50％
小テスト30％：第1回、第2回、第3回、第4回、第5回、第8回
課題　20％（第6回、7回：個人ワーク10％、ピア評価10％）

※筆記試験は第8回の講義以降の別の時間に行います。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

担当する教員等の実務経験

緩和ケア、ターミナルケアの分野で看護師としての臨床経験を持つ教員が、緩和ケアを必要とする対象・家族へのケアついて、実例を交えながら授業を行います。

メッセージ

緩和ケアは、がん患者を対象としたケアから始まりましたが、近年は、さまざまな疾患で苦痛を抱える方々を対象とするケアへと広がりをみせています。全人的苦痛を抱えた人へのケアは、あたたかな声掛けや、細やかな気配りだけではありません。講義を通して、患者と家族のQOLを高め、尊厳ある生とその人らしい生活をつなぐ技と心を一緒に学びましょう。

赤十字フィールド体験実習

更新日：2025/01/24 15:12:28

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	A100850	授業コード	A100850
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (90)	
	備考(配当)						

授業の目的

赤十字の様々な活動を通して、地域で生活する人々の生命、健康と赤十字の役割について理解を深め、人道の担い手として行動できる基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】
赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字の理念が各施設でどのように具現化されているのを理解することができる。
2	赤十字の基本原則と活動が地域で生活する人々の生命・健康・生活とどのような関連があるかを考えることができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために、赤十字看護師に求められることは何かを述べることができる。

授業計画

1	【授業方法】実習 【予習】訪問する施設および活動内容を調べる。（30分） 【復習】訪問先の活動内容と赤十字の理念および基本原則との関連について考える。（60分）
2	実習方法 1．実習期間：2024年9月中旬から2週間程度。但し、訪問先の都合によりこの期間外に実習を行うことがある。 2．実習場所：佐野常民記念館、日本赤十字社福岡県支部、福岡赤十字病院、九州ブロック血液センター、特別養護老人ホーム 大寿園、特別養護老人ホーム やすらぎの郷、特別養護老人ホーム 豊寿園、献血ルーム（おっしょい博多、キャナルシティ、天神西通り、くろさきクローバー、魚町銀天街） 3．実習配置：別途配布する。 3．実習の進め方 ・事前学習（予習）をふまえ、実習で学びたい内容をグループでまとめ、実習先に伝える。（グループ） ・訪問先の活動の実際を見学する。 ・見学した内容と赤十字の理念、基本原則との関連についてまとめる。（個人・グループ） ・実習最終日に各グループの学びを発表し、共有する。（グループ） ・学習成果発表へのフィードバック

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

「赤十字概論」で配布した資料
日本赤十字社：赤十字のしくみと活動

評価方法

事前課題・グループワークへの参加度 30％ 実習参加度および発表 30％ レポート 40％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し学習成果を共有する）

担当する教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び、赤十字病院での勤務経験のある教員が担当する。

メッセージ

「赤十字」や「看護」について、どのようなイメージを持っているでしょうか。この実習では、赤十字事業の実際を知ること、地域で暮らす人々の生命、健康、そして生活を守るための赤十字の看護師の役割をグループで考え、深めていきます。

グローバルスタディ

更新日：2025/03/05 11:36:34

開講年度	2025	学期	1期, 2期, 3期, 4期	科目コード	A101010	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 鎌田 ゆき, 鈴鹿 綾子, 小手川 良江						
備考	選択/必修：自由科目 授業形態：演習 ＊履修登録の必要なし						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	全期	曜日/時限	特になし	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

国内外の研修を通して国際社会で発生する諸問題を多角的な視野で考察する。

指定規則上の教授内容

指定規則には該当せず

本科目で育成するDPの力

該当せず

到達目標

1	国際社会におけるさまざまな実践を通して、国際社会で発生する課題を探究することができる。
---	---

授業計画

1	国内外におけるグローバル研修 おもな活動例 ・国際赤十字関連施設等における研修 ・語学研修 ・短期留学（15時間相当の参加） 注意点 ・事前準備・調整、現地での活動、事後処理・まとめについては個人の主体的な取り組みとする。 ・学習会（座学、グループワーク）のみの参加は本単位認定の対象とせず、活動を伴うものとする。 ・選択科目である異文化コミュニケーションにおける活動を除く。 ・海外渡航の際は、事務室に所定の届出をする。
---	--

指導教員

該当せず

先行履修要件科目

なし

テキスト

なし

参考文献

なし

評価方法

現地での活動が確認できる書類および活動報告書（レポートA4 1枚以上、科目名、学籍番号、氏名、活動名、活動目的・背景、参加者、活動日時、活動内容および成果、活動に関連した学びの内容を含む）の提出により活動内容を精査する。

報告書等は、各クォーター終了時まで提出する。
ただし、4年次後期は第3クォーター終了時まで提出する。
GP対象外とし、可否のみを判定する。

本科目で取得が望ましい点数

可否判定とし、点数による評価はしない

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

該当せず

メッセージ

*指定規則には該当しないため、卒業要件の単位として認められない自由科目になります。

ボランティア活動

更新日：2025/02/12 11:52:55

開講年度	2025	学期	1期, 2期, 3期, 4期	科目コード	A101020	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 鈴鹿 綾子, 鎌田 ゆき, 小手川 良江						
備考	選択/必修：自由科目 授業形態：演習 ＊履修登録の必要なし						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	全期	曜日/時限	特になし	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

ボランティア活動の実践を通して、社会の課題を発見し、その解決のために他の人々と協力し、人が支え合い交流する地域共生社会について考察する。

指定規則上の教授内容

指定規則には該当せず

本科目で育成するDPの力

該当せず

到達目標

1	ボランティア活動の実践を通して、社会の課題を探究することができる。
---	-----------------------------------

授業計画

1	ボランティアに関する学修活動 ボランティアに関する活動例 - 募金、献血推進 - 地域における活動等への参加 注意点 - 事前準備・調整、現地での活動、事後処理・まとめについては個人の主体的な取り組みとする。 - 本単位認定の対象は、15時間相当の現地での活動とする。 - 単発の活動の場合は、複数の活動を積算して15時間相当になることとし、年度をまたぐ場合は、翌年度で積算する。 - 学習会（座学、グループワーク）のみへの参加は本単位認定の対象とせず、活動を伴うものとする。 - 選択科目であるボランティア実践における活動を除く ボランティア活動の実践を通して、社会の課題を発見し、その解決のために他の人々と協力し、人が支え合い交流する地域共生社会について考察する 募金、献血推進 地域における活動等への15時間相当の参加 ＊選択科目であるボランティア実践における活動を除く
---	---

指導教員

該当せず

先行履修要件科目

なし

テキスト

なし

参考文献

なし

評価方法

15時間相当の現地での活動が確認できる書類および活動報告書（レポートA4 1枚以上、科目名、学籍番号、氏名、活動名、活動目的・背景、参加者、活動日時、活動内容および成果、活動に関連した学びの内容が含まれていること）の提出により活動内容を精査する。報告書等は、各クォーター終了時までに提出すること。ただし、4年次後期は卒業判定までに評価が終了できる第3クォーター終了時までに提出する。GP対象外とし、合否のみを判定する。

本科目で取得が望ましい点数

合否判定とし、点数による評価はしない

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

該当せず

メッセージ

*指定規則には該当しないため、卒業要件の単位として認められない自由科目になります。

災害関連活動

更新日：2025/02/12 11:53:29

開講年度	2025	学期	1期, 2期, 3期, 4期	科目コード	A101030	授業コード	
担当教員	本田 多美枝, 鎌田 ゆき, 鈴鹿 綾子, 小手川 良江						
備考	選択/必修：自由科目 授業形態：演習 ＊履修登録の必要なし						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	全期	曜日/時限	特になし	単位	1	
	備考(配当)						

授業の目的

災害に関する学習活動を実践し、赤十字の理念や人道的任務について考察する。

指定規則上の教授内容

指定規則には該当せず

本科目で育成するDPの力

該当せず

到達目標

1	国内外における災害に関する学習活動を実践し、課題を探究することができる。
---	--------------------------------------

授業計画

1	災害に関する学習活動 災害に関する学習活動例 ・災害ボランティア、防災・減災活動等、災害に関連する活動等 ・日本赤十字社等が行う災害研修 注意点 ・事前準備・調整、現地での活動、事後処理・まとめについては個人の主体的な取り組みとする。 ・本単位認定の対象は、15時間相当の現地での活動とする。 ・単発の活動の場合は、複数の活動を積算して15時間相当になることとし、年度をまたぐ場合は、翌年度で積算する。 ・学習会（座学、グループワーク）のみへの参加は本単位認定の対象とせず、活動を伴うものとする。 ・災害研修のみの参加は本単位日程の対象としない。災害研修は、災害ボランティア、防災・減災活動等、災害に関連する活動などを含めた積算が15時間相当となる場合に本単位認定とする。
---	---

指導教員

該当せず

先行履修要件科目

なし

テキスト

なし

参考文献

なし

評価方法

15時間相当の現地での活動が確認できる書類および活動報告書（レポートA4 1枚以上、科目名、学籍番号、氏名、活動名、活動目的・背景、参加者、活動日時、活動内容および成果、活動に関連した学びの内容が含まれていること）の提出により活動内容を精査する。
報告書等は、各クォーター終了時までに提出すること。ただし、4年次後期は卒業判定までに評価が終了できる第3クォーター終了時までに提出する。
GP対象外とし、可否のみを判定する。

本科目で取得が望ましい点数

可否判定とし、点数による評価はしない

ICTの活用・教育リソース

なし

担当する教員等の実務経験

該当せず

メッセージ

＊指定規則には該当しないため、卒業要件の単位として認められない自由科目になります。